

# 市川市の図書館

2022



市川市立図書館

## はじめに

新型コロナウイルスの流行やウクライナをめぐる危機、東アジア地域における緊張の高まり、また国内では人口減少・少子高齢化社会が到来するなど、私たちは日々刻々と変化する社会情勢の中を生きています。さらに、情報通信技術の飛躍的な発展により、世の中に溢れる情報の海を泳いで行かなければなりません。

『ユネスコ公共図書館宣言 1994 年』では、「公共図書館は、その利用者があらゆる種類の知識と情報をたやすく入手できるようにする、地域の情報センターである」とされています。公共図書館が「地域の情報センター」としての役割を果たすことは、SDGs（持続可能な開発目標）のターゲット 16.10 にいう「情報への公共アクセスを確保し、基本的自由を保障する」ことにも繋がります。

市川市立図書館は、1950（昭和 25）年に設置されて以来、市民の情報センターとしての役割を果たしながらその歴史を刻んでまいりました。1994（平成 6）年に開館した中央図書館をはじめ、行徳・信篤・南行徳の各図書館や平田図書室の整備、指定管理者制度の導入による市川駅南口図書館の設置などハード面での充実を図る一方、各施設間のネットワーク化や蔵書の I C タグ化を通じ検索・貸出サービスに関するシステムを構築するなど、利便性の向上を着実に進めています。

本書「市川市の図書館 2022」は、こうした市川市立図書館の現在のサービス内容、また直近 1 年間の事業記録をまとめ、刊行するものです。本書が皆様にとって図書館に対する理解を深める一助となれば幸いです。

変化を続ける社会の中、図書館も成長を続けなければなりません。私たち市川市の図書館員は、市民の皆様の知識・情報ニーズに応えながら、これからの時代にふさわしい図書館サービスのあり方を常に追求し実践を重ね、成長を続けてまいります。今後とも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

*The Library is a growing organism.*

令和 4 年 9 月  
市川市中央図書館  
館長 安永 崇

# 目 次

## はじめに

1. 市川市の概要	・・・1	9. 図書館コンピュータシステム	
2. 図書館の基本方針	・・・2	(1) 図書館コンピュータシステムの概要	・・・43
3. 図書館のあゆみ	・・・3	(2) インターネットでのサービス	・・・43
4. 図書館組織図・委員会等		(3) ネットワークの拡充	・・・44
(1) 図書館組織図	・・・6	(4) 図書館内インターネット接続サービス等	・・・44
(2) 委員会・会議等	・・・7	10. 令和3年度事業概要 概況	・・・48
5. 図書館及び関連施設の配置図	・・・8	(1) 資料収集と利用状況	・・・48
6. 令和4年度施設概要		(2) リクエストサービス	・・・49
(1) 中央図書館 こどもとしょかん	・・・9	(3) レファレンスサービス	・・・50
(2) 自動車図書館「みどり号」	・・・13	(4) 関連施設・類縁機関との連携	・・・50
(3) 平田図書室	・・・14	(5) 対象別サービス	・・・52
(4) 行徳図書館	・・・15	(6) 資料別サービス	・・・56
(5) 信篤図書館	・・・16	(7) 主催事業	・・・57
(6) 南行徳図書館	・・・17	(8) 市川駅南口図書館自主事業（指定管理館）	・・・62
(7) 市川駅南口図書館	・・・18	(9) 委員会等	・・・64
(8) 関連施設	・・・23	(10) 図書館刊行物	・・・65
7. 令和4年度予算		(11) 図書館作成動画	・・・66
(1) 市の予算	・・・24	(12) 視察・講師派遣等	・・・66
(2) 教育費	・・・24	(13) 市川市立図書館関係記事一覧	・・・66
(3) 図書館費	・・・24	(14) 市川市立図書館関係テレビ番組等一覧	・・・66
(4) 館別資料費	・・・25	(15) デジタルアーカイブ	・・・67
8. 令和3年度統計		11. 市川図書館友の会	・・・68
(1) 蔵書冊数	・・・27	12. 新聞・雑誌一覧	
(1-2) 分野別蔵書冊数内訳	・・・28	(1) 購入雑誌一覧	・・・69
(1-3) 蔵書冊数の推移	・・・29	(2) 寄贈雑誌一覧	・・・76
(2) 分類別貸出冊数	・・・30	(3) 中央図書館収集地域雑誌・定期刊行物一覧	・・・78
(2-2) 分野別貸出冊数内訳	・・・31	(4) 新聞ほか一覧	・・・81
(2-3) 貸出冊数の推移	・・・32	13. 条例・規則等	・・・82
(3) 蔵書回転率	・・・33	14. 資料	
(4) リクエスト統計	・・・34	(1) 市川市教育振興基本計画	・・・106
(5) 登録者集計表	・・・35	(2)-1 市川市立図書館運営基本計画	・・・109
(6) 延べ利用者数の推移	・・・35	(2)-2 令和2年度評価報告書	・・・126
(7) 中央図書館月別利用者数・貸出点数の推移	・・・36	(2)-3 第二次実施計画	
(8) 受入・除籍冊数	・・・37	(平成30～令和2年度) 評価報告書	・・・133
(9) 自動車図書館ステーション別統計	・・・39	(3)-1 アンケート（eモニ）報告書	・・・135
(10) 市川市の図書館サービス指標	・・・40	(3)-2 来館者アンケート報告書	・・・141
(11) 開館日数	・・・40	(4) 市民要望	・・・152
(12) 関連施設統計	・・・41		

# 1. 市川市の概要

市川市は、千葉県の西部に位置し、北は松戸市、東は船橋市・鎌ヶ谷市、南は浦安市及び東京湾に各々面し、西は江戸川を隔てて東京都江戸川区・葛飾区と対峙している。

市域は南北に細長く、北部の台地上には50ヶ所に上る縄文貝塚、国分寺などがあり、中央には市川砂州上に千葉街道が走り、黒松に囲まれて葛飾八幡宮や中山法華経寺などが建つ。南部の低地には、旧江戸川に沿って、成田街道の面影を残す街並みや、塩田の名残をとどめる地名も多い。昭和9年に市制を施行した。

江戸・東京に近い市川市域は、自然環境にも恵まれ古くから豊かな文化を育んできた。古代には国府が置かれ、万葉時代から「真間の手児奈」伝説や「真間の継橋」が歌い継がれてきた。中世に活躍した日蓮の『立正安国論』（国宝）をはじめとする遺筆は、今も法華経寺に伝わる。近世には、市川の事蹟は『南総里見八犬伝』や『江戸名所図会』などにも記されてきた。

近代以降も、伊藤左千夫・正岡子規・郭沫若らが市川を題材にした作品を遺し、永井荷風・幸田露伴・東山魁夷・水木洋子・宗左近の終焉の地となった。戦後も、中野孝次・五木寛之・井上ひさし・能村登四郎・梶山俊夫らが住まい、活動の拠点となる。

また、市民による読書活動や芸術活動にもめざましいものがあり、良好な「郊外住宅都市」「文化都市」と呼ばれる所以である。



位置 東経 139° 55′ 52″  
北緯 35° 43′ 19″  
(市庁舎)

面積 56.39 k m<sup>2</sup>  
東西延長 8.2 k m  
南北延長 13.4 k m

人口 491,545人  
男 248,519人  
女 243,026人  
252,049世帯

(住民基本台帳人口  
R4.3.31現在)

## 2. 図書館の基本方針

公共図書館は、社会を取り巻く様々な課題や個人の生き方について、市民一人ひとりが興味と関心に従って自由に学び、必要な知識を得て、考え、意見を作り上げるための資料・情報と学習の場を提供する生涯学習機関です。

公共図書館はまた、歴史・芸術・文学などの幅広い優れた著作を収集し提供することによって児童・青少年の人格形成や、心の豊かさを求める成人市民の教養と楽しみに資するためのレクリエーション機関でもあります。

市川市立図書館はこれらの設置趣旨を基本方針として市民のための図書館運営に努め、たゆまぬサービスの向上をとおして、市民がいつでも、どこでも、誰でもが情報を得て学ぶことができ、また学習成果を発揮できるような環境を整備し、住みよい地域社会の形成に、さらには地方自治の基盤である市民の自立を支えることにより、本市の基本目標の一つである「真の豊かさを感じるまち」の実現に貢献します。

### 令和4年度の目標

#### (1) 市民満足度の高い図書館づくりの推進

蔵書構築やレファレンス等図書館としての基本的な機能を維持しつつ、職員の接遇の向上や利用促進のPR等により、コロナ禍で落ち込んだ利用の回復を図り、誰もが利用しやすい図書館づくりを推進する。

また、市民の利便性向上に繋がる図書館の開館日の見直しと、それに伴う業務改善や運営体制の見直しも検討し、持続可能な図書館サービスを目指す。

#### (2) 自動車図書館サービスの拡充

自動車図書館車の小型化に伴い、地域バランスや団体貸出を念頭に巡回場所を拡大し、サービスの拡充を図る。

#### (3) 電子図書館の推進

電子書籍の導入等について調査・検討し、情報化社会・デジタル社会にふさわしい図書館づくりを推進する。

#### (4) 子どもの成長をサポートする図書館サービスの推進

子どもの読書活動の推進のための行事（読み聞かせの会、テーマ展示等）を、感染症対策に配慮しつつ実施するとともに、SNSやYouTube等を活用し、積極的に情報を発信する。

また、「市川市子どもの読書活動推進計画」を現在の社会状況に適合するよう改定するとともに、子どもの読書活動の推進に繋がる施策を企画立案する。

### 3. 図書館のあゆみ

昭和25年	9月	創立開館（1日） 市立市川小学校に併設（2教室） 小暮貞次館長 職員数3名
28年	11月	館外貸出開始
30年	9月	市川市立図書館だより「まつかぜ」創刊（昭和48年3月58号まで刊行）
31年	4月	山岡寛章図書館長に就任
32年	4月	『市川市立図書館蔵書目録 昭和31年12月』発行
	5月	葛飾八幡宮境内に移転し独立館として開館（21日） 1階を使用、2階は教育委員会と市役所の一部が同居 職員数6名
33年	10月	お母さんの本棚開設
34年	7月	教育委員会と市役所の一部が新庁舎完成に伴い移転 図書館独自の建物となる
35年	6月	幼児用、児童用図書を件名配列 母と子の部屋、少年室を設置 全館使用開始
	11月	市川市読書会連絡協議会創立総会
36年	1月	うずしお読書会創立
37年	5月	夜間開館実施（1日）19時30分まで 6名増員し職員数17名
38年	4月	書架室積層式書架に改造
39年	3月	市川市立図書館設置条例公布（31日）
	6月	行徳分館開館（1日） 徳願寺境内 18時まで開館 職員数3名
42年	4月	貸出方式をブラウン方式に切替え 2冊2週間 村岡ゴム会長村岡信一氏より図書館建設のための指定寄付1,000万円
43年	5月	新館を境内本館隣の敷地に開館（11日）
44年	8月	子ども会文庫に対し図書のセット貸出開始（青少年課と共同）（～平成9年度）
47年	10月	田村三雄図書館長に就任
48年	8月	冷暖房設備設置
50年	9月	移動図書館みどり号開設 京成自動車工業製造
51年	11月	移動図書館第2みどり号運行 東京特殊車体製造
53年	4月	石橋賢一図書館長に就任
54年	2月	信篤図書館開館（1日） 行徳分館を行徳図書館に改称
55年	4月	行徳図書館、移動図書館を本行徳公民館図書室に移転
56年	10月	行徳図書館新館開館（1日） 行徳支所4、5階 職員数5名
57年	8月	弘田稔図書館長に就任
58年	10月	南行徳図書館開館（1日） 職員数4名
60年	11月	市内5館をオンラインで結び、コンピュータによる貸出方式に移行（19日）
62年	4月	渡井章三図書館長に就任
	10月	平田図書室開室（11日） 職員数2名
63年	4月	断続的であった司書職の採用を毎年実施（～平成6年度）
	7月	第1みどり号更新 林田製作所製造（28日登録）
	10月	中央図書館等建設準備室仮設置 職員数4名
平成元年	1月	『市川市の図書館』刊行（以降年次報告書として毎年刊行）
	4月	行徳図書館新館開館（15日） 行徳支所隣に単独館5階建て 職員数10名 八幡、行徳でCDの貸出開始
	7月	中央図書館等建設準備室設置（管理部所属）
	9月	第2みどり号更新 京成自動車工業製造（29日登録）
	10月	中央図書館等（仮称メディアパーク市川）のコンペ当選作決まる（山下設計）
2年	7月	小川俊彦図書館長に就任
3年	10月	公共図書館と学校図書館とを結ぶネットワーク事業の実験開始
	11月	女性センター開館 情報資料室と書誌情報を共有しオンライン貸出を実施
4年	11月	中央図書館開館準備プロジェクト（15部会）開始
5年	7月	小学生向けおすすめの本のリーフレット「本のぼけっと」創刊
6年	4月	『市川市図書館資料収集方針』まとめる
	9月	市川図書館友の会創立（18日）
	10月	八幡本館（葛飾八幡宮境内）休館（1日～） コンピュータシステムを更新し、学校図書室とのパソコン通信を導入
	11月	市川市中央図書館、こどもとしょかん 複合施設である市川市生涯学習センター（メディアパーク市川）1階に開館（1日） 職員数39名 一般フロアに無断持ち出し防止ゲートシステム（BDS）を導入 「図書館だより」（40号～「市川図書館だより」）「Young Adult通信」創刊
7年	9月	中央図書館第1回リサイクルブック市開催（10日試行、第2回 同年10月29日）
	10月	公共図書館と学校図書館とを結ぶネットワーク事業を本格実施
8年	3月	市川市読書会連絡協議会解散
	4月	小倉勳図書館長に就任

9年	10月	中央図書館が日本図書館協会建築賞を受賞（第12回）
	1月	館報『まつかぜ 市川市立図書館報』（合本復刻）を刊行
	4月	千葉商科大学付属図書館とのネットワーク事業開始 レファレンス事例集「参考業務月報」を刊行（平成10年度「参考業務季報」平成11年度～「新・参考業務月報」）
10年	5月	学校、幼稚園への出張サービスを本格的に開始
	9月	市川市ホームページ開設 同時に図書館ホームページ開設（15日）
11年	4月	太刀川寛図書館長に就任
	4月	市民図書室の所管を生涯学習課から図書館に移管
12年	6月	夜間開館の試行（中央図書館：土曜日19時30分まで拡大 行徳図書館：開館を朝10時にし、火曜日から金曜日19時30分まで拡大）
	1月	『市川市立図書館利用者アンケート集計結果報告書』まとめる
	8月	第1みどり号廃車
13年	10月	コンピュータシステムを更新し、インターネットで蔵書公開を開始する 4市民図書室（福栄、塩焼、大柏、稲越）、2公民館図書室（大野、西部）に図書館システムのパソコンを設置し、予約図書の貸出を開始
	3月	市川市立図書館開館50周年「市川手児奈文学賞」創刊記念シンポジウムを開催（22日）
	4月	鈴木小夜子図書館長に就任
14年	10月	楽山市との友好都市締結20周年記念として「楽山市図書コーナー」設立
	3月	『市川の文芸風土と図書館の未来 シンポジウム記録集』刊行
15年	4月	漆原利一図書館長に就任 中央図書館特別コレクションに星野道夫コーナーを開設
	5月	携帯電話からの図書館資料検索サービスを開始 インターネットからのレファレンス受付開始
	9月	うずしお読書会が1000回を迎え、11月には社団法人読書推進運動協議会より2002年度第35回全国優良読書グループとして表彰される
16年	11月	インターネットからの予約受付開始（図書、雑誌）
	3月	第2みどり号廃車 自動車図書館車をCNG（圧縮天然ガス）車に更新
	4月	行徳図書館に責任者を配置 支援サービス担当を新設 職員数58名
17年	6月	曾谷公民館図書室に図書館システムのパソコンを設置し、予約図書の貸出を開始
	7月	情報プラザに図書館システムのパソコンを設置し、予約図書の貸出を開始 C T I サーバを導入 中央図書館督促業務の自動化開始
	8月	中央図書館予約連絡業務の自動化開始 中央図書館の電話応答案内システム稼働開始
18年	4月	図書館連絡車による市内物流使用務を全面委託
	6月	東部公民館図書室に図書館システムのパソコンを設置し、予約図書の貸出を開始
	4月	「子どもの読書活動優秀実践図書館」として、こどもとしょかんが文部科学大臣表彰を受賞 コンピュータシステムを更新し、所蔵する視聴覚資料のインターネット予約受付開始
19年	7月	曾谷公民館、東部公民館、情報プラザ以外の各図書館等の端末機器を入替え
	10月	千葉商科大学と協定締結、予約図書の貸出を同大学付属図書館で開始 教育センター「まなびの広場」を改修し、「文学プラザ」として開館
	4月	中央図書館の祝日開館試行開始 自動車図書館の貸出、返却業務を委託
20年	6月	中央図書館に韓国ソウル市特別区「江南区電子図書館閲覧コーナー」を設置
	7月	韓国原州市からの寄贈図書受入開始 「原州市図書コーナー」を設置
	10月	予約資料の宅配サービス開始
21年	3月	累積版冊子『本のぼけっと1号～20号』刊行（20年3月カラー版刊行）
	4月	行徳図書館の祝日開館試行 生涯学習センターの全館管理業務を図書館に移管
	9月	インターネットからの貸出延長サービスを開始
22年	11月	住基カードに図書館利用券機能を追加 中央図書館でDVDの貸出開始
	4月	露木芳輝図書館長に就任
	6月	「青空文庫」作成電子テキストの書誌データをWebサーバで一括検索開始
23年	7月	和洋女子大学メディアセンターと相互協力に関する確認書を取り交わし、8月より和洋女子大学と市立図書館資料の相互貸借開始（当面は館内閲覧）
	4月	中央、行徳図書館の祝日開館等の本実施（中央：土日祝日の閉館を18時に変更） 市川駅南口図書館開館（30日）、ICTタグによる蔵書管理システムを導入 指定管理者株式会社ヴィアックス
	6月	行徳図書館3階にパソコンルーム開設（23年11月～無線LAN接続環境を整備）
24年	2月	国立国会図書館のレファレンス協同データベースへの参加において、礼状受理
	7月	「24時間テレビ愛は地球を救う」から障がい者サービス用機器の寄贈を受ける

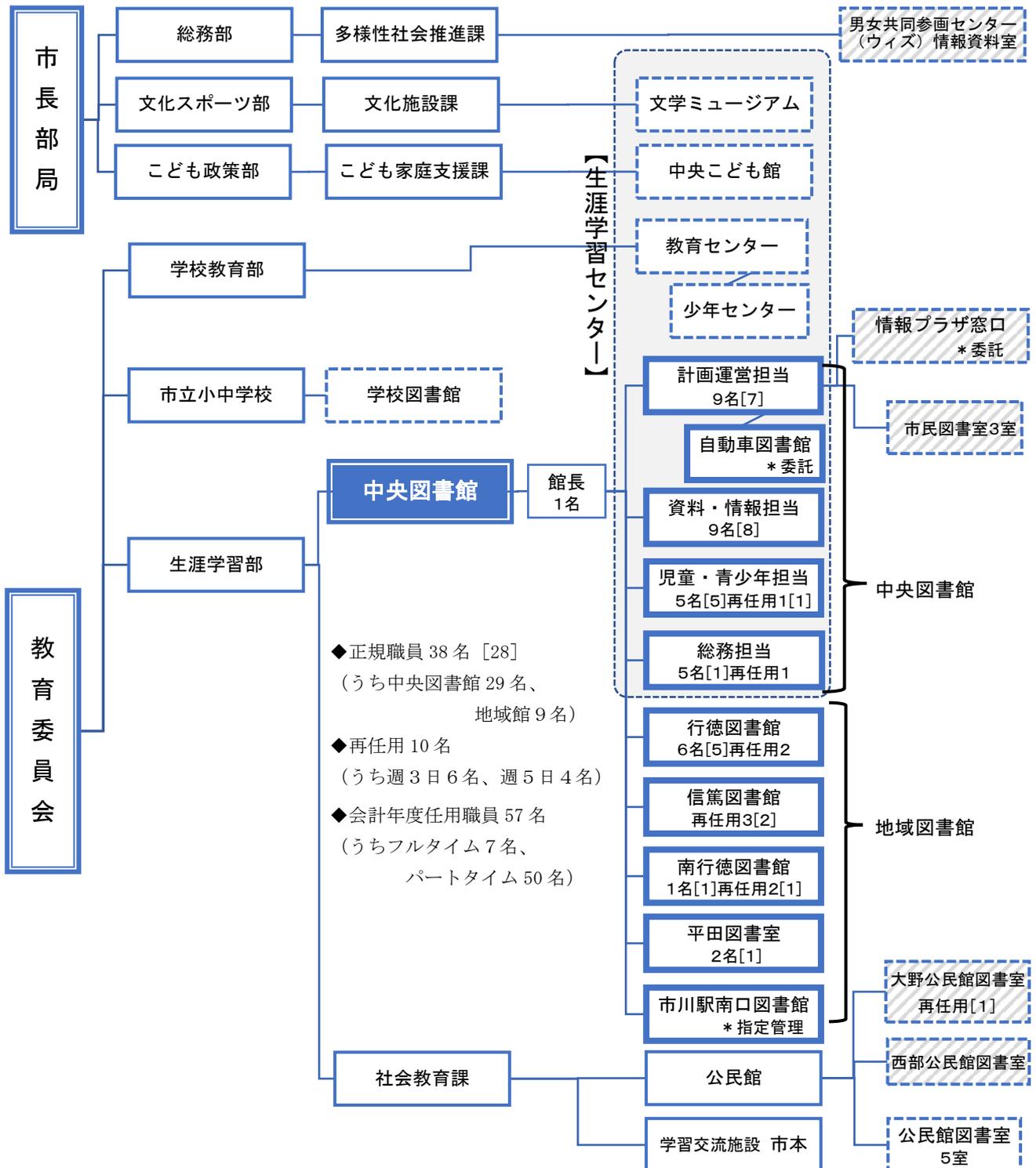
23年	2月	中央図書館利用者アンケート実施（以後、満足度調査として毎年実施）
	3月	東日本大震災により書架一部破損（11日） 計画停電に伴う臨時休館（14～18日） 計画停電に伴う閉館時間変更 全館17時閉館（19日～4月17日）
	4月	松本雅貴図書館長に就任、職員数55名
	11月	コンピュータシステムをWebアプリケーションである富士通iLisfieraに更新 中央図書館に外部データベース検索結果印刷のコインベンダープリンタを導入
24年	3月	図書館メールマガジンの配信を開始（平成30年10月20日第152号にて配信終了）
	4月	中央図書館長に行徳図書館、信篤図書館、南行徳図書館の館長兼務辞令交付 条例改正により個人の図書貸出冊数を無制限から20冊へ
	10月	BDSの更新
25年	2月	『市川市の図書館 昭和編』を編集、発行 中央図書館特別コレクションに渡邊二郎コーナーを開設
	4月	生涯学習センターの全館管理業務を社会教育課に移管、職員数48名
	7月	宅配サービスがシルバー人材センターを利用して再開（23年4月より休止）
	10月	中央図書館書庫に可動式集密書架設置
26年	2月	市川駅南口図書館のパソコンを更新
	4月	生涯学習センターの全館管理業務を図書館へ再び移管、職員数45名
	6月	国立国会図書館デジタル化資料送信サービス開始 DVDの貸出を2点とする試行を開始
	11月	開館20周年記念事業として、「市川市の図書館ポスター・標語」を募集、記念講演会を開催
27年	3月	「市川市立図書館運営基本計画」発行
	4月	大里宗行図書館長に就任、職員数46名
	11月	中央図書館に教科書コーナー設置
28年	3月	スマートフォン対応Web-OPACサービス開始
	4月	乳幼児向け利用券発行開始
	7月	行徳図書館資料をIC化し、自動貸出機を設置
	12月	大野公民館図書室資料をバーコード化し、蔵書管理と利用者管理を図書館システムに一元化
29年	11月	次期電算システム更新、IC化を見据えてワーキンググループを設置
30年	4月	富島淳一図書館長に就任 職員数42名
	6月	市川市中央図書館公式Facebook運用開始
	12月	コンピュータシステムを更新し、座席管理システム・デジタルサイネージ・書庫出納管理システム・デジタルアーカイブ等の導入
31年	3月	千葉県博図公連携事業「写真でつづる千葉県と鉄道」巡回展開催（博図公連携） 西部公民館図書室資料をバーコード化し、蔵書管理と利用者登録等を図書館システムに一元化
	4月	大里宗行図書館長に就任 職員数41名
令和元年	11月	中央図書館、こどもとしゃかんをIC化 自動貸出機・自動返却機・予約受取確認機を設置 行徳図書館に予約受取確認機を設置 中央図書館と行徳図書館に予約受取コーナーを新設 中央図書館ブラウジングコーナーを一部レイアウト変更
2年	2月	新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休館（28日～5月31日）
	4月	臨時窓口を開設（1～7日） 県内に新型インフルエンザ特措法による緊急事態宣言の発出（7日～5月25日）
	5月	臨時窓口を開設（26～31日）
	6月	開館時間短縮による開館（2～14日まで17時、16～28日まで18時、7月1日より通常どおり）
3年	1月	2回目の緊急事態宣言発出（7日～3月21日） 全館臨時休館、臨時窓口の開設（8日～3月21日）
	3月	全館開館のうえ図書館サービスを再開（23日） 稲越市民図書室閉室（31日）
	4月	安永崇図書館長に就任 職員数39名 まん延防止等重点措置開始（20日～8月22日まで延長）に伴い閲覧席使用率4割の制限
	7月	中央図書館にSDGsコーナー設置（31日）
	8月	3回目の緊急事態宣言発出（23日～9月30日、解除後閲覧席使用率6割に緩和）
	10月	図書館ウェブサイトの全面リニューアル（29日）
	11月	市川東ロータリークラブから大型絵本用書架2台の寄贈を受け、大型絵本と大型紙芝居の個人貸出を開始
4年	2月	CNG（圧縮天然ガス）タンクの使用期限終了につき自動車図書館車を廃車 大野と西部の公民館図書室で未所蔵リクエスト受付開始
	4月	市川駅南口図書館、指定管理期間を更新 新たに第四期（令和4～8年度）
	5月	新・自動車図書館車（4代目）の運行開始

# 4. 図書館組織図・委員会等

## (1) 図書館組織図

令和4年4月1日現在

- ・ [虚線枠] の施設は、図書館と連携して事業を行っている関連施設
- ・ [斜線枠] の施設は、図書館費で運営している関連施設
- ・ 人数横の[ ]内の数字は司書有資格者数



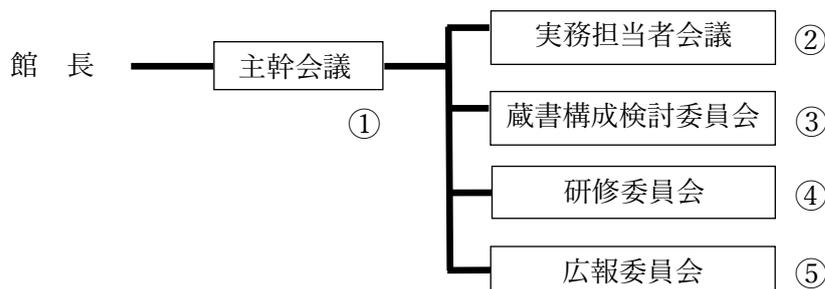
## 図書館正規職員数

館名	担当	正規職員		再任用		総数		司書率
			司書		司書		司書	
図書館長		1				1		
中央	計画運営担当	9	7	大野 1	1	10	8	80 %
	資料・情報担当	9	8			9	8	88.9%
	児童・青少年担当	5	5	1	1	6	6	100 %
	総務担当	5	1	1		6	1	16.7%
	合計	29	21	3	2	32	23	71.9%
平田		2	1			2	1	50 %
行徳		6	5	2		8	5	62.5%
信篤				3	2	3	2	66.7%
南行徳		1	1	2	1	3	2	66.7%
全館		38	28	10	5	48	33	68.8%
			73.7%		50 %		68.8%	

【参考】市川駅南口（指定管理者制度を導入）	18	12	66.7%
-----------------------	----	----	-------

## (2) 委員会・会議等

令和4年4月1日現在



### ○各会議・委員会の役割

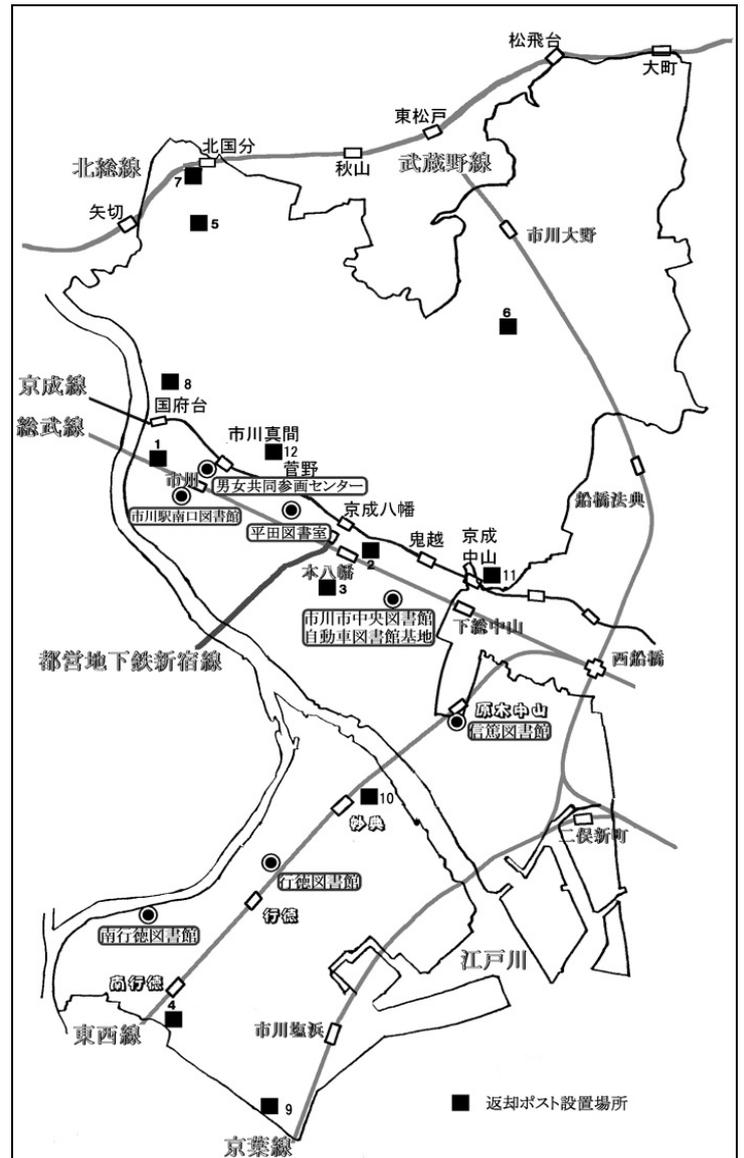
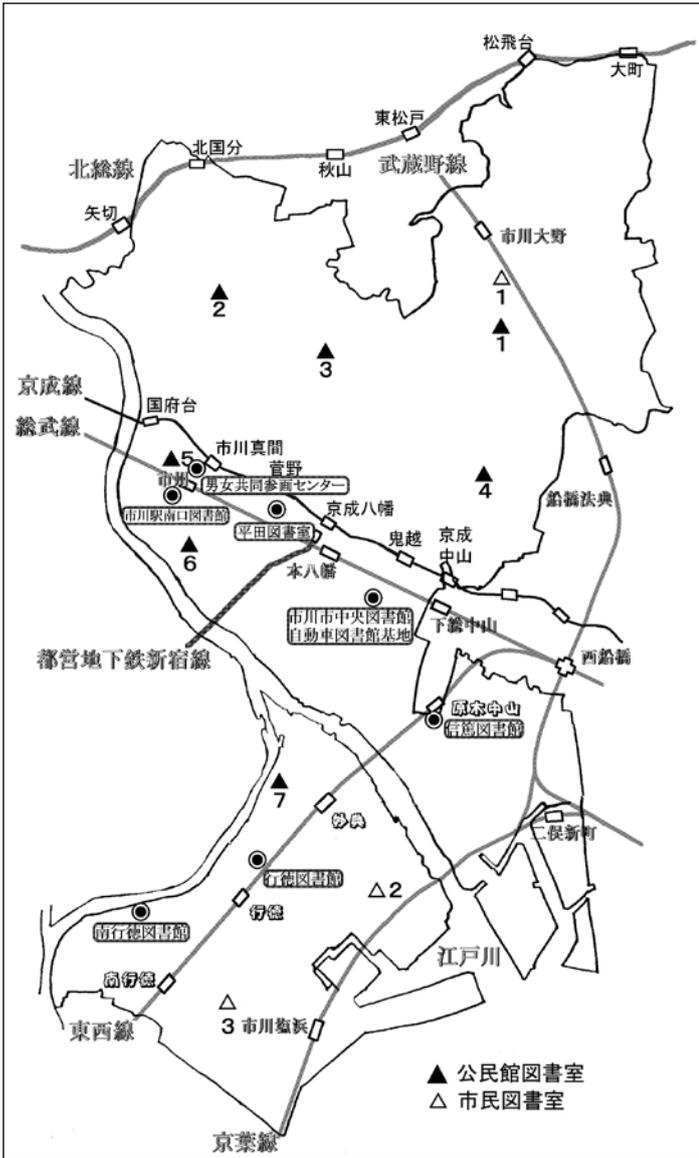
	会議名	討議内容
①	主幹会議	中央図書館、及び全館に関わる運営全般について協議・決定を行う。館長・主幹で構成される。
②	実務担当者会議	実務的な事項について、担当者が必要に応じて、連絡・調整・実施案の作成を行う。
③	蔵書構成検討委員会	収集方針の検討、年度ごとの収集計画の立案、及び選書・蔵書構成や館内整理日の実施事項等について連絡・調整を行う。
④	研修委員会	全館の職員・非常勤職員・実習生等に対する研修のプログラムなどの企画・実施及びスタッフマニュアルの管理を行う。
⑤	広報委員会	「図書館だより」の編集や、「広報いちかわ」への情報提供等、図書館に共通の広報に関する企画・実務を行う。
その他、課題解決及び政策提案等のための対応会議を、プロジェクトを組み随時行っている。		

## 5. 図書館及び関連施設の配置図

令和4年4月1日現在

図書館と関連施設の配置図

返却ポストの配置図



No.	公民館図書室 (▲)	所在地
1	大野公民館図書室	南大野2丁目
2	西部公民館図書室	中国分2丁目
3	曾谷公民館図書室	曾谷6丁目
4	東部公民館図書室	本北方3丁目
5	市川公民館図書室	市川2丁目
6	市川駅南公民館図書室	大洲4丁目
7	本行徳公民館図書室	本行徳12

No.	市民図書室 (△)	所在地
1	大柏市民図書室	大野町2丁目
2	塩焼市民図書室	塩焼5丁目
3	福栄市民図書室	南行徳2丁目

No.	返却ポスト (■)	所在地	設置年
1	市川公民館	市川2丁目	H14.5
2	市川市役所第1庁舎	八幡1丁目	R2.12
3	情報プラザ2階	南八幡4丁目	H14.5
4	南行徳市民センター[2台]	南行徳1丁目	H14.8
5	歴史博物館	堀之内2丁目	H15.9
6	大柏出張所(大野公民館)	南大野2丁目	H16.8
7	ベルクス市川堀之内店	堀之内3丁目	H21.4
8	千葉商科大学附属図書館	国府台1丁目	H17.10
9	塩浜市民体育館	塩浜4丁目	H18.7
10	イオン市川妙典店[4台]	妙典5丁目	H19.7
11	中山窓口連絡所	中山4丁目	H19.7
12	菅野公民館	菅野3丁目	R3.6

## 6. 令和4年度施設概要

令和4年4月1日現在

館名	中央	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口
敷地面積	11,012㎡	-----	4,958㎡	-----	410㎡	-----
構造	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上4階 ／地下1階	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上2階	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上5階	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上3階	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上3階	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上45階 (3階部分)
建築面積	6,164㎡	-----	674㎡	304㎡	120㎡	-----
延べ床面積	6,411㎡	256㎡	2,223㎡	912㎡	360㎡	573㎡
収容可能冊数	1,000,000冊	40,000冊	155,000冊	55,000冊	36,000冊	43,500冊
うち開架	200,000冊	39,000冊	100,000冊	45,000冊	23,000冊	43,500冊
うち書庫	800,000冊	1,000冊	55,000冊	10,000冊	13,000冊	-----
開館年月日	平成6.11.1	昭和62.10.11	平成元.4.15	昭和54.2.1	昭和58.10.1	平成21.4.30
独立・併設	併設	併設	併設	独立	独立	併設
閲覧席 (※1)	380席	17席	166席	36席	9席	61席
うち一般	222席	8席	79席	17席	4席	20席
うち児童	60席	9席	50席	6席	5席	11席
その他	98席	-----	37席	13席	-----	30席
駐車場	共有 99台	-----	共有 69台	共有 20台	-----	-----
利用者端末	(※2) 23台	1台	(※3) 7台	1台	1台	(※4) 7台

※1：新型コロナウイルス感染防止のため座席間隔を空け、一部座席のみ提供

※2：Web-OPAC 6台、館内OPAC 4台、調べものPC 4台、外部データベース閲覧3台、座席管理端末5台、障がい者専用1台

※3：Web-OPAC 4台（うち外部データベース兼用1台）、館内OPAC 3台 ※4：外部データベース閲覧3台、館内OPAC 4台

### (1) 中央図書館 こどもとしゃかん

市川市鬼高1-1-4 TEL 047(320)3333 (機械音声応答)  
047(320)3346 (直通)  
FAX 047(320)3351

- ・交通 JR本八幡駅、JR下総中山駅より徒歩15分  
京成線鬼越駅より徒歩13分

- ・地下駐車場 (99台)

- ・開館時間

火曜～金曜 10:00～19:30

土・日・祝日 10:00～18:00

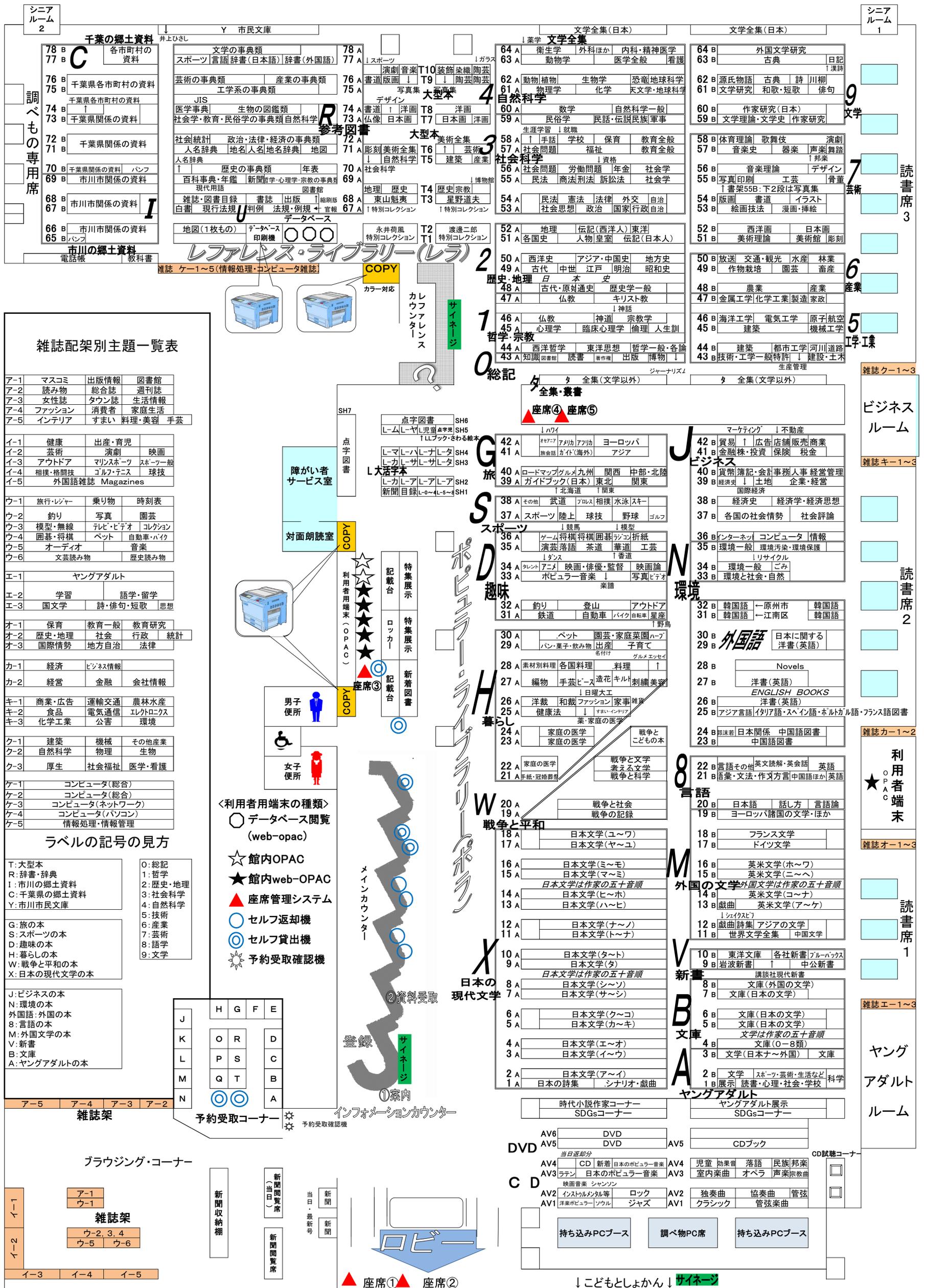
- こどもとしゃかん

火曜～金曜 10:00～18:00

土・日・祝日 10:00～17:00



# ①中央図書館フロア案内図



## 雑誌配架別主題一覧表

ア-1	マスコミ	出版情報	図書館
ア-2	読み物	総合誌	週刊誌
ア-3	女性誌	タウン誌	生活情報
ア-4	ファッション	消費者	家庭生活
ア-5	インテリア	すまい	料理・美容 手芸
イ-1	健康	出産・育児	
イ-2	芸術	演劇	映画
イ-3	アウトドア	マンスポーツ	スポーツ一般
イ-4	相撲・格闘技	ゴルフ・テニス	球技
イ-5	外国語雑誌	Magazines	
ウ-1	旅行・レジャー	乗り物	時刻表
ウ-2	釣り	写真	園芸
ウ-3	模型・無線	テレビ・ビデオ	コレクション
ウ-4	囲碁・将棋	ペット	自動車・バイク
ウ-5	オーディオ	音楽	
ウ-6	文芸読み物	歴史読み物	
エ-1	ヤングアダルト		
エ-2	学習	語学・留学	
エ-3	国文学	詩・俳句・短歌	思想
オ-1	保育	教育一般	教育研究
オ-2	歴史・地理	社会	行政 統計
オ-3	国際情勢	地方自治	法律
カ-1	経済	ビジネス情報	
カ-2	経営	金融	会社情報
キ-1	商業・広告	運輸交通	農林水産
キ-2	食品	電気通信	エレクトロニクス
キ-3	化学工業	公害	環境
ク-1	建築	機械	その他産業
ク-2	自然科学	物理	生物
ク-3	厚生	社会福祉	医学・看護
ケ-1	コンピュータ(総合)		
ケ-2	コンピュータ(総合)		
ケ-3	コンピュータ(ネットワーク)		
ケ-4	コンピュータ(パソコン)		
ケ-5	情報処理・情報管理		

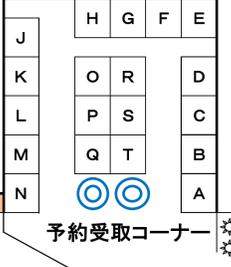
## ラベルの記号の見方

T: 大型本	0: 総記
R: 辞書・辞典	1: 哲学
I: 市川の郷土資料	2: 歴史・地理
C: 千葉県の郷土資料	3: 社会科学
Y: 市川市民文庫	4: 自然科学
G: 旅の本	5: 技術
S: スポーツの本	6: 産業
D: 趣味の本	7: 芸術
H: 暮らしの本	8: 語学
W: 戦争と平和の本	9: 文学
X: 日本の現代文学の本	
J: ビジネスの本	
N: 環境の本	
外国語: 外国の本	
8: 言語の本	
M: 外国文学の本	
V: 新書	
B: 文庫	
A: ヤングアダルトの本	

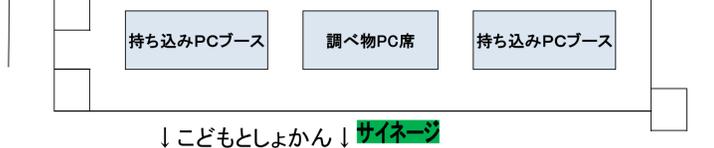
## ブラウジング・コーナー

イ-1	ア-1	ウ-1
イ-2	ウ-2, 3, 4	ウ-5, 6
イ-3	イ-4	イ-5

- ＜利用者用端末の種類＞
- データベース閲覧 (web-opac)
  - ☆ 館内OPAC
  - ★ 館内web-OPAC
  - ▲ 座席管理システム
  - ◎ セルフ返却機
  - ◎ セルフ貸出機
  - ☀ 予約受取確認機



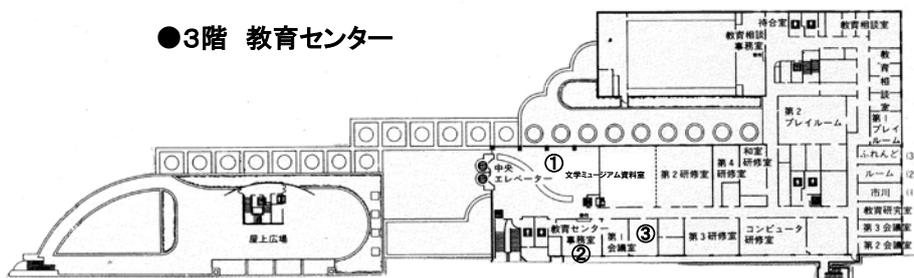
AV6	DVD	AV5	CDブック
AV4	CD 新着	AV4	児童 幼児童 落語 民族邦楽
AV3	ラテン 日本ポピュラー音楽	AV3	室内楽曲 オペラ 声楽 邦楽
AV2	インストルメンタル等	AV2	独奏曲 協奏曲 管弦
AV1	洋楽ポピュラーソウル	AV1	クラシック 管弦楽曲





### ③生涯学習センター(メディアパーク市川)フロア案内図

#### ●3階 教育センター

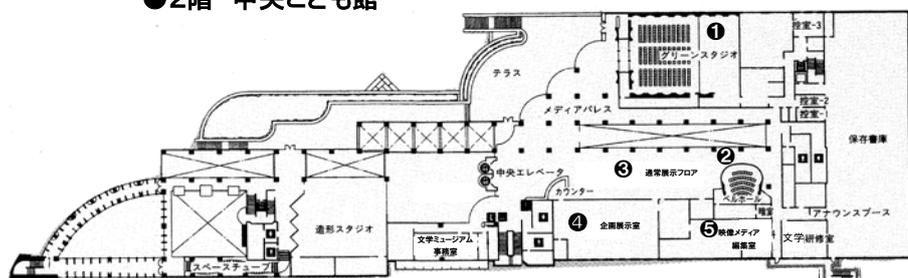


#### 3階

- ①文学ミュージアム資料室：2階文学ミュージアムの資料室。
- ②教育センター：市内小・中・義務教育学校、特別支援学校の教職員の研修と、子どもや保護者からの教育相談を行う施設。
- ③少年センター：青少年の健全育成のための補導活動や少年相談業務を行う施設。

#### ●2階 中央こども館

#### 文学ミュージアム

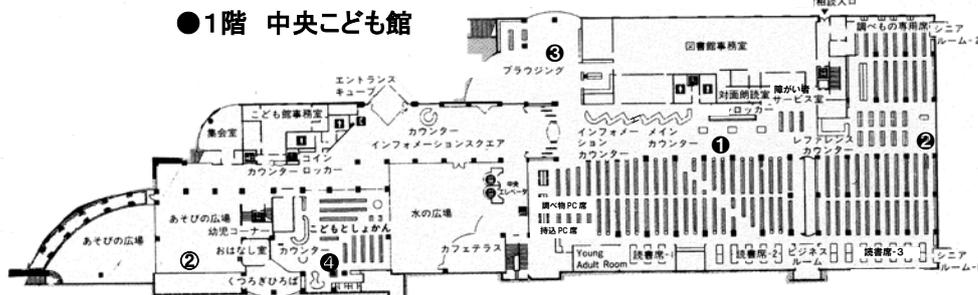


#### 2階

- ①文学ミュージアム：①～⑤
- ①グリーンスタジオ：講演会・演劇公演・コンサート・映画上映・朗読会が行える。最大で260人を収容し、車イスへの対応も可能。
- ②ベルホール：講演会・演劇公演・コンサート・映画上映・朗読会が行える。定員46名。
- ③通常展示フロア：映画・演劇・小説・詩歌・文芸に区分し、文学の街いちかわの魅力を展示品・写真・映像を交え、紹介。
- ④企画展示室：市川ゆかりの文学や映像文化に関する企画展や展覧会などを行う。
- ⑤映像メディア編集室：映像編集機器があり、映像や画像の編集が行える。

#### ●1階 中央こども館

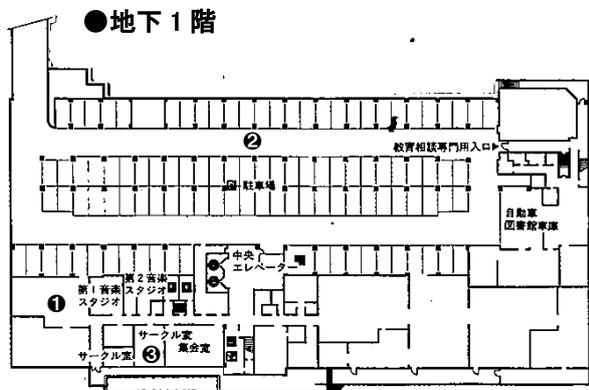
#### 中央図書館



#### 1階

- ①中央図書館：①～④
- ①ポピュラーライブラリー：小説・趣味・ビジネス書など、生活に役立つ資料を備えている。中高生のためのコーナーや、CD・DVDのコーナーも設けている。
- ②レファレンスライブラリー：調べものに役立つ、専門書・辞典・郷土資料などを集めたコーナー。調べものの相談にも対応。
- ③ブラウジングコーナー(軽読書席)：各種新聞や雑誌をくつろいだ雰囲気の中で読める、軽読書コーナー。
- ④こどもとしょかん：紙芝居・絵本を含め、児童書3万点を揃え、定期的に、らっこの会・えほんの会・えほんの会ぶらす・おはなし会・わらべうたであそぼうを開催。
- ②中央こども館：18歳未満のすべての子どもを対象とし、地域における遊び及び生活の援助と子育て支援を行い、子どもの心身を育成し情操をゆたかにすることを目的とする施設。

#### ●地下1階



#### 地下1階

- ①音楽スタジオ：少人数の音楽練習向き。(担当課：2階①文学ミュージアム)
- ②地下駐車場：99台収容。(担当課：1階①中央図書館)
- ③集会室・サークル室：読書会・図書館ボランティア活動等に使用。(担当課：1階①中央図書館)

構成する施設(スペース)	専有面積	配賦割合	所管課
中央図書館	6,411.㎡	48.32%	中央図書館
文学ミュージアム	2,970.㎡	22.38%	文化施設課
教育センター・少年センター	2,233.㎡	16.83%	教育センター
中央こども館	1,655.㎡	12.47%	こども家庭支援課

## (2) 自動車図書館「みどり号」

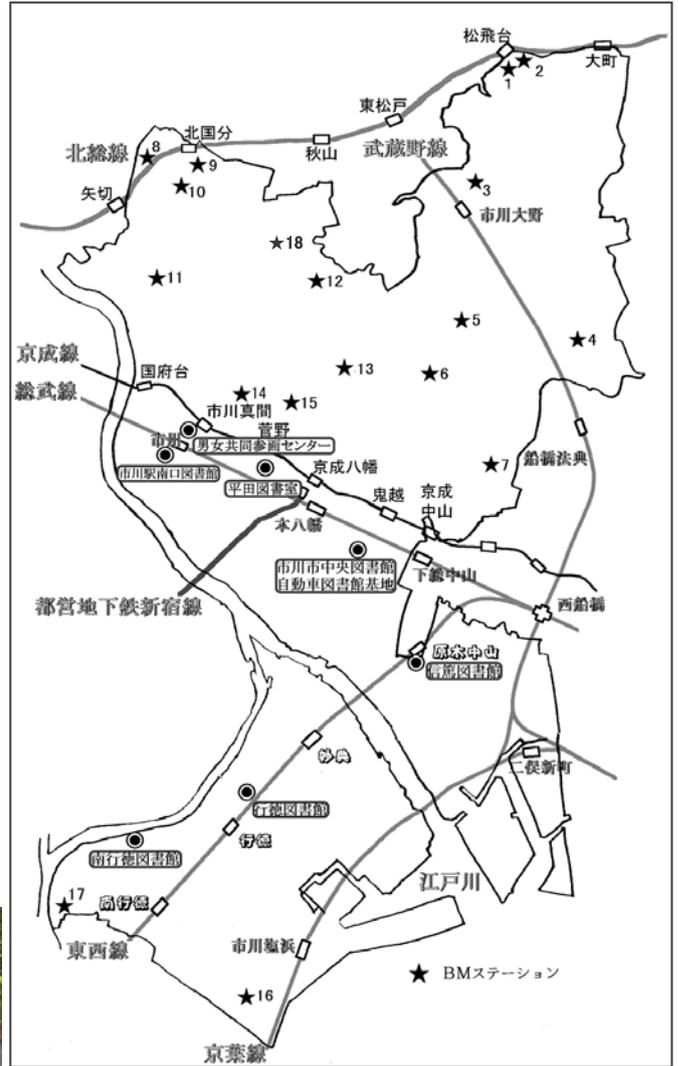
固定館だけでは補いきれない地域の方々のための図書館サービス。身体に障がいのある方、ご高齢の方、または乳幼児のいる家庭、地理的障害のために固定館を利用できない方等のために、北部地域を中心に運行している。中央図書館地階を基地とし、駐車場と自動車図書館用書庫を有する。

ステーション数は全18箇所、1ステーション当たり30分から50分滞在し、主に図書の貸出、返却を行う。雨などの悪天候のときには巡回を中止する。

なお、平成18年4月より、運転業務に加え、図書の貸出・返却業務も委託している。

### 車両仕様

名称	みどり号 (3代目)
登録番号	習志野 800 さ 7405
車名・型式	日野 KK-XZU412M
定員	5人
サイズ	長さ608cm・幅206cm・高さ271cm
燃料	CNG (圧縮天然ガス)
総排気量	4.10 k w
登録年月日	平成15年3月27日
製作	京成自動車工業
積載冊数	3,000冊
※搭載するCNGタンクの使用期限切れにより、本車両は令和4年2月で運行終了。令和4年5月より新車両で運行開始。	



←新車両

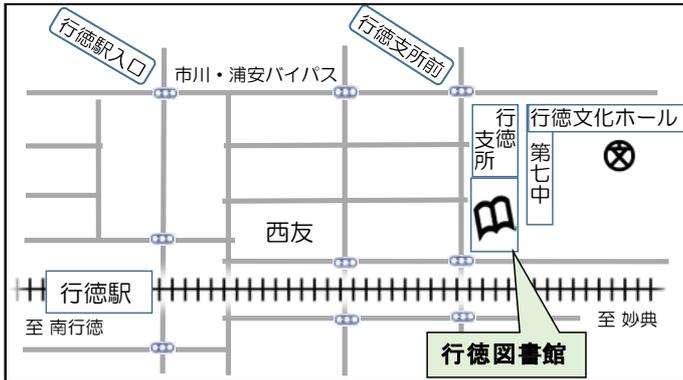
### みどり号巡回表 (令和4年4月1日現在)

	曜日	午前	午後
第1週	水	★18 稲越小学校 稲越3-21-8 10:20~11:00	★4 柏井小学校 柏井1-1149-1 2:00~2:40
	木	★16 塩浜団地商店街広場 塩浜4-2 10:20~10:50	★3 養護老人ホームいこい荘 大町521 2:00~2:40
	金	★15 (株)クボタ菅野ハイツ 菅野5-3-6 10:20~11:00	★9 堀之内公園 堀之内3-2 2:00~2:40
第2週	火		★16 塩浜団地商店街広場 塩浜4-2 1:30~2:20
	水	★9 堀之内公園 堀之内3-2 10:20~10:50	★2 市営大町第2団地 大町124 2:00~2:40
	木	★13 宮久保プレーパーク 宮久保1-8-18 10:20~11:00	★10 歴史博物館 堀之内2-27-1 2:00~2:40
	金	★11 国府台児童公園 国府台5-8 10:20~11:00	★1 市営大町第1団地 大町95 2:00~2:40
			★7 若宮児童公園 若宮3-20 3:10~3:50
			★12 山王公園 曾谷5-16 3:00~3:50
			★14 菅野小学校 菅野6-14-1 3:00~3:40
			★17 島尻西公園 島尻1 3:00~3:40
			★6 宮久保小学校 宮久保5-7-1 3:10~3:50
			★8 北国分2丁目公園 北国分2-27 3:00~3:40
			★5 大野小学校 南大野1-42-1 3:00~3:50



## (4) 行徳図書館

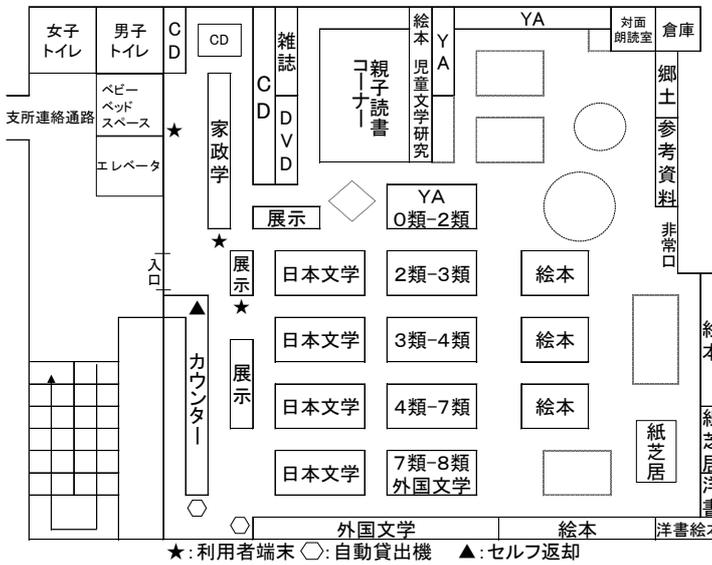
市川市末広1-1-31 TEL 047 (358) 9011  
FAX 047 (358) 9012



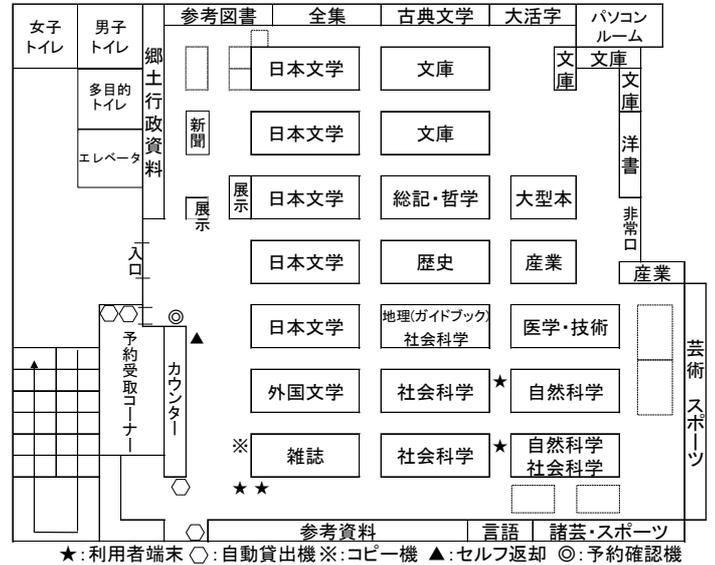
- 交通 東西線行徳駅より徒歩5分
- 開館時間
  - 火曜～金曜
    - 3階フロア・4階閲覧室 10:00～19:30
    - 2階フロア 10:00～18:00
  - 土・日・祝日 10:00～17:00



### 2階 こどもの本のフロア



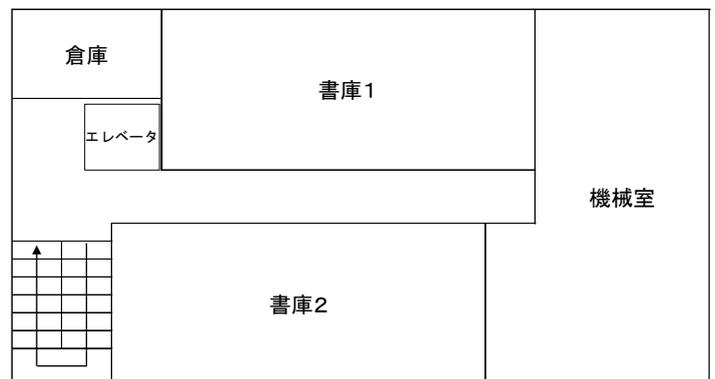
### 3階 おとなの本のフロア



### 4階 閲覧室・事務室など



### 5階 閉架書庫・機械室





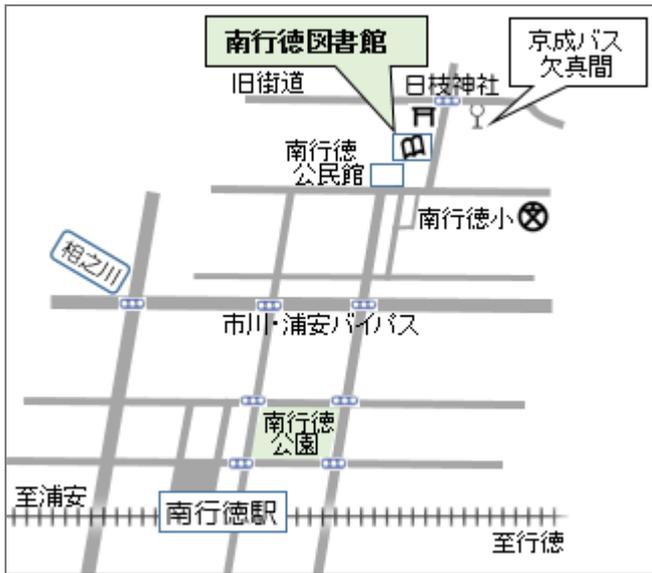
## (6) 南行徳図書館

市川市相之川1-2-4

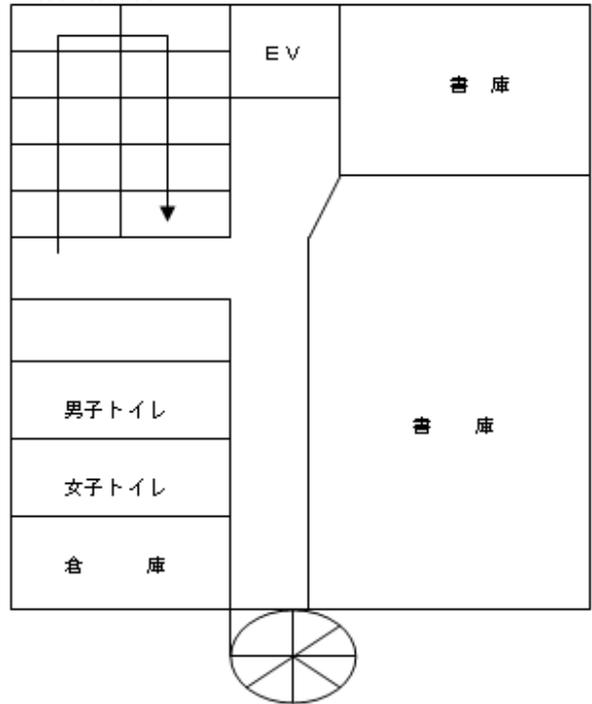
TEL 047 (357) 4188

FAX 047 (357) 4188

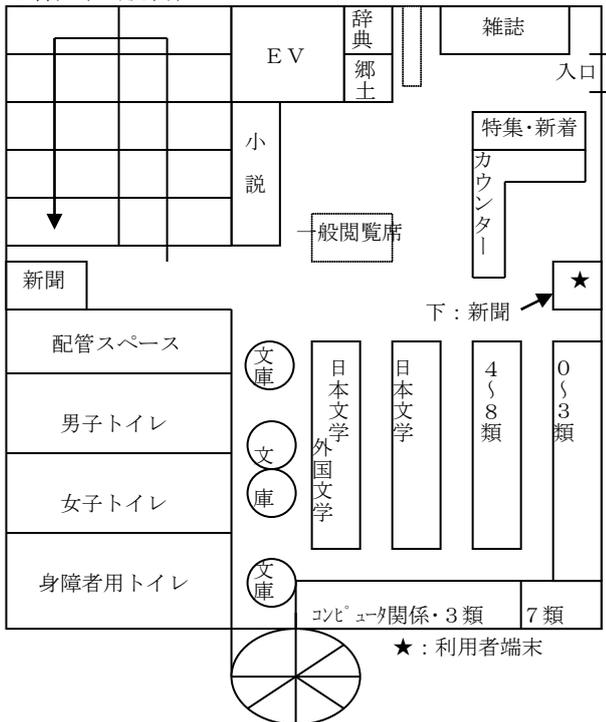
- ・交通 東西線南行徳駅より徒歩15分  
JR本八幡駅より浦安駅行きバス  
「欠真間」下車徒歩2分
- ・開館時間 火曜～日曜 9:30～17:00



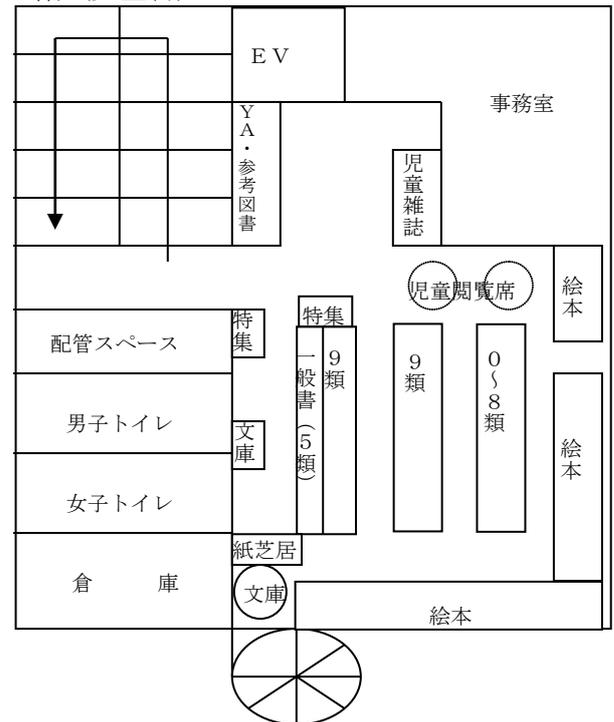
3階（書庫）



1階（一般書）



2階（児童書）



# (7) 市川駅南口図書館

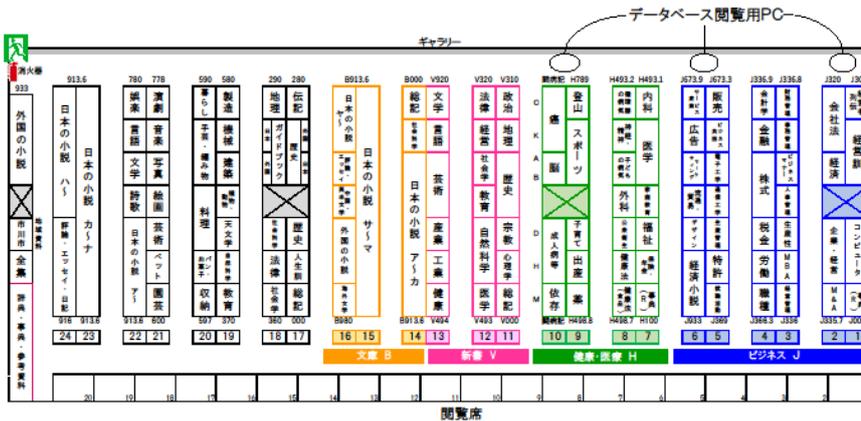
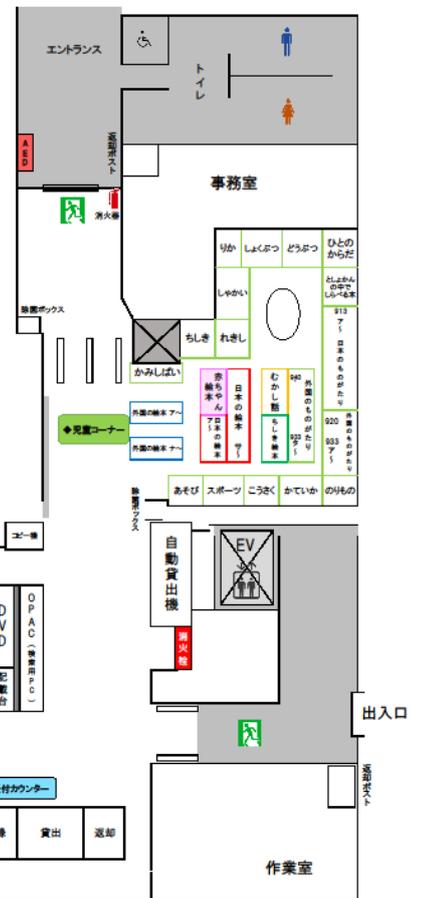
市川市市川南 1-10-1

I-linkタウンいちかわ ザ タワーズ ウエスト 3階

TEL 047 (325) 6241

FAX 047 (325) 6243

- ・交通 JR市川駅より徒歩2分
- ・開館時間 火曜～金曜 9:30～21:00  
土・日・祝日 9:30～18:00



## ① 指定管理者制度導入の経過

平成19年	4月	南口図書館運営計画策定作業開始
	10月	行政経営会議（3日）において、A棟3階（図書館・保育園）のレイアウト及び図書館運営形態（直営＋一部委託）の報告を行う
20年	9月	行政経営会議（17日）、指定管理者制度導入に関する会議（25日）において、市川駅南口図書館への指定管理者制度導入が正式に決定
	11月	12月議会開催（28日）、市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例の一部改正についての議案〔市川駅南口図書館の設置及び指定管理者に管理を行わせること、行徳図書館の祝日開館他（第31号）〕、市川市立図書館設置条例の全部改正についての議案〔中央図書館と生涯学習センターの祝日開館（第32号）〕提出
	12月	環境文教委員会（2日）、議案第31号否決、第32号可決 委員長報告・本会議議決（5日）、議案第31号及び第32号可決
21年	1月	指定管理者公募受付（16～23日）に4社応募 選定審査会による1次審査（26・27日）
	2月	選定審査会による2次審査（2日） 定例教育委員会（5日）指定管理者の指定の議案に係る教育委員会の意見聴取 2月議会開会（16日）指定管理者の指定の議案（第84号）提出
	3月	議案第84号継続審議可決（3日） 委員長報告・動議（11日）環境文教委員会審査期限付動議可決 環境文教委員会（12・16・18・19日）選定評価表の見直し、適正なモニタリングの実施、3年後の制度継続を含めた見直し等、条件付きで議案第84号可決（19日） 委員長報告・本会議議決（23日）議案第84号可決 指定管理者の告示及び通知（27日）株式会社ヴィアックス 基本協定書締結（31日）
	4月	指定管理期間の開始（3年間：21/4/1～24/3/31） 開館準備及び指定管理者研修（1～29日） オープニングセレモニー（30日）

## ② モニタリング

平成22年	11月	21年度全期選定審査会（モニタリング結果審査・評価の決定）（8日） 評価項目は、大項目全18項目、評価視点（評価事項）全46項目138点を設定 21年度全期 第1次評価（担当者 7月9日）第2次評価（委員会 7月26日） 21年度上半期 第1次評価（担当者 1月14/15日）第2次評価（委員会 2月3日）
23年	8月	22年度全期選定審査会（モニタリング結果審査・評価の決定）（22日） 評価項目を整理し、図書館サービスに直接関連する評価視点を3項目増 22年度全期 第1次評価（担当者 7月5日）第2次評価（委員会 7月29日） 22年度上半期 第1次評価（担当者 1月7日）第2次評価（委員会 2月8日）
24年	8月	23年度全期選定審査会（モニタリング結果審査・評価の決定）（7日） 23年度全期 第1次評価（担当者 6月15日）第2次評価（委員会 6月28日） 23年度上半期 第1次評価（担当者 1月6日）第2次評価（委員会 2月17日）
25年	2月	評価委員による評価項目検討審査会（15日）評価項目は、大項目全16項目、評価視点（中項目）全38項目102点とし、図書館サービス部分を重視する傾斜配分に改める
	7月	24年度選定審査会（モニタリング結果審査・評価の決定）（7月31日） 24年度全期 第1次評価（担当者 6月14日）第2次評価（委員会 7月2日） 新評価項目による24年度上半期モニタリング第1次評価（担当者 3月8日）
	11月	25年度上半期モニタリング第1次評価（担当者 21日）
26年	8月	平成25年度モニタリング評価の決定 25年度全期第1次評価（担当者 6月13日）第2次評価（評価委員会 6月30日） 「市川市指定管理者のモニタリングに関する実施要領」一部改正により第2次評価を選定審査会会長へ報告（7月）
	12月	26年度上半期モニタリング第1次評価（担当者 5日）
27年	8月	平成26年度モニタリング評価の決定 26年度全期 第1次評価（担当者 6月19日）第2次評価（評価委員会 7月16日）
	12月	新評価項目での27年度上半期モニタリング第1次評価（担当者 18日）

平成28年	8月	平成27年度モニタリング評価の決定 27年度全期 第1次評価（担当者 6月17日）第2次評価（評価委員会7月14日）
	12月	28年度上半期モニタリング第1次評価（担当者 22日）
29年	9月	平成28年度モニタリング評価の決定 28年度全期 第1次評価（担当者 6月15日）第2次評価並びに指定期間全体（24年～28年度）の評価（評価委員会 7月13日）
	12月	29年度上半期モニタリング第1次評価（担当者 21日）
30年	10月	平成29年度モニタリング評価の決定 29年度全期 第1次評価（担当者 6月15日）第2次評価（評価委員会 7月12日）
	11月	30年度上半期モニタリング第1次評価（担当者 27日）
令和元年	10月	平成30年度モニタリング評価の決定 30年度全期 第1次評価（担当者 6月13日）第2次評価（評価委員会 7月9日）
	11月	令和元年度上半期モニタリング第1次評価（担当者 14日）
2年	10月	令和元年度モニタリング評価の決定 元年度全期 第1次評価（担当者 6月11日）第2次評価（評価委員会 7月9日）
3年	1月	令和2年度上半期モニタリング第一次評価（担当者 14日）
	7月	令和2年度モニタリング評価の決定 2年度全期 第1次評価（担当者 6月18日）第2次評価（評価委員会 7月8日）
	12月	令和3年度上半期モニタリング第一次評価（担当者 22日）

### モニタリングの流れ

4月～9月	
10月～3月	上半期（4～9月分）のモニタリング 第1次評価（担当者による書類審査、ヒアリング等）のみ
翌年度4月～	指定管理者が前年度の年次報告書を提出（60日以内） 前年度の全期（一年分）のモニタリング 上半期と併せて担当者による第1次評価 モニタリング評価委員による第2次評価（7月頃） 選定審査会会長である副市長への報告で評価の決定（9～10月頃）

### ③ 更新

平成23年	5月	公の施設の指定管理者候補者選定審査会（18日）
	8月	指定管理者公募受付（7/31～8/11）に3社応募
	10月	選考委員会による1次審査（7日）選定審査会による2次審査（19日）
	11月	定例教育委員会（10日）市川市市川駅南口図書館指定管理者の指定について（議案第37号）
	12月	議会開会（25日）指定管理者の指定の議案（第39号）提出
	12月	委員長報告・本会議議決（2日）、議案第39号可決 指定管理者の告示及び通知（9日）株式会社ヴィアックス
24年	3月	基本協定書締結（31日）
	4月	2期目の指定管理期間の開始（5年間:24/4/1～29/3/31）
26年	3月	（税率8%に伴う）変更基本協定書締結（31日）
28年	4月	（行政不服審査法の改訂に伴う）変更基本協定書締結（1日）
	5月	公の施設の指定管理者候補者選定審査会（24日）
	7月	指定管理者公募受付（7/7～14）に2社応募
	8月	選考委員会による1次審査（9日）
	10月	選定審査会による2次審査（12日）
	12月	定例教育委員会報告（1日）（第21号）
	12月	議会開会（2日）指定管理者の指定の議案（第61号）提出
	12月	委員長報告・本会議議決（9日）、議案第61号可決 指定管理者の告示及び通知（21日）株式会社ヴィアックス

平成29年	3月	基本協定書締結（31日）
	4月	3期目の指定管理期間の開始（5年間:29/4/1～34/3/31）
令和元年	9月	（税率10%に伴う）変更基本協定書締結（30日）
3年	6月	公の施設の指定管理者候補者選定審査会（22日）
	8月	指定管理者公募受付（8/5～13）に2社応募
	9月	選考委員会による1次審査（30日）
	10月	選定審査会による2次審査（14日）
	11月	12月議会開会（29日）指定管理者の指定の議案（第50号）提出
	12月	定例教育委員会報告（6日）（第23号） 委員長報告・本会議議決（7日）、議案第50号可決 指定管理者の告示及び通知（28日）株式会社ヴィアックス
4年	3月	基本協定書締結（31日）
	4月	4期目の指定管理期間の開始（5年間:R4/4/1～9/3/31）

No.	大項目	評価視点	1カ年度		上半期	
			評価	評価点	評価	評価点
1	利用者アンケートの実施等に関する事	利用者アンケート調査を実施し、改善に努めているか。	-	-	-	-
2	利用者の要望及び苦情に関する事	利用者の苦情等のトラブル対応は適切に行われているか。	A	3	A	3
3		電話での対応を含む職員の接客態度は適切か。	B	2	B	2
4	5※ 職員の配置・補充体制に関する事	業務遂行に必要な要員配置及び司書有資格者は確保されているか。	B	2	B	2
5※		労働関連法令を順守した雇用を行っているか。	B	2	B	2
6★		組織の指揮命令系統・チェック機能が確保されているか。	B	2	B	2
7	個人情報の保護に関する事	利用者の個人情報は、市川市個人情報保護条例に従って適正に管理されているか。	A	3	A	3
8★	指定管理者の経理に関する事	会計区分は適正に管理され、決算は適正に行われているか。	B	2	B	2
9★	文書管理に関する事	文書の管理及び保管は適切に行われているか。	B	2	B	2
10★	提出書類に関する事	提出書類は適正なものを期日までに提出しているか。	B	2	B	2
11※	施設賠償責任保険の付保に関する事	施設賠償責任保険の加入は適切に行われているか。	B	2	B	2
12※	第三者への一括委託に関する事	一括委任、一括委託は行われていないか。	B	2	B	2
13※	施設の目的外使用に関する事	市川駅南口図書館の目的外使用は行われていないか。または、適正な目的外利用を行っているか。	B	2	B	2
14★	市の財産の管理に関する事	市の財産の形状、形質等の変更はないか。	B	2	B	2
15★	施設・備品の維持管理・修繕に関する事	仕様書の範囲内で適切に修繕が行われているか。	B	2	B	2
16		備品は適正に管理しているか。	B	2	B	2
17	施設の状況に関する事	委託業務の適正な履行の確認・管理が行われているか。(清掃・警備・各種保守点検)	B	2	B	2
18	19 事故・緊急事態の対応に関する事	事故防止、安全対策がされているか。	A	3	A	3
19		事故等の緊急時、災害発生時の対応は確保されているか。	A	3	A	3
20※		防火管理者は適正に配置されているか。	B	2	B	2
21	公共性の尊重に関する事	公の施設及び公共図書館であることを認識した管理運営が従事者まで徹底されているか。	B	2	B	2
22※	法令等の遵守に関する事	市川駅南口図書館の設置管理条例及び施行規則に定める事項を遵守しているか。	B	2	B	2
23	情報の公開に関する事	情報の公開に努めているか。	B	2	B	2
24★	指定管理者の経営状況に関する事	指定管理者の財務状況は安定しているか。	B	2	-	-
25	26 図書館サービス業務に関する事	現場従事者等に対する研修は適切に行われているか。(含. 配置前研修)	A	3	A	3
26		短時間滞在型の駅前情報拠点としての特色を生かしたサービスを展開しているか。(外部データベース・ICタグ)	A	3	A	3
27		ビジネス支援サービスを積極的に展開しているか。	A	3	B	2
28		健康・医療情報提供の充実を図るための工夫がなされているか。	A	3	A	3
29		地域との連携を図ることにより機能的な図書館サービスを展開しているか。	A	3	A	3
30		行事は適切に行われているか。	A	3	B	2
31		PR活動等の努力が行われているか。	A	3	B	2
32★		利用者登録業務は適切に行われているか。	B	2	B	2
33		貸出返却業務は適切に行われているか。	B	2	B	2
34		予約業務は適切に行われているか。	B	2	A	3
35		レファレンス業務は適切に行われているか。(対応・内容について)	A	3	A	3
36		レファレンス業務は適切に行われているか。(記録・報告について)	B	2	B	2
37		資料管理業務は適切に行われているか。	B	2	B	2
38	書架管理業務は適切に行われているか。(含. 月末館内整理・蔵書点検)	B	2	B	2	
合計点			86		82	
総合評価			良		良	

【注】評価方法について

①評価視点ごとの評価点

評価	評価点
A	3
B	2
C	1
D	0

★: B・C・Dの3段階で評価→6,8~10,14,15,24,32

※: B・Dの2段階で評価→5,11~13,20,22

その他の項目は、A・B・C・Dの4段階で評価

②総合評価の方法

全37項目(令和2年度全期)

総合評価	合計評価点
優	97点~88点
良	87点~59点
可	58点~ 点
改善	D評価あり

全36項目(令和2年度上半期)

総合評価	合計評価点
優	95点~85点
良	84点~57点
可	56点~ 点
改善	D評価あり

## (8) 関連施設

### ① 市民図書室 (p. 50)

図書室名	住所・電話番号	開室日・開室時間	床面積	開設年月日
塩焼市民図書室 (塩焼読書センター)	市川市塩焼5-9-8 047 (397) 6823	水・土・日曜 10:00~16:00	135.0㎡	昭和56年10月8日
福栄市民図書室	市川市南行徳2-2-1 047 (395) 5020	水・土・日曜 10:00~16:00	112.5㎡	昭和60年10月5日
大柏市民図書室	市川市大野町2-1877 047 (338) 7897	水・土・日曜 10:00~16:00	315.0㎡	平成3年4月1日

### ② 公民館図書室 (p. 50)

公民館図書室名	住所・電話番号	開室日・時間	貸出日・時間	床面積
大野公民館図書室	市川市南大野2-3-19 047 (339) 3400	火曜~日曜 9:30~17:00	火曜~金曜 9:30~12:00 13:00~17:00 土・日曜 9:30~17:00	127.0㎡
西部公民館図書室	市川市中国分2-13-8 047 (371) 2777	火曜~日曜 9:30~17:00	火曜~日曜 9:30~12:00 13:00~17:00	112.0㎡
曾谷公民館図書室	市川市曾谷6-25-5 047 (372) 2871	火曜~日曜 9:00~12:00 13:00~17:00	水・木・土・日曜 9:30~12:00 13:00~16:30	144.0㎡
東部公民館図書室	市川市本北方3-19-16 047 (337) 8886	火曜~日曜 9:00~12:00 13:00~17:00	火・水・土曜 9:30~12:00 13:00~16:30	81.0㎡
市川公民館図書室	市川市市川2-33-2 047 (321) 1171	火曜~日曜 9:00~12:00 13:00~17:00	水・土曜 9:30~12:00 13:00~16:30	40.5㎡
市川駅南公民館図書室	市川市大洲4-18-3 047 (370) 3564	火曜~日曜 9:00~12:00 13:00~17:00	水・日曜 9:30~12:00 13:00~16:30	31.4㎡
本行徳公民館図書室	市川市本行徳12-8 047 (359) 1351	水・金・土・日曜 9:00~12:00 13:00~17:00	水・金・土・日曜 9:30~12:00 13:00~16:30	170.0㎡

### ③ 男女共同参画センター(ウイズ)情報資料室 (p. 51)

住所・電話番号	開室日	交通	床面積
市川市市川1-24-2 市川西消防署4階 047 (322) 6700	水・土・日曜 (祝日は除く) 9:30~17:00	JR市川駅 京成市川真間 駅より徒歩5分	93.0㎡

### ④ いちかわ情報プラザ (p. 51)

住所・電話番号	利用時間	交通
市川市南八幡4-2-5 いちかわ情報プラザ2階 047 (314) 0811	火曜~金曜 10:00~19:30 土・日・祝日 10:00~18:00 (第4日曜日は除く)	JR本八幡駅南口より徒歩1分

## 7. 令和4年度予算

### (1) 市の予算

(単位：千円)

項 目	令和4年度当初予算額	令和3年度当初予算額	対前年度比
総 額	266,726,000	254,418,000	12,308,000
一般会計	166,800,000	159,800,000	7,000,000
特別会計	76,831,000	74,783,000	2,048,000
公営企業会計	23,095,000	19,835,000	3,260,000

### (2) 教育費

(単位：千円)

科 目	令和4年度当初予算額	令和3年度当初予算額	対前年度比
一般会計のうち教育費	14,010,000 (一般会計の8.4%)	14,364,000 (一般会計の9.0%)	△354,000
教育費のうち図書館費	215,632 (教育費の1.5%)	216,273 (教育費の1.5%)	△641

### (3) 図書館費

(単位：千円)

	令和4年度当初予算額	細 節	令和3年度当初予算額
総 計	215,632		216,273
7. 報 償 費	63	◎報償金 47 ◎講師謝礼金 16	117
8. 旅 費	10	◎職員旅費 10	8
10. 需 用 費	82,518	◎消耗品費 58,880 ◎定期刊行物費 9,019 ◎印刷製本費 1,435 ◎燃料費 66 ◎光熱水費 3,212 ◎物品等修繕料 300 ◎自動車修繕料 102 ◎施設修繕料 9,500 ◎医薬材料費 4	75,506
11. 役 務 費	1,894	◎通信運搬費 1,513 ◎手数料 381	3,671
12. 委 託 料	108,204	◎委託料 108,204	102,036
13. 使用料及び 賃借料	7,315	◎使用料 5,084 ◎賃借料 2,231	5,476
17. 備品購入費	3,696	◎事業用機械器具費 762 ◎図書費 2,934	17,514
18. 負担金補助 及び交付金	11,932	◎負担金 11,932	11,932
26. 公 課 費	0	◎自動車重量税 0	13

#### (4) 館別資料費

##### ○ 図書館

(単位：千円)

館名	図書館費			視聴覚資料費	定期刊行物費	合計
	消耗品図書	備品図書	計			
中央	24,687 (25,787)	2,625 (2,625)	27,312 (28,412)	425 (533)	5,185 (5,517)	32,922 (34,462)
行徳	6,475 (6,567)	309 (309)	6,784 (6,876)	304 (366)	1,607 (1,500)	8,695 (8,742)
信篤	1,952 (1,977)	0 (0)	1,952 (1,977)	0 (0)	528 (450)	2,480 (2,427)
南行徳	1,952 (1,977)	0 (0)	1,952 (1,977)	0 (0)	539 (450)	2,491 (2,427)
平田	1,952 (1,977)	0 (0)	1,952 (1,977)	0 (0)	495 (450)	2,447 (2,427)
市川駅南口	2,575 (2,575)	0 (0)	2,575 (2,575)	294 (317)	650 (650)	3,519 (3,542)
図書館 リクエスト	12,150 (11,050)	0 (0)	12,150 (11,050)	0 (0)	0 (0)	12,150 (11,050)
合計	51,743 (51,910)	2,934 (2,934)	54,677 (54,844)	1,023 (1,216)	9,004 (9,017)	64,704 (65,077)

##### ○ 図書館関連施設

(単位：千円)

	図書館費			視聴覚資料費	定期刊行物費	合計
	消耗品図書	備品図書	計			
男女共同 参画センター	56 (62)	0 (0)	56 (62)	0 (0)	15 (15)	71 (77)

##### ○ 公民館図書室（大野・西部・曾谷・東部・市川・市川駅南・本行徳の7図書室）

(単位：千円)

	図書館費			視聴覚資料費	定期刊行物費	合計
	消耗品図書	備品図書	計			
公民館 図書室	2,080 (2,055)	0 (0)	2,080 (2,055)	0 (0)	0 (0)	2,080 (2,055)

消耗品図書に、大野・西部図書室のリクエスト予算160千円分を含む。

##### ○ 市民図書室（塩焼・福栄・大柏の3図書室）

(単位：千円)

	図書館費			視聴覚資料費	定期刊行物費	合計
	消耗品図書	備品図書	計			
市民 図書室	840 (999)	0 (0)	840 (999)	0 (0)	0 (0)	840 (999)

##### ○ 資料費総計

(単位：千円)

総計	図書館費			視聴覚資料費	定期刊行物費	合計
	消耗品図書	備品図書	計			
	54,719 (55,026)	2,934 (2,934)	57,653 (57,960)	1,023 (1,216)	9,019 (9,032)	67,695 (68,208)

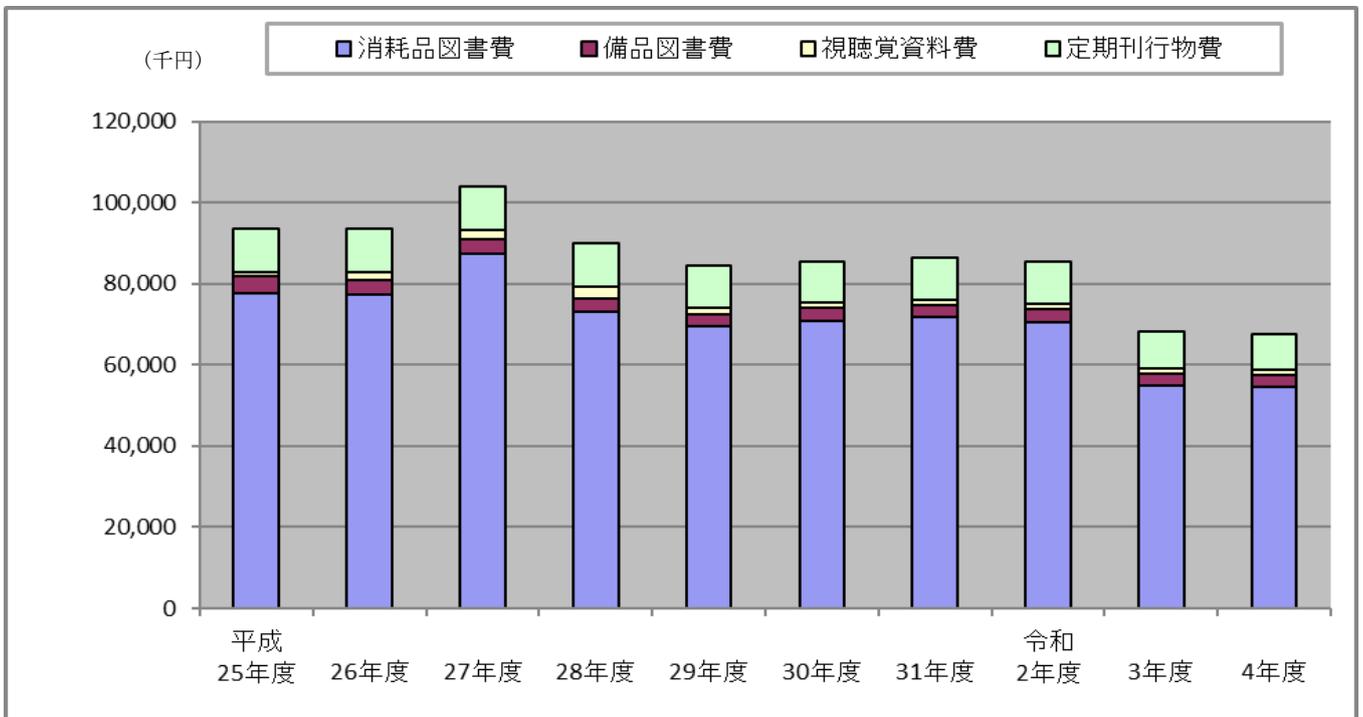
※ ( ) 内は令和3年度当初予算額

※ 定期刊行物費は、新聞、雑誌及び加除式図書追録代の合計額

○資料費当初予算額の推移

(単位：千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
図書費	82,012	80,895	91,088	76,398	72,564	73,937	74,694	73,650	57,959	57,653
消耗品図書費	77,512	77,330	87,520	72,980	69,549	70,922	71,681	70,562	55,026	54,719
備品図書費	4,500	3,565	3,568	3,418	3,015	3,015	3,013	3,088	2,934	2,934
視聴覚資料費	835	1,924	2,121	2,911	1,485	1,306	1,308	1,290	1,216	1,023
消耗品費	835	1,451	1,451	2,157	855	793	811	727	496	473
備品購入費	0	473	670	754	630	513	497	563	720	550
定期刊行物費	10,645	10,645	10,645	10,645	10,303	10,343	10,343	10,536	9,032	9,019
合計	93,492	93,464	103,854	89,954	84,352	85,586	86,345	85,476	68,208	67,695



## 8. 令和3年度統計

### (1) 蔵書冊数

(単位：冊)

一般書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	11,528	52	323	2,620	358	327	361	15,569
1哲学	23,301	205	723	3,457	1,091	696	741	30,214
2歴史	32,164	254	1,474	8,732	1,750	1,542	2,710	48,626
3社会科学	58,008	443	2,418	15,799	2,572	2,508	1,693	83,441
4自然科学	28,104	397	1,490	6,095	1,685	1,602	1,104	40,477
5技術	21,184	1,697	2,929	8,535	2,907	2,886	5,755	45,893
6産業	9,117	100	723	2,812	751	625	856	14,984
7芸術	36,338	336	2,112	9,403	2,553	1,682	2,854	55,278
8言語	9,858	44	402	1,988	452	357	511	13,612
9文学	50,992	6,870	8,963	29,039	10,981	8,439	7,378	122,662
郷土行政	56,046	0	399	3,990	616	522	496	62,069
参考資料	27,443	0	145	2,072	326	220	409	30,615
外国語資料	13,735	0	0	724	0	0	0	14,459
障がい者資料	9,767	246	0	691	0	0	0	10,704
コーナー別資料	275,146	0	4,531	22,010	9,242	6,244	48,061	365,234
一般計	662,731	10,644	26,632	117,967	35,284	27,650	72,929	953,837

(単位：冊)

児童書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	522	28	89	283	180	80	76	1,258
1哲学	528	26	105	229	85	69	59	1,101
2歴史	4,527	92	502	1,551	432	523	424	8,051
3社会科学	4,226	117	499	1,591	370	515	421	7,739
4自然科学	8,839	530	1,336	2,818	1,061	1,391	1,206	17,181
5技術	2,893	244	466	1,173	381	491	557	6,205
6産業	1,689	82	250	601	162	254	223	3,261
7芸術	3,622	308	605	1,418	677	594	649	7,873
8言語	962	22	173	349	132	157	126	1,921
9文学	26,247	1,756	4,006	10,108	3,820	4,936	3,103	53,976
E絵本	35,772	2,491	6,594	15,943	5,266	6,070	6,501	78,637
P紙芝居	1,331	143	238	510	140	215	311	2,888
児童郷土	1,404	0	5	309	78	16	0	1,812
児童参考	792	0	17	165	47	26	83	1,130
児童研究	2,839	0	0	574	67	135	0	3,615
児童計	96,193	5,839	14,885	37,622	12,898	15,472	13,739	196,648

図書計	758,924	16,483	41,517	155,589	48,182	43,122	86,668	1,150,485
-----	---------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	-----------

(単位：点)

図書以外	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
雑誌	46,415	0	801	4,650	1,595	1,200	1,076	55,737
ビデオ	329	0	0	7	0	0	0	336
DVD	2,011	0	0	457	0	0	990	3,458
CD	11,712	0	0	7,346	0	0	0	19,058
その他付録等	745	0	7	70	2	3	51	878
図書以外計	61,212	0	808	12,530	1,597	1,203	2,117	79,467

総計	820,136	16,483	42,325	168,119	49,779	44,325	88,785	1,229,952
----	---------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	-----------

		大野公民館図書室	17,378	市川駅南公民館図書室	7,039	図書館以外 市民図書室 公民館図書室 その他 合計	162,824
塩焼市民図書室	19,562	西部公民館図書室	15,491	本行徳公民館図書室	17,503		
福栄市民図書室	19,825	曾谷公民館図書室	13,287	公民館図書室計	90,997		
大柏市民図書室	17,336	東部公民館図書室	11,615	ウィズ情報資料室	15,104		
市民図書室計	56,723	市川公民館図書室	8,684	その他計	15,104		

他施設含む総計 **1,392,776**

## (1-2) 分野別蔵書冊数内訳

(単位：冊)

郷土行政	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
市川市	18,838	0	309	2,484	349	377	355	22,712
千葉県	24,780	0	90	1,505	267	145	141	26,928
市民文庫	6,376	0	0	1	0	0	0	6,377
特別コレクション	6,052	0	0	0	0	0	0	6,052
合計	56,046	0	399	3,990	616	522	496	62,069

外国語資料	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
英語	6,556	0	0	690	0	0	0	7,246
中国語	3,880	0	0	9	0	0	0	3,889
韓国語	1,641	0	0	20	0	0	0	1,661
ドイツ語	126	0	0	0	0	0	0	126
フランス語	359	0	0	1	0	0	0	360
スペイン語	310	0	0	1	0	0	0	311
ポルトガル語	123	0	0	1	0	0	0	124
イタリア語	223	0	0	0	0	0	0	223
西洋の諸言語	50	0	0	2	0	0	0	52
東洋の諸言語	467	0	0	0	0	0	0	467
合計	13,735	0	0	724	0	0	0	14,459

障がい者資料	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
点字図書	3,456	0	0	0	0	0	0	3,456
音訳図書	1,336	0	0	0	0	0	0	1,336
DAISY図書	627	0	0	0	0	0	0	627
大活字本	2,998	246	0	691	0	0	0	3,935
CDブック	1,133	0	0	0	0	0	0	1,133
文芸カセット	14	0	0	0	0	0	0	14
布の絵本	136	0	0	0	0	0	0	136
その他	67	0	0	0	0	0	0	67
合計	9,767	246	0	691	0	0	0	10,704

コーナー別資料	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
Aヤング	19,707	0	0	2,476	34	1,561	0	23,778
B文庫	56,176	0	4,466	18,870	9,208	4,683	13,257	106,660
V新書	14,377	0	65	664	0	0	12,836	27,942
M外国文学	18,387	0	0	0	0	0	0	18,387
N環境	4,883	0	0	0	0	0	0	4,883
Jビジネス	32,975	0	0	0	0	0	12,725	45,700
X日本文学	54,976	0	0	0	0	0	0	54,976
W平和	9,202	0	0	0	0	0	0	9,202
H暮らし	29,169	0	0	0	0	0	※ 9,243	38,412
D趣味	20,153	0	0	0	0	0	0	20,153
Sスポーツ	5,446	0	0	0	0	0	0	5,446
G旅行	9,695	0	0	0	0	0	0	9,695
合計	275,146	0	4,531	22,010	9,242	6,244	48,061	365,234

※市川駅南口のHは「健康医療」

### (1-3) 蔵書冊数の推移

#### a) 一般書の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
平成28年度	621,677	8,967	27,528	112,809	44,516	28,596	72,867	101,798	1,018,758
平成29年度	626,801	9,457	27,065	117,054	44,100	27,094	72,473	100,570	1,024,614
平成30年度	641,245	9,823	26,127	119,822	32,946	27,348	73,485	98,974	1,029,770
令和元年度	646,925	10,197	25,998	120,091	34,197	27,034	73,967	96,449	1,034,858
令和2年度	654,645	10,597	26,999	121,161	35,217	27,528	73,647	103,933	1,053,727
令和3年度	662,731	10,644	26,632	117,967	35,284	27,650	72,929	90,177	1,044,014

#### b) 児童書の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
平成28年度	100,122	6,231	14,545	36,393	15,445	15,970	14,317	84,061	287,084
平成29年度	96,759	6,458	14,581	37,484	15,273	15,151	14,302	80,250	280,258
平成30年度	94,809	6,744	14,497	36,778	12,822	15,202	14,545	77,514	272,911
令和元年度	93,599	6,444	14,319	36,446	12,586	15,019	14,596	77,817	270,826
令和2年度	96,381	6,701	14,692	37,437	12,868	15,268	13,537	75,683	272,567
令和3年度	96,193	5,839	14,885	37,622	12,898	15,472	13,739	71,679	268,327

#### c) 全体(図書)の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
平成28年度	721,799	15,198	42,073	149,202	59,961	44,566	87,184	185,859	1,305,842
平成29年度	723,560	15,915	41,646	154,538	59,373	42,245	86,775	180,820	1,304,872
平成30年度	736,054	16,567	40,624	156,600	45,768	42,550	88,030	176,488	1,302,681
令和元年度	740,524	16,641	40,317	156,537	46,783	42,053	88,563	174,266	1,305,684
令和2年度	751,026	17,298	41,691	158,598	48,085	42,796	87,184	170,163	1,316,841
令和3年度	758,924	16,483	41,517	155,589	48,182	43,122	86,668	161,856	1,312,341

#### d) 図書以外の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
平成28年度	64,518	0	1,459	15,092	1,648	1,801	2,404	1,643	86,922
平成29年度	63,004	0	1,402	14,825	1,624	1,144	2,399	1,660	84,398
平成30年度	60,669	0	1,349	14,057	1,515	1,165	2,311	1,683	81,066
令和元年度	60,728	0	741	13,568	1,676	1,133	2,289	888	80,135
令和2年度	61,284	0	858	13,255	1,751	1,245	2,326	942	80,719
令和3年度	61,212	0	808	12,530	1,597	1,203	2,117	968	79,467

#### e) 総計の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
平成28年度	786,317	15,198	43,532	164,294	61,609	46,367	89,588	187,502	1,394,407
平成29年度	786,564	15,915	43,048	169,363	60,997	43,389	89,174	182,480	1,390,930
平成30年度	796,723	16,567	41,973	170,657	47,283	43,715	90,341	178,171	1,385,430
令和元年度	801,252	16,641	41,058	170,105	48,459	43,186	90,852	175,154	1,386,707
令和2年度	812,310	17,298	42,549	171,853	49,836	44,041	89,510	171,105	1,398,502
令和3年度	820,136	16,483	42,325	168,119	49,779	44,325	88,785	162,824	1,392,776

## (2) 分類別貸出冊数

(単位：冊)

一般書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	5,324	38	543	5,051	446	686	2,072	14,160
1哲学	23,620	262	1,268	12,998	1,588	1,976	8,360	50,072
2歴史	18,559	687	2,645	20,231	2,712	2,536	15,273	62,643
3社会科学	35,881	510	2,901	28,659	2,743	3,793	13,441	87,928
4自然科学	18,552	369	1,732	13,810	1,854	1,701	7,001	45,019
5技術	16,260	1,798	5,083	31,849	3,974	5,284	28,368	92,616
6産業	4,943	156	660	6,295	653	834	3,719	17,260
7芸術	18,569	236	1,474	13,200	1,990	1,596	9,720	46,785
8言語	9,894	151	392	4,000	353	546	3,203	18,539
9文学	23,805	6,980	10,927	62,123	11,465	11,630	42,100	169,030
郷土行政	3,221	9	110	622	172	209	1,014	5,357
参考資料	688	1	9	23	14	4	12	751
外国語資料	2,111	5	84	790	40	52	344	3,426
障がい者資料	6,087	137	69	1,145	42	191	328	7,999
コーナー別資料	469,626	2,027	16,166	125,454	31,375	21,931	185,749	852,328
一般計	657,140	13,366	44,063	326,250	59,421	52,969	320,704	1,473,913

(単位：冊)

児童書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	1,060	38	104	730	85	147	541	2,705
1哲学	1,426	90	137	787	68	82	484	3,074
2歴史	4,805	143	371	3,153	289	249	1,648	10,658
3社会科学	7,280	340	487	3,548	225	357	2,099	14,336
4自然科学	19,853	973	1,264	11,982	1,210	1,340	7,387	44,009
5技術	8,222	429	1,035	5,860	598	1,105	4,408	21,657
6産業	2,829	123	431	1,606	210	289	1,111	6,599
7芸術	10,232	880	1,123	5,920	880	917	4,266	24,218
8言語	1,649	48	216	1,201	84	177	678	4,053
9文学	74,335	3,609	8,207	46,602	4,127	5,536	27,333	169,749
E絵本	211,367	5,267	17,519	110,912	15,856	17,365	77,384	455,670
P紙芝居	7,257	154	332	2,934	198	556	2,623	14,054
児童郷土	636	0	3	69	7	2	19	736
児童参考	28	0	2	9	1	3	3	46
児童研究	816	3	21	244	13	59	169	1,325
児童計	351,795	12,097	31,252	195,557	23,851	28,184	130,153	772,889

図書計	1,008,935	25,463	75,315	521,807	83,272	81,153	450,857	2,246,802
-----	-----------	--------	--------	---------	--------	--------	---------	-----------

(単位：点)

図書以外	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
雑誌	42,601	207	3,406	20,557	3,665	5,882	10,970	87,288
ビデオ	71	0	0	29	0	0	0	100
DVD	10,989	0	117	2,625	123	244	3,286	17,384
CD	24,288	0	445	13,624	471	414	2,249	41,491
その他付録等	2,554	127	256	2,545	272	164	16,773	22,691
図書以外計	80,503	334	4,224	39,380	4,531	6,704	33,278	168,954

<b>総計</b>	<b>1,089,438</b>	<b>25,797</b>	<b>79,539</b>	<b>561,187</b>	<b>87,803</b>	<b>87,857</b>	<b>484,135</b>	<b>2,415,756</b>
-----------	------------------	---------------	---------------	----------------	---------------	---------------	----------------	------------------

		大野公民館図書室	81,678	ウィズ情報資料室	3,165	図書館以外 市民図書室 公民館図書室 その他 合計	205,408
塩焼市民図書室	4,072	西部公民館図書室	49,551	情報プラザ	48,130		
福栄市民図書室	4,520	曾谷公民館図書室	8,609	千葉商科大学図書館	0		
大柏市民図書室	1,506	東部公民館図書室	3,732	宅配	445		
市民図書室計	10,098	公民館図書室計	143,570	その他計	51,740		

他施設含む総計 **2,621,164**

## (2-2) 分野別貸出冊数内訳

(単位：冊)

郷土行政	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
市川市	1,135	2	65	316	91	147	540	2,296
千葉県	739	1	13	180	52	35	245	1,265
市民文庫	639	6	16	77	20	14	154	926
特別コレクション	708	0	16	49	9	13	75	870
合計	3,221	9	110	622	172	209	1,014	5,357

(単位：冊)

外国語資料	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
英語	1,459	5	73	736	35	44	258	2,610
中国語	448	0	1	24	2	4	55	534
韓国語	118	0	0	6	2	0	13	139
ドイツ語	13	0	0	1	0	0	0	14
フランス語	28	0	8	4	0	0	8	48
スペイン語	28	0	2	17	0	0	5	52
ポルトガル語	0	0	0	0	0	0	0	0
イタリア語	4	0	0	0	0	4	0	8
西洋の諸言語	6	0	0	1	1	0	5	13
東洋の諸言語	7	0	0	1	0	0	0	8
合計	2,111	5	84	790	40	52	344	3,426

(単位：冊)

障がい者資料	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
点字図書	119	6	7	10		3	14	159
音訳図書	0	0	0	0	0	0	0	0
DAISY図書	8	0	0	0	0	0	0	8
大活字本	2,807	131	48	1,058	36	13	244	4,337
CDブック	3,107	0	12	75	4	175	65	3,438
文芸カセット	0	0	0	0	0	0	0	0
布の絵本等	46	0	2	2	2	0	5	57
合計	6,087	137	69	1,145	42	191	328	7,999

※上記貸出は郵送のうち、電算による貸出手続きをしたものも含む。

※大活字図書・CDブック・文芸カセットの貸出は、健常者への貸出を含む。

(単位：冊)

郵送貸出	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
点字図書郵送	244	0	0	0	0	0	0	244
音訳図書郵送	0	0	0	0	0	0	0	0
DAISY図書郵送	7	0	0	0	0	0	0	7
CDブック郵送	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	251	0	0	0	0	0	0	251

※郵送は相互協力による借用資料を含む。

(単位：冊)

コーナー別資料	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
Aヤング	26,836	123	542	6,597	668	974	3,589	39,329
B文庫	142,278	707	10,942	89,787	25,090	15,369	98,973	383,146
V新書	11,011	72	595	1,984	362	420	18,238	32,682
M外国文学	7,923	18	167	1,003	215	198	1,527	11,051
N環境	1,342	5	13	160	19	54	194	1,787
Jビジネス	38,908	188	908	6,746	1,132	1,456	26,364	75,702
X日本文学	94,987	314	1,223	8,545	1,481	1,523	8,404	116,477
W平和	2,349	6	41	180	39	26	296	2,937
H暮らし	80,958	405	1,058	7,001	1,358	1,285	23,563	115,628
D趣味	28,046	134	311	1,784	488	310	2,440	33,513
Sスポーツ	8,736	19	95	547	231	63	626	10,317
G旅行	26,252	36	271	1,120	292	253	1,535	29,759
W1ウ行政	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	469,626	2,027	16,166	125,454	31,375	21,931	185,749	852,328

## (2-3) 貸出冊数の推移

### a) 一般書の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
平成28年度	836,669	10,458	52,055	362,709	73,019	60,763	377,264	80,473	1,853,410
平成29年度	803,098	9,786	47,809	363,049	69,999	56,780	372,264	103,274	1,826,059
平成30年度	776,582	9,583	46,364	360,404	66,643	54,991	353,685	108,344	1,776,596
令和元年度	669,481	10,546	41,430	327,622	59,911	50,000	325,075	116,816	1,600,881
令和2年度	483,635	10,399	31,726	297,348	40,961	35,305	238,523	91,220	1,229,117
令和3年度	657,140	13,366	44,063	326,250	59,421	52,969	320,704	133,076	1,606,989

### b) 児童書の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
平成28年度	323,015	13,017	28,816	192,552	30,809	30,033	98,193	20,349	736,784
平成29年度	329,168	11,349	25,911	199,227	29,405	29,043	101,047	38,986	764,136
平成30年度	333,133	10,117	26,559	185,349	25,594	26,169	104,175	40,987	752,083
令和元年度	301,475	11,199	23,916	170,290	22,772	23,014	101,201	58,093	711,960
令和2年度	232,703	10,085	22,177	174,842	13,773	14,950	87,132	40,041	595,703
令和3年度	351,795	12,097	31,252	195,557	23,851	28,184	130,153	66,478	839,367

### c) 全体(図書)の推移

(単位：点)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
平成28年度	1,132,266	21,135	73,720	562,276	99,404	85,823	473,311	100,822	2,548,757
平成29年度	1,109,715	19,700	72,923	545,753	92,237	81,160	457,860	142,260	2,521,608
平成30年度	970,956	21,745	65,346	497,912	82,683	73,014	426,276	149,331	2,287,263
令和元年度	716,338	20,484	53,903	472,190	54,734	50,255	325,655	174,909	1,868,468
令和2年度	716,338	20,484	53,903	472,190	54,734	50,255	325,655	131,261	1,824,820
令和3年度	1,008,935	25,463	75,315	521,807	83,272	81,153	450,857	199,554	2,446,356

### d) 図書以外の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
平成28年度	154,288	177	5,113	53,559	6,382	7,317	51,186	5,316	283,338
平成29年度	136,700	150	4,836	54,548	5,688	7,226	50,383	5,345	264,876
平成30年度	119,057	67	4,307	50,851	5,182	6,719	49,695	5,215	241,093
令和元年度	86,332	90	3,357	42,207	4,263	5,932	43,774	4,293	190,248
令和2年度	60,803	140	3,466	36,493	2,999	4,788	17,454	3,975	130,118
令和3年度	80,503	334	4,224	39,380	4,531	6,704	33,278	5,854	174,808

### e) 総計の推移

(単位：点)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
平成28年度	1,313,972	23,652	85,984	608,820	110,210	98,113	526,643	106,138	2,873,532
平成29年度	1,268,966	21,285	78,556	616,824	105,092	93,049	523,694	147,605	2,855,071
平成30年度	1,228,772	19,767	77,230	596,604	97,419	87,879	507,555	154,546	2,769,772
令和元年度	1,057,288	21,835	68,703	540,119	86,946	78,946	470,050	179,202	2,503,089
令和2年度	777,141	20,624	57,369	508,683	57,733	55,043	343,109	135,236	1,954,938
令和3年度	1,089,438	25,797	79,539	561,187	87,803	87,857	484,135	205,408	2,621,164

(3) 蔵書回転率＝貸出冊数÷蔵書冊数

(単位：回)

一般書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	0.46	0.73	1.68	1.93	1.25	2.10	5.74	0.91
1哲学	1.01	1.28	1.75	3.76	1.46	2.84	11.28	1.66
2歴史	0.58	2.70	1.79	2.32	1.55	1.64	5.64	1.29
3社会科学	0.62	1.15	1.20	1.81	1.07	1.51	7.94	1.05
4自然科学	0.66	0.93	1.16	2.27	1.10	1.06	6.34	1.11
5技術	0.77	1.06	1.74	3.73	1.37	1.83	4.93	2.02
6産業	0.54	1.56	0.91	2.24	0.87	1.33	4.34	1.15
7芸術	0.51	0.70	0.70	1.40	0.78	0.95	3.41	0.85
8言語	1.00	3.43	0.98	2.01	0.78	1.53	6.27	1.36
9文学	0.47	1.02	1.22	2.14	1.04	1.38	5.71	1.38
郷土行政	0.06	---	0.28	0.16	0.28	0.40	2.04	0.09
参考資料	0.03	---	0.06	0.01	0.04	0.02	0.03	0.02
外国語資料	0.15	---	---	1.09	---	---	---	0.24
障がい者資料	0.62	0.56	---	1.66	---	---	---	0.75
ポピュラー	1.71	---	3.57	5.70	3.39	3.51	3.86	2.33
一般計	0.99	1.26	1.65	2.77	1.68	1.92	4.40	1.55

中央 ポピュラー	Aヤング 1.36	B文庫 2.53	V新書 0.77	M外国文学 0.43	N環境 0.27	Jビジネス 1.18
総数	X日本文学 1.71	W平和 1.73	H暮らし 0.26	D趣味 2.78	Sスポーツ 1.39	G旅行 2.71

市川駅南口 コーナー別資料	Jビジネス 2.07	H健康・医療 2.55	B文庫 7.47	V新書 1.42
------------------	---------------	----------------	-------------	-------------

児童書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	2.03	1.36	1.17	2.58	0.47	1.84	7.12	2.15
1哲学	2.70	3.46	1.30	3.44	0.80	1.19	8.20	2.79
2歴史	1.06	1.55	0.74	2.03	0.67	0.48	3.89	1.32
3社会科学	1.72	2.91	0.98	2.23	0.61	0.69	4.99	1.85
4自然科学	2.25	1.84	0.95	4.25	1.14	0.96	6.13	2.56
5技術	2.84	1.76	2.22	5.00	1.57	2.25	7.91	3.49
6産業	1.67	1.50	1.72	2.67	1.30	1.14	4.98	2.02
7芸術	2.82	2.86	1.86	4.17	1.30	1.54	6.57	3.08
8言語	1.71	2.18	1.25	3.44	0.64	1.13	5.38	2.11
9文学	2.83	2.06	2.05	4.61	1.08	1.12	8.81	3.14
E絵本	5.91	2.11	2.66	6.96	3.01	2.86	11.90	5.79
P紙芝居	5.45	1.08	1.39	5.75	1.41	2.59	8.43	4.87
児童郷土	0.45	---	0.60	0.22	0.09	0.13	---	0.41
児童参考	0.04	---	0.12	0.05	0.02	0.12	0.04	0.04
児童研究	0.29	---	---	0.43	0.19	0.44	---	0.37
児童計	3.66	2.07	2.10	5.20	1.85	1.82	9.47	3.93

図書計	1.33	1.54	1.81	3.35	1.73	1.88	5.20	1.95
-----	------	------	------	------	------	------	------	------

図書以外	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
雑誌	0.92	---	4.25	4.42	2.30	4.90	10.20	1.57
ビデオ	0.22	---	---	4.14	---	---	---	0.30
DVD	5.46	---	---	5.74	---	---	3.32	5.03
CD	2.07	---	---	1.85	---	---	---	2.18

総計	1.33	1.57	1.88	3.34	1.76	1.98	5.45	1.96
----	------	------	------	------	------	------	------	------

市民図書室・公民館図書室・情報プラザ等への市立図書館所蔵資料の貸出数含む総計⇒⇒ 2.13

◎年度推移

平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
2.38	2.36	2.29	2.07	1.59	2.13

## (4) リクエスト統計

### 令和3年度リクエスト受付施設別件数

(図書・雑誌 Web上での受付を含む)

受付館	受付件数	構成比	前年比
中央	179,205	25.93%	105.6%
自動車	5,174	0.75%	134.2%
平田	21,868	3.16%	136.9%
行徳	154,946	22.42%	113.9%
信篤	23,840	3.45%	144.6%
南行徳	25,919	3.75%	141.3%
市川駅南口	165,353	23.93%	117.0%
図書館合計	576,305	83.40%	114.9%
ウィズ	2,016	0.29%	91.1%
情報プラザ	46,825	6.78%	120.4%
塩焼市民	3,946	0.57%	161.0%
福栄市民	4,310	0.62%	144.6%
大柏市民	1,590	0.23%	154.4%
大野公民	29,952	4.33%	159.9%
西部公民	13,691	1.98%	153.3%
曾谷公民	8,578	1.24%	165.5%
東部公民	3,373	0.49%	166.4%
千葉商大	0	0.00%	0.0%
宅配	419	0.06%	291.0%
関連施設合計	114,700	16.60%	137.4%
総計	691,005	100%	118.1%

### リクエスト資料別総数

	図書・雑誌	視聴覚資料	合計
令和2年度	585,134	12,135	597,269
令和3年度	691,005	13,942	704,947

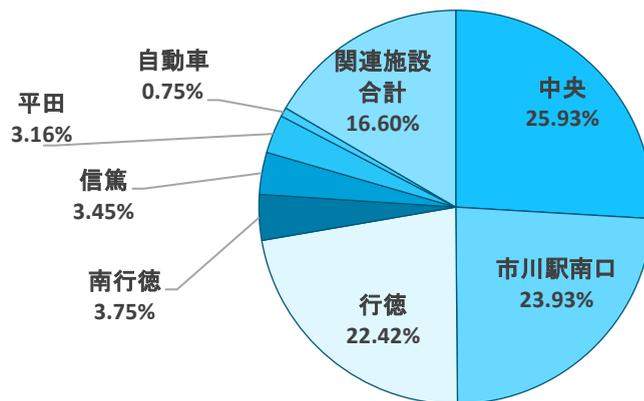
### リクエスト処理別件数(図書・雑誌)

	市内所蔵	購入	市外借用	提供不能	合計
平成28年度	471,289	8,621	6,545	552	487,007
平成29年度	475,488	8,414	5,854	437	490,193
平成30年度	480,591	8,076	5,527	450	494,644
令和元年度	493,412	8,217	4,847	388	506,864
令和2年度	574,680	7,020	3,152	282	585,134
令和3年度	675,941	8,315	6,365	384	691,005

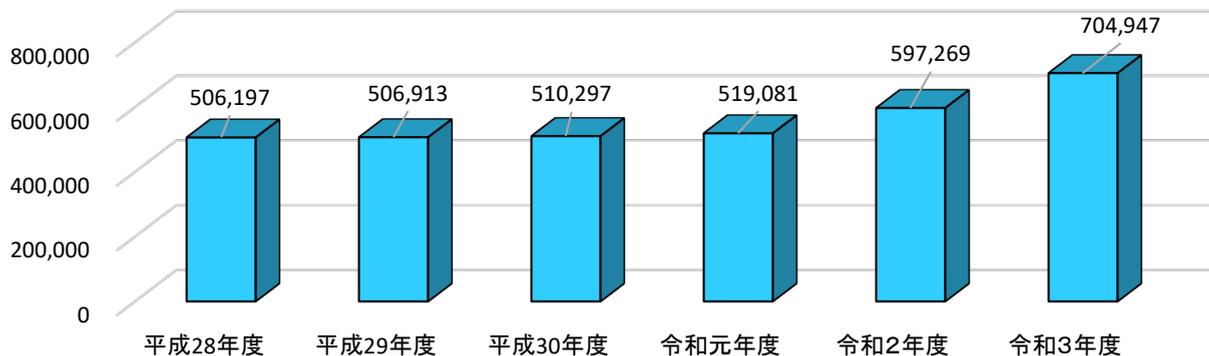
### リクエスト資料別件数(視聴覚資料)

	CD	ビデオ	DVD	合計
平成28年度	15,102	137	3,951	19,190
平成29年度	13,185	108	3,427	16,720
平成30年度	12,895	118	2,640	15,653
令和元年度	9,846	77	2,294	12,217
令和2年度	9,063	4	3,068	12,135
令和3年度	10,746	9	3,187	13,942

### リクエスト受付施設別件数構成比



### リクエスト件数の推移



## (5) 登録者集計表

(単位：人)

新規登録者数	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	ウイズ	大野公	西部公	全館
平成30年度	5,405	88	120	2,480	276	272	2,377	3	227	61	11,309
令和元年度	6,513	86	133	2,560	283	328	2,694	17	194	132	12,940
令和2年度	3,678	65	118	1,650	181	212	1,457	14	140	47	7,562
令和3年度	6,059	71	182	2,690	291	356	2,416	4	229	103	12,401
計	21,655	310	553	9,380	1,031	1,168	8,944	38	790	343	44,212

有効登録者数	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	ウイズ	大野公	西部公	全館
平成30年度	54,835	431	1,690	20,014	3,195	3,351	22,341	72	1,735	146	107,810
令和元年度	52,358	404	1,656	19,132	2,923	3,070	21,739	108	2,088	429	103,907
令和2年度	45,348	351	1,625	17,505	2,485	2,552	19,591	127	2,029	579	92,192
令和3年度	40,840	342	1,688	17,075	2,294	2,199	18,751	120	2,136	838	86,283
内12歳以下	4,864	125	226	1,930	278	258	1,298	4	260	155	9,398

実利用者数	25,642	237	1,354	11,905	1,587	1,697	12,520	78	1,556	625	57,201
累積登録者数											633,306
更新者数											10,439

※新規登録者数：一年間に新しい利用券番号の付与を受けた登録者数。

※有効登録者数：有効期限内の登録者数。(有効期限は3年)

※実利用者数：一年間に資料の貸出をした利用者数。

※累積登録者数：電算導入の昭和60年度より登録者の累積件数。二重登録なども含む。(長期未利用者のデータは平成19年度削除)

※更新者数：令和3年度に更新した登録者数。

※数値には団体登録等も含む。

### 有効期限内隣接地域登録者 (単位：人)

	隣接	在勤	在学	障がい	計
船橋市	3,095	289	182	1	3,567
松戸市	755	114	77	0	946
鎌ヶ谷市	118	27	9	0	154
浦安市	134	32	16	0	182
江戸川区	201	0	0	0	201
計	4,303	462	284	1	5,050

### ※隣接地域登録者

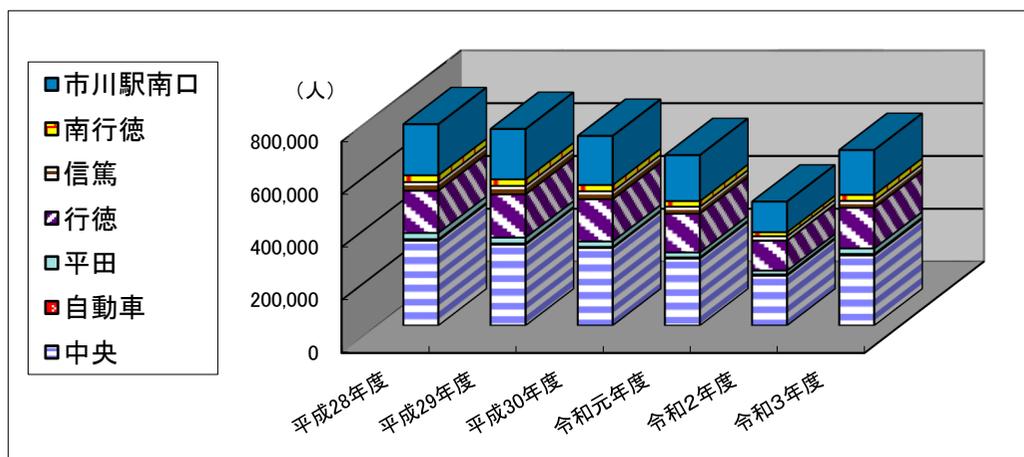
隣接地域に居住している方は登録可。  
図書5冊まで。視聴覚の貸出不可。予約不可。

## (6) 延べ利用者数の推移

※令和3年度より公民館等図書室には各施設の蔵書の利用者数も含めている。

(単位：人)

年度	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
平成28年度	321,266	5,074	23,931	159,743	32,850	25,720	193,545	44,988	807,117
平成29年度	306,234	4,333	22,131	163,595	32,079	24,902	190,805	54,789	798,868
平成30年度	293,330	3,774	20,886	159,897	30,237	23,633	185,940	56,516	774,213
令和元年度	253,320	4,410	18,813	146,520	26,522	21,396	174,046	61,864	706,891
令和2年度	188,849	4,142	14,821	112,712	17,267	15,257	115,813	47,555	516,416
令和3年度	265,086	5,331	21,263	153,731	26,065	23,110	169,523	114,140	778,249



## (7) 中央図書館月別利用者数・貸出点数の推移

※1 地域館では年間の開館日数が違うため、中央図書館のみの統計とした。

※2 4月1日～5月31日、1月8日～3月21日 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休館。

※3 令和2年度の数值には、臨時休館中に開設した臨時窓口での利用者数、貸出点数を含んでいる。

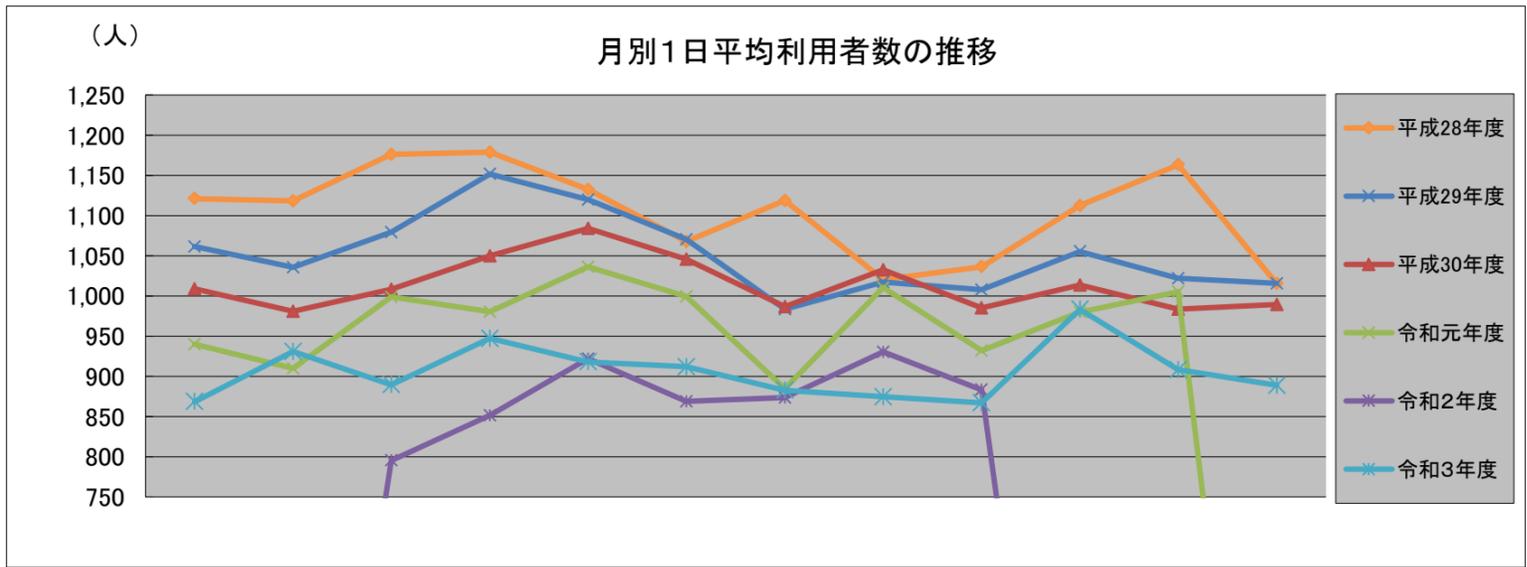
(単位:日) 蔵書点検等

開館日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	休館月
平成28年度	25	25	22	26	26	25	25	25	23	22	21	26	291	6月・2月
平成29年度	25	25	22	25	27	25	25	25	23	22	22	25	291	6月・2月
平成30年度	25	25	25	25	27	25	25	22	19	22	23	26	289	11-12月
令和元年度	25	26	25	25	27	23	26	17	22	22	23	0	261	11-12月
令和2年度	0	0	24	26	26	25	26	24	24	3	0	7	185	※2・3
令和3年度	25	25	25	26	26	25	26	24	23	19	23	26	293	1月

(単位:人)

利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
平成28年度	28,027	27,959	25,876	30,649	29,441	26,694	27,969	25,514	23,838	24,469	24,427	26,403	321,266	
	1,121	1,118	1,176	1,179	1,132	1,068	1,119	1,021	1,036	1,112	1,163	1,016	1,104	98.7%
平成29年度	26,537	25,887	23,745	28,791	30,239	26,758	24,587	25,426	23,174	23,218	22,480	25,392	306,234	
	1,061	1,035	1,079	1,152	1,120	1,070	983	1,017	1,008	1,055	1,022	1,016	1,052	95.0%
平成30年度	25,217	24,523	25,206	26,250	29,268	26,137	24,663	22,718	18,718	22,293	22,617	25,720	293,330	
	1,009	981	1,008	1,050	1,084	1,045	987	1,033	985	1,013	983	989	1,015	95.3%
令和元年度	23,499	23,656	24,974	24,506	27,977	22,988	23,006	17,178	20,504	21,557	23,113	362	253,320	
	940	910	999	980	1,036	999	885	1,010	932	980	1,005	-	971	95.8%
令和2年度	2,143	1,363	19,090	22,137	23,975	21,716	22,717	22,331	21,199	10,248	8,939	12,991	188,849	
	-	-	795	851	922	869	874	930	883	-	-	-	1,021	86.4%
令和3年度	21,715	23,272	22,239	24,624	23,869	22,796	22,953	20,989	19,942	18,681	20,892	23,114	265,086	
	869	931	890	947	918	912	883	875	867	983	908	889	905	140.4%

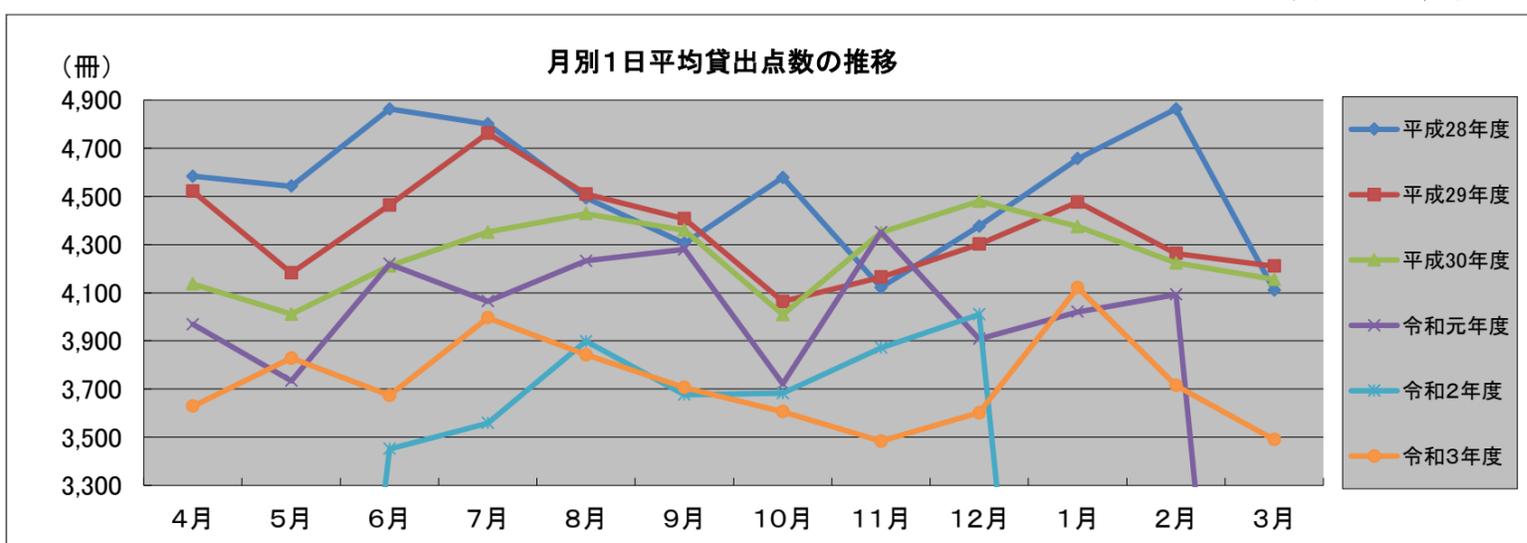
※下段は一日平均



(単位:点)

貸出点数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
平成28年度	114,594	113,561	106,974	124,802	116,832	107,626	114,446	103,047	100,657	102,446	102,128	106,859	1,313,972	
	4,584	4,542	4,862	4,800	4,494	4,305	4,578	4,122	4,376	4,657	4,863	4,110	4,515	94.4%
平成29年度	113,037	104,555	98,213	119,063	121,767	110,181	101,598	104,109	98,932	98,475	93,778	105,258	1,268,966	
	4,521	4,182	4,464	4,763	4,510	4,407	4,064	4,164	4,301	4,476	4,263	4,210	4,361	96.6%
平成30年度	103,417	100,269	105,283	108,802	119,552	108,987	100,228	95,706	85,122	96,234	97,132	108,040	1,228,772	
	4,137	4,011	4,211	4,352	4,428	4,359	4,009	4,350	4,480	4,374	4,223	4,155	4,252	96.8%
令和元年度	99,212	97,084	105,480	101,616	114,268	98,423	96,743	73,973	85,979	88,448	94,132	1,930	1,057,288	
	3,968	3,734	4,219	4,065	4,232	4,279	3,721	4,351	3,908	4,020	4,093	-	4,051	86.0%
令和2年度	6,778	4,992	86,281	92,518	101,354	91,902	95,747	92,918	92,225	35,205	26,385	50,836	777,141	
	-	-	3,451	3,558	3,898	3,676	3,683	3,872	4,010	-	-	-	2,652	73.5%
令和3年度	90,723	95,698	91,847	103,897	99,896	92,662	93,759	83,614	82,836	78,305	85,451	90,750	1,089,438	
	3,629	3,828	3,674	3,996	3,842	3,706	3,606	3,484	3,602	4,121	3,715	3,490	3,718	140.2%

※下段は一日平均



## (8) 受入・除籍冊数

一般書	中央					自動車					平田					行徳				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
0総記	156	13	58	-4	107	2	0	6	0	-4	21	1	23	2	1	111	7	94	0	24
1哲学	406	21	144	1	284	3	1	14	0	-10	15	10	63	0	-38	159	24	305	1	-121
2歴史	471	12	131	7	359	0	0	31	0	-31	85	10	170	0	-75	311	23	740	8	-398
3社会科学	1,182	20	648	15	569	9	2	2	1	10	104	17	161	2	-38	612	44	1,111	0	-455
4自然科学	501	12	219	17	311	5	1	0	0	6	94	4	71	1	28	275	30	1,263	-1	-959
5技術	297	15	119	72	265	52	0	77	0	-25	123	3	87	2	41	387	22	491	-12	-94
6産業	221	5	59	-75	92	1	0	82	0	-81	24	2	26	0	0	137	8	200	0	-55
7芸術	443	52	183	-10	302	6	1	83	0	-76	41	4	80	-3	-38	254	13	304	1	-36
8言語	224	3	86	28	169	0	0	8	0	-8	4	0	9	0	-5	64	9	64	1	10
9文学	194	22	267	91	40	225	51	16	5	265	411	11	517	1	-94	999	83	1,389	-5	-312
郷土行政	185	916	86	140	1,155	0	0	0	0	0	2	11	28	0	-15	16	112	121	0	7
参考資料	347	26	36	-20	317	0	0	0	0	0	4	0	2	-3	-1	44	2	24	9	31
外国語資料	74	3	69	-1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	6	9	3	9
障がい者資料	94	184	73	0	205	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0	3	0	15
ポピュラー	8,157	718	5,588	616	3,903	1	5	0	-6	0	207	63	401	-3	-134	862	361	2,100	16	-861
一般計	12,952	2,022	7,766	877	8,085	304	61	319	0	46	1,135	136	1,638	-1	-368	4,258	744	8,218	21	-3,195

中央 ポピュラー内訳					Aヤング					B文庫					V新書				
X日本文学					W平和					H暮らし					D趣味				
1,766	186	1,110	27	869	25	6	14	1	18	939	37	696	107	387	501	9	195	16	331

児童書	中央					自動車					平田					行徳				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
0総記	18	4	5	17	34	1	0	10	0	-9	2	0	1	-5	-4	12	0	32	13	-7
1哲学	12	4	18	1	-1	1	0	7	0	-6	3	1	1	0	3	7	0	2	0	5
2歴史	35	5	52	13	1	0	0	8	-6	-14	2	0	1	0	1	13	0	73	1	-59
3社会科学	122	17	31	-1	107	1	1	4	0	-2	6	2	1	-1	6	27	4	24	2	9
4自然科学	227	25	174	39	117	18	0	32	-33	-47	22	3	6	1	20	61	13	59	2	17
5技術	125	4	93	3	39	12	0	57	-6	-51	8	2	2	0	8	43	8	32	2	21
6産業	45	4	12	2	39	2	0	7	-2	-7	6	1	3	0	4	12	1	6	0	7
7芸術	58	14	80	17	9	15	0	116	-4	-105	6	0	16	4	-6	20	2	35	0	-13
8言語	9	2	11	10	10	0	0	0	-1	-1	0	0	2	1	-1	5	0	6	0	-1
9文学	627	163	599	44	235	81	0	381	-20	-320	99	14	58	1	56	226	17	218	-8	17
E絵本	1,301	237	2,291	94	-659	98	5	325	-73	-295	146	11	47	-2	108	731	67	635	-6	157
P紙芝居	37	1	14	1	25	0	0	4	-1	-5	0	0	3	0	-3	16	0	7	0	9
児童郷土	4	6	90	-100	-180	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	6
児童参考	58	0	16	-37	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	2	5	-11	6
児童研究	18	6	5	5	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6	0	1	8
児童計	2,696	492	3,491	108	-195	229	6	951	-146	-862	300	34	141	-1	192	1,194	126	1,134	-4	182

図書計	15,648	2,514	11,257	985	7,890	533	67	1,270	-146	-816	1,435	170	1,779	-2	-176	5,452	870	9,352	17	-3,013
-----	--------	-------	--------	-----	-------	-----	----	-------	------	------	-------	-----	-------	----	------	-------	-----	-------	----	--------

図書以外	中央					自動車					平田					行徳				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
雑誌	3,975	387	4,098	137	401	0	0	0	0	0	457	0	506	0	-49	1,520	7	2,257	-1	-731
ビデオ	0	0	39	0	-39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
DVD	29	0	98	92	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	9	3	2	32
CD	27	1	472	0	-444	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	53	73	0	4
その他付録等	0	0	13	0	-13	0	0	0	0	0	0	0	1	0	-1	0	0	31	1	-30
図書以外計	4,031	388	4,720	229	-72	0	0	0	0	0	457	0	507	0	-50	1,568	69	2,364	2	-725

総計	19,679	2,902	15,977	1,214	7,818	533	67	1,270	-146	-816	1,892	170	2,286	-2	-226	7,020	939	11,716	19	-3,738
----	--------	-------	--------	-------	-------	-----	----	-------	------	------	-------	-----	-------	----	------	-------	-----	--------	----	--------

	大野公民館図書室					西部公民館図書室					市川公民館図書室					市川駅南公民館図書室				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
一般	196	384	127	0	453	179	397	218	0	358	81	136	18	0	199	66	36	116	0	-14
児童	146	125	71	0	200	121	374	338	0	157	0	109	1	0	108	16	15	15	0	16
計	342	509	198	0	653	300	771	556	0	515	81	245	19	0	307	82	51	131	0	2

	塩焼市民図書室					福栄市民図書室					大柏市民図書室					ウイズ情報資料室				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
一般	59	100	0	0	159	58	260	106	0	212	113	15	24	0	104	50	23	48	1	26
児童	171	199	0	0	370	134	105	6	0	233	96	0	70	0	26	0	1	6	0	-5
計	230	299	0	0	529	192	365	112	0	445	209	15	94	0	130	50	24	54	1	21

(単位:冊)

一般書	信篤					南行徳					市川駅南口					全館				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
0総記	13	14	16	0	11	14	4	25	1	-6	5	0	11	-2	-8	322	39	233	-3	125
1哲学	32	17	22	0	27	31	11	20	0	22	18	6	14	-5	5	664	90	582	-3	169
2歴史	109	19	152	0	-24	74	7	113	1	-31	68	3	139	-77	-145	1,118	74	1,476	-61	-345
3社会科学	84	34	147	5	-24	115	20	238	4	-99	39	9	56	-15	-23	2,145	146	2,363	12	-60
4自然科学	110	26	131	0	5	93	8	85	1	17	20	1	27	-19	-25	1,098	82	1,796	-1	-617
5技術	127	17	283	0	-139	129	14	71	1	73	88	5	204	-76	-187	1,203	76	1,332	-13	-66
6産業	21	3	10	-1	13	32	4	24	-1	11	11	0	2	-1	8	447	22	403	-78	-12
7芸術	47	15	53	-1	8	45	4	20	-1	28	33	10	27	-6	10	869	99	750	-20	198
8言語	11	6	12	0	5	6	1	0	0	7	9	1	34	-10	-34	318	20	213	19	144
9文学	362	30	290	1	103	431	17	511	0	-63	277	26	134	-115	54	2,899	240	3,124	-22	-7
郷土行政	3	25	21	4	11	3	4	2	0	5	4	41	7	-7	31	213	1,109	265	137	1,194
参考資料	8	0	4	-4	0	9	0	2	-7	0	12	1	0	-8	5	424	29	68	-33	352
外国語資料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	83	9	78	2	16
障がい者資料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	112	184	76	0	220
ポピュラー	194	213	338	2	71	173	117	135	2	157	973	187	1,136	-433	-409	10,567	1,664	9,698	194	2,727
一般計	1,121	419	1,479	6	67	1,155	211	1,246	1	121	1,557	290	1,791	-774	-718	22,482	3,883	22,457	130	4,038

M外国文学					N環境					Jビジネス				
311	10	101	15	235	70	0	15	6	61	1,158	33	1,602	183	-228
Sスポーツ					G旅行					W1ウ行政				
203	3	58	0	148	287	2	404	26	-89	0	0	0	0	0

(単位:冊)

児童書	信篤					南行徳					市川駅南口					全館				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
0総記	1	0	3	0	-2	0	0	1	1	0	0	0	1	0	-1	34	4	53	26	11
1哲学	3	0	1	0	2	3	0	2	1	2	1	1	1	0	1	30	6	32	2	6
2歴史	3	0	13	0	-10	1	0	1	0	0	2	0	2	1	1	56	5	150	9	-80
3社会科学	7	1	15	0	-7	5	3	2	-4	2	4	3	0	-1	6	172	31	77	-5	121
4自然科学	20	1	18	0	3	26	2	16	0	12	19	2	9	-2	10	393	46	314	7	132
5技術	3	1	7	1	-2	15	2	4	1	14	14	2	7	-7	2	220	19	202	-6	31
6産業	1	0	1	0	0	5	1	3	0	3	4	1	0	0	5	75	8	32	0	51
7芸術	3	0	30	0	-27	3	0	3	0	0	7	3	12	-13	-15	112	19	292	4	-157
8言語	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	-9	-9	14	2	19	3	0
9文学	121	0	121	11	11	95	0	54	1	42	94	10	36	-12	56	1,343	204	1,467	17	97
E絵本	180	1	115	10	76	194	2	75	-1	120	288	22	167	-49	94	2,938	345	3,655	-27	-399
P紙芝居	0	0	1	0	-1	12	0	4	0	8	0	0	2	0	-2	65	1	35	0	31
児童郷土	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	12	90	-100	-174
児童参考	0	0	2	0	-2	2	0	1	-1	0	4	0	0	-3	1	84	2	24	-52	10
児童研究	0	0	11	0	-11	0	0	0	-1	-1	0	0	0	0	0	19	12	16	5	20
児童計	342	4	338	22	30	361	10	166	-1	204	437	44	237	-95	149	5,559	716	6,458	-117	-300

図書計	1,463	423	1,817	28	97	1,516	221	1,412	0	325	1,994	334	2,028	-869	-569	28,041	4,599	28,915	13	3,738
-----	-------	-----	-------	----	----	-------	-----	-------	---	-----	-------	-----	-------	------	------	--------	-------	--------	----	-------

(単位:点)

図書以外	信篤					南行徳					市川駅南口					全館				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
雑誌	491	0	653	8	-154	543	0	585	0	-42	557	0	592	-120	-155	7,543	394	8,691	24	-730
ビデオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39	0	-39
DVD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43	0	6	-93	-56	96	9	107	1	-1
CD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51	54	545	0	-440
その他付録等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	2	45	1	-42
図書以外計	491	0	653	8	-154	543	0	585	0	-42	600	2	598	-213	-209	7,690	459	9,427	26	-1,252

総計	1,954	423	2,470	36	-57	2,059	221	1,997	0	283	2,594	336	2,626	-1,082	-778	35,731	5,058	38,342	39	2,486
----	-------	-----	-------	----	-----	-------	-----	-------	---	-----	-------	-----	-------	--------	------	--------	-------	--------	----	-------

	曾谷公民館図書室					東部公民館図書室					本行徳公民館図書室				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
一般	115	49	347	0	-183	133	81	117	0	97	67	5	57	0	15
児童	89	35	166	0	-42	90	66	80	0	76	19	3	2	0	20
計	204	84	513	0	-225	223	147	197	0	173	86	8	59	0	35

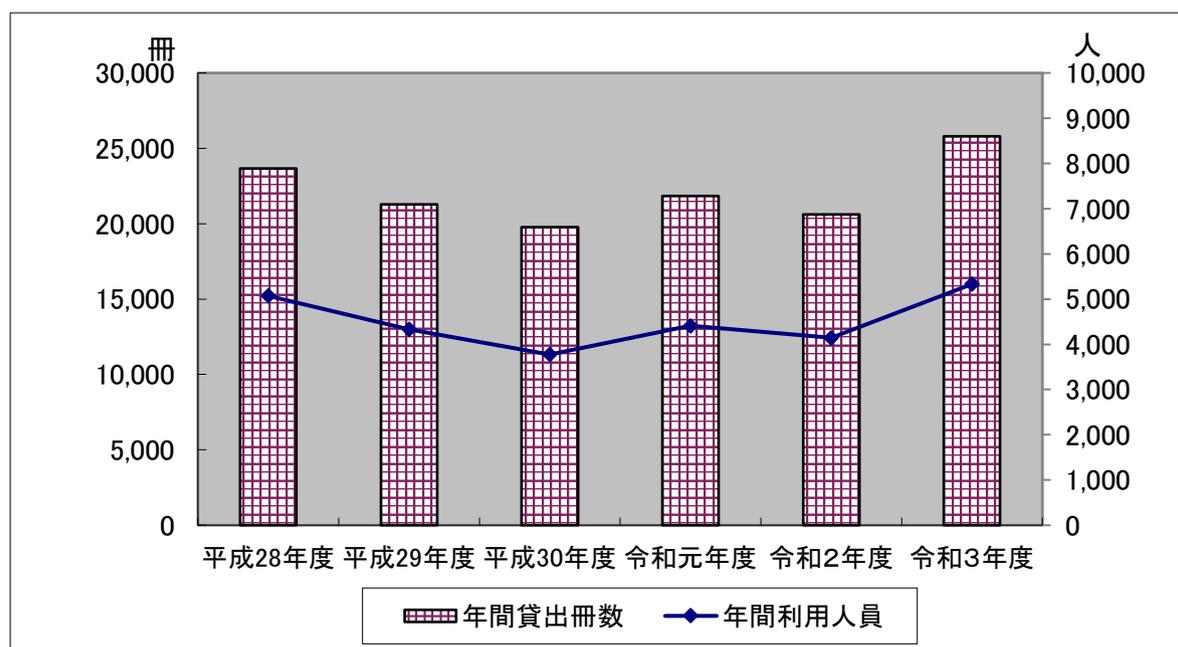
	他施設計				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
一般	1,117	1,486	1,178	1	1,426
児童	882	1,032	755	0	1,159
計	1,999	2,518	1,933	1	2,585

	他施設含む総計				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
一般	23,599	5,369	23,635	131	5,464
児童	6,441	1,748	7,213	-117	859
図書以外	7,690	459	9,427	26	-1,252
計	37,730	7,576	40,275	40	5,071

### (9) 自動車図書館ステーション別統計

	ステーション名	巡回数	貸出冊数		利用人員			
			一日平均	前年度比(%)	一日平均	前年度比(%)		
1	市営大町第1団地	22	1,103	50.1	176.8	184	8.4	172.0
2	市営大町第2団地	22	726	33.0	122.8	163	7.4	129.4
3	養護老人ホームいこい荘	18	426	23.7	65.1	139	7.7	74.3
4	柏井小学校	19	2,107	110.9	112.4	530	27.9	99.6
5	大野小学校	22	692	31.5	121.2	143	6.5	120.2
6	宮久保小学校	23	3,007	130.7	144.3	338	14.7	122.0
7	若宮児童公園	20	905	45.3	137.3	162	8.1	129.6
8	北国分2丁目公園	22	1,438	65.4	140.7	246	11.2	139.8
9	堀之内公園	42	2,944	70.1	97.1	695	16.5	114.5
10	歴史博物館	20	550	27.5	125.6	120	6.0	160.0
11	国府台児童公園	21	1,185	56.4	113.5	240	11.4	104.8
12	山王公園	21	1,231	58.6	114.0	193	9.2	132.2
13	宮久保プレーパーク	21	1,519	72.3	110.2	308	14.7	127.3
14	菅野小学校	20	1,036	51.8	132.3	164	8.2	134.4
15	㈱クボタ菅野ハイツ	20	1,503	75.2	96.7	308	15.4	102.7
16	塩浜団地商店街広場	42	4,242	101.0	145.7	1,151	27.4	165.4
17	島尻西公園	21	733	34.9	261.8	117	5.6	191.8
18	稲越小学校	21	358	17.0	-	91	4.3	-
	ステーション外利用	25.0	92	-	209.1	39	-	260.0
	合計	442	25,797	58.4	125.1	5,331	12.1	128.7

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
年間巡回日数	149	153	148	139	141	150
年間巡回ステーション数	390	413	395	376	367	442
年間貸出冊数	23,652	21,285	19,767	21,835	20,624	25,797
一日平均	158.7	139.1	133.6	157.1	146.3	172.0
一ステーション平均	60.6	51.5	50.0	58.1	56.2	58.4
年間利用人員	5,074	4,333	3,774	4,410	4,142	5,331
一日平均	34.1	28.3	25.5	31.7	29.4	35.5
一ステーション平均	13.0	10.5	9.6	11.7	11.3	12.1



## (10) 市川市の図書館サービス指標

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
人口1人当たりの貸出点数(点)	貸出点数	2,873,532	2,855,071	2,769,772	2,505,997	1,954,938	2,621,164
	人口	487,991	491,214	494,161	497,268	497,731	496,104
		5.89	5.81	5.6	5.04	3.93	5.28
登録率(単位:%)	登録者数	117,210	111,504	107,810	103,907	92,192	86,283
	人口	487,991	491,214	494,161	497,268	497,731	496,104
		24.0	22.7	21.8	20.9	18.5	17.4
実質貸出密度(点)	貸出点数	2,873,532	2,855,071	2,769,772	2,505,997	1,954,938	2,621,164
	登録者数	117,210	111,504	107,810	103,907	92,192	86,283
		24.52	25.61	25.69	24.1	21.2	30.4
蔵書回転率(単位:回)	貸出点数	2,873,532	2,855,071	2,769,772	2,505,997	1,954,938	2,621,164
	資料点数	1,206,905	1,208,450	1,207,259	1,211,553	1,227,397	1,229,952
		2.38	2.36	2.29	2.07	1.59	2.13
人口1人当たりの年間購入点数(点)	年間購入点数	49,534	47,233	45,881	44,952	43,157	35,731
	人口	487,991	491,214	494,161	497,268	497,731	496,104
		0.10	0.10	0.09	0.09	0.09	0.07
人口1人当たりの資料点数(点)	資料点数	1,206,905	1,208,450	1,207,259	1,211,553	1,227,397	1,229,952
	人口	487,991	491,214	494,161	497,268	497,731	496,104
		2.47	2.46	2.44	2.44	2.47	2.48
人口1人当たりの資料費(円)	資料購入費:A	88,170,496	82,891,298	84,299,522	85,019,418	84,091,182	65,897,561
	人口	487,991	491,214	494,161	497,268	497,731	496,104
		181	169	171	171	169	133
行政効果(単位:円)	資料購入費:B	84,975,860	79,691,130	81,089,632	81,659,337	80,710,694	63,564,766
	÷購入点数	49,534	47,233	45,881	44,952	43,157	35,731
	×貸出点数	2,873,532	2,855,071	2,769,772	2,505,997	1,954,938	2,621,164
	－総経費	753,499,706	714,449,345	801,582,365	823,080,224	717,559,221	571,919,293
		4,176,060,857	4,102,603,017	4,093,685,659	3,729,287,936	2,938,496,638	4,091,081,359
貸出コスト(単位:円)	総経費	753,499,706	714,449,345	801,582,365	823,080,224	717,559,221	571,919,293
	貸出点数	2,873,532	2,855,071	2,769,772	2,505,997	1,954,938	2,621,164
		262.2	250.2	289.4	328.4	367	218.2

※資料購入費:Bは、資料購入費:Aより新聞費を除いたもの。

※資料点数・貸出点数・購入点数は視聴覚資料・雑誌を含む。

※総経費は、図書館費と人件費(職員)を足したもの。

※登録者数は、有効登録者数(有効期限3年内の登録者)とした。

※令和3年度から、諸経費のなかの図書館電算システムに関する経費は情報部門に移管されている。

## (11) 開館日数

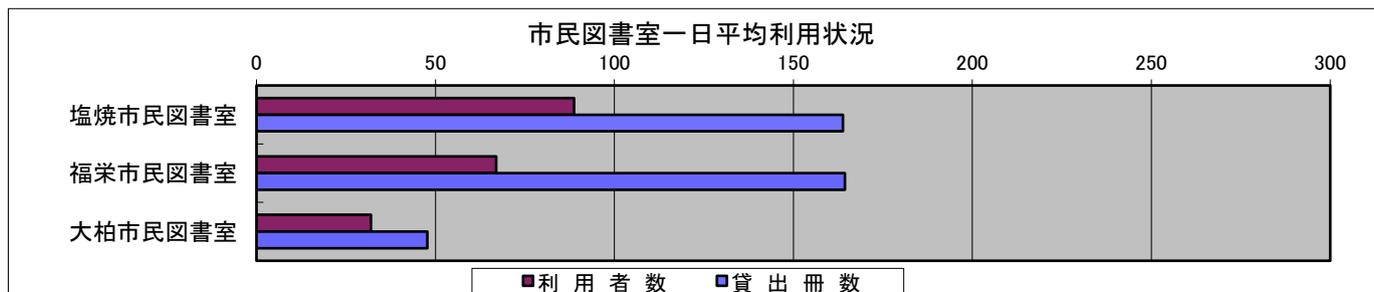
1	中央図書館	293日
2	行徳図書館	291日
3	信徳図書館	280日
4	南行徳図書館	280日
5	平田図書室	280日
6	市川駅南口図書館	295日

## (12) 関連施設統計

### ①市民図書館

	開室 日数	利用者数		貸出 日数	貸出冊数		受入 冊数	除籍 冊数	蔵書冊数
		一日平均	一日平均						
塩焼市民図書館	150	13,312	88.7	150	24,582	163.9	529	0	19,562
福栄市民図書館	149	9,981	67.0	149	24,495	164.4	557	112	19,825
大柏市民図書館	147	4,700	32.0	147	7,017	47.7	224	94	17,336
計	446	27,993	62.8	446	56,094	125.8	1,310	206	56,723

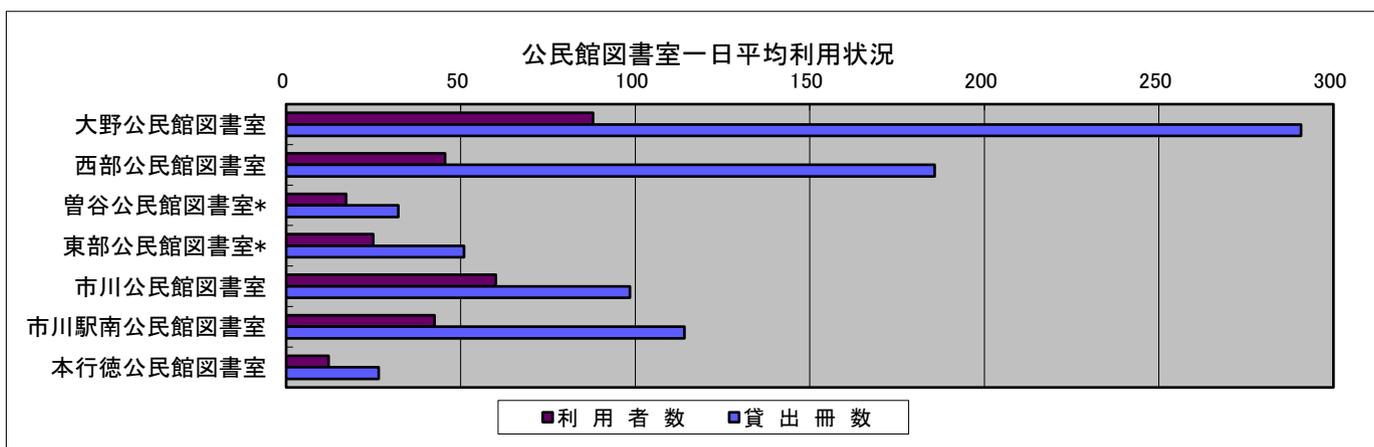
※貸出冊数は各施設の蔵書利用と図書館資料利用の合算



### ②公民館図書館

	開室 日数	利用者数		貸出 日数	貸出冊数		受入 冊数	除籍 冊数	蔵書冊数
		一日平均	一日平均						
大野公民館図書館	281	24,714	88.0	281	81,678	290.7	851	198	17,378
西部公民館図書館	264	12,005	45.5	264	49,051	185.8	1,071	556	15,491
曾谷公民館図書館*	195	11,710	60.1	195	27,819	142.7	288	513	13,287
東部公民館図書館*	149	6,330	42.5	149	20,728	139.1	370	197	11,615
市川公民館図書館	99	1,702	17.2	99	3,180	32.1	326	19	8,684
市川駅南公民館図書館	99	2,473	25.0	99	5,041	50.9	133	131	7,039
本行徳公民館図書館	150	1,818	12.1	150	3,974	26.5	94	59	17,503
計	1,237	60,752	49.1	1,237	191,471	154.8	3,133	1,673	90,997

※ \*印の施設の貸出冊数は各施設の蔵書利用と図書館資料利用の合算



### ③返却ポスト ※休館中の回収

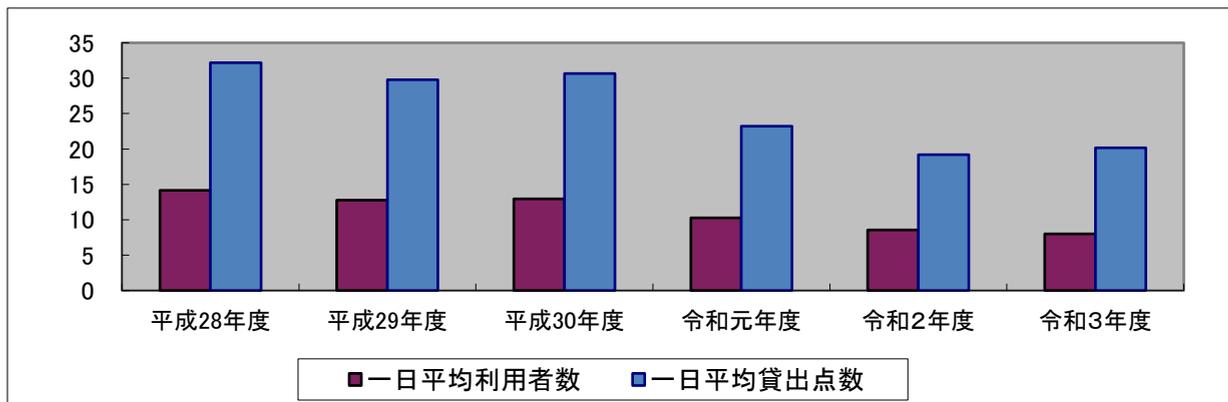
(上記のうち、市民図書館・公民館図書館での図書館資料の利用統計)

	利用者数	貸出	返却	予約
塩焼市民図書館	1,703	4,072	4,475	3,946
福栄市民図書館	1,809	4,520	4,778	4,310
大柏市民図書館	707	1,506	2,010	1,590
市民図書館小計	4,219	10,098	11,263	9,846
大野公民館図書館	24,714	81,678	93,300	30,691
西部公民館図書館	12,005	49,551	46,944	13,925
曾谷公民館図書館	3,656	8,609	12,815	8,578
東部公民館図書館	1,658	3,732	6,984	3,373
公民館図書館小計	42,033	143,570	160,043	56,567
合計	46,252	153,668	171,306	66,413

設置場所	受付件数	構成比
情報プラザ	59,724	28.4%
市川公民館	6,835	3.3%
歴史博物館	1,169	0.6%
ベルクス市川堀之内	15,668	7.5%
中山窓口連絡所	5,489	2.6%
市役所本庁舎	17,040	8.1%
イオン市川妙典	67,748	32.3%
南行徳市民センター	29,764	14.2%
塩浜市民体育館	2,610	1.2%
菅野公民館	3,878	1.8%
大野公民館※	39	0.0%
合計	209,964	100.0%

④男女共同参画センター(ウィズ)情報資料室

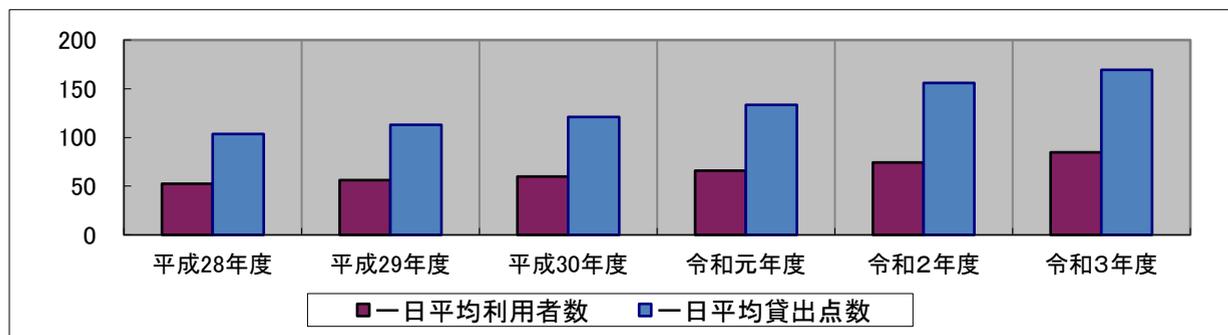
	開館日数	利用者数		貸出点数		受入冊数	除籍冊数	蔵書冊数
		一日平均	一日平均					
平成28年度	270	3,816	14.1	8,687	32.2	229	26	16,349
平成29年度	267	3,406	12.8	7,947	29.8	239	737	15,851
平成30年度	263	3,409	13.0	8,061	30.7	180	788	15,243
令和元年度	242	2,483	10.3	5,614	23.2	776	1,112	14,907
令和2年度	167	1,428	8.6	3,205	19.2	208	32	15,083
令和3年度	157	1,255	8.0	3,165	20.2	75	54	15,104



⑤情報プラザ

	開館日数	利用者数		貸出点数	
		一日平均	一日平均		
平成28年度	284	14,878	52.4	29,446	103.7
平成29年度	284	15,965	56.2	32,062	112.9
平成30年度	277	16,547	59.7	33,520	121.0
令和元年度	261	17,244	66.1	34,853	133.5
令和2年度	248	18,392	74.2	38,649	155.8
令和3年度	284	24,075	84.8	48,130	169.5

※平成15年7月より市立図書館資料の貸出サービス開始



⑥千葉商科大学附属図書館(市立図書館所蔵資料の貸出数)

	開館日数	利用者数		貸出点数	
		一日平均	一日平均		
平成28年度	255	389	1.5	1,089	4.3
平成29年度	260	313	1.2	893	3.4
平成30年度	252	311	1.2	811	3.2
令和元年度	236	316	1.3	971	4.1
令和2年度	0	0	-	0	-
令和3年度	0	0	-	0	-

※平成17年10月より市立図書館資料の貸出サービス開始

⑦宅配

	利用者数	貸出点数
平成28年度	22	122
平成29年度	20	128
平成30年度	33	242
令和元年度	41	266
令和2年度	39	177
令和3年度	65	445

※平成18年10月より宅配サービス開始  
※一時休止後、平成25年7月より再開

## 9. 図書館コンピュータシステム

### (1) 図書館コンピュータシステムの概要

市川市立図書館では昭和 60 年にコンピュータシステムを導入。平成 6 年の中央図書館開館に際して 2 回目の更新を行い、可変長 MARC の採用、学校図書館とのパソコン通信連携を実施した。

平成 12 年 10 月に富士通の iLiswing Ver2.0 に 3 回目の更新、また平成 17 年 7 月に同社の iLiswing21/UX+ に 4 回目の更新を行い、市内全域へのネットワーク拡大とインターネットでのサービス充実を行った。平成 23 年 11 月に 5 回目の更新を行い富士通の iLisfiera を採用した。平成 28 年 11 月にはこのパッケージが、Internet Explorer 11 を利用した環境下においても正常に稼動するための設定を各機器に対して行っている。平成 30 年度に 6 回目の更新を行い、IC 機器導入に向けての図書館コンピュータシステムの再構築や Web メニューの多機能化に加え、中央図書館での座席管理システム、デジタルサイネージ、書庫出納管理システムの導入を実施した。令和元年 11 月には、中央図書館の障がい者専用パソコン及び市川駅南口図書館パソコンの更新を行った。

市川駅南口図書館では、平成 21 年 4 月の開館にあわせて IC タグによる蔵書管理システム iLiscomp を先行して導入、平成 28 年 7 月に行徳図書館、令和元年 12 月に中央図書館ほか市内全図書館で導入を完了し、関連施設では、男女共同参画センター情報資料室、大野・西部各公民館図書室にも導入した。市川駅南口図書館、行徳図書館、中央図書館には、セキュリティゲートや自動貸出機等を設置したほか、令和元年度には、中央図書館、行徳図書館に自動返却機と予約受取棚等を設置し、窓口業務の効率化を推進した。

### (2) インターネットでのサービス

平成

12 年 10 月 インターネット蔵書情報を公開 ID とパスワードにより貸出状況・予約状況の照会が可能となる

14 年 5 月 携帯端末での蔵書検索を実施  
メールでのレファレンス受付開始

10 月 図書館ホームページが財団法人高度映像情報センター (AVCC) の主催する公共ホームページ Goodsite 賞に選出

11 月 インターネットで図書・雑誌の予約受付を開始

15 年 7 月 C T I サーバを導入し、段階的に e メール及び電話による督促通知、予約通知の自動連絡を開始する

17 年 7 月 C D ・ビデオのネット予約受付開始  
図書館ホームページのリニューアル  
TRC-MARC を U から T タイプに変更  
蔵書検索で内容紹介、著者紹介等の項目が検索対象となる

18 年 3 月 S S L 暗号化通信を導入  
市川市が韓国ソウル市江南区電子図書館の閲覧 ID を配布開始

10 月 予約資料の宅配サービスを開始

20 年 6 月 「青空文庫」作成電子テキストの雑誌データを Web サーバで一括検索開始

21 年 6 月 TRC-MARC を全件 T タイプに塗替え  
TRC 雑誌 MARC を導入

26 年 10 月 Q R コードを利用した目録検索結果等の読み取りサービス「スマート簡単検索 (ALPACA)」運用開始

28 年 3 月 スマートフォン対応 Web-OPAC サービス開始

30 年 12 月 登録利用者全員(団体を除く)にパスワードを付与  
Web-OPAC で横断検索、利用者登録申請、シリーズ予約、貸出履歴の保存、返却期限通知の設定、My 本棚の作成が可能となる  
図書館利用券のスマホ対応開始

31 年 3 月 Web-OPAC 書影表示開始

令和  
2 年 2 月 新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休館により 3 月末まで Web サービス停止

4 月 新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発出による臨時休館のため 4 月 7 日から 6 月 1 日まで Web 予約サービス停止

### (3) ネットワークの拡充

平成 12 年からの市内ケーブル回線網の敷設及び全庁的なイントラネット構築に伴い、図書館未設置地区へネットワーク拠点を増設。

行徳図書館に自動貸出機 2 台、セキュリティゲート 1 基を追加、自動返却機 2 台、予約受取棚 10 本、予約確認機 1 台を設置

3 年 3 月 稲越市民図書室閉室

平成

- 12 年 10 月 市立小学校に併設の市民図書室 4 室（塩焼・稲越・福栄・大柏）及び公民館図書室 2 室（大野・西部）にオンライン端末を設置し、図書館の予約本を取り寄せて、貸出・返却を可とする
- 14 年 5 月 情報システム課がいちかわ情報プラザに移転 本庁-いちかわ情報プラザ-生涯学習センター間を 100Mbps の回線で接続
- 15 年 2 月 いちかわ情報プラザ 2 階電子市役所での予約資料受渡しを実施
- 6 月 曾谷公民館図書室に端末を設置
- 7 月 いちかわ情報プラザに端末を設置
- 16 年 6 月 東部公民館図書室に端末を設置
- 17 年 10 月 千葉商科大学附属図書館に端末を設置 行徳支所まで 100Mbps の回線となり、図書館も支所より分岐して接続
- 20 年 全庁的にネットワーク再構築が実施される
- 21 年 4 月 市川駅南口図書館開館に伴い、100Mbps の光回線を接続し、業務端末 9 台、OPAC 4 台、自動貸出機 3 台、セキュリティゲート 2 基を設置
- 28 年 7 月 行徳図書館に自動貸出機 4 台、セキュリティゲート 2 基を設置
- 11 月 図書館情報システムを Internet Explorer 11 に対応させるための設定作業を行う
- 29 年 2 月 大野公民館図書室の蔵書情報を図書館コンピュータシステムに組入れ、コンピュータによる蔵書管理を開始 全庁的に情報セキュリティ強化対策が実施され、図書館業務はインターネット系回線での利用となる
- 31 年 3 月 西部公民館図書室の蔵書情報を図書館コンピュータシステムに組入れ、コンピュータによる蔵書管理を開始

令和

- 元年 12 月 中央図書館に自動貸出機 9 台、自動返却機 6 台、セキュリティゲート 4 基、予約受取棚 19 本、予約確認機 2 台を設置

### (4) 図書館内インターネット接続サービス等

平成

- 12 年 10 月 館内利用者端末（タッチパネル式）を増設（全館 26 台、レシートプリンタ付）  
〔中央図書館〕 Web-OPAC（キーボード式） 3 台を新設  
朝日新聞記事全文検索データベースを導入  
ビジネスルームに持ち込みパソコンのインターネット接続環境を整備、有線 LAN 接続で 4 席  
業務端末は全館全端末が本庁イントラ経由でインターネット常時接続が可能とし、相互協力やレファレンス業務等でインターネット上の情報源を利用できるようになる
- 14 年 5 月 〔中央図書館〕「ITブース」として、視聴覚ブースにインターネット用パソコンを 6 台設置、無線 LAN カード貸出により利用提供  
ビジネスルームのインターネット接続を 7 席対応に変更  
朝日新聞記事全文検索データベースを館内 Web-OPAC で利用者に開放
- 17 年 7 月 〔中央図書館〕 日経テレコン 21 を導入  
ビジネスルームのインターネット接続を 12 席対応に変更  
「ITブース」を USB キー貸出に変更
- 18 年 6 月 〔中央図書館〕 江南区電子図書館閲覧端末を韓国語資料の書架横に設置
- 21 年 4 月 〔市川駅南口図書館〕 閲覧席 20 席に情報コンセント（電源、LAN）を設置、フリースポットでの無線接続も可能とする  
外部データベース閲覧端末 3 台を設置、プリントアウトサービスを可能とする

- 10月 [中央図書館] 毎日Newsパック、ヨミダス文書館、聞蔵Ⅱ、ブリタニカのオンラインデータベースを館内Web-OPACで利用者に開放
- 12月 [中央図書館] 障がい者専用パソコンを入替え、インターネット接続で、点訳及びDAISY等の音声資料対応
- 23年11月 [中央図書館] コインベンダー式プリンタ導入  
ビジネスルームにフリースポット導入、無線接続を可能とする  
[行徳図書館] 3階パソコンルームにフリースポット導入、無線接続を可能とする
- 26年4月 [中央図書館・市川駅南口図書館] D1-Law.comを導入
- 6月 [中央図書館] 国立国会図書館「デジタル化資料送信サービス」「歴史的音源」利用開始
- 8月 [中央図書館] 障がい者専用パソコンを入替え
- 27年2月 [中央図書館] 新聞閲覧パソコンに日経ヴェリタス電子版を導入
- 6月 [中央図書館] 国立国会図書館「デジタル化資料送信サービス」の複写サービスを開始
- 8月 [中央図書館] 新聞閲覧パソコンに主要新聞社等のウェブサイト閲覧のための環境を整備
- 29年4月 [中央図書館・市川駅南口図書館] LexisNexisJPの公共図書館への配信中止に伴い、Westlaw.JAPANの試行導入を開始
- 6月 [行徳図書館] 国立国会図書館「デジタル化資料送信サービス」利用開始
- 30年3月 [市川駅南口図書館] ナクソス・ミュージック・ライブラリーの館内視聴開始
- 30年12月 [中央図書館] ビジネスルームの無線LANをPOPCHATに変更。ITブース・CD試聴ブースを調べもの用インターネットブース4席と持ち込みPC利用ブース16席に変更  
座席管理システムでの管理を開始
- 31年3月 [中央図書館・行徳図書館] 館内Web-OPACでデジタルアーカイブ公開
- 12月 新聞閲覧パソコンを終了し、日経ヴェリタス電子版を外部データベース閲覧端末に移設
- 令和  
2年1月 [中央図書館] 江南区電子図書館閲覧端末の設置終了
- 4年6月 [中央図書館] Free Wi-Fiを設置

## ＜参考＞

### ① オンライン・データベース導入一覧

令和4年4月1日現在

	データベースタイトル	中央			行徳			駅南		
		業務	閲覧	視聴	業務	閲覧	視聴	業務	閲覧	視聴
①	朝日新聞クロスサーチ：朝日新聞記事データベース	○	○		○	○		○	○	
②	ヨミダス歴史館：読売新聞記事データベース	○	○		○	○		○	○	
③	毎索：毎日新聞記事データベース	○	○		○	○		○	○	
④	日経テレコン21〔図書館向け〕	○	○		○	○		○	○	
⑤	D1-Law.com：第一法規 法情報総合データベース	○	○		○	○		○	○	
⑥	官報情報検索サービス	○	○		○	○		○	○	
⑦	国立国会図書館「デジタル化資料送信サービス」	○	○		○	○				
⑧	国立国会図書館「歴史的音源」	○		○						
⑨	日経ヴェリタス電子版		○							
⑩	ナクソス・ミュージック・ライブラリー									○

### ② データベース・プリント枚数(令和3年度)

館	枚数	<うち、デジタル化資料送信サービス分>
中央	1,369枚	<879枚>
行徳	38枚	—
駅南	227枚	—

## 10. 令和3年度事業概要

### 概況

#### ・コロナ禍での図書館開館の継続

令和3年度は、4月20日からまん延防止等重点措置の対象区域となり、8月2日から緊急事態宣言の対象区域へと移行した。緊急事態宣言は9月30日で解除されたが、年度上半期の大半の期間は、重点措置下・緊急事態宣言下での図書館運営となった。下半期でも、令和4年1月21日から3月21日での2か月間、まん延防止等重点措置の対象区域となっている。

この間、サービスや施設の利用等を一部制限しつつも、臨時休館や開館時間の短縮等を行うことなく、年度を通して開館を維持できた点は、緊急事態宣言下で2度臨時休館した令和2年度と大きく異なる。

令和3年度の重点措置・緊急事態宣言（千葉県）	
①まん延防止等重点措置	4月20日～8月1日
②緊急事態宣言	8月2日～9月30日
③まん延防止等重点措置	1月21日～3月21日

#### ・感染拡大防止策の徹底とサービス等の段階的復旧

従来の防止策に加え、全館での検温器の設置、混雑時の入館制限ルール策定など、新たな感染拡大防止策も講じた。①まん延防止重点措置及び②緊急事態宣言の期間においては、座席の間隔を開けるため席数の制限（使用率4割）と館内滞在時間30分の制限で対応した。緊急事態宣言解除後は、席数を使用率6割に緩和し、滞在時間の制限なしとした。

令和2年度には中止となっていたイベントは、小規模なものを中心に一部再開したものの、リサイクルブック市などの大規模イベントは中止となり、図書館友の会の活動は1年を通じて休止となった。

全般的に図書館の利用統計の値は、年度を通じて安定的に開館できたことにより、コロナ禍前の水準に向けての回復基調にある。予約統計はコロナ禍以前の値を上回っており、長期化するコロナ禍で図書館の利用の仕方にも変化が生じているとみられる。

#### ・既存サービスの継続・改善と新たな取り組み

市川駅南口図書館の指定管理者の指定期間が令和3年度末で終了することに伴い、令和4年度からの新たな指定管理者更新の手続きを進めた。

公民館図書室では、開館日の増加（西部・曾谷）や、未所蔵リクエストの受付の開始（大野・西部）など、市北部地域での図書館サービスの拡充を図った。

中央図書館の館内イメージ動画や絵本の読み聞かせ動画の配信など、新たな試みにも着手した。電子書籍の導入についても館内での検討を進め、予算要求など、実現に向けての取り組みを本格化している。

### （1）資料収集と利用状況

#### ①図書館の利用状況

令和3年度の図書館及び図書館関連施設（市民図書室・公民館図書室・情報プラザ・ウィズ情報資料室・宅配）の貸出点数は、2,621,164点、延べ利用者数は778,249人であった。

図書館及び図書館関連施設の図書・雑誌・視聴覚資料のリクエスト総数は704,947件であった。

#### ②資料収集

令和3年度の全館の図書費（装備費を含む）は、5,796万円で前年度の約20%減となった。新刊書の購入を厳選し、寄贈図書の活用や予約の多い資料の複本数を抑える等の対策をしながら、必要な資料の収集に努めた。

中央図書館では蔵書構成検討委員会を設置し、年度ごとの収集計画の立案、選定会議の運営、逐次刊行物の選定等を協議している。資料の収集については、「市川市立図書館の蔵書の構築に関する指針」に基づき「市川市図書館分野別資料収集基準」、年度ごとの「資料収集計画」という体系のもとで行っている。また、書架担当制度を設け、各担当で破損本の買い替えや書架整理等、棚揃えの管理を行っている。

選定会議はリクエスト選定会議と新刊図書の選書会議をそれぞれ毎週開催し、未所蔵のリクエスト資料の選定と、購入資料の選定及び全館分の最終的な

選書確認を行っている。

市川駅南口図書館、行徳図書館に続き、令和2年度より中央・信篤・南行徳図書館及び平田図書室でIC機器を用いた蔵書点検を開始した。令和3年度の中央図書館の蔵書点検は1月25日から28日に実施した。

## (2) リクエストサービス

### ①リクエストサービス

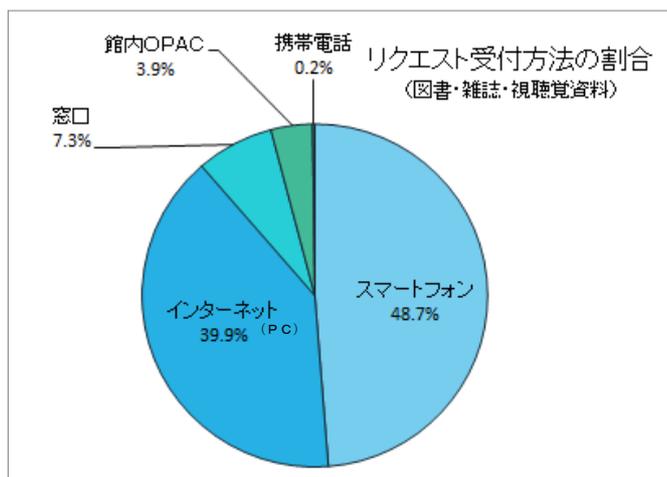
リクエスト受付件数は、コロナ禍でも減少することなく伸び続け、令和3年度は、前年度比118%で増加となっている。

受付方法別では、スマートフォンからの予約がインターネット（パソコン）からの予約をはじめて上回り、手軽にWeb-OPACにアクセスできることが、リクエストの増加の一因と考えられる。

#### リクエスト受付方法別総数

(図書・雑誌・視聴覚資料)

受付方法	件数	前年比
窓口	51,235	139%
インターネット（PC）	281,168	103%
スマートフォン	343,655	129%
館内OPAC	27,371	143%
携帯電話	1,518	94%
合計	704,947	118%



## ②国・県・市町村図書館との相互協力

相互協力の貸出冊数は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため県内各地で休館があった令和2年度は減少していたが、令和3年度は、以前の状況に戻りつつある。とりわけ借用冊数は、リクエスト数の増加に伴い、増加幅が大きい。

令和3年度は大野公民館図書室、西部公民館図書室においても相互協力利用が可能になった。

#### 他自治体への貸出冊数

	令和2年度	令和3年度
千葉県立図書館	122	140
県内 市町村立図書館	3,072	3,557
その他 (県外含)	22	14
合計	3,216	3,711

#### 借受け先別の借用冊数

	令和2年度	令和3年度
国立国会図書館	4	8
千葉県立図書館	710	1,496
県内 市町村立図書館	2,418	4,833
その他	20	28
合計	3,152	6,365

#### 借用冊数館別内訳

	令和2年度	令和3年度
中央図書館	1,288	2,421
自動車図書館	24	156
平田図書室	127	257
行徳図書館	745	1,652
信篤図書館	157	276
南行徳図書館	96	155
市川駅南口図書館	715	1,363
大野公民館図書室	—	78
西部公民館図書室	—	7
合計	3,152	6,365

### (3) レファレンスサービス

令和3年度は、52,489件の質問が寄せられた。新型コロナウイルスまん延防止等重点措置などにより、対面でのレファレンスが困難な期間があったが、メールレファレンスの利用も増加し、全体としては、昨年度より約7,500件増となった。

電話やメールレファレンスも含めて、利用者から受けた質問及びその調査過程・回答は「レファレンス記録票」に記録している。この記録票を基に、実際のレファレンス回答の情報を「新・参考業務月報」として編集し、「レファレンス事例集」としてウェブサイトに掲載するとともに、同じ事例データを、国立国会図書館のレファレンス協同データベースにも提供している。市川市立図書館からのレファレンス事例提供数と事例に対するアクセス数が多かったことから、令和4年2月に、国立国会図書館より市川市中央図書館へ13度目の礼状が贈られた。さらに1年分をまとめて冊子「新・参考業務年報」として市役所内部はじめ関係機関へ配布している。

また、「パスファインダー」の作成を継続し、令和3年度には8点のパスファインダーを作成・配布した。

一般	SDGsについて調べるには	新規
	ジェンダーについて調べるには	新規
	自殺予防について調べるには	改訂
地域資料	市川の地名	新規
	八幡のやぶ知らず	改訂
	市川市に関する浮世絵	改訂
子ども	SDGsについてしらべよう	新規
	絵本で学ぼうSDGs	新規

レファレンスの用に供するため、10種類のオンライン・データベースを導入している。新聞記事検索、官報検索がよく利用され、平成26年度から開始した国立国会図書館デジタル化資料の公衆送信サービスの利用も定着してきた。

#### デジタル化資料複写枚数

年度	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3
件数	1,573	747	1,127	376	566	879

地域館におけるレファレンスについては、中央図書館がバックアップするなどし、様々な市民の資料相談に応えられる体制を整えている。

#### レファレンス受付館別件数

中央図書館	22,526	信篤図書館	1,589
行徳図書館	17,479	平田図書室	1,441
南行徳図書館	2,566	市川駅南口図書館	6,888
合計			52,489

### (4) 関連施設・類縁機関との連携

#### ① 市民図書室

市民図書室は、コミュニティスクールの一環として市内小学校4校に設置され、併設されている学校図書室と読書教育の推進を担ってきた。

平成11年度より生涯学習部生涯学習課から図書館へ所管変更され、現在は中央図書館所管の会計年度任用職員が市民ボランティア（ブラウン方式の貸出返却、本の整理等）の協力を得て図書室の運営を行っている。

また、ボランティアが主体となって、おはなし会、絵本の読み聞かせ会、人形劇、古本市を行うなど、それぞれ地域住民の活動の場として機能している。

なお、稲越市民図書室は須和田の丘支援学校の児童増加に伴う教室不足のため、令和3年3月31日をもって閉室となった。

- ・市立図書館とは別に、それぞれの図書室で（ブラウン方式）貸出の利用登録が必要。その返却は、借りた図書室に限定。
- ・図書館とオンライン化されており、市立図書館の蔵書検索、市立図書館の図書・雑誌の返却や予約の受付・受取ができ、その手続きは会計年度任用職員が行っている。
- ・市立図書館の物流便は毎週水・土曜日に巡回。
- ・令和3年11月1日より図書館利用券の更新サービスを開始した。

#### ② 公民館図書室

市内16の公民館のうち、大野・西部・曾谷・東

部・市川・市川駅南・本行徳の7館に公民館図書室が設置されている。公民館図書室の運営については、公民館を所管する社会教育課が社会教育指導員を配置している。

但し、市北部地域の図書館サービスを拡充するため、大野・西部公民館図書室は中央図書館が所管し、会計年度任用職員が運営している（令和3年度は、大野に再任用1名を新たに配置）。

なお、公民館図書室7室の図書費は図書館が予算化し、選書の審議を行っている。

令和3年度は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、曾谷・東部・市川・市川駅南・本行徳の5室の公民館図書室は、貸出日のみ開室とした。（開室日…開室しているが、窓口が無人のため貸出ができない日がある）。

#### ア. 大野・西部公民館図書室…図書館システムによる蔵書管理

大野公民館図書室は平成28年12月から、西部公民館図書室は平成31年3月から、蔵書管理と利用者管理を図書館システムに一元化しており、市立図書館の利用券で共通に利用できることとし、図書の貸出点数は、市立図書館と同じ20冊までとなった。

市立図書館の物流便は、ほぼ毎日巡回。

- ・平成31年4月からの視聴覚資料の返却可能に続いて、令和3年6月1日から、大野・西部公民館図書室は、視聴覚資料の予約受付を開始した。
- ・令和3年10月1日から、西部公民館図書室は火曜日を開室し、貸出を週6日に拡大した。
- ・令和4年1月5日から、大野・西部公民館図書室は、リクエスト（所蔵しない図書の予約）受付を開始した。

#### イ. 曾谷・東部公民館図書室 …受取拠点

貸出方法は、ブラウン方式（1人2冊）を採用しており、それぞれの図書室で利用登録が必要。その返却は、借りた図書室に限定。

市立図書館システムの端末が設置されており、市立図書館の蔵書検索、市立図書館の図書・雑誌の返却と予約の受付・受取ができる。

市立図書館の物流便は週2回巡回。

- ・令和3年5月1日より、曾谷公民館図書室は木曜日を貸出日とし、週4日に貸出日を拡大した。

#### ウ. 市川・市川駅南・本行徳公民館図書室

貸出方法は、曾谷・東部公民館図書室と同様。市立図書館システムの端末は設置しておらず、市立図書館資料の貸出返却はできない。

市川及び市川駅南公民館図書室は、集会室の不足を補うため、規模が縮小されている。

### ③男女共同参画センター（ウィズ）情報資料室

男女共同参画についての資料の収集と提供を行っている。蔵書と利用者管理を図書館システムに一元化しており、市立図書館利用券で利用できる。また、市立図書館の蔵書を予約・受取も可能。

水・土・日曜日の週3日のみを貸出日として開室。

施設の所管は、総務部多様性社会推進課だが、図書購入費及び会計年度任用職員の人件費は図書館費。

市立図書館の物流便は、毎週水・日曜日に巡回。

### ④いちかわ情報プラザ2階

市立図書館システムの端末が設置されており、市立図書館の図書・雑誌の予約貸出のみを委託業者が行っている。なお、返却は窓口横に設置されている返却ポストに投函。

市立図書館の物流便は、ほぼ毎日巡回。

### ⑤「学校図書館支援センター事業」に参加

公共図書館と学校図書館、また学校図書館が相互に連携し、図書資料や情報を流通させることで、各図書館の所蔵資料を広く有効に活用している。学校での「調べ学習」、読書等の諸活動を活発に展開させ、「自ら学ぶ力」を養い、生涯にわたって学び続ける児童・生徒の育成をめざしている。

#### ア. 参加校数

市川市立の義務教育課程の学校55校（小学校38校、中学校15校、義務教育学校1校、特別支援学校1校）及び幼稚園6園。

## イ. ネットワーク用資料の整備

中央図書館や市内図書館所蔵の資料のほかに、複数の学校からの要望にも対応するため、ネットワーク専用資料10,801冊（令和4年3月末現在）を中央図書館で所蔵している。令和3年度は購入、寄贈等により249冊の受入れを行った。

## ウ. 資料提供

参加校（園）の教職員からの依頼により、各校の学校司書（常勤）・学校図書館員（非常勤）が取りまとめ、公共図書館及び参加校（園）に対してメールで貸出依頼を行う。依頼を受けた側は、自校（館）の資料の中から依頼内容に沿った資料を選び、当該校に貸出をする。配送は、委託業者による週2回・各2台の運搬車が学校図書館支援センターと公共図書館と全校とを結んでいる。

物流回数		70回	
貸出冊数		4,266冊	
依頼件数 479件	内訳	小学校	370件
		中学校	86件
		幼稚園	9件
		特別支援学校	14件

## エ. 指導研究・調整事務

毎年行われる教育センター・指導課共催の公共図書館・学校図書館双方の実務担当者による学校図書館研修会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年度は実施されなかった。

## ⑥大学図書館及び他機関とのネットワーク事業

### ア. 千葉商科大学付属図書館

- ・市川市国府台1-3-1
- ・TEL 047(373)9798

18歳以上の市内在住・在勤・在学の市立図書館利用者は、市立図書館窓口で紹介状の発行を申し込むことで千葉商科大学付属図書館の利用（閲覧、貸出、複写）が可能となり、現年度有効の図書館利用券が発行される。

また、図書館とオンライン化されており、予約図書・雑誌の受取ができる。また、大学付属図書館内に資料返却用のポストが設置されている。

令和3年度は、千葉商科大学が新型コロナウイルス

ス感染拡大防止のため大学関係者以外の入構制限を行ったため、新規紹介状申込み及び予約資料の受取・返却等、連携事業のすべてが中止となった。

### イ. 和洋女子大学 学術情報センター

- ・市川市国府台2-3-1
- ・TEL 047(371)1111（代表）  
047(371)1362（学術情報センター）

市川市在住・在勤・在学の市立図書館利用者は、和洋女子大学学術情報センター（図書館）所蔵の図書を市立図書館の館内で閲覧することができる。市立図書館に所蔵がない図書が対象で、市立図書館のカウンターで申し込む。閲覧期間は2週間以内である。なお、雑誌・視聴覚資料・貴重書・館内閲覧資料は除く。相互の物流は、搬送する図書・文書等があるときのみ、金曜日に中央図書館の物流便で行っている。

令和3年度は、和洋女子大学が新型コロナウイルス感染拡大防止のため大学関係者以外の入構制限を行ったので、図書の貸出・借受けは0件であった。

### ウ. その他

市川市民（在勤含む）が前記以外の大学図書館等を利用する場合、1回（1日）の閲覧ごとに紹介状が必要である。学生の場合は基本的に所属する大学の図書館からの紹介状による。

- 令和3年度に発行した紹介状は、  
日本大学松戸歯学部図書館 1件

## （5）対象別サービス

### ①児童サービス

子どもの発達に応じて豊かな読書体験ができるような児童書の選定・収集に努め、ブックリストやパスファインダーを発行し、子どもたちが本へ関心を抱くようなイベント等を開催している。また、教育センター、こども館など行政各部門と連携し、子どもの読書活動を推進している。

#### ア. 発行物

子どもの年齢や学年ごとにお薦めの本のリストやリーフレットを作成し、配布している。

令和3年度は、「よんであげたいえほん0～2才

②)を追加し、新たに「おばけがきたぞ〜!」「のりものあつまれ〜!!」といったテーマ別絵本リストを作成した。

小学生向けおすすめの本リストである「本のぼけっと」は、基本版1号・2号を増刷し、2021年版を学校等に新たに配布した。

保護者を対象に絵本の選び方を解説した「本のほかほかだより」0〜13号と付録（読み聞かせの本リスト1号・2号）は継続して配布している。また、「新一年生の保護者の方へ」を改訂した。

**イ. 館内特集展示**

こどもとしょかんや、地域館の児童コーナーに季節やテーマに沿った本の展示を行っている。

※(7)②「特集展示」参照

**ウ. 読み聞かせ等**

例年、中央・行徳・信篤・南行徳の各図書館で、絵本の読み聞かせの会などを実施している。令和3年度は、間隔をとり人数を減らす等の感染防止対策を講じながら実施した。

また、絵本や紙芝居の読み聞かせ等の動画を作成し、YouTubeで配信した。※(11)参照

イベント名	館	対象年齢	回数	人数
えほんの会	中央	4歳～小学生親子	14	96
	行徳	0～3歳親子	5	46
	南行	3歳～小学生親子	2	4
	信篤	3歳～小学生親子	中止	
えほんの会ぶらす	中央	4歳～小学生		
おはなし会	中央	4歳～小学生		
	行徳	5歳～小学生		

**エ. 館内行事**

各図書館では、定例の読み聞かせの会のほかに、本に親しみを持ち、新たな本との出会いを創出するイベントを実施している。※(7)③参照

中央図書館では、夏休みの時期にイベント「くま館長からの挑戦状」を行い、本にクイズを貼付し自宅で問題を解いてもらうことで、子どもの本に対する興味を引き出した。

また、共催事業として、公園緑地課の「クロロと

バララとひまわりと」キャンペーンを実施した。

3月19日に開催した「『おばけずかん』の宮本えつよし先生とあたらしいおばけをつくろう!」のイベントでは、市内在住の絵本作家を講師として招き、ワークショップを行った。イベントには小学生27人の参加があり大変好評だった。

**オ. 大型絵本・紙芝居**

団体への貸出利用に限定していた大型絵本と大型紙芝居を、11月から市内在住・在勤・在学の個人利用者にも貸出を始めた。市川東ロータリークラブから大型絵本用書架2台の寄贈を受け、こどもとしょかんのフロアに設置し、利用者が直接手にとり選ぶことができるようにした。

**カ. 出張サービス【中止】**

市内の公立小学校・公立保育園・幼稚園を対象に「出張おはなし会」を行っているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。

**キ. 学級招待【中止】**

クラスや学年単位で図書館に来館した子ども達に対して読み聞かせなどを行っているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。

**ク. まちたんけん・地域学習**

市内の小学生が授業の一環として行う「まちたんけん」「地域学習」として来館した。

館名	学校名	回数	人数
行徳図書館	新浜小学校	3	8
南行徳図書館	南行徳小学校	1	15

**ケ. 学級文庫**

市内公立小中学校等に、対象年齢に応じたセット貸出を行った(学校ネットワーク物流便利用)。

学校種別	貸出冊数	(内特別支援)
小学校	2,160冊	(360冊)
中学校	100冊	(100冊)
義務教育学校	0冊	

**コ. 乳幼児サービス**

中央図書館では、0歳から3歳までの親子対象「わらべうたであそぼう」「らっこの会」を実施しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止し

た。

行徳図書館では「小さい子のためのえほんの会」（3歳までの親子対象）を実施した。

また、市川市版のブックスタート事業「たのしく絵本！はじめの一步」（こども館事業）に選書面などで協力している。

## ②ヤングアダルトサービス

中学生以上19歳までの世代を、児童サービスの対象としてではなく、Young Adult（若い大人）としてとらえサービスを行っている。

中央図書館では、児童書、一般書の枠にとらわれず対象資料を集めたYoung Adultコーナーを、一般書のコーナー（ポピュラーライブラリー）の中に設けている。Young Adultコーナーにおいては3か月ごとにテーマを決め特集展示を行っている。展示ポスターは市内の中学生から募集している。7～9月に絵画ラックでも掲示した。

行徳図書館、南行徳図書館においては、児童サービスの延長として、Young Adult世代向けのサービスを行っている。行徳図書館は、年に4、5回程度テーマを決め特集展示を行っている。資料は、中学生以上向けの児童書である。南行徳図書館ではYoung Adult向け文庫が中心である。

### ア. 発行物

#### ・「Young Adult通信」

Young Adult世代向けのブックリストとして年1回作成。市内公立中学校の全生徒に学校ネットワーク物流便を通じて配布。同内容を図書館のウェブサイトにも掲載している。

#### ・「Young Adult通信 入門編」

Young Adult世代向けの利用案内として図書館内で配布するほかに、5月に市内公立中学校1年生全員を対象に、学校ネットワーク物流便を通じて配布している。

#### ・「Young Adult通信 てっぱんせれくと号」

春休み前に、10代のうちに出会ってほしいおすすめの本のリストを市内公立中学校2年生全員を対象に、学校ネットワーク物流便を通じて配布している。

#### ・「Young Adult通信 号外 新生活応援号」

春休み前に、卒業する中学校3年生対象のおすすめの本のリストを各図書館内で配布している。

### イ. イベント

#### ・YA“夏季”氷本

8月に中学生以上の19歳までの方に、涼しく感じられる本を、ホラー系とクール系に分け、かき氷のイラストをつけて、1冊ずつ包んで貸出を行った。用意した22セットは、すべて貸出された。

#### ・YA図書館本A-Z

12月～1月に中学生以上の19歳までの方に、特におすすめの本にアルファベットのAからZまでのしるしをつけ、1冊ずつ包み中身を隠して30セット用意して、すべて貸出された。

#### ・金融・保険セミナー（小学校高学年～中学生向け）

3月29日に市が包括連携協定を結んでいる明治安田生命保険相互会社との共催事業として開催した。お金の使い方や保険についての講義の後、図書館から本の紹介も行った。4組8人の参加があり、好評だった。

### ウ. 学校との連携

市内公立中学校（第三中学校、福栄中学校、第一中学校、第七中学校）及び千葉県立市川東高等学校から校内で作成した本のPOP等を借用し、各校約2～3か月の期間でYoung Adultコーナーや絵画ラックで本とともに展示した。一緒に展示した本は、常に貸出され好評だった。

また1月に、不二女子高等学校にて、2年生に図書館利用のガイダンスを行い、利用券の新規登録を129件受けた。

## ③障がい者サービス（図書館利用に障がいのある利用者へのサービス）

図書館を利用する上で心身等に何らかの障がいがある方を対象として、それぞれの状況に応じ、図書館を利用しやすいように配慮したサービスを提供することを目的とする。

一般の図書の形態（墨字資料）での読書が困難な

方に対して、点字図書、DAISY図書、大活字図書、CDブック、布の絵本・布のおもちゃ、LLブック等を、購入やボランティア団体の製作によって蔵書として提供している。音訳図書、文芸カセットについては、資料の経年劣化を踏まえ、他媒体での補完も可能であることから令和元年3月末で提供を終了した。

中央図書館障がい者サービス室にはインターネット閲覧用パソコン（音声読み上げ可能）、DAISY図書再生機、拡大読書器、音声読書器などの機器類を、中央図書館案内カウンター・レファレンスカウンターには聞こえをサポートする対話支援機器 comuoon（コミュニケーション）を、行徳図書館には拡大読書器をそれぞれ備えている。

来館困難者へのサービスは、郵送貸出や代理人貸出による資料の提供を行っている。視覚障がい者に対しての対面朗読は新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年4月より中止している。

布の絵本・布のおもちゃ及びマルチメディアDAISY図書の利用の促進を図るため、市内公立小・中学校の特別支援学級並びに須和田の丘支援学校・県立市川特別支援学校を対象に案内パンフレットを配布し、学校ネットワークを通して貸出を行っている。

障がい者サービス登録者数

障がいの状況・種別	累積登録者数（うち年度新規）
視覚障がい者	101（0）
聴覚障がい者	146（0）
内部疾患・肢体不自由者	163（3）
外来困難者・その他	108（3）
合計	518（6）

#### ④外国人利用者へのサービス

国際化社会に対応した多文化サービスの実現を目的とする。市川市に居住する外国人を図書館サービスの対象者として明確にとらえ、日本での生活・学習・娯楽等に役立つ図書や行政機関による外国人向けの資料を重点的に収集している。

令和3年度は英語図書112冊、その他の西洋言語10冊、中国語図書58冊（いずれも児童書含む）の新規

購入を行った。

#### ア. 楽山市図書コーナー

平成13年、友好都市締結20周年にあたり、楽山市から中国語図書約300冊の贈呈を受けて設置したが、経年による本の劣化等により、平成18年にコーナーを終了し、従来の中国語資料の中に収めた。

#### イ. 原州市寄贈韓国語資料

市川市と同じく健康都市連合に加盟している大韓民国江原道原州（ウォンジュ）市へ、市川市から5冊の贈呈を行った。

#### ウ. 逐次刊行物（市内全館所蔵タイトル数）

雑誌 英語 9  
新聞 英語 3 / 中国語 1 / 韓国語 1

### ⑤団体へのサービス

#### ア. 団体としての利用

読書活動に関わる団体及び市内福祉施設・学校等で図書館資料を利用する団体へのサービス。

##### ・登録・貸出

市川市内在住・在勤・在学者を主な構成者とし、利用に際し継続性があり図書館資料を営利目的として利用しないことを登録要件とし、更新は年度ごと。

貸出日	図書：31日	CD：15日
貸出期間	図書：無制限	CD：3点
予約 (窓口のみ)	1日5タイトル、累計20点まで 新規資料の購入はしない	

##### ・活動場所の提供

中央図書館では、図書館関連5団体に活動場所として集会室・サークル室を提供している。

#### イ. 読書会サポート

##### ・資料の提供

読書会で使用するため同タイトルの資料が複数必要となる場合は、市内図書館の所蔵冊数内で希望冊数を用意する。原則として受取希望日の3週間前から予約を受け付ける。

千葉県立図書館において「十冊文庫」の名称で読書会向けに同じタイトルの本が10冊ずつ準備さ

れており、市立図書館を窓口にして取り寄せる。

登録団体数・貸出冊(点)数

年度	登録団体数	貸出冊(点)数
令和3年度	36	4,291
令和2年度	30	2,954
令和元年度	62	6,461

## (6) 資料別サービス

### ①地域資料

#### ア. 地域行政資料と市民文庫

地域行政資料（市川市、千葉県に関する資料）の収集、整理を行った。地域行政資料は、市川独自の地域区分、資料分類を付与し、地域の歴史を後世に伝えるため永年保存としている。

中央図書館では絵画ラックやガラスケースを利用して地域に関連する展示を行った。

5～6月に、「ジュンサイを残そう市民の会」によって、絵画ラックでは、写真展『じゅん菜池 生きものアルバム』が開催され、ガラスケースでも「市川市内及び日本を代表するトンボ」として、トンボの標本などの展示が行われた。また、9～10月のガラスケースでは、市民文庫で収集している山下清の画集や絵葉書から、よく知られている花火や夢などの貼絵を展示した。2月には、地域資料パスファインダー「市川市ってどんな街？3 市川市に関する浮世絵」の改訂版をもとに、絵画ラックで「浮世絵に描かれた市川」の展示を開催した。

#### イ. 特別コレクション（永井荷風・東山魁夷・星野道夫・渡邊二郎の著作及び関連著作）

特別コレクションは論文や記事、新刊書から古書まで積極的に収集し、整理を行った。

12月～1月の絵画ラックでは、「東山魁夷の冬」の展示を行ったほか、1～2月には、特集展示「冬を楽しむ」に合わせ、ガラスケースで冬に関する星野道夫の写真集と東山魁夷の画集を展示した。

### ウ. 電子化とウェブサイトによる情報発信

地域資料パスファインダー「市川市ってどんな街？」の6として、「市川の地名」を新たに作成し、ウェブサイトでも公開したほか、2「八幡のやぶ知らず」、3「市川市に関する浮世絵」を全面改訂し、ウェブサイトも更新した。

データベース端末では、房総蜻蛉研究所・行徳トンボ研究室よりデータの寄贈を受けた「トンボ通信」を創刊号から順次公開し、閲覧できるようにした。

また、「市川の音楽」として、「市川市歌」「行徳音頭」「新中山音頭」「新・市川音頭」「市川讃歌」をデータベース端末で聞くことができるようにした。

### ②視聴覚資料

中央図書館ではCD・ビデオ・DVD、行徳図書館ではCD・DVD、市川駅南口図書館ではDVDを所蔵している。

#### ア. 視聴覚資料（CD・広報ビデオ・DVD）の提供に関すること

貸出点数は、1人CD3点、DVD2点（試行）。貸出期間は、貸出日を含む15日間。視聴覚資料の貸出対象及び試聴コーナーの利用対象は、中学生以上の市内在住・在勤・在学者。

#### イ. 試聴コーナーに関すること

[設置台数]

- ・中央図書館：CD用（2台）

（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年4月より利用を中止）

### ③その他

中央図書館のビデオ架の場所に、健康都市推進課の協力で「SDGsってなんだろう？ SDGsブックコーナー」を8月から設置した。

同じくビデオ架に令和2年6月から設置した、人気時代小説作家のコーナーは、好評につき作家数を15名に増やして継続している。

## **(7) 主催事業**

### **①リサイクルブック市【中止】**

図書館の不用図書、雑誌など（除籍資料及び寄贈資料のうち既に所蔵しているものや資料収集方針に沿わない等の理由で受け入れないもの）を有効に再活用するため、利用者は無償で提供するリサイクルブック市を開催している。

中央図書館では市川市生涯学習センター内グリーンスタジオを、行徳図書館では行徳公民館レクリエーションホールをそれぞれ会場として、「市川図書館友の会」の協力により開催。平成14年度より「市川図書館友の会」が図書館支援のための募金活動を行っている。

そのほかの図書館においても、小規模であるがリサイクルブック市の単独開催、またはリサイクルコーナー設置を行っている。

令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全図書館で開催を見合わせた。

## ②特集展示

中央図書館特集展示 一般フロア [ ]は連携先

展示月	展示1	展示2	小展示・臨時展示	ガラス展示	絵画ラック
4月	自宅で楽しむ 鉄道旅行	3.11復興の10年 これから先の未来へ	東日本大震災関連 [岩手 宮城 福島] 関連パンフレット他	パンフレット/写真集展示	ポスター展示
5月		身近な自然を感じて [ジュンサイを残そう 市民の会]	アクアリウム	トンボ標本 「市川市内及び日本 を代表するトンボ」 [ジュンサイを残そう 市民の会]	『じゅん菜池 生き ものアルバム』 [ジュンサイを残そう 市民の会]
6月	海、 共に生きるひと				
7月		納涼 [環境政策課]	夜空	Y Aポスター展 [市内中学校]	
8月	ぐるぐる 旋風・渦巻・回転				自殺予防 [健康支援課]
9月		家族の時間 [こども家庭支援課]	芸術の秋	名著復刻版	
10月	音楽を楽しむ				市川を愛したゆかり の作家 [文学ミュージアム]
11月		学校にまつわるetc.	子どもの環境	冬を楽しむ(東山魁 夷・星野道夫作品)	
12月	冬を楽しむ				冬を楽しむ(東山魁 夷・星野道夫作品)
1月		セカンドライフ	育ててみよう	終活	
2月	芽吹き				浮世絵に描かれた 市川
3月		ビアトリクス・ ポター			

健康都市推進課の協力で「SDG s ってなんだろう? SDG s ブックコーナー」

SDG s (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)は、2016年から2030年までの15年間で、社会分野、経済分野、環境分野の問題を解決することを目指した世界共通の目標。

各分類、児童書から本を選び、元ビデオ架(展示10)で8月から開設。



中央図書館 ヤングアダルト・コーナー [ ]は連携先

展示月	特集タイトル (ヤングアダルト)
5月～6月	あなたはどっち派 動物?植物?
7月～9月	水
10月～12月	M u s i c
1月・3月	明日何食べる?
7/13(火)～9/29(水)	第三中学校生徒作成ポスター・POP展示 [第三中学校]
10/1(金)～12/26(日)	福栄中学校生徒作成ポスター・POP等展示 [福栄中学校]
1/5(水)～2/24(木)	第一中学校・第七中学校生徒作成ポスター・POP展示 [第一中学校・第七中学校]
2/26(土)～4/28(木)	市川東高等学校生徒作成POP展示 [市川東高等学校]

中央図書館特集展示 こどもとしょかん [ ]は連携先

展示月	メイン展示	ガラスケース (フロア側)	ガラスケース (メイン展示側)	ロビー側	小展示	一般展示塔
4月	わくわく・どきどき	はるがきたよ	赤羽末吉 生誕111年	ありがとう 安野光雅さん /母の日	入園・入学	ありがとう 安野光雅さん
5月				父の日/ありがとう エリック・カールさん	こどもの日	
6月	あしたのてんきは なあに？	なつがきた	ありがとう エリック・ カールさん	かこさとしのせかい [文学ミュージアム]	—	エリック・カール
7月					七タ/ひまわり	
8月	本のぼけっと大集合	あきがきたよ	ありがとう 那須正幹さん	和田誠の本	くま館長からの挑戦状	かこさとし
9月	むかしむかし				おじいちゃん おばあちゃん	
10月		クリスマス	クリスマス	クリスマス	ハロウィン	那須正幹
11月	ハロウィン/宮澤賢治 生誕125年 [芳澤ガーデン ギャラリー]				—	
12月	ふゆがきたよ	クリスマス	クリスマス	—	クリスマス	
1月	おしごと はっけん	災害と防災	ゲーム-今と昔-	とらの本		干支の本
2月					とらの本	ゆき
3月	だいすきともだち	宮本えつよし氏作品展示		松岡享子さん ありがとう	ひなまつり	アーノルド・ローベル

行徳図書館特集展示 三階 一般フロア [ ]は連携先

展示月	メイン展示	小展示
4月	忘れない 東日本大震災から10年	—
5月	渋沢栄一と日本近代経済のあけぼの	—
6月		聖徳太子 千四百年遠忌
7月	アメリカ同時多発テロから20年 —平和を模索する世界—	知の巨人 立花隆の仕事
8月		もっと知りたいオリンピックパラリンピック
9月	読書の秋	みんなが笑顔でいられますように (自殺予防週間) [健康支援課]
10月		没後40年 向田邦子いまふたび
11月	発明・発見ものがたり	瀬戸内寂聴 九十九歳の往生
12月		—
1月	雪の世界	—
2月		追悼 石原慎太郎 西村賢太
3月	疑問形タイトル大集合	西村京太郎 ミステリー列車に乗ろう

行徳図書館特集展示 二階 児童・ヤングアダルト

展示月	メイン展示	サブ展示	小展示	季節の展示	ヤングアダルト
4月	すごいぞ!	あま〜いおはなし	—	—	部活小説
5月	数のでてくる本	ともだちだよ!		こいのぼり	
6月		雨		たなばた (7/7まで)	
7月	夏	スポーツと 世界の国々	かこさとしの世界	あつい夏の日 に 平和を考えよう	ようこそ ミステリーの 世界へ
8月		本の中でぼうけん しよう	おさるの ジョージとH.A.レイ	月	
9月	きつねがいるよ	—			
10月	メリークリスマス	家族でたのしく お正月ととらの本		ハロウィン	
11月	宇宙へとびたとう	鬼	田島征三と 田島征彦	—	音の世界
12月		ゆき		ありがとう松岡享子さん ひなまつり	
1月		春ですね		いろいろたまご	

信篤図書館 特集展示

展示月	一般	児童
4月	おうちで〇〇しょう	はるだよ
5月	聖徳太子とその周辺	おかあさんがいっぱい おとうさんがいっぱい
6月		
7月	スポーツを楽しむ	なつの本／本のぼけっと／課題図書
8月		
9月	日本の美	まじよ や まほう
10月		
11月	家族と子育て	かぞく
12月	年末・年始お役立ち本	クリスマス
1月	鎌倉時代を知ろう	おしょうがつ／さむいつめたい
2月		さむいつめたい
3月	気象と防災	はる

南行徳図書館 特集展示

展示月	一般	児童	
4月	お金と税金	ことばあそび	はるだよ～
5月	市川市にゆかりの ある方々		雨
6月			
7月	SDG s	さがせ、さがせ！	夏／課題図書／本のぼけっと
8月			
9月	芥川賞・直木賞 本屋大賞	かぞくっていいね	秋
10月			
11月	家族	ふゆ	クリスマス
12月	年末年始		
1月	夢	ふゆ	お正月・干支（とら）
2月			よるのほん
3月	チャレンジ	ともだち／幼稚園・保育園・小学校	本のぼけっと基本版／新一年生におすすめの本

平田図書室 特集展示

展示月	一般	児童
4月	映画・ドラマになった本	ともだち
5月		そだててみよう花・やさい
6月	日本の文化・芸術・伝統・風習	そらをみあげて
7月	新型コロナ・感染症・免疫等に関する本	課題図書
8月		
9月	「食」について考える	大きなものはなし
10月	家族	くだものいっぱい
11月		たいせつなかぞく
12月	年末・年始に関する本	クリスマス
1月	本屋大賞の受賞作品	とらどし・おしょうがつ
2月	おいしいものを美味しく	おくりもの
3月	春、ちょっと心身のリフレッシュ	春がくる

### ③その他イベント

#### 講座

開催日	館名	講座名・内容	人数	講師・連携先等	場所
3/19(土)	中央	『おばけずかん』の宮本えつよし先生と あたらしいおばけをつくろう！	27人	絵本作家 ・イラストレーター 宮本えつよし氏	メディアパーク 第1・2研修室
3/29(火)	中央	金融・保険セミナー (小学校高学年～中学生向け)	8人	明治安田生命	メディアパーク 地下集会室

#### おすすめの本等のイベント

開催日	館名	イベント名	貸出数	内容
8/13(金)～22(日)	中央	「YA“夏季”氷本」YA向け	22セット	本を包んだり袋に詰めたりして、何の本が入っているか見えない形で貸し出す
12/18(土)～1/10(月)	中央	「YA図書館本A-Z」YA向け	30セット	
1/5(水)～10(月)	中央	「ほんの福袋」一般向け	195セット	
1/5(水)	中央	「ワクワクいっぱいふくぶくろ」子ども向け	100セット	
1/5(水)～8(土)	行徳	「福袋」	65セット	
1/5(水)～7(金)	信篤	「福袋」子ども向け	14セット	
1/5(水)～7(金)	南行徳	「福壱」一般向け	10セット	
1/5(水)～6(木)	南行徳	「本のふくぶくろ」子ども向け	20セット	

### ④館内行事／児童・ヤングアダルト

開催日	館名	児童行事名	人数・貸出数
7/21(水)～29(木)	中央	くま館長からの挑戦状	120冊
9/17(金)、9/24(金)、 10/5(火)、11/25(木)、 12/2(木)、12/16(木)	中央	こどもとしょかんミニ農園 (ゴーヤ・インゲン・小カブ収穫)	延べ25人
12/18(土)	南行徳	冬のおたのしみ会	2人

## (8) 市川駅南口図書館自主事業 (指定管理館)

### ① 展示

展示月	ギャラリー展示	一般展示	ビジネス展示	健康医療展示	児童展示
4月	和洋女子大学服飾造形学科 卒業制作写真展	新書を手に 新生活!	新しいビジネス	女性が気を つけたい病気	さいた さいた
5月	筑波大学附属聴覚特別支援学校 高等部専攻科造形芸術科生徒作品展	おうち時間を もっとたのしく こちよく	ピンチはチャンス	メンタルケア ～心に手を さしのべよう～	のりもの 大集合!
6月	まちづくり家づくり Café Ichikawa 文人たちの愛したまち市川 そして くろまつ	聴く音楽 読む音楽	経済学・経済用語 の基礎知識	家族を 支える。	雨ぼつぼつ
7月	ひとりで歩いて絵を描いて 百田稔作品展	家	デジタルの刃	お家で運動・ ストレッチ	星座を さがそう
8月	行徳自然ほごくらぶ 意外と近くにいるかもね	涼しくなる本	イノベーションを つくる	子育て応援! 夏を乗り切ろう	わくわく キャンプ
9月	プレーパーク写真展 ～子どもたちにもっと外遊びを!～	言葉の森を 散策しよう	職業を知ろう	えきなん クリニック小児科	からだの ふしぎ
10月	2021 エドロックの足跡 ～商大生がつなぐエドロックの形～	書く かく 描く	お悩み相談室	えきなん クリニック 眼科	秋の音楽会
11月	市川赤レンガ建物と町並みの再創造 国府台を歩いて考える	「私のおすすめの 一冊」 セレクション2021	ファシリテーター になる!	えきなん クリニック 整形外科	大きく なったら なりたいな
	日本を築いてきたレンガたち まち かどの近代建築写真展 in 市川VII				
12月	市川写真家協会アマ部門 IPPS クラブ作品展傑作アラカルト	1mmだって動きた くない。だけど、 お腹が減った。	ビジネスコミュニ ケーションスキル を身につけよう	えきなん クリニック 歯科	クリスマス
1月	日台聾学校美術交流展	文化史・人類史 から見る 資本主義のゆくえ	第二の人生 副業	えきなん クリニック耳鼻科	2022年寅年
2月	和洋女子大学服飾造形学科の 学びと活動の記録展	おとなの自由研究	プランニング	えきなん クリニック 人間ドック科	寒さにだっ て負けない ぞ!
3月	筑波大学附属聴覚特別支援学校 高等部専攻科造形芸術科生徒作品展	世界各国、 文学の旅	新社会人のイロハ	免疫力 あげましょう!	もうすぐ 春ですね

### ② 講座

開催日時	講座名	人数	講師	場所
5/22(土) 13:30～14:30	モチ英語講座 (Zoom開催)	40人	英会話講師 神林サリー氏	館内等より配信
6/19(土) 10:00～11:00	ナクソス・ミュージック・ライブラリー使い方講 座 Part.2「ナクソス・ミュージック・ライブラ リーで聴き比べ」(Zoom開催)	10人	ナクソス・ジャパン(株) 荻生哲郎氏	館内等より配信
9/23(木) 13:00～14:30	無料で簡単に作れるホームページ教室 (Zoom開催)	29人	かもめ IT 教室 岩間麻帆氏	館内等より配信
10/23(土) 10:30～11:40	ビジネスに役立つ! ボールペン美文字講座 (Zoom開催)	9人	書道教室かなで組 北村多加氏	館内等より配信
2/27(日) 10:00～11:30	すこやかに過ごすための公衆衛生の基礎ちしき (Zoom開催)	6人	和洋女子大学看護学科 新谷奈苗教授	館内等より配信

### ③ イベント

開催日時	イベント名	人数	講師等	場所
3/23(火)-4/29(木)	和洋女子大学日本文学文化学科 「中高生にすすめる一冊」		資料の展示 リーフレットの配布	市川駅南口図書館
4/24(土) 10:00~10:30 11:00~11:30	親子でうたってあそぼう てあそびわらべうた (Zoom開催)	親子5組 親子2組	(株)ヴィアックス 神保和子氏	館内等より配信
5/7(金) 15:00~19:00 5/8(土)-9(日) 10:00~17:00	千葉商科大学サービス創造学部 リラックスサービス・プロジェクト 「ぴったりの本をさがしにいこう」	134人	千葉商科大学学生 市川駅南口図書館職員	市川駅南口図書館
6/24(木)-27(日) 10:00~16:00	市川で育ったオオムラサキ観察会	797人	NPO 法人 市川にオオムラサキを生息させる会	市川駅南口図書館
7/1(木)-7(水)	七夕飾り	127人	利用者記入の短冊飾りの展示	市川駅南口図書館
7/30(金) 9:30~11:30 13:30~15:30	夏休み一日図書館員	小学生4人 中学生3人	市川駅南口図書館職員	市川駅南口図書館
7/31(土)-9/29(水)	和洋女子大学日本文学文化学科 Sereal 連携 「市川文学散歩」		作品解説などの展示 冊子の配布	市川駅南口図書館
8/14(土)-29(日)	はてなポストにきいてみよう! (質問・回答の掲示)	16人	行徳自然ほごくらぶ 市川駅南口図書館職員	市川駅南口図書館
11/2(火)-28(日)	私のおすすめの一冊(投稿文の掲示)	48人	利用者投稿	市川駅南口図書館
12/28(火) 13:00~14:00	えきなん冬のおたのしみ会(人形劇)	22人	劇団員の火	市川駅南口図書館
1/23(日) 19:00~20:30	新春えきなん寄席 (Zoom開催)	19人	音曲: 桂小すみ氏 落語: 雷門小助六氏 桂伸び太氏	館内等より配信
3/20(日) 13:00~14:20	オンラインプラネタリウム 身近な天体「月」を目指そう! (Zoom開催)	36人	(株)アストロコネク 荒井大作氏	館内等より配信

### ④ 刊行物

タイトル	形態	刊行頻度
駅南だより Vol. 71~74	A4両面色刷・二つ折り1枚(A5サイズ)	4回/年
きらきらつつしん 子ども向け No. 47~50	A4両面色刷・二つ折り1枚(A5サイズ)	4回/年
えきなん音楽だより Vol. 1~4	A4片面色刷・1枚	4回/年
市川駅南口図書館パスファインダー(調べ案内) ・「健康医療」について調べる ・「市川市」について調べる 改訂 ・「災害情報」について調べる 改訂 ・「クラシック音楽」について調べる 改訂 ・「就職に役立つ情報」を調べる 改訂 ・「相続」について調べる 改訂 ・「世界の国々の情報」について調べる 改訂	A3両面印刷・二つ折り1枚(A4サイズ)	随時
私のおすすめの一冊	A5版 製本冊子 33p	1回/年

## (9) 委員会等

### ① 研修委員会

#### ア. 図書館サービス外部研修

千葉県公共図書館協会、その他外部機関等が主催する図書館サービス関連の研修には、職員・会計年度任用職員（フルタイム）が参加している。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、オンラインで開催されるものも含めて、現地へ参集しての研修は4件（4日）、オンライン・遠隔研修は9件、延べ13人が参加し、研鑽に努めた。

#### イ. 異動者対象研修

異動してきた職員等8人に、図書館業務の基本と市川市の図書館についての研修を4月2日に実施した。

#### ウ. 窓口研修

職員・会計年度任用職員（フルタイム）を対象にインフォメーションカウンター、レファレンスカウンターの業務についての研修を2月25日に実施し、12人が参加した。

#### エ. 図書館実習

8月5日から12日にかけて、白百合女子大学の大学生1人を対象に図書館実習を実施した。

また、9月8日から12日に、インターンシップの大学生（千葉経済大学短期大学部2人）を受け入れた。

### ② 広報委員会

#### ア. 図書館刊行物・図書館ウェブサイトの作成

図書館ウェブサイトは10月29日よりリニューアルし、スマートフォンやタブレット端末からも快適に閲覧できるレスポンシブサイトで作成したほか、ウェブアクセシビリティにも配慮している。

また、情報発信手段の一つとして、YouTube動画を新たに活用し、ドローンで撮影した中央図書館の紹介動画「中央図書館イメージ映像」（本編）（ショートカット編）の2本、及び以前から市の公式ウェブサイトでアップされていた「図書館の使い方」を図書館ウェブサイトにアップした。

その他図書館からの情報発信として図書館Facebookを利用して、展示資料の紹介や図書館からのお知らせ等をほぼ毎日行っている。

#### イ. イチカワアイズ

市川市職員の仕事に密着取材して、その仕事を徹底的に掘り下げ、職員たちの仕事にける想いを語るYouTubeの市川市公式チャンネル連載企画「イチカワアイズ ～市川市のプロフェッショナルたち～」で、中央図書館が6番目に取り上げられた。

（撮影：2022年1～3月 公開：5月）

#### ウ. マスコミへの情報提供

各新聞社（市役所記者クラブ）や地域のコミュニティペーパー・放送局への情報提供を行った。

#### エ. オリジナルグッズの配布・販売

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から図書館サービスを縮小しているため、販売は昨年を引き続き中止した。

#### オ. イベントの開催

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、昨年に引き続き一般を対象としたイベントの開催は福袋等を除き中止した。

### ③ 蔵書構成検討委員会

#### ア. 資料収集・蔵書構成に関する検討

- ・「令和3年度市川市図書館資料収集計画」を策定し、収集計画に基づいた資料収集を行った。
- ・中央図書館では書架担当制とし、担当による資料の更新（買い換え、除籍等）を行った。
- ・個別検討が必要な資料についての対応。
- ・雑誌の休廃刊に対する対応。
- ・新刊書の購入に関する選書会議の実施（毎週）。

#### イ. 資料費の配分と調整

- ・全館の資料費の配分計画を作成・執行。
- ・資料費の執行庶務。

#### ウ. 蔵書点検・館内整理の計画と実行

中央図書館では、毎月末の館内整理日のほか、1月25日から28日に特別休館期間を設け、蔵書点検や図書整理を行った。

#### エ. 特集展示の計画の立案と実施

- ・特集展示は年間計画を立てて実施。
- ・市役所内部はじめ関係機関との連携による展示を実施。

- ・時節に臨機応変に対応した展示を実施。

#### ④その他 千葉県公共図書館協会の委員

- ・職員理事 主幹 1名
- ・協会誌編集委員会 副主幹 1名
- ・児童奉仕研修委員会 副主幹 1名

### (10) 図書館刊行物

タイトル	形態	刊行頻度
市川市の図書館 2021	A4・製本冊子124p	1回/年
市川図書館だより 第107号 「コロナ禍のいま、”感染症”について知る」 第108号 「図書館でみんなの疑問を解決しよう！」 第109号 「図書館WEBサイトがリニューアル！」	A3両面印刷・二つ折り1枚 (A4サイズ)	随時
新・参考業務月報 2021年4月号～2022年3月号	A4両面印刷・1枚	1回/月
新・参考業務年報 2020	A4・34枚ホチキス綴じ冊子	1回/年
地域資料レファレンス 市川市ってどんな街？ 6. 市川の地名 2. 八幡のやぶ知らず 改訂 3. 市川市に関する浮世絵 改訂	A3両面2枚とA4両面1枚 (A4・10p) A3両面印刷・二つ折り2枚 (A4・8p) A3両面印刷・二つ折り2枚 (A4・8p)	随時
市川市中央図書館調べ案内 27. SDGsについて調べるには 28. ジェンダーについて調べるには 14. 自殺予防について調べるには 改訂	A3両面印刷・二つ折り1枚 (A4サイズ) A3両面印刷・二つ折り1枚 (A4サイズ) A4両面印刷・1枚	随時
各種利用案内 2. 本を返せる場所のご案内 改訂 2-2. 自動車図書館「みどり号」 改訂 3. 関連施設のご案内 改訂 4. 予約サービス案内 改訂 9-1. 外部データベースとインターネット情報源 改訂 9-2. 館内インターネット接続利用サービス 改訂	A3両面印刷・二つ折り1枚 (A4サイズ) A4両面印刷・1枚 A4両面印刷・1枚 A3両面印刷・二つ折り1枚 (A4サイズ) A4両面印刷・1枚 A4両面印刷・1枚	随時
小学生向き読み聞かせの本リスト2 (本のほかほかだより付録 2020年7月)	A4両面印刷・二つ折り (A5サイズ)	随時
Young Adult通信 第82号 「2021年度YA PRポスター展」 号外 (入門編) 改訂 号外 (てっぱん・せれくと号) 改訂 号外 (新生活応援号) 改訂	A4両面印刷・1枚 A4両面印刷・1枚 A4両面印刷・三つ折り リーフレット A4両面印刷・三つ折り リーフレット	1回/年
よんであげたいえほん 0～2才② テーマ別リスト「おばけがきたぞ～！」 テーマ別リスト「のりものあつまれ～!!」	A4両面印刷・三つ折り リーフレット A5両面印刷・1枚 A5両面印刷・1枚	随時
本のぼけっと 1・2年生におすすめする本 2021 3・4年生におすすめする本 2021 5・6年生におすすめする本 2021	A4両面印刷・1枚	1回/年
市川市こどもとしゃかんバスファインダー 5-1. SDGsについてしらべよう 5-2. 絵本で学ぼうSDGs	A3両面印刷・二つ折り1枚 (A4サイズ)	随時

## (11) 図書館作成動画

タイトル	参考資料
絵本「曾谷の百合姫」	「曾谷の百合姫」 中津攸子／文，唐沢静／え（すがの会 2007. 11）
紙芝居「塩じいさん」	「塩じいさん」 南崎晶子／作，茜之介／絵（オフィス坂井 2019. 4）
環境紙芝居「りゅうた君のクリスマス」	「りゅうた君のクリスマス」 環境政策課／作・絵（市川市環境政策課 2016. 12）
絵本「真間の手児奈」	「真間の手児奈」 中津攸子／文，唐沢静／絵（すがの会 2008. 8）
環境紙芝居「りゅうた君の豆まき」	「りゅうた君の豆まき」 環境政策課／作・絵（市川市環境政策課 2017. 2）
くま館長がチョコケーキ作ってみた！	「マグカップでまぜるだけふわふわケーキ」 宮沢うらら／著（汐文社 2021. 8）
絵本「奉免の常盤井姫」	「奉免の常盤井姫」 中津攸子／作，唐沢静／絵（すがの会 2009. 7）
環境紙芝居「りゅうた君のお花見」	「りゅうた君のお花見」 環境政策課／作・絵（市川市環境政策課 2017. 4）
中央図書館イメージ映像（本編）	ドローン撮影による紹介動画（2021. 11. 29撮影 2021. 12. 16～公開中）

## (12) 視察・講師派遣等

令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、視察及び講師派遣依頼等は無かった。

## (13) 市川市立図書館関係記事一覧

### 図書館紹介記事

記事見出しタイトル 【コラム名】
『掲載紙』 掲載年月日 巻号 （出版社 刊行年） 掲載ページ
市立図書館から見た学校とのネットワークシステムの紹介【人をつなぐ未来へつなぐ】 『市川よみうり』2021年8月28日（土） 2087号 2面
市川市中央図書館 SDGs コーナー開設 『市川よみうり』2021年9月4日（土） 2088号 1面
市川登場の文学作品など紹介 和洋女子大の学生たち市川駅南口図書館とWebで 『市川よみうり』2021年9月25日（土） 2091号 4面

## (14) 市川市立図書館関係テレビ番組等一覧

### 映画・テレビ番組一覧

放送日	放送内容	撮影日	撮影地
2021/5/26（水）	BSテレビ東京（BS7チャンネル）「ワタシが日本に住む理由」	2021/4/23（金）	中央図書館
2021/6/27（日）	テレビ東京 「緊急SOS！池の水ぜんぶ抜く大作戦」に画像提供	資料提供のみ	
2021/11/30（火）	NHK BS1「奇跡のレッスン」	2021/8/26（木）	
2022年5月	Huluオリジナルドラマ 「あなたに聴かせたい歌があるんだ」	2021/11/22（月）	
2022/11/23 公開	映画「母性」	2021/4/26（月）	

### 市川市 Youtube 公式チャンネル

2020/8/27～公開中	図書館の使い方（ICセルフ貸出機とセルフ予約棚）	2020/3/29（日）	中央図書館
2021/12/20～公開中	（ドローンによる）中央図書館イメージ映像（ショートカット編）	2021/11/29（月）	
2022/5/11～公開中	イチカワアイズ ～市川市のプロフェッショナルたち～ No.006 中央図書館	2022/1/26（水） 2022/3/2（水）	

## (15) デジタルアーカイブ

### ① 館内パソコン公開資料

DB-PC…データベース専用端末 Musetheque V4…キーボード使用の Web-OPAC

タイトル	出版社・出版年	書誌番号	DB-PC	Musetheque V4
市川市全地図	市川市役所 1954	1102420761	○	
市川市全図	大日本学生連盟 1935	1102249236	○	
市川市教育要覧 市川市教育要覧図	市川毎日新聞社 1953	1102249237	○	
市川驛 東京近傍第三号 (第一軍管地方迅速測図)	参謀本部陸軍部測量局 1897	1101410569	○	○
国府台 正式二万分の一地形図	大日本帝国陸地測量部 1907	1101410570	○	○
船橋 二万分の一地形図	大日本帝国陸地測量部 1907	1101410568	○	
市川市動態図鑑 昭和 32 年度改訂版	日本都市協会 1957	1100862393	○	
市川市動態図鑑 昭和 36 年度版	日本都市協会市川事務局 1961	1100024561	○	
市川市住宅詳細図 1965 (昭和 40) 年版	三洋堂 1965	1101943198	○	
市川市動態図鑑 1966 (昭和 41) 年版	日本広飾企画研究所 1966	1101289194	○	
京成電車 沿線案内 [昭和 5~10]	京成電気軌道株式会社旅客係	1101732706	○	○
京成電車御案内(東京・成田間・沿線名所図)	京成電気軌道株式会社 1926	1101726411	○	○
京成電車 御案内 (東京・成田・千葉間沿線名所圖)	京成電気軌道 1929	1102491818		○
京成電車沿線案内(東京・成田・千葉)	京成電気軌道株式会社 1930	1102604930	○	○
京成電車沿線案内	[京成電鉄 1935 頃]	1102359423		○
京成沿線案内	[京成電鉄 1945 頃]	1102491821		○
沿線案内	京成電鉄 1953	1102491819		○
沿線案内	京成電鉄 1955	1102491820		○
観光市川ハイキング	京成電鉄 [1955 頃]	1102522219		○
京成沿線案内	[京成電鉄 1960 頃]	1102420753		○
観光の市川	市川市観光協会 [195-頃]	1101803572	○	
いちかわ [観光リーフレット]	市川市役所商工課 出版年不明	1101803571	○	
いちかわ [観光リーフレット]	市川市 出版年不明	1101803573	○	
手児奈マーチ オーケストラ版 [楽譜]	Rudolf Ditrichi/作曲 早川正昭/編曲	—	○	
手児奈マーチ 吹奏楽版 [楽譜]	Rudolf Ditrichi/作曲 早川正昭/編曲	—	○	
トンボ通信 創刊号~179 (欠 No.16)	房総蜻蛉研究所、行徳トンボ研究室	1102872902	○	
広報いちかわ (市川市広報) 創刊号~800 号	市川市	—		○

### ② 音声・映像資料

タイトル	サブタイトル・内容・著者・他	出版社・出版年	書誌番号	DB-PC	Musetheque V4
市川市歌	斉唱・合唱/南行徳中合唱部 吹奏/市消防楽団	市川市 1994	1100792269	○	
行徳音頭	日本民謡全集五巻 関東 日本郷土民謡芸術保存会/唄・お囃子	TOYO SOUND LTD	1102336455	○	
新中山音頭	浄光寺 千町/他	市川市	1100974197	○	
新・市川音頭	市民の歌だよ踊ろじゃないか 小野文雄/他	市川市	1101201992	○	
市川讃歌	「透明の蕊の蕊」 宗左近/他	1999	1100794092	○	
マイタウンいちかわ 2003 年~2017 年 (欠あり)		市川市	—		◎

# 11. 市川図書館友の会

## *F I L (Friends of ICHIKAWA LIBRARY)*

### ①発足

平成6年9月18日

### ②目的

市川市中央図書館でのボランティア活動を通じて図書館と図書館員を応援し、人と人との触れ合いを目的とする。

### ③会員数

67人(令和4年4月1日現在)

### ④役員(令和3年度)

会 長：橋場くみ  
副会長：尾高有子 鵜殿幸夫  
会 計：小澤奈香 大山秀子  
監 事：岩崎陽子 富田道子

### ⑤入会手続

会員資格 会の目的に賛同する人  
会 費 ・個人会員 年額 1,000円  
・賛助会員 年額 5,000円  
特 典 なし

### ⑥活動内容(令和3年度)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発出があり、また、館内滞在30分目安もあり、活動休止を継続せざるを得なかった。

定期総会は書面表決で行い、役員は留任とした。恒例のリサイクルブック市は中止となり、図書館講座・図書館見学会・夏休み体験ボランティア講座等の開催もできなかった。

### ⑦日常活動

実践活動を円滑に運営するため、活動内容ごとに5つの部で構成されている。

活動休止継続により以下の活動はできなかった。

#### 1. アレンジ部

返却された本の配架と書棚の整理作業。

#### 2. レファ・サポート部

レファレンスカウンター等からの書庫出納と本の修理他。

#### 3. インフォメーション部

新入会員への館内案内。  
総会司会、リサイクルブック市アナウンス。  
図書館見学会の企画と実施。  
毎月第3水曜日に学習会開催。

#### 4. 広報部

会報「F I L通信」を発行。

#### 5. 総務部

入会申込みと継続会費の受付を毎月第1・第3日曜日に図書館入り口で開催。

## 12. 新聞・雑誌一覧 (1) 購入雑誌一覧

令和4年6月1日現在

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
アイ	愛犬の友	誠文堂新光社	隔月刊	①							ウ-4	偶月 25日	20年7月号で休刊
アイ	アイデア	誠文堂新光社	季刊	⑤							キ-1	3・6・9・12月10日	
アイ	AERA	朝日新聞出版	週刊	③		①					ア-2	毎週月曜日	
アイ	AERA with Kids	朝日新聞出版	季刊	③	②				③		イ-1	3・6・9・12月5日	
アカ	赤ちゃん和妈妈	赤ちゃん和妈妈社	月刊	③							イ-1	毎月 25日	
アク	アクアライフ	エムピージェー	月刊	①							ウ-4	毎月 11日	
アク	アクセス	地方小出版流通センター	月刊	①							ア-1	毎月 1日	21年3月号で購入中止
アサ	アサヒカメラ	朝日新聞出版	月刊	◎		③					ウ-2	毎月 20日	20年7月号で休刊
アサ	朝日ジャーナル	朝日新聞社	週刊	◎							書庫		92年5月29日号で休刊
アス	明日の友	婦人之友社	隔月刊		②				③			偶月 5日	
アニ	アニメージュ	徳間書店	月刊	③							エ-1	毎月 10日	
アン	an・an	マガジンハウス	週刊	①		①					ア-3	毎週水曜日	
アン	&Premium	マガジンハウス	月刊	①					②		ア-3	毎月 20日	
アン	アントレ	リクルート	季刊	③							カ-2	3・6・9・12月27日	19年夏号で休刊
イロ	NHK囲碁講座	NHK出版	月刊		①							毎月 16日	
イツ	一個人	ベストセラーズ	季刊						①			1・4・7・10月3日	
イッ	田舎暮らしの本	宝島社	月刊	⑤							ア-5	毎月 3日	
イン	Interface	CQ出版	月刊						③			毎月 25日	
ウア	25'ans	ハースト婦人画報社/講談社(発売)	月刊	①							ア-4	毎月 28日	
ウイ	We	フェミックス	隔月刊							◎		偶月 10日	
ウイ	with	講談社	不定期						①			不定期	22年3月号で購入中止
ウイ	We learn	日本女性学習財団	月刊							◎		毎月 1日	
ウイ	WILL(月刊ウィル)	ワック	月刊	③							ア-2	毎月 26日	
ウエ	WEDGE(ウェッジ)	ウェッジ	月刊						③			毎月 20日	
ウエ	Web designing	マイナビ出版	隔月刊	①							ケ-3	偶月 18日	
ウエ	VERY(ヴェリイ)	光文社	月刊	①		①		①			ア-3	毎月 7日	
ウオ	Voice	PHP研究所	月刊	①							ア-2	毎月 10日	
ウオ	VoCE(ヴォーチェ)	講談社	月刊	①							ア-3	毎月 23日	
ウシ	潮	潮出版社	月刊	③							ア-2	毎月 5日	
ウツ	美しいキモノ	ハースト婦人画報社/講談社(発売)	季刊	③		③					ア-4	2・5・8・11月20日	
ウマ	UMA LIFE馬ライフ	メトロポリタンプレス	月刊	③							イ-3	毎月 10日	
エイ	栄養と料理	女子栄養大学出版部	月刊	③		①			②		ア-5	毎月 9日	
エキ	Expert Nurse	照林社	月刊						⑤			毎月 20日	
イク	eclat(エクラ)	集英社	月刊						②			毎月 1日	
イコ	エコノミスト	毎日新聞出版	週刊	③			①				カ-1	毎週月曜日	
イコ	The Economist [英語]	輸入元:OCS	週刊	③							イ-5	毎週土曜日	
イス	SFマガジン	早川書房	隔月刊	◎							ウ-6	偶月 25日	
イス	Esquire [英語]	輸入元:OCS	月刊	③							イ-5	毎月 28日	21年3月号で購入中止
イツ	ESSE	フジテレビジョン	月刊	①			①	①			ア-4	毎月 7日	
イム	MJ無線と実験	誠文堂新光社	月刊	①							ウ-3	毎月 10日	
イル	ELLE DÉCOR	ハースト婦人画報社/講談社(発売)	隔月刊			③			②			奇月 7日	行徳21年4月号で購入中止
イン	園芸ガイド	主婦の友社	季刊	⑤							ウ-2	3・5・9・12月8日	
イン	演劇界	演劇出版社	月刊	◎							イ-2	毎月 5日	22年4月号で休刊
オズ	oz magazine	スターツ出版	月刊	①		①	①				ア-3	毎月 12日	
オソ	おそい・はやい・ひくい・たかい	ジャパンマシニスト社	年2回	◎		⑤					オ-1	4・10月25日	21年110号で購入中止
オト	男の隠れ家	三栄	月刊	①							ア-4	毎月 27日	
オト	おとなの週末	講談社	月刊		①	①						毎月 15日	
オム	OHM	オーム社	月刊	③							キ-3	毎月 5日	
オル	オール讀物	文藝春秋	月刊	◎	①	①	①	①			ウ-6	毎月 22日	平田・信篤21年3月号で購入中止
オレ	オレンジページ	オレンジページ	月2回	①	①	①		①			ア-5	毎月2・17日	
オン	音楽の友	音楽之友社	月刊	③		③					ウ-5	毎月 18日	
カク	科学	岩波書店	月刊	③							ケ-2	毎月 28日	
カク	化学	化学同人	月刊	③							キ-3	毎月 18日	
カク	かがくのとも	福音館書店	月刊	◎		⑤	⑤	⑤			子供	毎月 3日	
カク	岳人	ネイチャーエンタープライズ	月刊	③							イ-3	毎月 15日	
カサ	Casa BRUTUS	マガジンハウス	月刊	③							ア-5	毎月 10日	
カサ	かぞくのじかん	婦人之友社	季刊	③	②	③		②			イ-1	3・6・9・12月5日	22年夏号で休刊
カク	学校図書館	全国学校図書館協議会	月刊	◎							ア-1	毎月 7日	
カク	CUT(カット)	ロッキング・オン	月刊				①					毎月 19日	
カク	家庭画報	世界文化社	月刊	③		①					ア-3	毎月 1日	

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
カハ	ガバナンス	ぎょうせい	月刊	③							オ-3	毎月 1日	
カン	環境と公害	岩波書店	季刊	◎							キ-3	1・4・7・10月25日	
カン	関東東北じゃらん	リクルートホールディングス	隔月刊	①							ウ-1	奇月 1日	
カキ	機械技術	日刊工業新聞社	月刊	③							ク-1	毎月 25日	
キキ	企業診断	同友館	月刊							⑤		毎月 27日	
キネ	キネマ旬報	キネマ旬報社	月2回	◎		③					イ-2	毎月 5・20日	
キャ	CAPA	学研プラス	月刊	①							ウ-2	毎月 20日	
キャ	GALAC	放送批評懇談会	月刊	③							キ-1	毎月 6日	
キャ	Cancam	小学館	月刊			①						毎月 23日	
キョ	教育	かがわ出版	月刊	◎							オ-1	毎月 10日	
キョ	教育ジャーナル	学研マーケティング	月刊	◎							オ-1	毎月 1日	20年3月で休刊
キョ	NHKきょうの健康	NHK出版	月刊	①	①	①	①	①	②		イ-1	毎月 21日	
キョ	NHKきょうの料理	NHK出版	月刊	③	①	③	①	①			ア-5	毎月 21日	
キル	キルトジャパン	日本ヴォーグ社	季刊	③							ア-5	3.6.9.12月の4日	
キン	銀花	文化出版局	季刊	◎							イ-2	2・5・8・11月25日	10年春号で休刊
キン	近代柔道	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-4	毎月 22日	
クウ	ku:nel	マガジンハウス	隔月刊	③	②						ア-4	奇月 20日	
クウ	Good Housekeeping [英語]	輸入元:OCS	月刊	③							イ-5	不定期	
クヨ	月刊クーヨン	クレヨンハウス	月刊	③							イ-1	毎月 3日	
クワ	暮らしの手帖	暮らしの手帖社	隔月刊	◎	②	⑤	②	②			ア-4	奇月 25日	
クル	月刊ぐるっと千葉	ちばマガジン	月刊	◎		①					ア-3	毎月 21日	
クレ	CREA	文藝春秋	季刊	①		①					ア-4	3.6.9.12月の7日	
クレ	CREA TRAVELLER	文藝春秋	季刊	③			②				ウ-1	4・7・10・1月15日	
クワ	クワッサン	マガジンハウス	月2回	①	①	①	①	①			ア-3	毎月10・25日	
クン	群像	講談社	月刊	◎							ウ-6	毎月 7日	
クア	ケアマネジャー	中央法規出版	月刊	③							ク-3	毎月 27日	
クエイ	経済界	経済界	月刊							③		毎月 22日	
クエイ	経済セミナー	日本評論社	隔月刊							③		奇月 27日	
クエイ	芸術新潮	新潮社	月刊	◎		③					イ-2	毎月 25日	
クエイ	糸糸だま	日本ヴォーグ社	季刊	③		③					ア-5	2・5・8・11月5日	
クエ	GOETHE(ゲーテ)	幻冬舎	月刊							②		毎月 24日	
クン	現代思想	青土社	月刊	◎							イ-3	毎月 27日	
クン	現代詩手帖	思潮社	月刊	◎							イ-3	毎月 28日	
クン	現代の図書館	日本図書館協会	季刊	◎							ア-1	3・6・9・12月15日	
クン	建築知識	エクスナレッジ	月刊	⑤							ク-1	毎月 20日	
クン	建築文化	彰国社	隔月刊	◎							ク-1	隔月 25日	04年12月号で休刊
クン	剣道時代	体育とスポーツ出版社	月刊	③							イ-4	毎月 25日	
クン	剣道日本	スキージャーナル	月刊	③							イ-4	毎月 25日	18年1月号で休刊
クウ	工業材料	日刊工業出版プロダクション/日刊工業新聞社(発売)	月刊	③							ク-1	毎月 15日	
クウ	航空情報	せきれい社	月刊	③							ウ-1	毎月 21日	
クウ	公募ガイド	公募ガイド社	季刊	①							ア-3	1・4・7・10月9日	
クカ	小型全国時刻表	交通新聞社	月刊		①							毎月 20日	21年8月号で休刊
クク	国語と国文学	明治書院	月刊	◎							イ-3	毎月 12日	
クク	国文学解釈と鑑賞	ぎょうせい	月刊	◎							イ-3	毎月 12日	11年10月号で休刊
クク	国文学 解釈と教材の研究	学燈社	月刊	◎							イ-3	毎月 10日	09年7月号で休刊
クコ	こころの科学	日本評論社	隔月刊							③		偶月 25日	
クソ	COSMOPOLITAN [英語]	輸入元:OCS	月刊	③							イ-5	不定期	
クト	月刊子どもの本棚	日本子どもの本研究会	月刊	◎							子供	毎月 15日	
クト	kotoba	集英社	季刊	⑤							ア-2	3・6・9・12月の6日	
クト	ことばの翼 詩歌句	北溟社	不定期	◎							イ-3	不定期	17年VOL.48以降刊行なし
クト	子どもと科学よみもの	科学読物研究会	月刊	◎							子供	毎月 1日	
クト	こどもとしょうかん	東京子ども図書館	季刊	◎		⑤					子供	1・4・7・10月20日	行徳21年冬号で購入中止
クト	子どもと昔話	小澤昔ばなし研究所	季刊	◎							子供	1・4・7・10月20日	20年冬号で休刊
クト	子供の科学	誠文堂新光社	月刊	③		③					子供	毎月 10日	
クト	こどもの図書館	児童図書館研究会	月刊	◎							子供	毎月 25日	
クト	こどものとも	福音館書店	月刊	◎		⑤	⑤	⑤			子供	毎月 3日	
クト	こどものとも (0・1・2)	福音館書店	月刊	⑤		⑤	⑤	⑤			子供	毎月 3日	
クト	こどものとも(年少版)	福音館書店	月刊	◎		⑤	⑤				子供	毎月 3日	信篤21年4月号で購入中止
クト	こどものとも(年中向き)	福音館書店	月刊	◎		⑤					子供	毎月 3日	
クト	子どもの館	福音館書店	月刊	◎							子供		83年3月号で休刊
クト	月刊子ども論	クレヨンハウス	月刊	◎							子供	毎月 26日	06年3月号で休刊
クモ	Como	主婦の友社	季刊	③							イ-1	2・5・9・12月7日	17年夏秋号で休刊
クル	ゴルフダイジェスト	ゴルフダイジェスト社	月刊	③		①					イ-4	毎月 21日	
クワ	碁ワールド	日本棋院	月刊	①		①					ウ-4	毎月 20日	

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
サイ	CYCLE SPORTS	八重洲出版	月刊						③			毎月 20日	
サタ	THE TIMES MAGAZINE[英語]	THE TIMES	週刊	①							イ-5	毎週	
サツ	サッカーマガジン	ベースボール・マガジン社	隔月刊	③		①					イ-4	偶月 24日	
サニ	THE21	PHP研究所	月刊	①							カ-1	毎月 10日	
サヒ	SAPIO	小学館	不定期刊			③							19年4月号で購入中止
サフ	SURFIN' LIFE	DIVER株式会社	隔月刊	③							イ-3	偶月 10日	
サフ	Surftrip JOURNAL	権出版社	不定期	③							イ-3		2020vol.96で購入中止
サラ	サライ	小学館	月刊	①		①	①				ア-2	毎月 10日	
サラ	サラサーテ	せきれい社	隔月刊	③							ウ-5	奇月 2日	
サン	サンキュ!	ベネッセコーポレーション	月刊	①		①					ア-3	毎月 25日	
サン	サンデー毎日	毎日新聞出版	週刊	③	①						ア-2	毎週火曜日	
サン	3分クッキング	KADOKAWA	月刊	③							ア-5	毎月 16日	
サン	散歩の達人	交通新聞社	月刊	①	①						ウ-1	毎月 21日	
シエ	JR時刻表	交通新聞社	月刊			①						毎月 20日	
シエ	JJ	光文社	不定期	①							ア-4	毎月 23日	21年1月号で購入中止
シエ	JTB時刻表	JTBパブリッシング	月刊	①			①	①	半年		ウ-1	毎月 20日	
シエ	CNN ENGLISH EXPRESS	朝日出版社	月刊	①							エ-2	毎月 6日	
シエ	JK Fan 空手道マガジン	チャンプ	月刊	③							イ-4	毎月 23日	
シカ	月刊自家用車	内外出版社	月刊	①							ウ-4	毎月 26日	
シキ	CQ ham radio	CQ出版社	月刊	①							ウ-3	毎月 19日	
シシ	CG(CAR GRAPHIC)	カーグラフィック	月刊				①					毎月 1日	
シセ	しぜん	フレーベル館	月刊	◎							子供	毎月 1日	13年3月号で購入中止
シソ	思想	岩波書店	月刊	◎							エ-3	毎月 29日	
シテ	CDジャーナル	シーディージャーナル	季刊	②							ウ-5	3・6・9・12月20日	
シト	児童心理	金子書房	月刊	③							オ-1	毎月 12日	19年3月号で休刊
シナ	シナリオ	シナリオ作家協会	月刊	◎							イ-2	毎月 3日	
シヤ	社会教育	日本青年館「社会教育」編集部	月刊	◎							オ-1	毎月 1日	
シヤ	月刊社会教育	旬報社	月刊	◎							オ-1	毎月 18日	
シヤ	JaZZ JAPAN	ジャズジャパン	月刊	①							ウ-5	毎月 23日	
シヤ	JAPAN FITNESS	ジャパンフィットネス	月刊	③							イ-3	毎月 28日	19年6月号で休刊
シユ	週刊朝日	朝日新聞出版	週刊	③		①		①			ア-2	毎週火曜日	
シユ	週刊金曜日	金曜日	週刊	①		①					ア-2	毎週金曜日	
シユ	週刊新潮	新潮社	週刊	③	①	①	①	①	①		ア-2	毎週木曜日	
シユ	週刊ダイヤモンド	ダイヤモンド社	週刊	①		①		①	①		カ-1	毎週月曜日	
シユ	週刊東洋経済	東洋経済新報社	週刊	①		①			①		カ-1	毎週月曜日	
シユ	週刊プロレス	ベースボール・マガジン社	週刊	③							イ-4	毎週水曜日	
シユ	週刊文春	文藝春秋	週刊	③	①	①	①	①	①		ア-2	毎週木曜日	
シユ	週刊ベースボール	ベースボール・マガジン社	週刊	③		①					イ-4	毎週水曜日	
シユ	自遊人	自遊人	季刊			③						3・6・9・12月26日	20年5月号で購入中止
シユ	住宅建築	建築資料研究社	隔月刊	⑤							ク-1	偶月 19日	
シユ	住民と自治	自治体研究社	月刊	③							オ-3	毎月 15日	
シユ	出版ニュース	出版ニュース社	旬刊	③							ア-1	毎月1・11・21日	19年3月下旬号で休刊
シユ	月刊ジュニアエラ	朝日新聞出版	月刊		③							毎月 15日	
シユ	JUNON	主婦と生活社	月刊			①						毎月 23日	
シユ	NHK趣味の園芸	NHK出版	月刊	③	①	①	①	①			ウ-2	毎月 21日	
シユ	NHK趣味の園芸やさいの時間	NHK出版	隔月刊	③	①						ウ-2	奇月 21日	
シユ	ジュリスト	有斐閣	月刊	◎							オ-3	毎月 25日	
シユ	NHK将棋講座	NHK出版	月刊		①							毎月 16日	
シユ	将棋世界	日本将棋連盟	月刊	①		①					ウ-4	毎月 3日	
シユ	商業界	商業界	月刊						③			毎月 1日	20年5月号で休刊
シユ	小説現代	講談社	月刊	◎							ウ-6	毎月 22日	
シユ	小説新潮	新潮社	月刊	◎	①	①		①			ウ-6	毎月 22日	南行徳21年4月号で購入中止
シユ	小説推理	双葉社	月刊	◎							ウ-6	毎月 27日	
シユ	小説すばる	集英社	月刊	◎							ウ-6	毎月 17日	
シユ	小説宝石	光文社	年10回	◎							ウ-6	毎月 22日(12月・8・9月合併号)	
シユ	情報の科学と技術	情報科学技術協会	月刊	◎							ア-1	毎月 1日	
シユ	女性展望	市川房枝記念会	隔月刊							◎		奇月 15日	
シシ	新建築	新建築社	月刊	⑤							ク-1	毎月 1日	
シシ	新潮	新潮社	月刊	◎		③			①		ウ-6	毎月 7日	行徳21年4月号で購入中止
シシ	新潮45	新潮社	月刊	③							ア-2	毎月 18日	18年10月号で休刊
シシ	新電気	オーム社	月刊	③							ク-1	毎月 1日	
シシ	新ノーマライゼーション	日本障害者リハビリテーション協会	月刊	③							ク-3	毎月 25日	
シシ	新聞ダイジェスト	新聞ダイジェスト社	月刊	③							カ-1	毎月 15日	
スイ	SWIMMING MAGAZINE	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-3	毎月 11日	

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
スウ	数学セミナー	日本評論社	月刊	③							E-2	毎月 12日	
スウ	数理科学	サイエンス社	月刊	③							E-2	毎月 20日	
スキ	SKI GRAPHIC	芸文社	月刊	③							I-3	毎月 10日	
スク	SCREEN	近代映画社 ジャパンプリント(発売)	月刊	①							I-2	毎月 21日	
ステ	すてきにハンドメイド	NHK出版	月刊	③	①	③	①	①			A-5	毎月 21日	
ステ	Stereo	音楽之友社	月刊	①							ウ-5	毎月 19日	
スト	STRIKER DX	学研マーケティング	季刊	③							子供	3.6.9.12月12日	19年春号で休刊
スト	STORY	光文社	月刊	①	①	①					A-3	毎月 1日	
スハ	すばる	集英社	月刊	◎							ウ-6	毎月 6日	
スホ	Sports Graphic Number	文藝春秋	隔週刊	③		①			①		I-3	隔週木曜日	
スマ	Sumai 住まいの設計	扶桑社	隔月刊	⑤		③					A-5	奇月 15日	
スマ	smart	宝島社	月刊	①							E-1	毎月 24日	
スミ	墨	芸術新聞社	隔月刊	◎							I-2	奇月 1日	
スモ	相撲	ベースボール・マガジン社	月刊	③							I-4	毎月 28日	
セイ	税理	ぎょうせい	月刊	③							カ-2	毎月 20日	
セイ	清流	清流出版	月刊	②							A-4	毎月 1日	
セイ	正論	産経新聞社	月刊	③							A-2	毎月 1日	
セカ	世界	岩波書店	月刊	◎		③					A-2	毎月 8日	
セツ	設備と管理	オーム社	月刊	③							ク-1	毎月 11日	
セフ	SEVENTEEN	集英社	不定期刊	①							E-1	毎月 1日	
セン	選択	選択出版	月刊	⑤							A-2	毎月 1日	
セン	宣伝会議	宣伝会議	月刊						③			毎月 1日	
ソウ	装苑	文化出版局	隔月刊	③		①					A-5	奇月 28日	
ソウ	杜快	マキノ出版	月刊	①							I-1	毎月 16日	
ソト	ソトコト	sotokoto online	隔月刊	⑤							A-4	奇月 5日	
ソフ	Software Design	技術評論社	月刊	①							ケ-3	毎月 18日	
タイ	大法輪	大法輪閣	月刊	◎							E-3	毎月 8日	20年7月号で休刊
タイ	DIME	小学館	月刊	①		①					A-4	毎月 16日	
タイ	TIME アジア版[英語]	販売元:富士山マガジンサービス	週刊	③		①					I-5	毎週火曜日	
タイ	ダイヤモンド Zai	ダイヤモンド社	月刊	①		①			②		カ-2	毎月 21日	
タウ	ダ・ヴィンチ	KADOKAWA	月刊	◎	①			①			A-1	毎月 6日	
タウ	たくさんのふしぎ	福音館書店	月刊	◎		⑤					子供	毎月 3日	
タウ	Tarzan	マガジンハウス	月2回	①							I-4	第2・4木曜日	
タウ	卓球王国	卓球王国	月刊	③							I-4	毎月 21日	
タウ	旅の手帖	交通新聞社	月刊	①	①	①		①			ウ-1	毎月 10日	
タマ	たまごクラブ	ベネッセコーポレーション	月刊	①			①				I-1	毎月 15日	22年4月号で購入中止
タウ	短歌	角川文化振興財団	月刊	◎							E-3	毎月 25日	
タウ	DANCE MAGAZINE	新書館	月刊	③							I-2	毎月 27日	
タウ	dancyu	プレジデント社	月刊	③		①					A-5	毎月 6日	
チイ	ちいさい・おおきい・よわい・つよい	ジャパンマシニスト社	年2回	◎	②	⑤					I-1	1・7月25日	128号で購入中止
チイ	ちいさなかがくのとも	福音館書店	月刊	◎		⑤		⑤			子供	毎月 3日	
チク	ちくま	筑摩書房	月刊	◎							A-1	毎月 29日	
チハ	Chiba Walker(千葉ウォーカー)	KADOKAWA	隔週刊	◎							A-3	隔週火曜日	09年4月号で休刊
チホ	地方史研究	岩田書院	隔月刊	③							オ-2	偶月下旬	21年2月号で購入中止
チホ	地方自治	ぎょうせい	月刊	◎							オ-3	毎月 5日	
チャ	チャイルドヘルス	診断と治療社	月刊						⑤			毎月 1日	21年3月号で購入中止
チャ	CHANTO	主婦と生活社	月刊	①		①					A-3	毎月 7日	20年4月号で休刊
チュ	中央公論	中央公論新社	月刊	◎		③					A-2	毎月 10日	
フリ	月刊地理	古今書院	月刊	⑤							オ-2	毎月 25日	
フリ	治療	南山堂	月刊	⑤							ク-3	毎月 1日	
フル	チルチンぴと	風土社	季刊	⑤							A-5	3・6・9・12月11日	
ツク	創	創出版	月刊	◎							A-2	毎月 7日	
ツリ	つり人	つり人社	月刊	①		①					ウ-2	毎月 25日	
テア	テアトロ	カモミール社	月刊	◎							I-2	毎月 13日	
ティ	DVD&動画配信で一た	ムービーウォーカー/KADOKAWA(発売)	月刊	①							ウ-3	毎月 20日	
ティ	ディテール	彰国社	季刊	③							ク-1	3・6・9・12月15日	
テツ	鉄道ジャーナル	鉄道ジャーナル社	月刊	①							ウ-1	毎月 21日	
テツ	鉄道ピクトリアル	電気車研究会	月刊			①						毎月 20日	
テツ	鉄道ファン	交友社	月刊	③							子供	毎月 21日	
テニ	Tennis Magazine	ベースボール・マガジン社	季刊	③							I-4	毎月 21日	
テレ	TVガイド 関東版	東京ニュース通信社	週刊	①							ウ-3	毎週水曜日	
テン	点字ジャーナル	東京ヘレン・ケラー協会	月刊	①							障害	毎月 25日	
テン	天然生活	扶桑社	月刊			③	①					毎月 20日	
テン	天文ガイド	誠文堂新光社	月刊	③							ク-2	毎月 5日	

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
トウ	Tokyo Walker	KADOKAWA	月刊	①							ア-3	毎月 20日	20年6.7月合併号で休刊
トウ	東京カレンダー	東京カレンダー	月刊						②			毎月 21日	
トウ	東京人	都市出版	月刊	③							ア-2	毎月 3日	
トウ	陶磁郎	双葉社	季刊	◎							イ-2	不定期	06年48号で休刊
トウ	ドゥーパ!	学研マーケティング	隔月刊						③			奇月 8日	
トウ	陶遊	新企画出版局	隔月刊	◎							イ-2	奇月 25日	12年2月号で休刊
トク	特選街	マキノ出版	月刊	①				①			ア-4	毎月 3日	21年11月号で休刊
トク	特別支援教育研究	東洋館出版社	月刊	◎							オ-1	毎月 28日	
トシ	図書館界	日本図書館研究会	隔月刊	◎							ア-1	奇月 17日	
トシ	図書館雑誌	日本図書館協会	月刊	◎							ア-1	毎月 22日	
トホ	土木技術	土木技術社	月刊	③							ク-1	毎月 28日	
トラ	ドライバー	八重洲出版	月刊		①							毎月 20日	
トラ	トランジスタ技術	CQ出版社	月刊	③							キ-2	毎月 10日	
ナシ	NATIONAL GEOGRAPHIC [英語]	輸入元:OCS	月刊	③							イ-5	毎月 下旬	
ナシ	NATIONAL GEOGRAPHIC 日本版	日経ナショナルジオグラフィック	月刊	③							ク-2	毎月 30日	
ナシ	NURSING	学研メディカル秀潤社	月刊	③							ク-3	毎月 20日	
ニコ	nicola(ニコラ)	新潮社	月刊	①							エ-1	毎月 1日	
ニッ	日経アーキテクチュア	日経BP社	月2回	⑤							ク-1	毎月10・25日	
ニッ	日経WOMAN	日経BP社	月刊	①		①		①			ア-3	毎月 7日	
ニッ	日経エンタテインメント!	日経BP社	月刊			①						毎月 4日	
ニッ	日経会社情報	日本経済新聞社/日本経済新聞出版社(発売)	季刊	⑤							カ-2	3・6・9・12月15日	17年春号で休刊
ニッ	日経コンピュータ	日経BP社	隔週刊	①							ク-4	隔週木曜日	
ニッ	日経サイエンス	日経サイエンス	月刊	③		③					ク-2	毎月 25日	
ニッ	日経ソフトウェア	日経BP社	隔月刊	①							ク-2	奇月 24日	
ニッ	日経デザイン	日経BP社	月刊	③							キ-1	毎月 24日	
ニッ	日経トップリーダー	日経BP社	月刊	①							カ-1	毎月 1日	
ニッ	日経TRENDY	日経BP社	月刊	①		①	①				カ-1	毎月 4日	
ニッ	日経パソコン	日経BP社	月2回	①							ク-4	第2・4月曜日	
ニッ	日経PC21	日経BP社	月刊	①		①	①	①	①		ク-2	毎月 24日	
ニッ	日経ビジネス	日経BP社	週刊	①		①			①		カ-1	毎週月曜日	
ニッ	日経ヘルス	日経BP社	不定期刊	①				①			イ-1	奇月 2日	21年4月号で購入中止
ニッ	日経マネー	日経BP社	月刊	①	①	①	①				カ-1	毎月 21日	
ニッ	日経メディカル	日経BP社	月刊						③			毎月 10日	21年4月号で休刊
ニホ	日本カメラ	日本カメラ社	月刊	①							ウ-2	毎月 20日	21年5月号で休刊
ニホ	日本古書通信	日本古書通信社	月刊	③							ア-1	毎月 15日	21年3月号で購入中止
ニホ	日本児童文学	日本児童文学者協会/小峰書店(発売)	隔月刊	◎							子供	奇月 9日	
ニホ	日本の参考図書:四季版	日本図書館協会	季刊	◎							図書	1・4・7・10月	
ニホ	日本の美術	ぎょうせい	月刊	◎							イ-2	毎月 12日	11年10月号で休刊
ニホ	日本歴史	吉川弘文館	月刊	⑤							オ-2	毎月 25日	
ニユ	Newsweek 日本版	CCCメディアハウス	週刊	③		①					ア-2	毎週火曜日	
ニユ	月刊Newsがわかる	毎日新聞出版	月刊	◎		③					エ-1	毎月 15日	
ニユ	Newtype	KADOKAWA	月刊			③						毎月 10日	
ニユ	Newton	ニュートンプレス	月刊	◎		①					ク-2	毎月 26日	
ネコ	猫びより	辰巳出版	隔月刊	①							ウ-4	偶月 12日	
ネハ	ネバーランド	てらいんく	不定期	◎							子供	2・5・8・11月5日	10年Vol.14で購入中止
ノシ	ノジュール(nodule)	JTBパブリッシング	月刊			③						毎月 28日	
ノマ	ノーマライゼーション	日本障害者リハビリテーション協会	月刊	③							ク-3	毎月 1日	18年3月号で休刊
ノン	non・no	集英社	月刊	①		①					ア-4	毎月 20日	行徳21年5月号で購入中止
ハイ	俳句	角川文化振興財団	月刊	◎		③					エ-3	毎月 25日	
ハイ	BiCYCLE CLUB	ピークス/マイナビ出版発売	隔月刊	①		①					ウ-4	奇月 20日	
ハウ	Harvard Business Review	ダイヤモンド社	月刊	③							カ-1	毎月 10日	
ハウ	HOUSING	リクルート	隔月刊	⑤			①	①			ア-5	偶月 21日	信篤・南行徳21年4月号で購入中止
ハス	HERS	光文社	不定期刊	①							ア-4	毎月 12日	20年11月号で購入中止
ハス	バスケットボール	日本文化出版	月刊	③							イ-4	毎月 25日	
ハッ	B=PASS	シンコーミュージック・エンタテイメント	月刊	①							エ-1	毎月 27日	
ハト	鳩よ!	マガジンハウス	月刊	◎							エ-3		02年5月号で休刊
ハド	Badminton MAGAZINE	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-4	毎月 22日	
ハナ	Hanako	マガジンハウス	月刊	①				①			ア-3	毎月 28日	
ハハ	母の友	福音館書店	月刊	◎		①	①		②		子供	毎月 3日	駅南21年4月号で購入中止
ハヤ	ハヤカワミステリマガジン	早川書房	隔月刊	◎		①					ウ-6	奇月 25日	
ハル	ハルメク	ハルメク	月刊	①							ア-3	毎月 10日	
ハレ	月刊バレーボール	日本文化出版	月刊	③							イ-4	毎月 15日	
ハン	判例時報	判例時報社	旬刊	◎							オ-3	毎月1・11・21日	
ハン	判例タイムズ	判例タイムズ社	月刊	◎							オ-3	毎月 25日	

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
バン	バンドジャーナル	音楽之友社	月刊	①							ウ-5	毎月 10日	
ビシ	Business i. ENECO	日本工業新聞社	月刊	③							ク-1	毎月 28日	20年4月号で休刊
ビシ	ビジネスチャンス	ビジネスチャンス	隔月刊						③			偶月 22日	
ビシ	ビジネス法務	中央経済社	月刊						⑤			毎月 21日	21年5月号で購入中止
ビシ	美術手帖	美術出版社	季刊	◎							イ-2	奇月 7日	
ビツ	BIG tomorrow	青春出版社	月刊						③			毎月 25日	18年1月号で休刊
ビテ	ビデオSALON	玄光社	月刊	①							ウ-2	毎月 20日	
ビハ	BE-PAL	小学館	月刊	③		①					イ-3	毎月 10日	
ビフ	Pee Boo	ブックローン社	季刊	◎							子供		98年30号で休刊
ビヨ	ひよこクラブ	ベネッセコーポレーション	月刊	①			①				イ-1	毎月 15日	22年4月号で購入中止
ビラ	ひらがなタイムズ [英語]	ひらがなタイムズ	月刊	③							イ-5	毎月 20日	
フォ	Forbes Japan	リンクタイズ	月刊	①							カ-1	毎月 25日	
フク	月刊福祉	全国社会福祉協議会	月刊	③							ク-3	毎月 9日	
フシ	婦人画報	ハースト婦人画報社/講談社(発売)	月刊	①							ア-3	毎月 1日	
フシ	婦人公論	中央公論新社	月刊	③	①	①	①	①			ウ-6	毎月 15日	
フシ	婦人之友	婦人之友社	月刊	③							ウ-6	毎月 12日	
フラ	FRaU	講談社	不定期	①							ア-3		21年5月号で購入中止
フラ	プラス1リビング	主婦の友社	季刊	⑤	①						ア-5	3・6・9・12月7日	19年6月107号で休刊
フル	BRUTUS	マガジンハウス	月2回			①						毎月1・15日	
フル	プレジデント	プレジデント社	月2回	①			①		①		カ-1	第2・4月曜日	
フル	PRESIDENT WOMAN Premier	プレジデント社	半年刊	①					①		ア-3	不定期	
フル	PRESIDENT WOMAN	プレジデント社	季刊	②					②		ア-3	3・6・9・12月7日	19年春号から「PRESIDENT WOMAN Premier」へ変更
フル	プレジデント Family	プレジデント社	季刊	③			②		②		イ-1	3・6・9・12月5日	
フル	Pre-mo	主婦の友社	不定期			①						不定期	2021年8月号で購入中止
フル	ブレーン	宣伝会議	月刊	③							キ-1	毎月 1日	
フロ	フローリスト	誠文堂新光社	隔月刊	③							ウ-2	奇月 8日	
フン	文学	岩波書店	隔月刊	◎							エ-3	奇月 25日	16年11・12月号で休刊
フン	文学界	文藝春秋	月刊	◎							エ-3	毎月 7日	
フン	文藝	河出書房新社	季刊	◎							ウ-6	1・4・7・10月7日	
フン	文藝春秋	文藝春秋	月刊	◎	①	③	①	①	①		ア-2	毎月 10日	
フン	別冊文藝春秋	文藝春秋	隔月刊	◎							ウ-6	偶月 8日	15年3月号で休刊
フン	文藝春秋SPECIAL	文藝春秋	季刊	⑤							ア-2	2・5・8・11月26日	17年秋号で休刊
ベース	Baseball Clinic	ベースボール・マガジン社	月刊	③							エ-1	毎月 17日	
ベビ	Baby-mo	主婦の友社	季刊			①		①				3・6・9・12月15日	
ペン	pen	CCCメディアハウス	月1回	③							ア-4	毎月 28日	
ホク	法学教室	有斐閣	月刊	◎							オ-3	毎月 28日	
ホク	法学セミナー	日本評論社	月刊	◎							オ-3	毎月 12日	
ホク	訪問看護と介護	医学書院	隔月刊	⑤							ク-3	不定期	
ホク	法律時報	日本評論社	月刊	◎							オ-3	毎月 27日	
ホク	ボクシングマガジン	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-4	毎月 15日	
ホス	月刊BOSS	経営塾	月刊						③			毎月 22日	19年7月号で休刊
ホビ	Hobby JAPAN	ホビージャパン	月刊	①							ウ-3	毎月 25日	
ホーム	HOMES & GARDENS [英語]	輸入元:紀伊國屋書店	月刊	③							イ-5	毎月 10日	
ホン	本 読書人の雑誌	講談社	月刊	◎							ア-1	毎月 25日	16年5月号から寄贈へ
ホン	本の雑誌	本の雑誌社	月刊	③		①					ア-1	毎月 10日	
マイ	毎日が発見	KADOKAWA	月刊	①				①			ア-3	毎月 28日	南行徳21年度購入中止
マツ	Mac Fan	マイナビ	月刊	①							ケ-1	毎月 29日	
マト	Mart	光文社	季刊	①				①	③		ア-4	3・6・9・12月28日	
マリ	Marine Diving	水中造形センター	月刊	③							イ-3	毎月 10日	21年8月号で休刊
ミセ	ミセス	文化出版局	月刊	①	①		①				ア-3	毎月 7日	21年4月号で休刊
ミセ	ミセスのスタイルブック	文化出版局	季刊	③							ア-5	2・4・6・10月12日	
ミタ	三田文学	三田文学会	季刊	◎							エ-3	1.4.7.10月の11日	
ミミ	MIMI	全日本ろうあ連盟	季刊	③							ク-3	3・6・9・12月15日	
ミュ	ミュージカル	ミュージカル社	隔月刊	①							イ-2	奇月 5日	
ミヨ	Myojo	集英社	月刊	①							エ-1	毎月 23日	
ミン	みんなの図書館	教育史料出版会	月刊	◎							ア-1	毎月 10日	
ムジ	MUSICA	FACT	月刊	①							ウ-5	毎月 15日	
メ	目の眼	目の眼	月刊	◎							イ-2	毎月 15日	
メフ	メフィスト(小説現代別冊)	講談社	年3回	◎							ウ-6	不定期	16年Vol.1で休刊
メン	MEN'S EX	世界文化社	月刊			①						毎月 6日	
メン	MEN'S CLUB	ハースト婦人画報社/講談社(発売)	月刊	①							ア-4	毎月 24日	
メン	MEN'S NON・NO	集英社	月刊	①							ア-4	毎月 10日	
モア	MORE	集英社	月刊	①		①					ア-4	毎月 28日	行徳21年5月号で購入中止
モエ	MOE	白泉社	月刊	③		①					エ-1	毎月 3日	

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
モタ	Motorcyclist	八重洲出版	月刊	③							ウ-4	毎月 1日	
モタ	Motor Magazine	モーターマガジン社	月刊	③		③					ウ-4	毎月 1日	
モタ	モダンリビング	ハースト婦人画報社/講談社(発売)	隔月刊	⑤							ア-5	偶月 7日	
モノ	monoマガジン	ワールドフォトプレス	月2回	①							ア-4	毎月2・16日	
ヤサ	やさい畑	家の光協会	隔月刊	③							ウ-2	奇月 3日	
ヤマ	山と溪谷	山と溪谷社	月刊	③		①					イ-3	毎月 15日	
ユウ	ゆうゆう	主婦の友社	月刊	①							ア-3	毎月 1日	
ユホ	ゆほびか	マキノ出版	月刊	①							イ-1	毎月 16日	
ユリ	ユリイカ	青土社	月刊	◎							エ-3	毎月 27日	
ヨウ	幼稚園	小学館	月刊	①							子供	毎月 1日	
ヨム	yomyom	新潮社	季刊	◎							ウ-6	2・5・8・11月1日	17年冬号で休刊
ライ	light&life	東京ヘレン・ケラー協会	月2回	①							障害	毎月1・15日	
ラク	ラグビーマガジン	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-4	毎月 25日	
ラン	ランナーズ	アールビーズ	月刊	③		①					イ-3	毎月 22日	
ラン	ランニングマガジン・クリール	ベースボール・マガジン社	月刊								③	毎月 22日	
リ	LEE	集英社	月刊			①	①	①			ア-3	毎月 7日	
リカ	RikaTan理科の探検	SAMA企画 文理(発売)	不定期	③							ク-2		19年4月号で購入中止
リク	月刊陸上競技	講談社	月刊	③							イ-4	毎月 14日	
リタ	READER'S DIGEST[英語]	輸入元:OCS	月刊	③							イ-5	毎月 5日	
リュ	留学ジャーナル	留学ジャーナル	季刊	③							エ-2	3、6、9、12月の10日	
リョ	旅行読売	旅行読売出版社	月刊	①							ウ-1	毎月 28日	
レキ	歴史街道	PHP研究所	月刊		①	①						毎月 6日	
レキ	歴史人	ベストセラーズ	月刊	③							オ-2	毎月 6日	
レコ	レコード芸術	音楽之友社	月刊	③							ウ-5	毎月 20日	
レタ	レタスクラブ	KADOKAWA	月刊	③			①				ア-5	毎月 25日	
ロク	Rockin' on	ロッキング・オン	月刊			①						毎月 1日	
ロク	ROCKIN' ON JAPAN	ロッキング・オン	月刊	①							エ-1	毎月 30日	
ワラ	和楽	小学館	隔月刊	③		③					ア-3	奇月 1日	
ワン	ワンダーフォーゲル	山と溪谷社	年6回								③	奇月 10日	21年6月号で休刊

購入タイトル数	335	293	28	92	30	30	37	3
---------	-----	-----	----	----	----	----	----	---

注1: 所蔵館名欄○数字は、保存年限を示す。◎は永年保存。

注2: 配架欄は中央図書館の分野別雑誌架を示す。

注3: 網掛けはタイトル変更、休刊、購入中止等になったもの。

(2) 寄贈雑誌一覧

令和4年6月1日現在

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	備考(年は西暦下2桁)
アウ	あうる	図書館振興財団	季刊	◎							ア-1	12年冬号より「図書館の学校」に変更
アル	ALPS ライフプラン情報誌	地域社会ライフプラン協会	季刊	②登							ア-3	
アワ	Our Story	ノートルモンド社	月刊	②							オ-2	
イ	月刊いちかわ	(株)エピック	月刊	①登		◎登					ア-2	19年5月号で休刊
ウオ	Voters	明るい選挙推進協会	隔月刊	②							オ-3	
ウマ	馬の科学	日本中央競馬会競走馬総合研究所	季刊	②							イ-3	19年第56巻4号で休刊
エシ	ACE 建設業界	日本建設業連合会	月刊	①登							ク-1	
エス	ESTRELA	統計情報研究開発センター	月刊	①							オ-2	
エヌ	NABAニュース・レター	NABA	不定期							○		
エネ	エネルギーレビュー	エネルギーレビューセンター	月刊	②登							キ-2	
エフ	FFIジャーナル 食品・食品添加物研究誌	FFIジャーナル編集委員会	季刊	②							キ-2	
カ	化学と工業	日本化学会	月刊	⑤登							キ-3	
カク	学遊園	丸善	半年刊	◎登							オ-1	07年26号で休刊
カワ	河	河発行所	月刊	◎登							エ-3	
カン	環境儀	国立環境研究所	季刊	③							キ-3	
カン	季刊 環境研究	日立財団	季刊	◎登							キ-3	17年3月号で休刊
キョ	行政&情報システム	行政情報システム研究所	隔月刊	①登							オ-2	
キョ	月刊 京都	白川書院	月刊	②登							ウ-1	
クラ	くらし塾きんゆう塾	金融広報中央委員会	季刊	②							カ-2	
クロ	クローバー	ジェイ・ブロード	年4回	③登							ク-3	
コウ	公営企業	地方財務協会	月刊	①登							オ-3	
コウ	航空と文化	日本航空協会	年2回	②登							キ-1	
コウ	皇室	扶桑社	季刊	③登			○				オ-2	
コウ	交通科学	交通科学研究会	年2回	③							キ-1	19年Vol49で休刊
コウ	広報	日本広報協会	月刊	①登							オ-2	
コウ	高齢社会をよくする女性の会会報	高齢社会をよくする女性の会	隔月刊							○		
コク	国立国会図書館月報	国立国会図書館	月刊	◎登							ア-1	
コヒ	Coffee Break	全日本コーヒー協会	年2回	③登							キ-2	
コヒ	コピライト	著作権情報センター	月刊	◎							ア-1	13年3月号で寄贈中止
コミ	The Community	第一生命財団	年2回	②							ア-2	
コリ	Koreana	韓国国際交流財団	季刊	②登							オ-3	
サナ	サ～ナ sana	イフ	半年刊	②登							ク-3	
サブ	SUBWAY	日本地下鉄協会	年4回	②登							キ-1	
シヴ	Civil Engineering Consultant	建設コンサルタンツ協会	季刊	③							ク-1	
シテ	city & life	第一生命財団	年3回	②登							オ-3	
シニ	しにか	大修館書店	月刊	◎							オ-2	04年3月号Vol.15で休刊
シホ	司法の窓	最高裁判所	不定期	⑤							オ-3	16年81号で寄贈中止
シヤ	JAF Mate	JAF	月刊	①							ウ-4	
シュ	首都高	首都高速サービス推進協会	季刊	②							キ-1	
シュ	春秋	春秋社	月刊	◎登							ア-1	18年6月号で休刊
ショ	書齋の窓	有斐閣	隔月刊	◎登		①	○				ア-1	
シン	人民日報(海外版日本月刊)	日本新華僑通信社	月刊	①登							オ-3	
シン	心理臨床の広場	日本心理臨床学会	年2回	③登							ク-3	
セイ	青春と読書	集英社	月刊	◎登							ア-1	
セカ	世界と議会	尾崎行雄記念財団	年3回	①							オ-3	
ソウ	創文	創文社	季刊	◎登							ア-1	16年秋号(23号)で終刊
ソウ	総務省広報誌	総務省	月刊	②			○				オ-2	
ソハ	蕎麦春秋	リベラルタイム出版社	季刊	②登							カ-1	
ソラ	宇宙のとびら	宇宙航空研究開発機構宇宙教育センター	季刊	③登		①登					エ-1	
タノ	たのくら	明光企画	月刊			◎登						07年12月で休刊
タハ	食べもの通信	食べもの通信社	月刊	①登							キ-2	
チイ	地域防災	日本防火・防災協会	隔月刊	②登							オ-2	
チク	ちくま	筑摩書房	月刊	◎登							ア-1	16年6月から購入へ
チュ	中国図書	内山書店	月刊	◎							ア-1	12年2月号で休刊
ツウ	通信文化	通信文化協会	月刊	①登							キ-2	
ツハ	翼の王国	ANA「翼の王国」編集部	月刊	①登							ウ-1	
テン	電撃文庫MAGAZINE	KADOKAWA	隔月刊	①登							エ-1	20年5月号で休刊

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	備考(年は西暦下2桁)
トウ	とうきょうの地域教育	東京都教育委員会	隔月刊	②							ア-1	
トク	TALK TALK	経心会	年刊	②登							ア-2	
トシ	図書	岩波書店	月刊	◎登	○	①	○				ア-1	平田21年度受入中止
トシ	図書館の学校	図書館振興財団	季刊	◎登							ア-1	
ト	都道府県展望	全国知事会	月刊	◎							ア-2	11年3月号で休刊
ナミ	波	新潮社	月刊	◎登							ア-1	
ニチ	にちぎん	日本銀行	季刊	②							カ-2	
ニュ	THE NEW YORKER [英語]	CONDE NAST PUBLICATIONS	週刊	③							イ-5	18年1月15日号で寄贈中止
ノ	のんびる	バルシステム生活協同組合連合会	月刊	①登							ア-4	
ハイ	俳句界	文學の森	月刊	③登							エ-3	19年12月号で寄贈中止
ハウ	ハウジング・トリビューン(Housing Tribune)	創樹社	月2回	①登							ク-1	
ハス	Her Story	ノートルモンド社	月刊	②							オ-2	21年1月より「Our Story」へ変更
ハツ	はっぴーママ	明光企画	隔月刊			◎登					イ-1	13年9・10月より「ママともぶらす」へ変更
ファ	ファイナンス	財務省	月刊	①							カ-2	
フィ	Fishing Cafe	シマノ	年3回	②登			○				ウ-2	21年秋号で寄贈中止
フ	武道	日本武道館	月刊	①登							イ-4	
ホウ	法苑	新日本法規出版	年3回	②							オ-3	
ホウ	ぼうさい	内閣府(防災担当)	季刊	②							オ-2	
ホウ	ほうてらす	日本司法支援センター(法テラス)本部	季刊	②							オ-3	
ホス	Hostelling Magazine	日本ユースホステル協会	季刊	②登							ウ-1	
ホン	本 読書人の雑誌	講談社	月刊	◎登							ア-1	20年12月号で休刊
ホン	本が好き!	光文社	月刊	◎							ア-1	10年1月号で休刊
ホン	本郷	吉川弘文館	隔月刊	◎登		①					ア-1	
ホン	本の旅人	KADOKAWA	月刊	◎登							ア-1	19年7月号で休刊
ホン	本の話	文藝春秋	月刊	◎							ア-1	11年10月号で休刊
ママ	ママともぶらす	明光企画	季刊	②登		◎登					イ-1	21年春号で休刊
マモ	MAMOR	扶桑社	月刊	②登							オ-2	
マン	マンション管理センター通信	公益財団法人マンション管理センター	月刊	①登							ク-1	
ミス	みすず	みすず書房	月刊	◎登							ア-1	
ミス	mr partner for real life	ミスター・パートナー	隔月刊	②登					②登		ア-3	20年2月号で寄贈中止
ミス	水とともに	水資源機構	月刊	①							ク-1	
ミト	緑と水のひろば	東京都公園協会	季刊	②登							ウ-1	19年4月95号で休刊
ミラ	未来	未来社	季刊	◎登							ア-1	
ミラ	未来へげんき	日本原子力研究開発機構	季刊	②							キ-3	
ミル	ミルククラブ	中央酪農会議	季刊	②							キ-1	
ミン	みんてつ	日本民営鉄道協会	季刊	②登							キ-1	
ムン	mundi	国際協力機構	月刊	②							オ-3	
ユビ	UP	東京大学出版会	月刊	◎登							ア-1	
リハ	リベラルタイム	リベラルタイム出版社	月刊	②登							カ-1	
レキ	歴史研究	歴研	月刊	①登							オ-2	
レキ	歴史の旅人	歴史街道倶楽部事務局	季刊	③登							オ-2	
レキ	歴博	国立歴史民俗博物館	隔月刊		○							21年3月で休刊
ロウ	労働判例	産労総合研究所	月2回	◎登							オ-3	

寄贈雑誌タイトル数 71 69 0 4 4 0 0 2

注1: 所蔵館名○数字は、保存年限を示す。◎は永年保存。「登」は所蔵登録あり。

注2: 配架欄は中央図書館の分野別雑誌架を示す。

注3: 網掛けは休刊、中止を示す。

(3) 中央図書館収集地域雑誌・定期刊行物一覧

令和4年4月1日現在

	タイトル	発行機関	配架・分類※
1	eパートナーちば	ちば県民共生センター	青ファイル
2	いちうらサポステしんぶん	いちかわうらやす若者サポートステーション	黄ファイル
3	いちかわ 商工会議所会報	市川商工会議所	緑ファイル
4	市川市医師会会報	市川市医師会	図書登録(I/P5)
5	いちかわ市議会だより	市川市議会	BOX(いちかわ市議会だより)
6	市川図書館だより	市川市中央図書館	緑ファイル
7	市川よみうり	市川よみうり新聞社	BOX(市川よみうり)
8	市景 瓦版	まち並み景観整備課	緑ファイル
9	いちぼ:いちかわのボランティアNPO情報誌	市川市市民部ボランティア・NPO課	ファイル(I/N0)
10	Event Guide:市川市文化振興財団の催し物案内	市川市文化振興財団	緑ファイル
11	ウィズレター	市川市総務部多様性社会推進課	緑ファイル
12	West Library(千葉県立西部図書館だより)	千葉県立西部図書館	青ファイル
13	沖	沖発行所	BOX(沖)
14	思いやり交通千葉	千葉県交通安全対策推進委員会	青ファイル
15	ガーデニング通信	市川市まちなみ景観整備課	緑ファイル
16	かいつか	市川市博物館友の会	緑ファイル
17	科学館ニュース(千葉県立現代産業科学館)	千葉県立現代産業科学館	青ファイル
18	かずさDNA研究所ニュースレター	かずさDNA研究所	BOX(かずさDNA研究ニュースレター)
19	学校図書館支援センター通信	市川市学校図書館支援センター	ファイル(I/Q4)
20	鎌ヶ谷市郷土資料館だより	鎌ヶ谷市郷土資料館	ピンクファイル
21	環境だより	千葉県環境研究センター	青ファイル
22	監査結果	千葉県監査委員	ファイル(C10/F7)
23	監査結果の公表について	市川市監査委員会	ファイル(I/F7)
24	北千葉道路だより	北千葉道路広報ワーキンググループ	ファイル(I/S2)
25	教育いちかわ	市川市教育委員会	ファイル(I/Q1)
26	教育広報夢気球	千葉県教育委員会	青ファイル
27	行政関係資料(新着案内)	千葉県文書館行政資料室	青ファイル
28	行政監査の結果に基づく措置結果	千葉県監査委員	ファイル(C10/F7)
29	行徳文化ホールI&I イベントカレンダー	行徳文化ホールI&I	緑ファイル
30	クオリティライフいちかわ	市川市消費生活センター	緑ファイル
31	Green Port Report	成田国際空港株式会社	BOX(Green Port Report)
32	京成らいん	京成電鉄	BOX(京成らいん)
33	芸文協ちば	千葉県芸術文化団体協議会	青ファイル
34	研究紀要	千葉市立郷土博物館	図書登録(C21.1/R3)
35	県警からのお知らせ	千葉県読売防犯協力会	青ファイル
36	けんこうChiba	ちば県民保健予防財団	青ファイル
37	県水だより:千葉県営水道広報誌	千葉県企業局	BOX(県水だより)
38	考古・歴史博物館だより	市川考古博物館/市川歴史博物館	緑ファイル
39	国府台経済研究	千葉商科大学経済研究所	図書登録(I/Q3)
40	広報いちかわ	市川市	専用ファイル(I/F5)
41	国際交流つうしん	ちば国際コンベンションビューロー	青ファイル
42	コミュニティクラブ遊びの情報	市川市教育委員会学校地域連携推進課	緑ファイル
43	コミュニティサポートだより	コミュニティサポート委員会	緑ファイル
44	探連:千葉市美術館研究紀要	千葉市美術館	図書登録(C21.1/R4)
45	THE CHIBA OIJ 放送大学千葉学習センター機関紙	放送大学千葉学習センター	黄ファイル
46	三番瀬署名ニュース	三番瀬を守る署名ネットワーク	黄ファイル
47	しいむじな :房総の山のフィールド・ミュージアムニュースレター	房総の山のフィールド・ミュージアム	青ファイル
48	CUC:View & Vision	千葉商科大学経済研究所	図書登録(I/Q3)
49	JICAシニアボランティア千葉	千葉県JICAシニアボランティアの会	黄ファイル
50	JW・Jの会(勉強会)	JW・Jの会	ファイル(Z/W5)
51	市史研究いちかわ	市川市文化スポーツ部文化振興課	図書登録(I/B0)
52	社会的連帯経済	ちば社会的連帯経済研究所	黄ファイル
53	淑徳大学アーカイブズ・ニュース	淑徳大学アーカイブズ	黄ファイル
54	じゅんかんニュース	市川市環境生活部環境整備課	緑ファイル
55	生涯学習研究所だより 聖徳大学生涯学習研究所	聖徳大学生涯学習研究所	黄ファイル
56	昭和学院短期大学紀要	昭和学院短期大学	図書登録(I/Q3)
57	市立いちかわ自然博物館だより	市立市川自然博物館	緑ファイル
58	知るぼると	千葉県金融広報委員会	青ファイル
59	新・参考業務月報	市川市中央図書館	ファイル(I/R1)
60	C'n Scene news	千葉市美術館	ピンクファイル

	タイトル	発行機関	配架・分類※
61	新樹	中津攸子	図書登録(I/A5)
62	すずがも通信:行徳野鳥観察舎友の会会報	行徳野鳥観察舎友の会	緑ファイル
63	聖徳大学生涯学習研究所紀要	聖徳大学	図書登録(C22.8/Q3)
64	生命のにぎわいとつながり:生物多様性ちばニュースレター	千葉県生物多様性センター	青ファイル
65	清和大学短期大学部紀要	清和大学短期大学部	図書登録(C35.1/Q3)
66	赤十字NOW 千葉	日本赤十字社千葉県支部	黄ファイル
67	袖ヶ浦市史研究	袖ヶ浦市郷土博物館	図書登録(C35.3/B0)
68	たかっぼ通信:大利根 川のフィールドミュージアムレター	千葉県立中央博物館大利根分館	青ファイル
69	ちいき新聞 市川版(2020年4月~市川中央・北部が合併)	地域新聞船橋支社	BOX(ちいき新聞)
70	ちいき新聞 八幡版(2020年4月~本八幡・八幡北版が合併)	地域新聞船橋支社	BOX(ちいき新聞)
71	知識は旅をする(千葉県立東部図書館だより)	千葉県立東部図書館	青ファイル
72	ちば:教育と文化	千葉県教育文化研究センター	図書登録(C10/Q0)
73	千葉教育	千葉県総合教育センター	図書登録(C10/Q0)
74	ちば経済季報	千葉経済センター	図書登録(C10/K0)
75	千葉県SLA会報 (千葉県教育研究会学校図書館教育部会会報)	千葉県教育研究会学校図書館教育部会	青ファイル
76	千葉県議会時報	千葉県議会事務局	図書登録(C10/H5)
77	ちば県議会だより	千葉県議会	BOX(ちば県議会だより)
78	千葉県財政事情	千葉県総務部財政課	ファイル(C10/G2)
79	千葉県職員措置請求の監査結果の公表	千葉県監査委員	ファイル(C10/F7)
80	千葉県新聞組合市川支部だより(旧:市川市新聞組合だより)	千葉県新聞組合市川支部	黄ファイル
81	ちば県民だより	千葉県総合企画部	BOX(ちば県民だより)
82	千葉県立中央博物館自然誌研究報告	千葉県立中央博物館	図書登録(C10/R3)
83	ちば里山新聞	ちば里山センター	黄ファイル
84	ちば市史編さんだより	千葉市立郷土博物館	ピンクファイル
85	千葉生物誌	千葉県生物学会	図書登録(C10/U6)
86	ちばの統計	千葉県総合企画部統計課	ファイル(C10/M1)
87	千葉文化(千葉県立中央図書館報)	千葉県立中央図書館	青ファイル
88	CHI~BA Magazine テーマガ	サンケイ・アド・インクワイアリ	図書登録(C10/A5)
89	ちばまなびの森:千葉市生涯学習情報誌	千葉市生涯学習センター	ピンクファイル
90	千防協NEWS	千葉県建設防水工事業協同組合	黄ファイル
91	中央学院大学社会システム研究所紀要	中央学院大学社会システム研究所	図書登録(C22.1/Q3)
92	中央学院大学商経論叢	中央学院大学商学部	図書登録(C22.1/Q3)
93	中央学院大学人間・自然論叢	中央学院大学商学部・法学部・現代教養学部	図書登録(C22.1/Q3)
94	定年時代:千葉版	朝日新聞編集センター	BOX(定年時代)
95	図書館だよりぼーれぼーれ	千葉県立保健医療大学図書館	青ファイル
96	利根川文化研究	利根川文化研究会	図書登録(C20.05/B0)
97	友の会のお知らせ/市川博物館友の会	市川博物館友の会	緑ファイル
98	なかやま	中山法華経寺	黄ファイル
99	流山市史研究	流山市教育委員会	図書登録(C22.5/B0)
100	なのはな通信	アイビー千葉	BOX(なのはな通信)
101	成田山仏教研究所紀要	成田山仏教研究所	図書登録(C23.2/X2)
102	成田市史研究	成田市教育委員会	図書登録(C23.2/B0)
103	NEWS LETTER 中央学院大学社会システム研究所	中央学院大学システム研究所	黄ファイル
104	Net Work通信	千葉市図書館情報ネットワーク協議会	ピンクファイル
105	野田市史研究	野田市	図書登録(C22.6/B0)
106	干潟を守る	千葉の干潟を守る会	ファイル(I/T0)
107	ひまわり倶楽部	ちばぎん総合研究所	BOX(ひまわり倶楽部)
108	FIL通信	市川市図書館友の会	緑ファイル
109	フオリオ 和洋女子大学司書課程・司書教諭課程年報	和洋女子大学司書課程・司書教諭課程	図書登録(I/Q3)
110	福祉ちば	千葉県社会福祉協議会	青ファイル
111	ふみくら	千葉市文庫連絡協議会	黄ファイル
112	ふれあい毎日	東葛毎日新聞社	BOX(ふれあい毎日)
113	ポイントペーパーいちかわ新聞	明光企画	BOX(ポイントペーパーいちかわ新聞)
114	ポイントペーパー行徳新聞	明光企画	BOX(ポイントペーパー行徳新聞)
115	房総の文化財	千葉県教育振興財団	青ファイル

	タイトル	発行機関	配架・分類※
116	ほくそう	北総鉄道	BOX(ほくそう)
117	Hokso Smile ほくそうすまいる	北総鉄道	BOX(ほくそう)
118	まいたうん:市川・本八幡版 ⇒(2020年3月号〜「市川よみうり」に合併)	加藤新聞舗	BOX(まいたうん市川・本八幡)
119	楨:文学同人誌	文学グループ楨の会	図書登録(C34.1/W0)
120	真木(千葉県俳句作家協会会報)	千葉県俳句作家協会事務局	青ファイル
121	松戸史談	松戸史談会	図書登録(C22.8/A6)
122	松戸市立博物館紀要	松戸市立博物館	図書登録(C22.8/R3)
123	ミーティアムガイド:市川市公民館講座情報紙	市川市教育委員会社会教育課	BOX(ミーティアムガイド)
124	みどりのふおーらむ:市川緑の市民フォーラム会報	市川緑の市民フォーラム	黄ファイル
125	ミュージアムレター(市川市文学ミュージアム)	市川市文学ミュージアム	緑ファイル
126	みる かたる つくる:千葉県立美術館報	千葉県立美術館	青ファイル
127	ミレニアム	千葉県医師会	BOX(ミレニアム)
128	UNESCOいちかわ	市川市ユネスコ協会	黄ファイル
129	ようちえんのひろば:市川市私立幼稚園協会広報	市川市私立幼稚園協会	黄ファイル
130	読売地域防犯ニュース	読売新聞	黄ファイル
131	LOUNGE ラウンジ	千葉銀行広報室	BOX(LOUNGE)
132	LINK:千葉商科大学学内広報誌	千葉商科大学	BOX(LINK)
133	例月出納検査結果報告	市川市監査委員	ファイル(I/F7)
134	REKIHAKU	人間文化研究機構国立歴史民俗博物館	図書登録(C23.1/R3)

※ 配架・分類欄の色は分類しているファイルの色を示す。(緑:市川市 青:千葉県 ピンク:県内他市町村 黄:団体・民間施設)

## (4) 新聞ほか一覧

令和4年7月1日現在

ヨミ	タイトル	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南
アサ	Asahi Weekly[英語]	○					
アサ	朝日新聞	◎	○	◎	○	○	○
アサ	朝日中高生新聞	○					
オヤ	おやばと(寄贈)	○		①			
カン	官報	⑤		⑤			
キャ	Campus Scope(寄贈)	○					
コウ	公明新聞	○					
サン	産経新聞	○		○			
サン	サンケイスポーツ			○			
シャ	社会新報	○					
シャ	The Japan Times[英語]	○		○			
シャ	JAX's(寄贈)	○					
シュ	週刊読書人	○					
シュ	自由民主(寄贈)	○					
シン	しんぶん赤旗	○					
シン	人民日報 海外版[中国語]	○					
スポ	スポーツニッポン	○					
セイ	政府刊行物新聞(寄贈)	○					
チハ	千葉県報(寄贈)	⑤		①	①	①	①
チハ	千葉日報	◎		○			○
チュ	中小企業振興(寄贈)						①
テン	点字毎日	○					
トウ	東亜日報 日本版[韓国語]	○					
トウ	東京新聞	○		○			
ニッ	日刊工業新聞	○					
ニッ	日刊スポーツ	○	○	○	○	○	
ニッ	日経ヴェリタス	○					○
ニッ	日経産業新聞	○					
ニッ	日経MJ(流通新聞)	○					
ニホ	日本経済新聞	◎	○	○	○	○	○
ニュ	The New York Times[英語]	○		○			
フク	福島民報(寄贈)	○					○
フク	福島民友(寄贈)	○					○
マイ	毎日小学生新聞	○					
マイ	毎日新聞	◎		○			
ヨミ	読売新聞	◎	○	○	○	○	○
リッ	立憲民主(寄贈)	○					

注: 所蔵館名欄 ◎縮刷版あり ○所蔵あり ①1年保存 ⑤5年保存

### 保存状況

#### 新聞原紙

中央(原則として1年)

平田・行徳・信篤・南行徳(6ヶ月)、駅南(3ヶ月)

※朝日、読売、毎日新聞の地方版のみ新聞原紙

中央: 平成22年1月～所蔵

「萬朝報」明治25年11月～大正9年12月

「日本」明治22年2月～明治39年6月

「朝日新聞縮刷版」

「朝日新聞縮刷版復刻版」

中央: 明治21年7月～

以下、欠号

昭和13年1～2月、昭和14年9月

昭和15年5月、昭和17年2月

昭和27年11月、昭和29年4月

昭和30年12月

昭和31年3月、5～12月

昭和34年11月、昭和35年11月

昭和39年10月

昭和41年8月、昭和45年11月

昭和49年6月、8月

昭和50年2月

行徳: 昭和57年3月～

「読売新聞縮刷版」

昭和33年9月～

欠号: 昭和41年8月

「読売新聞縮刷版復刻版」

昭和20年1月～昭和23年12月

「毎日新聞縮刷版」

昭和32年11月～12月

昭和56年3月～昭和59年12月

平成20年1月～

「日本経済新聞縮刷版」

昭和52年1月～昭和54年12月

昭和55年4月～

「千葉日報縮刷版」(平成16年4月～CD-ROM化)

昭和52年4月～平成16年3月

以下欠号

昭和60年7月、61年7月、62年7月

昭和63年7月、平成元年7月

「千葉日報製本版」

平成16年4月～12月

「千葉日報原紙」

平成17年1月～

マイクロフィルム \* 現在閲覧休止

「千葉日報」昭和32年～平成7年

「市川市民新聞」昭和27年～昭和42年

「京葉新聞」昭和43年～平成13年

「京葉子ども新聞」昭和40年～昭和56年

## 13. 条例・規則等

### ○市川市立図書館の設置及び管理に関する条例

平成20年12月12日 条例第39号

改正 平成23年12月7日 条例第45号

市川市立図書館設置条例（昭和39年条例第47号）の全部を改正する。

（設置）

第1条 本市は、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するため、図書館法（昭和25年法律第118号。以下「法」という。）第10条の規定に基づき、図書館を設置する。

（名称及び位置等）

第2条 図書館の名称及び位置は、次の表のとおりとする。

名称	位置
市川市行徳図書館	市川市末広1丁目1番31号
市川市信篤図書館	市川市高谷1丁目8番1号
市川市南行徳図書館	市川市相之川1丁目2番4号
市川市市川駅南口図書館	市川市市川南1丁目10番1号

2 前項に定めるもののほか、本市に市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例（平成6年条例第22号。以下「生涯学習センター条例」という。）に基づき、市川市中央図書館を設置する。

（平23条例45・一部改正）

（事業）

第3条 図書館においては、法第3条各号に掲げる事項を実施する。

（館外貸出しを受けられるもの）

第4条 法第3条第1号に規定する図書館資料（以下「図書館資料」という。）の館外貸出し（以下「館外貸出し」という。）を受けられるものは、本市に住所を有し、勤務し、又は通学する者及びこれらの者で構成される団体であつて読書会等を主催するものとする。ただし、教育委員会が適当と認めるものは、この限りでない。

（館外貸出しの登録）

第5条 館外貸出しを受けようとするものは、あらかじめ教育委員会の登録を受けなければならない。ただし、生涯学習センター条例第10条第1項本文の登録を受けているものは、この限りでない。

2 前項本文の登録（以下「登録」という。）の有効期間は、次の各号に掲げるものの区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

- （1）個人 登録の日から起算して3年
- （2）団体 登録の日からその日の属する年度の末日まで

3 有効期間の満了後、引き続き館外貸出しを受けようとするものは、教育委員会規則で定めるところにより、教育委員会に登録の更新の申請をしなければならない。

4 前項の登録の更新がされたときは、その登録の有効期間は、次の各号に掲げるものの区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

- （1）個人 従前の登録の有効期間の満了の日の翌日から起算して3年
- （2）団体 従前の登録の有効期間の満了の日の翌日から起算して1年

（平23条例45・一部改正）

（登録の申請等）

第6条 登録を受けようとするものは、教育委員会規則で定めるところにより、教育委員会に登録の申請をしなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請をしたものが第4条に規定するものであるときは、その登録をするものとする。

3 教育委員会は、登録をしたときは、第1項の規定による申請をしたものに対し、図書館利用券を交付するものとする。ただし、その者が市川市住民基本台帳カードの利用に関する条例（平成16年条例第37号）第4条第3項又は第4項の規定により同条例第2条第2項に規定する多目的サービスに係る情報の記録がされた住民基本台帳カード（第9条第1項において「館外貸出対応住基カード」という。）の返還を受ける者であるときは、この限りでない。

4 図書館利用券の交付を受けたものは、当該図書館利用券を壊し、汚し、又は失ったときは、教育委員会規則で定めるところにより、教育委員会に申請して、その再交付を受けることができる。

5 図書館利用券は、他に譲渡し、又は転貸してはならない。

（変更の届出）

第7条 登録を受けたものは、前条第1項の規定による申請をした事項に変更があったときは、速やかに、その旨を教育委員会に届け出なければならない。

（登録の取消し）

第8条 教育委員会は、登録を受けたものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、その登録を取り消すことができる。

(1) 第4条に規定するものでなくなったとき。

(2) 不正の手段により登録（第5条第3項の登録の更新を含む。）を受けたとき。

（館外貸出しの承認等）

第9条 館外貸出しを受けようとするものは、図書館利用券（生涯学習センター条例第11条第3項本文の規定により交付されている図書館利用券を含む。）又は館外貸出対応住基カードを提示して、教育委員会の承認を受けなければならない。

2 教育委員会は、館外貸出しを受けようとするものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、前項の承認をしないことができる。

(1) 図書館資料を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。

(2) 次条に規定する期間を経過してもなお館外貸出しを受けた図書館資料を返還しないとき。

(3) 生涯学習センター条例第14条第2項第2号に該当するとき。

（平23条例45・一部改正）

（館外貸出しを受けることができる図書館資料等）

第10条 館外貸出しを受けることができる図書館資料及びその数量並びに期間は、次の表のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これらを変更することができる。

区分	館外貸出しを受けることができる図書館資料	館外貸出しを受けることができる図書館資料の数量（現に館外貸出しを受けている図書館資料及び生涯学習センター条例に基づく館外貸出しを受けている図書館資料の数量を含む。）	館外貸出しを受けることができる期間
個人	図書	20	前条第1項の承認を受けた日から起算して15日
	コンパクトディスク	3	
	ビデオテープ	2	
	ビデオディスク	1	
団体	図書	無制限	前条第1項の承認を受けた日から起算して31日
	コンパクトディスク	3	前条第1項の承認を受けた日から起算して15日

（平23条例45・一部改正）

（館外貸出しの制限）

第11条 図書館資料のうち貴重図書その他教育委員会が指定するものは、館外貸出しは行わない。

2 館外貸出しを受けた図書館資料は、他に譲渡し、又は転貸してはならない。

（開館時間）

第12条 図書館の開館時間は、次の表の左欄に掲げる図書館の区分に応じ、同表の右欄に定めるとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。

区分	開館時間
市川市行徳図書館	午前10時から午後7時30分（日曜日、土曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号。以下「祝日法」という。）に規定する休日にあつては、午後5時）まで
市川市信篤図書館及び市川市南行徳図書館	午前9時30分から午後5時まで
市川市市川駅南口図書館	午前9時30分から午後9時（日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日にあつては、午後6時）まで

（休館日）

第13条 図書館の休館日は、次の表の左欄に掲げる図書館の区分に応じ、同表の右欄に定めるとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

区分	休館日
市川市行徳図書館及び市川市市川駅南口図書館	1 月曜日（その日が祝日法に規定する休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い祝日法に規定する休日以外の日） 2 毎月末日（その日が1に掲げる日、日曜日、土曜日又は祝日法に規定する休日に当たるときは、その日前においてその日に最も近い1に掲げる日、日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日以外の日） 3 1月1日から同月4日まで 4 12月28日から同月31日まで
市川市信篤図書館及び市川市南行徳図書館	1 月曜日 2 祝日法に規定する休日（その日が月曜日に当たるときは、その翌日） 3 毎月末日（その日が1若しくは2に掲げる日、日曜日又は土曜日に当たるときは、その日前においてその日に最も近い1及び2に掲げる日、日曜日並びに土曜日以外の日） 4 1月2日から同月4日まで 5 12月28日から同月31日まで

（入館の制限等）

第14条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、図書館を利用するもの（第1号及び第2号において「利用者」という。）に対し、入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

- (1) 利用者が公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 利用者が図書館の施設、附属設備又は図書館資料（以下「施設等」という。）を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) その他図書館の管理運営上支障を生ずるおそれがあるとき。

（損害賠償）

第15条 施設等を壊し、汚し、又は失わせたものは、速やかに、原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない事情があると認めるときは、この限りでない。

（指定管理者による管理）

第16条 教育委員会は、市川市市川駅南口図書館の管理を指定管理者（地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。）に行わせるものとする。

2 指定管理者が行う業務の範囲は、次のとおりとする。

- (1) 法第3条各号（第5号を除く。）に掲げる事項を行うこと。
- (2) 図書館利用券を交付し、及び再交付すること。
- (3) 館外貸出しの承認を行うこと。
- (4) 入館を禁じ、及び退館を命ずること。
- (5) 施設等の維持管理（軽微なものに限る。）を行うこと。
- (6) その他前各号に掲げる業務を行うに当たり必要な行為をすること。

3 指定管理者が行う市川市市川駅南口図書館の管理の基準は、市川市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例（平成16年条例第2号）に定めるもののほか、第4条、第6条第3項及び第4項並びに第9条から第14条までに定めるところによる。この場合において、これらの規定の適用については、第4条ただし書中「教育委員会」とあるのは「指定管理者」と、第6条第3項本文中「教育委員会は、登録」とあるのは「指定管理者は、教育委員会が登録」と、同条第4項中「教育委員会に」とあるのは「指定管理者に」と、第9条及び第10条ただし書中「教育委員会」とあるのは「指定管理者」と、第12条ただし書及び第13条ただし書中「教育委員会が必要と認める」とあるのは「指定管理者が教育委員会の承認を得た」と、第14条中「教育委員会」とあるのは「指定管理者」とする。

（委任）

第17条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

（施行期日）

1 この条例は、平成21年4月1日から施行する。ただし、改正後の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例（以下「新条例」という。）第2条第1項、第12条及び第13条の規定（市川市市川駅南口図書館に係る部分に限る。）並びに第16条の規定は、同月30日から施行する。

（経過措置）

2 この条例の施行の際現に改正前の市川市立図書館設置条例（次項において「旧条例」という。）に基づく教育委員会規則の規定により図書館利用券の交付を受けているものは、この条例の施行の日において、新条例第5条第1項本文の登録を受けたものとみなす。この場合において、当該登録の有効期間は、同条第2項の規定にかかわらず、教育委員会が別に定める。

3 この条例の施行の際現に旧条例に基づく教育委員会規則の規定により交付されている図書館利用券は、新条例第6条第3項本文の規定により交付された図書館利用券とみなす。

附 則（平成23年12月7日条例第45号）

（施行期日）

1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 この条例の施行の際現に第1条の規定による改正前の市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例又は第2条の規定による改正前の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例に基づき20以上の数量の図書の館外貸出しを受けている個人は、その数量が20未満となるまでの間は、新たに第1条の規定による改正後の市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例及び第2条の規定による改正後の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例に基づく図書の館外貸出しを受けることができない。

## 〇市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則

平成21年 3月31日 教育委員会規則第6号  
改正 平成23年 3月25日 教委規則第2号  
平成24年 3月14日 教委規則第2号  
平成28年 3月31日 教委規則第5号

市川市立図書館規則（平成6年教育委員会規則第11号）の全部を改正する。

（趣旨）

第1条 この規則は、市川市立図書館の設置及び管理に関する条例（平成20年条例第39号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

（運営状況の評価等）

第1条の2 教育委員会は、図書館の運営の改善を図るため、その運営の状況について評価を行い、これを公開するものとする。

（平24教委規則2・追加）

（蔵書の構築）

第2条 教育委員会は、図書館の蔵書の構築に関する指針を定め、これに基づき当該蔵書の構築を行うものとする。

2 教育委員会は、市民等から資料の寄贈又は寄託の申出があったときは、前項の指針に適合するか否かを調査し、適合すると認めるときは、当該資料を図書館資料として収蔵することができる。

3 教育委員会は、公の刊行物その他の資料を収集するため、国、県、県内の市町村その他の団体に当該資料の提供を依頼するものとする。

（平24教委規則2・一部改正）

（館内利用）

第2条の2 教育委員会は、図書館の適正な利用環境を維持するため、館内の利用方法を定める等の必要な措置を講ずるものとする。

2 図書館を利用するものは、前項の規定により講じられた措置に基づき、図書館資料を閲覧し、又は視聴するものとする。

（平24教委規則2・追加）

（レファレンスサービス）

第3条 教育委員会は、図書館を利用するものに対し、レファレンスサービス（そのものの求めに応じ、図書館資料及び情報の提供、紹介等を行うことをいう。次項において同じ。）を提供するものとする。

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会は、レファレンスサービスに係る事項が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、レファレンスサービスを提供しないものとする。

- (1) 法令等の規定により公表を禁じられている事項
- (2) 古文書、美術品等の鑑定及び価格に関する事項
- (3) 身上、医療又は法律の相談に関する事項
- (4) 学習課題、卒業論文その他これらに類する事項
- (5) その他教育委員会がレファレンスサービスの提供を不相当と認める事項

3 教育委員会は、レファレンスサービスを提供するために必要があると認めるときは、公立図書館等にレファレンスサービスに係る情報の提供を依頼するものとする。

4 教育委員会は、公立図書館等からレファレンスサービスに係る情報の提供の依頼を受けたときは、図書館が保有する情報を提供することができる。ただし、当該依頼に係る情報が第2項各号のいずれかに該当すると認めるときは、この限りでない。

（平24教委規則2・一部改正）

（登録の申請等）

第4条 条例第6条第1項の規定による登録の申請は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる書類を教育委員会に提出して行うものとする。

- (1) 個人 市川市立図書館館外貸出個人登録・更新申請書（様式第1号）
- (2) 団体 市川市立図書館館外貸出団体登録・更新申請書（様式第2号）及び団体構成員名簿（様式第3号）

- 2 前項の場合において、当該申請をするもの（団体にあつては、その代表者）は、運転免許証、健康保険証その他の住所及び氏名を確認するため教育委員会が適当と認める書類（本市に勤務し、又は通学する者にあつては、当該書類及び身分証明書、学生証その他の本市に勤務し、又は通学する者であることを確認するため教育委員会が適当と認める書類）を提示しなければならない。
- 3 前2項の規定は、条例第5条第3項の規定による登録の更新の申請について準用する。この場合において、第1項中「条例第6条第1項の規定による登録」とあるのは「条例第5条第3項の規定による登録の更新」と、「書類」とあるのは「書類及び図書館利用券又は条例第6条第3項ただし書に規定する館外貸出対応住基カード」と読み替えるものとする。
- 4 前項の規定により読み替えて適用される第1項の書類及び図書館利用券又は条例第6条第3項ただし書に規定する館外貸出対応住基カードの提出期間は、条例第5条第2項の登録の有効期間の満了する日の前日の1月前の日から当該登録の有効期間の満了する日までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、この限りでない。

（平23教委規則2・一部改正）

（登録の実施）

第5条 条例第6条第2項の規定による登録は、市川市立図書館館外貸出登録簿（様式第4号）に次に掲げる事項を記載することにより行うものとする。

- (1) 住所及び氏名（団体にあつては、その名称及び代表者の氏名）
- (2) 登録年月日及び登録番号

（図書館利用券）

第6条 条例第6条第3項本文に規定する図書館利用券は、図書館利用券（様式第5号）とする。

（図書館利用券の再交付の申請）

第7条 条例第6条第4項の規定による図書館利用券の再交付の申請は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる申請書を教育委員会に提出して行うものとする。この場合において、第4条第2項の規定は、当該申請について準用する。

- (1) 個人 市川市立図書館利用券再交付申請書（個人用）（様式第6号）
- (2) 団体 市川市立図書館利用券再交付申請書（団体用）（様式第7号）

（変更の届出）

第8条 条例第7条の規定による登録の申請事項の変更の届出は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる届出書を教育委員会に提出して行うものとする。この場合において、当該届出書を提出するものは、当該変更を証する書類を当該職員に提示しなければならない。

- (1) 個人 市川市立図書館館外貸出個人登録申請事項変更届出書（様式第8号）
- (2) 団体 市川市立図書館館外貸出団体登録申請事項変更届出書（様式第9号）

（図書館資料の貸出しの予約等）

第9条 条例第6条第3項本文に規定する図書館利用券又は同項ただし書に規定する館外貸出対応住基カードの交付を受けたもの（本市に住所を有し、勤務し、又は通学する者及びこれらの者で構成される団体であつて読書会等を主催するものに限る。）は、貸出しを希望する図書館資料について、教育委員会に対し、当該図書館資料の貸出しの予約、他の市川市立図書館からの取寄せの申出等を行うことができる。

2 教育委員会は、前項の規定による予約、申出等を受けた場合において、公立図書館等に当該図書館資料（コンパクトディスクその他の視聴覚資料を除く。）が所蔵されていることを確認したときは、当該公立図書館等に対し、当該図書館資料の借受けを申し出ることができる。

（平24教委規則2・追加）

（図書館資料の複製等）

第10条 教育委員会は、著作権法（昭和45年法律第48号）第31条の規定に基づき、図書館資料の複製を行うものとする。

2 図書館資料の複製を依頼しようとするものは、市川市立図書館資料複製申込書（様式第10号）を教育委員会に提出しなければならない。

3 教育委員会は、図書館資料の複製を行うことにより当該図書館資料が壊れ、又は汚れるおそれがあると認めるときは、前項の規定による依頼を拒否することができる。

4 第2項の規定による依頼に基づき行う図書館資料の複製に要する費用は、当該依頼をしたものの負担とする。

(平24教委規則2・旧第9条繰下)

(障害者サービス)

第11条 条例第6条第2項の規定による登録を受けた者のうち、身体障害、高齢、傷病等により図書館を利用することが困難な者に対する図書館資料の貸出し等に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

(平24教委規則2・追加)

(指定管理者による管理)

第12条 指定管理者が市川市市川駅南口図書館の管理を行う場合におけるこの規則の規定の適用については、第2条の2、第3条、第7条、第9条及び第10条第1項から第3項までの規定中「教育委員会」とあるのは、「指定管理者」とする。

(平24教委規則2・旧第10条繰下・一部改正)

(補則)

第13条 この規則に定めるもののほか、市川市立図書館の管理に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

(平24教委規則2・追加)

附 則 (平成28年3月31日教育委員会規則第5号)

(施行期日)

1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の際現に交付されている第1条の規定による改正前の市川市中央図書館の管理に関する規則様式第5号による図書館利用券及び第2条の規定による改正前の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則様式第5号による図書館利用券は、それぞれ第1条の規定による改正後の市川市中央図書館の管理に関する規則様式第5号による図書館利用券及び第2条の規定による改正後の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則様式第5号による図書館利用券とみなして使用することができる。

## 〇市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例

	平成6年9月28日	条例第22号
改正	平成15年6月25日	条例第42号
	平成17年9月22日	条例第38号
	平成19年12月20日	条例第44号
	平成20年12月12日	条例第40号
	平成23年12月7日	条例第45号
	平成25年3月25日	条例第20号
	平成28年9月28日	条例第40号

(設置)

第1条 本市は、市民が生涯にわたって学習する機会を広く提供することにより、市民の生涯学習の振興及び普及を図るため、生涯学習センターを設置する。

(名称及び位置)

第2条 生涯学習センターの名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 市川市生涯学習センター

位置 市川市鬼高1丁目1番4号

(事業)

第3条 生涯学習センターは、次に掲げる事業を行う。

- (1) 生涯学習情報の提供に関すること。
- (2) 生涯学習支援体制の整備充実に関すること。
- (3) 生涯学習のための指導者及び助言者の養成及び研修に関すること。
- (4) その他生涯学習の振興及び普及を図るために必要な事項に関すること。

(施設等)

第4条 前条の事業を行うため、生涯学習センターに次の表の左欄に掲げる施設を置き、各施設の主な業務は、同表の右欄に定めるとおりとする。

施設名	業務
市川市中央図書館	図書館法（昭和25年法律第118号）第3条各号に掲げる事項に関すること。
市川市文学ミュージアム	(1) 文学、映像等に関する資料の収集、保管、展示及び利用に関すること。 (2) 文学、映像等の調査研究に関すること。 (3) 文学、映像等に係る講座、講演会等の開催に関すること。 (4) 施設及び附属設備の利用に関すること。
市川市教育センター	(1) 教育課程の調査研究に関すること。 (2) 教育関係職員の研修に関すること。 (3) 教育関係資料及び情報の収集、作成及び提供に関すること。 (4) 教育相談に関すること。
市川市中央こども館	(1) 児童の健全な遊びの指導に関すること。 (2) 児童の健康増進の指導に関すること。 (3) 児童の生活相談に関すること。 (4) 子育てを支援するものと児童との交流を図ることその他児童の健全な育成に関すること。 (5) 児童厚生員及び遊びの指導者等の養成に関すること。

2 市川市文学ミュージアム（以下「文学ミュージアム」という。）は、次に掲げるもので構成する。

- (1) 通常展示フロア
- (2) 企画展示室
- (3) グリーンスタジオ（控室を含む。）
- (4) ベルホール
- (5) 文学研修室

- (6) 映像メディア編集室
- (7) アナウンスブース
- (8) 音楽スタジオ
- (9) 資料室

3 市川市教育センター（以下「教育センター」という。）に所長その他の必要な職員を置く。

（平17条例38・平20条例40・平25条例20・一部改正）

（運営）

第5条 生涯学習センターは、生涯学習センターを構成する各施設相互の連携を図ることにより、生涯学習に関する総合施設として有機的に運営されなければならない。

（使用することができるもの）

第6条 市川市中央こども館（以下「中央こども館」という。）を使用することができるものは、本市に住所を有する18歳未満の者及びその保護者並びにこれらの者で構成される団体とする。ただし、市長が適当と認めるものは、この限りでない。

（平17条例38・平20条例40・平25条例20・平28条例40・一部改正）

（使用の許可等）

第7条 文学ミュージアム（第4条第2項第2号から第8号までに掲げるものに限る。以下この条、次条第1項、第20条及び第21条第1項において同じ。）を使用しようとするものは、市長の許可を受けなければならない。

2 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、前項の許可をしないことができる。

- (1) 文学ミュージアムを使用しようとするものが公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 文学ミュージアムを使用しようとするものがその施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) 文学ミュージアムを使用しようとするものが営利を目的として使用するおそれがあるとき。
- (4) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団（第21条第1項第6号において「暴力団」という。）の利益になるとき。
- (5) その他文学ミュージアムの管理運営上支障を生ずるおそれがあるとき。

3 中央こども館を使用しようとするものは、規則で定める名簿に住所、氏名その他規則で定める事項を記入しなければならない。

4 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、中央こども館を使用させないことができる。

- (1) 中央こども館を使用しようとするものがその事業に係る目的に適合しない目的で中央こども館を使用しようとするとき。
- (2) 中央こども館を使用しようとするものが前条第2項に規定するものに該当しないとき。
- (3) 中央こども館を使用しようとするものが公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (4) 中央こども館を使用しようとするものがその施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (5) その他中央こども館の管理運営上支障を生ずるおそれがあるとき。

5 市長は、文学ミュージアムの管理運営上必要があると認めるときは、第1項の許可について条件を付けることができる。

（平17条例38・全改、平19条例44・平20条例40・平25条例20・平28条例40・一部改正）

（使用料）

第8条 前条第1項の許可を受け、文学ミュージアムを使用するもの及び市が行う特別の企画による展示を観覧する者は、市川市使用料条例（平成11年条例第39号）に定める使用料を納めなければならない。

2 中央こども館の使用料は、無料とする。

3 生涯学習センターの自動車駐車場（以下「駐車場」という。）を使用するものは、市川市使用料条例に定める使用料を納めなければならない。ただし、次に掲げる自動車を駐車する場合については、この限りでない。

- (1) 道路交通法（昭和35年法律第105号）第39条第1項に規定する緊急自動車
- (2) 身体障害者、知的障害者又は精神障害者が乗車している自動車
- (3) 市が主催する講座、講演会、研修会等において講師を務める者が乗車している自動車
- (4) 市川市中央図書館（以下「中央図書館」という。）、中央こども館等においてボランティア活動を行う者が乗車している自動車

(5) その他使用料を徴収する必要がないものとして市長が特に認める自動車

4 前項の使用料は、自動車が駐車場から出場する際に、駐車場を使用したものから徴収する。

(平15条例42・平20条例40・平25条例20・平28条例40・一部改正)

(館外貸出しを受けることができるもの)

第9条 中央図書館の図書館法第3条第1号に規定する図書館資料（以下「図書館資料」という。）の館外貸出し（以下「館外貸出し」という。）を受けることができるものは、本市に住所を有し、勤務し、又は通学する者及びこれらの者で構成される団体であって読書会等を主催するものとする。ただし、教育委員会（以下「委員会」という。）が適当と認めるものは、この限りでない。

(平20条例40・追加、平25条例20・一部改正)

(館外貸出しの登録)

第10条 館外貸出しを受けようとするものは、あらかじめ委員会の登録を受けなければならない。ただし、市川市立図書館の設置及び管理に関する条例（平成20年条例第39号。以下「図書館条例」という。）第5条第1項本文の登録を受けているものは、この限りでない。

2 前項本文の登録（以下「登録」という。）の有効期間は、次の各号に掲げるものの区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

(1) 個人 登録の日から起算して3年

(2) 団体 登録の日からその日の属する年度の末日まで

3 有効期間の満了後、引き続き館外貸出しを受けようとするものは、教育委員会規則で定めるところにより、委員会に登録の更新の申請をしなければならない。

4 前項の登録の更新がされたときは、その登録の有効期間は、次の各号に掲げるものの区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

(1) 個人 従前の登録の有効期間の満了の日の翌日から起算して3年

(2) 団体 従前の登録の有効期間の満了の日の翌日から起算して1年

(平20条例40・追加、平23条例45・一部改正)

(登録の申請等)

第11条 登録を受けようとするものは、教育委員会規則で定めるところにより、委員会に登録の申請をしなければならない。

2 委員会は、前項の規定による申請をしたものが第9条に規定するものであるときは、その登録をするものとする。

3 委員会は、登録をしたときは、第1項の規定による申請をしたものに対し、図書館利用券を交付するものとする。ただし、その者が市川市住民基本台帳カードの利用に関する条例（平成16年条例第37号）第4条第3項又は第4項の規定により同条例第2条第2項に規定する多目的サービスに係る情報の記録がされた住民基本台帳カード（第14条第1項において「館外貸出対応住基カード」という。）の返還を受ける者であるときは、この限りでない。

4 図書館利用券の交付を受けたものは、当該図書館利用券を壊し、汚し、又は失ったときは、教育委員会規則で定めるところにより、委員会に申請して、その再交付を受けることができる。

5 図書館利用券は、他に譲渡し、又は転貸してはならない。

(平20条例40・追加)

(変更の届出)

第12条 登録を受けたものは、前条第1項の規定による申請をした事項に変更があったときは、速やかに、その旨を委員会に届け出なければならない。

(平20条例40・追加)

(登録の取消し)

第13条 委員会は、登録を受けたものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、その登録を取り消すことができる。

(1) 第9条に規定するものでなくなったとき。

(2) 不正の手段により登録（第10条第3項の登録の更新を含む。）を受けたとき。

(平20条例40・追加)

(館外貸出しの承認等)

第14条 館外貸出しを受けようとするものは、図書館利用券（図書館条例第6条第3項本文の規定により交付されている図書館利用券を含む。）又は館外貸出対応住基カードを提示して、委員会の承認を受けなければならない。

2 委員会は、館外貸出しを受けようとするものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、前項の承認をしないことができる。

- (1) 図書館資料を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (2) 次条に規定する期間を経過してもなお館外貸出しを受けた図書館資料を返還しないとき。
- (3) 図書館条例第9条第2項第2号に該当するとき。

（平20条例40・追加、平23条例45・一部改正）

（館外貸出しを受けることができる図書館資料等）

第15条 館外貸出しを受けることができる図書館資料及びその数量並びに期間は、次の表のとおりとする。ただし、委員会が必要と認めるときは、これらを変更することができる。

区分	館外貸出しを受けることができる図書館資料	館外貸出しを受けることができる図書館資料の数量（現に館外貸出しを受けている図書館資料及び図書館条例に基づく館外貸出しを受けている図書館資料の数量を含む。）	館外貸出しを受けることができる期間
個人	図書	20	前条第1項の承認を受けた日から起算して15日
	コンパクトディスク	3	
	ビデオテープ	2	
	ビデオディスク	1	
団体	図書	無制限	前条第1項の承認を受けた日から起算して31日
	コンパクトディスク	3	前条第1項の承認を受けた日から起算して15日

（平20条例40・追加、平23条例45・一部改正）

（館外貸出しの制限）

第16条 図書館資料のうち貴重図書その他委員会が指定するものは、館外貸出しは行わない。

2 館外貸出しを受けた図書館資料は、他に譲渡し、又は転貸してはならない。

（平20条例40・追加）

（開館時間）

第17条 生涯学習センターを構成する各施設の開館時間は、次の表の左欄に掲げる施設の区分に応じ、同表の右欄に定めるとおりとする。ただし、委員会（文学ミュージアム及び中央こども館にあっては、市長）が必要と認めるときは、これを変更することができる。

区分	開館時間
中央図書館	午前10時から午後7時30分（日曜日、土曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号。以下「祝日法」という。）に規定する休日にあつては、午後6時）まで
文学ミュージアム	午前10時から午後7時30分（日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日にあつては、午後6時）まで。ただし、第4条第2項第9号に掲げるものにあつては、午前10時から午後5時までとする。
教育センター	午前10時から午後5時まで
中央こども館	午前10時から午後6時（日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日にあつては、午後5時）まで

（平20条例40・追加、平25条例20・一部改正）

（休館日）

第18条 生涯学習センターを構成する各施設の休館日は、次の表の左欄に掲げる施設の区分に応じ、同表の右欄に定めるとおりとする。ただし、委員会（文学ミュージアム及び中央こども館にあっては、市長）が必要と認める

ときは、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

区分	休館日
中央図書館、文学ミュージアム及び中央こども館	(1) 月曜日（その日が祝日法に規定する休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い祝日法に規定する休日以外の日） (2) 毎月末日（その日が前号に掲げる日、日曜日、土曜日又は祝日法に規定する休日に当たるときは、その日前においてその日に最も近い前号に掲げる日、日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日以外の日） (3) 1月1日から同月4日まで (4) 12月28日から同月31日まで
教育センター	(1) 月曜日 (2) 祝日法に規定する休日（その日が月曜日に当たるときは、その翌日） (3) 毎月末日（その日が前2号に掲げる日、日曜日又は土曜日に当たるときは、その日前においてその日に最も近い前2号に掲げる日、日曜日及び土曜日以外の日） (4) 1月2日から同月4日まで (5) 12月28日から同月31日まで

(平20条例40・追加、平25条例20・一部改正)

(駐車場の供用日等)

第19条 駐車場の供用日は、前条の規定により生涯学習センターを構成する各施設のすべてが休館する日以外の日とする。

2 駐車場の供用時間は、午前9時45分から午後7時40分（日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日にあつては、午後6時10分）までとする。

3 前2項の規定にかかわらず、市長が必要と認めるときは、これらに規定する駐車場の供用日又は供用時間を変更することができる。

(平20条例40・追加)

(使用権の譲渡等の禁止)

第20条 第7条第1項の許可を受け、文学ミュージアムを使用するものは、その使用する権利を他に譲渡し、又は転貸してはならない。

(平17条例38・一部改正、平20条例40・旧第9条繰下、平25条例20・一部改正)

(使用の停止等)

第21条 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、文学ミュージアムの使用を停止し、使用の許可を取り消し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 文学ミュージアムを使用するものが公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 文学ミュージアムを使用するものがその施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) 文学ミュージアムを使用するものが使用の目的に違反したとき。
- (4) 文学ミュージアムを使用するものが使用の許可に際して付された条件に違反したとき。
- (5) 文学ミュージアムを使用するものがこの条例又はこれに基づく規則に違反したとき。
- (6) 暴力団の利益になるとき。
- (7) その他文学ミュージアムの管理運営上支障があるとき。

2 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、中央こども館の使用を停止し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 中央こども館を使用するものが公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 中央こども館を使用するものがその施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) 中央こども館を使用するものが使用の目的に違反したとき。
- (4) 中央こども館を使用するものが使用の際に指示された事項に違反したとき。
- (5) 中央こども館を使用するものがこの条例又はこれに基づく規則に違反したとき。
- (6) その他中央こども館の管理運営上支障があるとき。

(平15条例42・平17条例38・平19条例44・一部改正、平20条例40・旧第10条繰下・一部改正、平25条例20・一部改正)

(入館の制限等)

第22条 委員会又は市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、生涯学習センターを利用する者（第1号及び第2号において「利用者」という。）に対し、入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

- (1) 利用者が公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 利用者が生涯学習センターの施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) その他生涯学習センターの管理運営上支障を生ずるおそれがあるとき。

(平15条例42・平17条例38・一部改正、平20条例40・旧第11条繰下・一部改正)

(駐車の拒否等)

第23条 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、駐車場における自動車の駐車を拒否することができる。

- (1) 駐車しようとする自動車に発火性又は引火性を有する物品その他危険な物品が積載されているとき。
- (2) 駐車しようとする自動車が駐車場の施設、設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) その他駐車場の管理上支障があるとき。

2 駐車場を使用するものは、第19条に規定する駐車場の供用日及び供用時間以外に自動車を駐車してはならない。ただし、市長が適当と認めるものについては、この限りでない。

(平20条例40・追加)

(意見聴取)

第24条 市長は、必要があると認めるときは、第7条第2項第4号又は第21条第1項第6号に該当するかどうかについて、千葉県市川警察署長の意見を聴くことができる。

(平19条例44・追加、平20条例40・旧第12条繰下・一部改正、平25条例20・一部改正)

(損害賠償)

第25条 生涯学習センターの施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせたものは、速やかに、原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない事情があると認めるときは、この限りでない。

(平15条例42・平17条例38・一部改正、平19条例44・旧第12条繰下、平20条例40・旧第13条繰下・一部改正)

(中央図書館の分館の設置等)

第26条 中央図書館の奉仕機能を充実させるため、中央図書館に分館を設置し、その名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 市川市中央図書館平田図書室

位置 市川市平田1丁目20番16号

2 市川市中央図書館平田図書室（以下「平田図書室」という。）の開室時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。

3 平田図書室の休室日は、次のとおりとする。ただし、委員会が必要と認めるときは、これを変更し、又は臨時に休室日を設けることができる。

- (1) 月曜日
- (2) 祝日法に規定する休日（その日が月曜日に当たるときは、その翌日）
- (3) 毎月末日（その日が前2号に掲げる日、日曜日又は土曜日に当たるときは、その日前においてその日に最も近い前2号に掲げる日、日曜日及び土曜日以外の日）
- (4) 1月2日から同月4日まで
- (5) 12月28日から同月31日まで

4 第22条の規定は平田図書室における入室の制限等について、前条の規定は平田図書室における損害賠償について、それぞれ準用する。この場合において、第22条中「委員会又は市長」とあるのは「委員会」と、「生涯学習センター」とあるのは「市川市中央図書館平田図書室」と、「入館」とあるのは「入室」と、「退館」とあるのは「退室」と、前条中「生涯学習センター」とあるのは「市川市中央図書館平田図書室」と読み替えるものとする。

(平19条例44・旧第13条繰下、平20条例40・旧第14条繰下・一部改正)

(委任)

第27条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則（文学ミュージアム、中央こども館及び駐車場にあっては、規則）で定める。

(平19条例44・旧第14条繰下、平20条例40・旧第15条繰下・一部改正、平25条例20・一部改正)

附 則（抄）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成6年11月1日から施行する。ただし、附則第4項の規定は、公布の日から施行する。

（市川市教育センター設置条例の廃止）

- 3 市川市教育センター設置条例（昭和36年条例第9号）は、廃止する。

（市川市立中央図書館建設基金の設置、管理及び処分に関する条例の廃止）

- 4 市川市立中央図書館建設基金の設置、管理及び処分に関する条例（昭和63年条例第20号）は、廃止する。

附 則（平成15年6月25日条例第42号）

この条例は、平成15年10月1日から施行する。

附 則（平成17年9月22日条例第38号抄）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成17年11月15日から施行する。

附 則（平成19年12月20日条例第44号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成20年12月12日条例第40号）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成21年4月1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この条例の施行の際現に改正前の市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例（次項において「旧条例」という。）に基づく教育委員会規則の規定により図書館利用券の交付を受けているものは、この条例の施行の日において、改正後の第10条第1項本文の登録を受けたものとみなす。この場合において、当該登録の有効期間は、同条第2項の規定にかかわらず、教育委員会が別に定める。

- 3 この条例の施行の際現に旧条例に基づく教育委員会規則の規定により交付されている図書館利用券は、改正後の第11条第3項本文の規定により交付された図書館利用券とみなす。

附 則（平成23年12月7日条例第45号）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この条例の施行の際現に第1条の規定による改正前の市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例又は第2条の規定による改正前の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例に基づき20以上の数量の図書の館外貸出しを受けている個人は、その数量が20未満となるまでの間は、新たに第1条の規定による改正後の市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例及び第2条の規定による改正後の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例に基づく図書の館外貸出しを受けることができない。

附 則（平成25年3月25日条例第20号）

（施行期日）

- 1 この条例は、公布の日から起算して5月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。（平成25年7月規則第41号で、同25年7月20日から施行）

（経過措置）

- 2 この条例の施行の際現に改正前の第7条第1項の規定により教育委員会から使用の許可を受けているものは、この条例の施行の日において、改正後の第7条第1項の規定により市長から使用の許可を受けたものとみなす。

附 則（平成28年9月28日条例第40号）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成29年4月1日から施行する。ただし、次項の規定は、平成28年10月1日から施行する。

（準備行為）

- 2 平成29年4月1日以降に改正後の第4条第2項第2号に規定する企画展示室、同項第5号に規定する文学研修室、同項第6号に規定する映像メディア編集室、同項第7号に規程するアナウンスブース及び同項8号に規定する音楽スタジオを使用しようとするものに係る使用の許可及びこれに関し必要な手続その他の行為は、この条例の施行前においても、改正後の第7条第1項、第2項及び第5項、第8条第1項、第21条第1項並びに第24条の規定の例により行うことができる。

## ○市川市中央図書館の管理に関する規則

	平成6年10月18日	教育委員会規則第9号
改正	平成8年2月7日	教委規則第1号
	平成10年6月10日	教委規則第7号
	平成15年8月13日	教委規則第11号
	平成17年2月16日	教委規則第3号
	平成18年3月22日	教委規則第1号
	平成19年10月24日	教委規則第14号
	平成19年12月20日	教委規則第18号
	平成21年3月19日	教委規則第4号
		〔題名改正〕
	平成23年3月25日	教委規則第2号
	平成24年3月14日	教委規則第1号
	平成25年7月12日	教委規則第5号
		〔題名改正〕
	平成28年3月31日	教委規則第5号

(趣旨)

第1条 この規則は、市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例（平成6年条例第22号。以下「条例」という。）第27条の規定に基づき、市川市中央図書館（分館を含む。以下同じ。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(平21教委規則4・平25教委規則5・一部改正)

(運営状況の評価等)

第2条 教育委員会（以下「委員会」という。）は、市川市中央図書館の運営の改善を図るため、その運営の状況について評価を行い、これを公開するものとする。

(平24教委規則1・追加)

(蔵書の構築)

第2条の2 委員会は、市川市中央図書館の蔵書の構築に関する指針を定め、これに基づき当該蔵書の構築を行うものとする。

2 委員会は、市民等から資料の寄贈又は寄託の申出があったときは、前項の指針に適合するか否かを調査し、適合すると認めるときは、当該資料を図書館資料として収蔵することができる。

3 委員会は、公の刊行物その他の資料を収集するため、国、県、県内の市町村その他の団体に当該資料の提供を依頼するものとする。

(平21教委規則4・全改、平24教委規則1・旧第2条繰下・一部改正)

(館内利用)

第2条の3 委員会は、市川市中央図書館の適正な利用環境を維持するため、館内の利用方法を定める等の必要な措置を講ずるものとする。

2 市川市中央図書館を利用するものは、前項の規定により講じられた措置に基づき、図書館資料を閲覧し、又は視聴するものとする。

(平24教委規則1・追加)

(レファレンスサービス)

第3条 委員会は、市川市中央図書館を利用するものに対し、レファレンスサービス（そのものの求めに応じ、図書館資料及び情報の提供、紹介等を行うことをいう。次項において同じ。）を提供するものとする。

2 前項の規定にかかわらず、委員会は、レファレンスサービスに係る事項が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、レファレンスサービスを提供しないものとする。

- (1) 法令等の規定により公表を禁じられている事項
- (2) 古文書、美術品等の鑑定及び価格に関する事項
- (3) 身上、医療又は法律の相談に関する事項
- (4) 学習課題、卒業論文その他これらに類する事項

(5) その他委員会がレファレンスサービスの提供を不相当と認める事項

3 委員会は、レファレンスサービスを提供するために必要があると認めるときは、公立図書館等にレファレンスサービスに係る情報の提供を依頼するものとする。

4 委員会は、公立図書館等からレファレンスサービスに係る情報の提供の依頼を受けたときは、市川市中央図書館が保有する情報を提供することができる。ただし、当該依頼に係る情報が第2項各号のいずれかに該当すると認めるときは、この限りでない。

(平21教委規則4・全改、平24教委規則1・一部改正)

(登録の申請等)

第4条 条例第11条第1項の規定による登録の申請は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる書類を委員会に提出して行うものとする。

(1) 個人 市川市立図書館館外貸出個人登録・更新申請書(様式第1号)

(2) 団体 市川市立図書館館外貸出団体登録・更新申請書(様式第2号)及び団体構成員名簿(様式第3号)

2 前項の場合において、当該申請をするもの(団体にあつては、その代表者)は、運転免許証、健康保険証その他の住所及び氏名を確認するため委員会が相当と認める書類(本市に勤務し、又は通学する者にあつては、当該書類及び身分証明書、学生証その他の本市に勤務し、又は通学する者であることを確認するため委員会が相当と認める書類)を提示しなければならない。

3 前2項の規定は、条例第10条第3項の規定による登録の更新の申請について準用する。この場合において、第1項中「条例第11条第1項の規定による登録」とあるのは「条例第10条第3項の規定による登録の更新」と、「書類」とあるのは「書類及び図書館利用券又は条例第11条第3項ただし書に規定する館外貸出対応住基カード」と読み替えるものとする。

4 前項の規定により読み替えて適用される第1項の書類及び図書館利用券又は条例第11条第3項ただし書に規定する館外貸出対応住基カードの提出期間は、条例第10条第2項の登録の有効期間の満了する日の前日の1月前の日から当該登録の有効期間の満了する日までとする。ただし、委員会が必要と認めるときは、この限りでない。

(平21教委規則4・全改、平成23教委規則2・一部改正)

(登録の実施)

第5条 条例第11条第2項の規定による登録は、市川市立図書館館外貸出登録簿(様式第4号)に次に掲げる事項を記載することにより行うものとする。

(1) 住所及び氏名(団体にあつては、その名称及び代表者の氏名)

(2) 登録年月日及び登録番号

(平21教委規則4・全改)

(図書館利用券)

第6条 条例第11条第3項本文に規定する図書館利用券は、図書館利用券(様式第5号)とする。

(平21教委規則4・全改)

(図書館利用券の再交付の申請)

第7条 条例第11条第4項の規定による図書館利用券の再交付の申請は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる申請書を委員会に提出して行うものとする。この場合において、第4条第2項の規定は、当該申請について準用する。

(1) 個人 市川市立図書館利用券再交付申請書(個人用)(様式第6号)

(2) 団体 市川市立図書館利用券再交付申請書(団体用)(様式第7号)

(平21教委規則4・全改)

(変更の届出)

第8条 条例第12条の規定による登録の申請事項の変更の届出は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる届出書を委員会に提出して行うものとする。この場合において、当該届出書を提出するものは、当該変更を証する書類を当該職員に提示しなければならない。

(1) 個人 市川市立図書館館外貸出個人登録申請事項変更届出書(様式第8号)

(2) 団体 市川市立図書館館外貸出団体登録申請事項変更届出書(様式第9号)

(平21教委規則4・全改)

(図書館資料の貸出しの予約等)

第8条の2 条例第11条第3項本文に規定する図書館利用券又は同項ただし書に規定する館外貸出対応住基カード

の交付を受けたもの（本市に住所を有し、勤務し、又は通学する者及びこれらの者で構成される団体であって読書会等を主催するものに限る。）は、貸出しを希望する図書館資料について、委員会に対し、当該図書館資料の貸出しの予約、他の市川市立図書館からの取寄せの申出等を行うことができる。

- 2 委員会は、前項の規定による予約、申出等を受けた場合において、公立図書館等に当該図書館資料（コンパクトディスクその他の視聴覚資料を除く。）が所蔵されていることを確認したときは、当該公立図書館等に対し、当該図書館資料の借受けを申し出ることができる。

（平24教委規則1・追加）

（図書館資料の複製等）

第9条 委員会は、著作権法（昭和45年法律第48号）第31条の規定に基づき、図書館資料の複製を行うものとする。

- 2 図書館資料の複製を依頼しようとするものは、市川市立図書館資料複製申込書（様式第10号）を委員会に提出しなければならない。

- 3 委員会は、図書館資料の複製を行うことにより当該図書館資料が壊れ、又は汚れるおそれがあると認めるときは、前項の規定による依頼を拒否することができる。

- 4 第2項の規定による依頼に基づき行う図書館資料の複製に要する費用は、当該依頼をしたものの負担とする。

（平21教委規則4・追加）

（障害者サービス）

第9条の2 条例第11条第2項の規定による登録を受けた者のうち、身体障害、高齢、傷病等により市川市中央図書館を利用することが困難な者に対する図書館資料の貸出し等に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

（平24教委規則1・追加）

（自動車図書館）

第9条の3 委員会は、図書館資料を広く市民の利用に供するため、市内を巡回する自動車図書館により図書館資料の貸出し等を行うものとする。

- 2 自動車図書館が巡回する場所、貸し出す図書館資料その他自動車図書館の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

（平24教委規則1・追加）

（補則）

第10条 この規則に定めるもののほか、市川市中央図書館の管理に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

（平24教委規則1・追加）

附則（平成28年3月31日教育委員会規則第5号）

（施行期日）

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この規則の施行の際現に交付されている第1条の規定による改正前の市川市中央図書館の管理に関する規則様式第5号による図書館利用券及び第2条の規定による改正前の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則様式第5号による図書館利用券は、それぞれ第1条の規定による改正後の市川市中央図書館の管理に関する規則様式第5号による図書館利用券及び第2条の規定による改正後の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則様式第5号による図書館利用券とみなして使用することができる。

# 〇市川市生涯学習センター自動車駐車場管理規則

平成15年 9月10日教育委員会規則第12号

(趣旨)

第1条 この規則は、市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例（平成6年条例第22号。以下「条例」という。）第27条及び市川市教育委員会に対する委任に関する規則（昭和42年規則第20号）第1項第8号の規定に基づき、生涯学習センター自動車駐車場（以下「駐車場」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(平21教委規則5・一部改正)

(駐車することのできる自動車)

第2条 駐車場に駐車することのできる自動車は、市川市生涯学習センターを利用する者が乗車している自動車とし、かつ、道路運送車両法施行規則（昭和26年運輸省令第74号）別表第1に掲げる普通自動車、小型自動車及び軽自動車であつて、その大きさが、長さ5メートル、幅1.9メートル、高さ2.1メートルをそれぞれ超えないものとする。ただし、教育委員会（以下「委員会」という。）がやむを得ない理由があると認めるときは、この限りでない。

(供用の中止)

第3条 委員会は、駐車場の維持管理その他の事由により特に必要があると認めるときは、駐車場の全部又は一部の供用を中止することができる。

(平21教委規則5・一部改正)

(利用の手続)

第4条 委員会は、駐車場に自動車を駐車するもの（以下「使用者」という。）に対し、その入場の際、駐車券を交付するものとする。

2 条例第8条第3項ただし書に掲げる自動車を駐車した使用者は、当該自動車を出場させるときまでに、駐車券を提示して、当該自動車を駐車した旨を委員会に申し出るものとする。

3 使用者は、自動車を駐車場から出場させるときは、駐車券を提出して使用料を納付しなければならない。

(平21教委規則5・一部改正)

(駐車券の紛失)

第5条 使用者は、駐車券を紛失したときは、駐車券紛失届（別記様式）により委員会に届け出なければならない。

(平21教委規則5・一部改正)

(使用料の算出基礎)

第6条 条例第8条第3項に規定する使用料の額は、駐車場に入場した時から駐車場を出場した時までの駐車時間を基礎として算出するものとする。ただし、使用者が駐車券を紛失した場合については、当該使用者が駐車場に入場した時として委員会が決定したその入場の時から駐車場を出場した時までの駐車時間を基礎として算出するものとする。

(平21教委規則5・一部改正)

附 則

この規則は、平成15年10月1日から施行する。

附 則（平成21年3月19日教育委員会規則第5号）

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

# 〇市川市立図書館の蔵書の構築に関する指針

平成21年 3月30日

改正 平成25年12月20日

平成26年 8月26日

(趣旨)

第1条 この指針は、市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則（平成21年教育委員会規則第6号）第2条及び市川市中央図書館の管理に関する規則（平成6年教育委員会規則第9号）第2条の2の規定に基づき、市川市立図書館の資料収集、保存及び除籍等について必要な事項を定める。

(蔵書構築の基本)

第2条 市川市の図書館（以下、「図書館」という。）は、すべての市民が、教養、調査研究及びレクリエーションのために、各自の自由な意思に基づいて利用する生涯学習の場であるとともに、地域文化の発展を支え、住みよい地域社会の形成に寄与する教育機関であるという公共図書館の基本的役割を果たすために、ユネスコ公共図書館宣言（1994年採択）の精神に則り、蔵書の構築を行うものとする。

(収集にあたっての基本的姿勢)

第3条 図書館は、図書館の自由に関する宣言（1979年改訂 社団法人日本図書館協会総会決議）前文の本旨に基づき、市民のニーズを総合的に勘案して収集に努める。

- 2 対立する意見のある問題については、バランスを考慮し、できるだけ客観的な立場で書かれている資料を幅広く収集する。
- 3 著者の思想的、宗教的又は党派的立場にとらわれて、その著作を排除することはしない。
- 4 図書館に置かれる専門的職員（以下、「図書館員」という。）の個人的関心や好みによって選択しない。
- 5 個人、組織又は団体からの圧力や干渉によって収集の自由を放棄したり紛糾をおそれて自己規制したりしない。
- 6 図書館の収集した資料がどのような思想や主張をもっていようと、それを図書館又は図書館員が支持することを意味しない。

(収集資料の範囲)

第4条 収集する資料の範囲は、国内で刊行される資料を中心とし、幅広く多様な形態のものを収集する。ただし、書き込むこと、切り取ること若しくは組み立てることを目的として作られた資料又は著しく破損しやすい資料は原則として収集しない。

(収集資料の種類)

第5条 収集する資料の種類は、次の各号のとおりとする。

- (1) 図書（一般図書、参考図書、児童図書及び外国語図書）
- (2) 逐次刊行物
- (3) 地域資料
- (4) 視聴覚資料
- (5) 障害者用資料
- (6) 電磁的記録
- (7) その他

(資料別収集方針)

第6条 資料の種類別収集方針は、次の各号のとおりとする。

(1) 図書

- ア 一般図書については、市民の教養、調査研究及びレクリエーション等に資する資料を収集する。ただし、学習参考書、受験参考書及び各種試験問題集は原則として収集しない。
- イ 参考図書については、市民の調査研究に必要な辞典、事典、便覧、統計、目録、索引及び書誌等を幅広く収集する。
- ウ 児童図書については、子どもの読書活動を推進するため、子どもの発達に応じて豊かな読書体験ができるような資料を収集する。
- エ ヤングアダルト図書については、児童図書又は一般図書の枠にとらわれず、中学生及び高校生を対象とした資料を幅広く収集する。
- オ 外国語図書については、多文化サービスを展開させるため、各種言語で書かれた資料を収集する。

(2) 逐次刊行物

- ア 新聞については、主要な全国紙を中心に収集する。
- イ 雑誌については、各分野における最新の動向が提供できるように、各分野の主要なものを幅広く収集する。
- ウ 年鑑、年報及び白書については、(1)ア及びイの規定を準用する。
- エ 法規集及び判例集については、最新の情報を提供できるように、加除式資料を収集する。

(3) 地域資料

- ア 地域資料は、市川市及び千葉県に関する資料とし、これらのうち市川市に関する資料については、文化的、地理的特性に立脚した特色ある資料を、図書を中心に、パンフレット、地図等形態にとらわれず、幅広く積極的に収集する。ただし、古文書は収集しない。
- イ 地域資料の逐次刊行物については、系統的に収集する。
- ウ 市民文庫は市民の著作、伝記及び評論について収集する。
- エ 市川市の行政資料については、積極的に収集する。
- オ 特別コレクション（永井荷風、東山魁夷、星野道夫及び渡邊二郎）については、網羅的に収集する。ただし、直筆原稿及びオリジナル作品は原則として収集しない。

(4) 視聴覚資料

- ア 録音資料については、市民の趣味、教養及びレクリエーション等に資するため、クラシック音楽、ポピュラー音楽、児童音楽、演芸及び文学作品等の基本的作品及び代表的演者による作品を中心に収集する。
- イ 映像資料については、活字ではなく音と映像によって情報を得るという視聴覚資料の特性を生かせるような、映画、記録及び演芸等の基本的作品を中心に、図書館での貸出許諾が得られているものの中から収集する。

- (5) 障害者用資料 障害者用資料については、図書館利用が困難な市民の要求に応えるため、点字資料、録音図書、大活字本、布の絵本及び字幕・手話入りビデオ等を収集する。

- (6) 電磁的記録 電磁的記録については、必要に応じて収集する。

(中央図書館及び地域図書館の収集方針)

第7条 図書館は、各々の館の規模、機能及び地域性に応じ、概ね次の各号に掲げる方針に基づいて資料収集を計画的に行い、体系的な蔵書の構築を図るものとする。

- (1) 中央図書館においては、図書館の中心館として、地域図書館、分室及び図書館関連施設等への協力及び支援を行うため、以下に掲げる資料を幅広く収集する。

ア 市民の生活、趣味及びレクリエーション等に資する資料。

イ 調査研究に役立つ、基本的、入門的乃至専門的資料。ただし、細分化された個別の高度な専門的資料を除く。

(2) 地域図書館及び分室においては、市民の身近な図書館として、地域性を考慮し、資料を収集する。

(収集計画)

第8条 前条の規定を実施するために、各々の館の資料収集計画を別に定める。

(収集資料の選定)

第9条 収集資料の選定にあたっては、この指針に基づいて図書館員の合議によって行い、中央図書館長が決定する。

(寄贈資料等の収集)

第10条 寄贈資料及び寄託資料等の受入れについては、前条の規定を準用する。

(資料の保存)

第11条 各資料の利用方法、利用度又は利用年限を考慮し保存する。

2 図書館として体系的な資料構成を図るため、中央図書館又は各地域図書館で保存する資料を選択し、効率的な保存を行う。

3 市川市に関する資料については、地域の歴史を後世に伝えるため保存する。

4 逐次刊行物の保存年限については、別に定める。

(除籍の目的)

第12条 常に適正な資料構成を維持し、また資料を更新し、活力ある蔵書の充実を図るために除籍を行う。

(除籍の対象資料)

第13条 除籍の対象となる資料及び基準は次の各号のとおりとする。

(1) 汚損・破損

ア 汚損・破損が甚だしく、修理不可能又は修理する価値がないと認めたもの。

イ 一部汚破損が甚だしく全体が利用に耐えないもの。

(2) 不用

ア 時間の経過によって、内容が古くなり、保存価値がなくなったもの。

イ 時間の経過によって、利用の可能性が低下したもの。

ウ 新版・改訂版又は同種資料の入手によって、代替可能となったもの。

(3) 数量更正 すでに受入れの済んでいる資料を分冊若しくは合冊しようとするもの。

(4) 移管 市川市の内部において所属換えをするもの。

(5) 亡失

ア 3回の資料点検を経て、調査してもなお所在不明なもの。

イ 貸出資料のうち督促等の努力にもかかわらず、10年以上回収不能なもの。

ウ 利用者が汚損・破損又は紛失した資料で、やむを得ない事情により現品での弁償が不可能なもの。

エ 不可抗力による災害その他の事故により汚損・破損又は紛失した資料で、その発生事実が証明されたもの。

(除籍資料の選定)

第14条 除籍資料の選定にあたっては、この指針に基づいて図書館員の合議によって行い、中央図書館長が決定する。

(補則)

第15条 前各条に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める

附 則 この指針は、平成21年4月1日から施行する。

# ○図書館法

昭和25年4月30日

法律第118号

最終改正 令和元年6月7日法律第26号

## 第一章 総則

(この法律の目的)

第一条 この法律は、社会教育法（昭和二十四年法律第二百七号）の精神に基き、図書館の設置及び運営に関して必要な事項を定め、その健全な発達を図り、もつて国民の教育と文化の発展に寄与することを目的とする。

(定義)

第二条 この法律において「図書館」とは、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設で、地方公共団体、日本赤十字社又は一般社団法人若しくは一般財団法人が設置するもの（学校に附属する図書館又は図書室を除く。）をいう。

2 前項の図書館のうち、地方公共団体の設置する図書館を公立図書館といい、日本赤十字社又は一般社団法人若しくは一般財団法人の設置する図書館を私立図書館という。

(図書館奉仕)

第三条 図書館は、図書館奉仕のため、土地の事情及び一般公衆の希望に沿い、更に学校教育を援助し、及び家庭教育の向上に資することとなるように留意し、おおむね次に掲げる事項の実施に努めなければならない。

- 1 郷土資料、地方行政資料、美術品、レコード及びフィルムの収集にも十分留意して、図書、記録、視聴覚教育の資料その他必要な資料（電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によつては認識することができない方式で作られた記録をいう。）を含む。以下「図書館資料」という。）を収集し、一般公衆の利用に供すること。
- 2 図書館資料の分類排列を適切にし、及びその目録を整備すること。
- 3 図書館の職員が図書館資料について十分な知識を持ち、その利用のための相談に応ずるようにすること。
- 4 他の図書館、国立国会図書館、地方公共団体の議会に附置する図書室及び学校に附属する図書館又は図書室と緊密に連絡し、協力し、図書館資料の相互貸借を行うこと。
- 5 分館、閲覧所、配本所等を設置し、及び自動車文庫、貸出文庫の巡回を行うこと。
- 6 読書会、研究会、鑑賞会、映写会、資料展示会等を主催し、及びこれらの開催を奨励すること。
- 7 時事に関する情報及び参考資料を紹介し、及び提供すること。
- 8 社会教育における学習の機会を利用して行つた学習の成果を活用して行う教育活動その他の活動の機会を提供し、及びその提供を奨励すること。
- 9 学校、博物館、公民館、研究所等と緊密に連絡し、協力すること。

(司書及び司書補)

第四条 図書館に置かれる専門的職員を司書及び司書補と称する。

- 2 司書は、図書館の専門的事務に従事する。
- 3 司書補は、司書の職務を助ける。

(司書及び司書補の資格)

第五条 次の各号のいずれかに該当する者は、司書となる資格を有する。

- 一 大学を卒業した者（専門職大学の前期課程を修了した者を含む。次号において同じ。）で大学において文部科学省令で定める図書館に関する科目を履修したもの
  - 二 大学又は高等専門学校を卒業した者で次条の規定による司書の講習を修了したもの
  - 三 次に掲げる職にあつた期間が通算して三年以上になる者で次条の規定による司書の講習を修了したもの
- イ 司書補の職
- ロ 国立国会図書館又は大学若しくは高等専門学校の附属図書館における職で司書補の職に相当するもの
- ハ ロに掲げるもののほか、官公署、学校又は社会教育施設における職で社会教育主事、学芸員その他の司書補の職と同等以上の職として文部科学大臣が指定するもの
- 2 次の各号のいずれかに該当する者は、司書補となる資格を有する。

一 司書の資格を有する者

二 学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）第九十条第一項の規定により大学に入学することのできる者で次条の規定による司書補の講習を修了したもの

（司書及び司書補の講習）

第六条 司書及び司書補の講習は、大学が、文部科学大臣の委嘱を受けて行う。

2 司書及び司書補の講習に関し、履修すべき科目、単位その他必要な事項は、文部科学省令で定める。ただし、その履修すべき単位数は、十五単位を下ることができない。

（司書及び司書補の研修）

第七条 文部科学大臣及び都道府県の教育委員会は、司書及び司書補に対し、その資質の向上のために必要な研修を行うよう努めるものとする。

（設置及び運営上望ましい基準）

第七条の二 文部科学大臣は、図書館の健全な発達を図るために、図書館の設置及び運営上望ましい基準を定め、これを公表するものとする。

（運営の状況に関する評価等）

第七条の三 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

（運営の状況に関する情報の提供）

第七条の四 図書館は、当該図書館の図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。

（協力の依頼）

第八条 都道府県の教育委員会は、当該都道府県内の図書館奉仕を促進するために、市（特別区を含む。以下同じ。）町村の教育委員会（地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和三十一年法律第百六十二号）第二十三条第一項の条例の定めるところによりその長が図書館の設置、管理及び廃止に関する事務を管理し、及び執行することとされた地方公共団体（第十三条第一項において「特定地方公共団体」という。）である市町村にあつては、その長又は教育委員会）に対し、総合目録の作製、貸出文庫の巡回、図書館資料の相互貸借等に関して協力を求めることができる。

（公の出版物の収集）

第九条 政府は、都道府県の設置する図書館に対し、官報その他一般公衆に対する広報の用に供せられる独立行政法人国立印刷局の刊行物を二部提供するものとする。

2 国及び地方公共団体の機関は、公立図書館の求めに応じ、これに対して、それぞれの発行する刊行物その他の資料を無償で提供することができる。

## 第二章 公立図書館

（設置）

第十条 公立図書館の設置に関する事項は、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。

第十一条 削除

第十二条 削除

（職員）

第十三条 公立図書館に館長並びに当該図書館を設置する地方公共団体の教育委員会（特定地方公共団体の長がその設置、管理及び廃止に関する事務を管理し、及び執行することとされた図書館（第十五条において「特定図書館」という。）にあつては、当該特定地方公共団体の長）が必要と認める専門的職員、事務職員及び技術職員を置く。

2 館長は、館務を掌理し、所属職員を監督して、図書館奉仕の機能の達成に努めなければならない。

（図書館協議会）

第十四条 公立図書館に図書館協議会を置くことができる。

2 図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関とする。

第十五条 図書館協議会の委員は、当該図書館を設置する地方公共団体の教育委員会（特定図書館に置く図書館協

議会の委員にあつては、当該地方公共団体の長)が任命する。

第十六条 図書館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他図書館協議会に関し必要な事項については、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

(入館料等)

第十七条 公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならない。

第十八条 削除

第十九条 削除

(図書館の補助)

第二十条 国は、図書館を設置する地方公共団体に対し、予算の範囲内において、図書館の施設、設備に要する経費その他必要な経費の一部を補助することができる。

2 前項の補助金の交付に関し必要な事項は、政令で定める。

第二十一条 削除

第二十二条 削除

第二十三条 国は、第二十条の規定による補助金の交付をした場合において、左の各号の一に該当するときは、当該年度におけるその後の補助金の交付をやめるとともに、既に交付した当該年度の補助金を返還させなければならない。

一 図書館がこの法律の規定に違反したとき。

二 地方公共団体が補助金の交付の条件に違反したとき。

三 地方公共団体が虚偽の方法で補助金の交付を受けたとき。

### 第三章 私立図書館

第二十四条 削除

(都道府県の教育委員会との関係)

第二十五条 都道府県の教育委員会は、私立図書館に対し、指導資料の作製及び調査研究のために必要な報告を求めることができる。

2 都道府県の教育委員会は、私立図書館に対し、その求めに応じて、私立図書館の設置及び運営に関して、専門的、技術的の指導又は助言を与えることができる。

(国及び地方公共団体との関係)

第二十六条 国及び地方公共団体は、私立図書館の事業に干渉を加え、又は図書館を設置する法人に対し、補助金を交付してはならない。

第二十七条 国及び地方公共団体は、私立図書館に対し、その求めに応じて、必要な物資の確保につき、援助を与えることができる。

(入館料等)

第二十八条 私立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対する対価を徴収することができる。

(図書館同種施設)

第二十九条 図書館と同種の施設は、何人もこれを設置することができる。

2 第二十五条第二項の規定は、前項の施設について準用する。

14. 資料（1）  
参考：図書館記載部分を抜粋

# 市川市教育振興基本計画

【第3期】

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育



平成31年1月  
市川市教育委員会



## 3 計画の体系

### 【基本理念】

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育

家庭・学校・地域の連携・協働	【方針1】 感性を豊かに働かせ、社会の中でたくましく生きていくことのできる子どもを育てる	《目標1》自分を大切にし、他人を思いやる気持ちなど、豊かな心を育てる
	【方針2】 “自分らしく輝くための学び”の環境の実現と学びのセーフティネットを構築する	《目標2》主体的に学びに向かい、知識・技能や思考力・判断力・表現力等の資質・能力を育成する
		《目標3》健康に関する意識を高め、健やかな体を育成する
		《目標4》社会的・職業的自立に向けた能力・態度を育成する
	【方針3】 社会の変化を見据えた教育環境の整備を図り、市川の質の高い教育を推進する	《目標5》家庭・学校・地域の教育力の向上に向けた取組を推進する
		《目標6》人生100年時代を見据えた“自分らしく輝くための学び”を推進する
		《目標7》特別支援教育など、教育的ニーズに応じた支援を充実させる
		《目標8》グローバルに活躍する人材を育成する
		《目標9》新しい地域づくりを推進する
		《目標10》持続可能な学校指導体制を整備する
《目標11》教育の未来環境を整備する		
《目標12》安全・安心で充実した教育環境を実現する		

#### 《基本的な考え方》

- I 多様な人との関わりを大切にして、個人の自立を促すとともに、社会の一員としての自覚を養う教育を進めます
- II 一人一人が、主体的に学び、個性を伸ばし可能性を広げることのできる教育を進めます
- III 学びや育ちの連続性と社会との連携を強化し、豊かな人間性を育む教育を進めます

▶施策 1) 人と関わる力を身に付ける活動の充実 2) 道徳教育の充実 (志を大切にさせる教育の推進)	3) 読書教育の推進
▶施策 1) 幼児期における教育の推進 2) 児童生徒の確かな学力を育成する取組の推進	3) 情報教育の推進 4) 学校間の連携の推進
▶施策 1) 望ましい生活習慣を身に付ける取組の推進 2) 食育の推進 3) 体力向上の取組の推進	
▶施策 1) キャリア教育・職業教育の推進 2) 地域や企業との連携推進	
▶施策 1) 学校・地域と連携・協働した家庭の教育力の向上	2) 学校・家庭と連携・協働した地域の教育力の向上 3) 家庭・地域と連携した学校の活性化
▶施策 1) “自分らしく輝くための学び”の機会の充実 2) 学校卒業後における障がい者の学びの支援 3) 図書館機能を活用した学習活動の充実	4) 博物館などの活用を通じた学習活動の推進 5) 公民館を活用した地域の学習拠点づくり 6) 文化財の保護と活用
▶施策 1) 特別支援教育の推進 2) 教育的支援が必要な子どもへの対応 (不登校児童生徒や日本国籍者が自覚な児童生徒など) 3) 夜間中学の充実	4) 学校教育における学力保障・進路支援、子ども・福祉関係部署等との連携の強化 5) 教育費負担の軽減に向けた経済的支援 6) 地域の教育資源の活用
▶施策 1) 外国語教育の推進 2) 国際理解のための学習の推進 3) 青少年の海外交流支援	4) 地域の歴史や文化に関する教育の推進
▶施策 1) 新しい地域づくりに向けた学びの場づくりの振興	2) 地域を支える人材の育成と“自分らしく輝くための学び”の成果活用 3) 環境学習と体験活動の充実
▶施策 1) 地域とともにある学校づくりの推進 2) 特色ある学校運営（教育課程づくり） 3) 教職員研修力の向上	
▶施策 1) 教育のICT連携整備 2) 教職員ICT活用指導力の向上	
▶施策 1) 子どもの安全・安心を確保する家庭・学校・地域の取組の推進 2) いじめ、暴力行為などへの対応や、子どもや保護者を支援する相談体制の強化	3) 放課後の子どもの居場所づくりの推進 4) 防災教育の推進 5) 安全・安心で質の高い教育環境の整備

### 方針2

“自分らしく輝くための学び”の環境の実現と学びのセーフティネットを構築する

年齢、性別、国籍、経済事情、障がいの有無等に関わらず、人には無限の可能性がります。よりよい人生、よりよい社会にしていけるために、誰もが社会の一員として自立し、社会に主体的に参画できるようにすることが必要です。

子どもから大人まで、一人一人がそれぞれのライフステージに応じて主体的に活動できるよう、多様な教育的ニーズに的確に応えられる体制づくりも必要です。

そのために、地域コミュニティを核としたあたたかい人と人との関わりの中で、誰もが生涯を通して学び続けることのできる学習“自分らしく輝くための学び”の環境の実現を目指します。

そして、夢や希望を持ち、自らの個性を伸ばし可能性を広げられるよう、家庭や地域と連携し、個に寄り添った支援の充実や、地域の多様な教育資源を効果的に活用するなどの取組を進めます。また、豊かな地域社会をつくるためには、地域の教育力の向上を図るとともに、学んだ成果を地域社会に還元する、学びと活動の循環を促進します。

さらに、多様な学習のニーズに応えるサービスの充実を一層進めるとともに、図書館や博物館、公民館などの社会教育施設を情報の発信源や学びの拠点として有効活用を進めます。また、地域にある大学と連携することにより、交流活動や学びの場を広げます。

**目標 6** 人生100年時代を見据えた“自分らしく輝くための学び”を推進する

人生100年時代の到来を見据え、誰もが、主体的に学び、これまで以上に知識や能力を身に付けることや、人とつながり学びや活動を循環させることにより、人生を豊かにしていくことができるよう、“自分らしく輝くための学び”を推進します。

教育に支援が必要な幼児児童生徒に対し、その時点で最も教育的ニーズに応じた指導が提供できるよう、市川市では、特別支援学級などの教育の場を設置していますが、障がいのある方々が自らの可能性を最大限に伸ばし、自立と社会参画に必要な力を培うためには、学校卒業後における学びの支援も重要です。家庭・学校・地域の連携・協働の下、誰もが“自分らしく輝くための学び”により、自らの可能性を最大限伸ばせるよう支援します。

▶施策

1 “自分らしく輝くための学び”の機会の充実

一人一人が生涯にわたり、さまざまな場や機会において、個性を伸ばし、可能性を広げていくことができる学びを充実させるとともに、学習情報の発信を積極的に行います。

【主な事業】

- 公民館主催講座活動事業
- いちかわ市民アカデミー講座

2 学校卒業後における障がい者の学びの支援

市川市が設置している特別支援学校には高等部がありますが、学校卒業後も自立に向けて生涯を通して学べるよう、ニーズを的確に捉え、関係機関との連携を図り、教育やスポーツ、文化等のさまざまな学習機会を充実させます。

【主な事業】

- 日曜大学との連携
- 公民館の活用

3 図書館機能を活用した学習活動の充実

誰もが利用しやすい図書館サービスを提供するため、社会情勢や生活の変化に応じた市民のニーズを把握することに努め、資料の収集やレファレンスサービス<sup>\*1</sup>の充実、図書館ネットワーク<sup>\*2</sup>の一層の活用を図ります。また、郷土市川について学ぶ機会の拡充を図るため、行政資料や地域資料の積極的な収集を進めます。

<sup>\*1</sup> レファレンスサービス…事実情報や文献資料を求めている利用者に対して、図書館員が図書館資料を使って答えたり、回答に含まれる情報源を提示・照会したりする人的サービス。

<sup>\*2</sup> 図書館ネットワーク…図書館と関連施設を結び、図書館資料の予約・取り寄せ・返却などができるシステム。

【主な事業】

- 蔵書構築事業

4 博物館などの活用を通じた学習活動の推進

博物館の持つさまざまな機能を活用し、体験活動の充実や、講師派遣などの教育普及サービスを生かした学習活動を推進します。また、子どもの学習活動を支援するため、博物館などの社会教育施設と学校との連携を図ります。

【主な事業】

- 博物館調査研究・保存事業
- 博物館教育普及事業
- 博物館運営基本方針の運用（博物館運営事業）
- 博物館の体験学習を支援するボランティアの養成
- 博物館企画展事業

5 公民館を活用した地域の学習拠点づくり

地域の学習拠点として、公民館に対する各地域のニーズや実態を把握し、公民館の持つ機能の有効利用を図るとともに、学校や地域の人材を活用し、連携することで地域に密着した公民館運営を推進します。

【主な事業】

- 公民館主催講座活動事業

6 文化財の保護と活用

市川市の自然・風土・歴史・文化的遺産を貴重な学習資源と捉え、学校の体験学習や生涯学習など、幅広い教育活動に活用します。また、市内に残る貴重な文化財を未来の子どもに継承するため、市川市文化財指定基準に基づき、自然・風土・歴史・文化的遺産の保護を図ります。

【主な事業】

- 博物館の活用の推進（文化財を活用した博物館事業）
- 指定文化財維持管理費補助金事業
- 史跡公有化事業及び史跡維持管理事業

施策

成果指標	現状	目標 (計画最終年度)	関連施策 (目標・施策)
「地域には学ぶ場と機会（文化活動やスポーツ活動を含む）が十分にある」と回答する人の割合	17% (平成30年度)	30%	6-1 6-2 6-3 6-4 6-5 6-6
「この1年くらいの間に、生涯学習をしたことがある」と回答する人の割合	36% (平成30年度)	50%	6-1 6-2 6-3 6-4 6-5 6-6
「生涯学習に関する情報提供が十分である」と回答する人の割合	今後把握	平成31年度の実績より増	6-1 6-2 6-3 6-4 6-5 6-6
「学校卒業後に学習やスポーツ、文化等の活動の機会が確保されている」と回答する障がい者の割合	今後把握	平成31年度の実績より増	6-2

参考指標	現状
生涯学習をしたことがある場所や形態の把握	公民館 47% 図書館 23% 学校 23% (平成30年度)
公民館が学校や地域と連携した講座数	103件
文化財資料の延べ利用回数	3,274回

令和2年度の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価

## 点検・評価報告書

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育



令和3年6月  
市川市教育委員会



いつも新しい流れがある 市川

### 方針2 “自分らしく輝くための学び”の環境の実現と学びのセーフティネットを構築する

#### 目標6 人生100年代を見据えた“自分らしく輝くための学び”を推進する

人生100年代の到来を見据え、誰もが、主体的に学び、これまで以上に知識や能力を身に付けることや、人とつながり学びや活動を循環させることにより、人生を豊かにしていくことができるよう、“自分らしく輝くための学び”を推進します。

教育に支援が必要な幼児児童生徒に対し、その時点で最も教育的ニーズに応じた指導が提供できるよう、市川市では、特別支援学級などの教育の場を設置していますが、障がいのある方々が自らの可能性を最大限に伸ばし、自立と社会参画に必要な力を培うためには、学校卒業後における学びの支援も重要です。家庭・学校・地域の連携・協働の下、誰もが“自分らしく輝くための学び”により、自らの可能性を最大限伸ばせるよう支援します。

#### ○目標6に属する施策とその評価

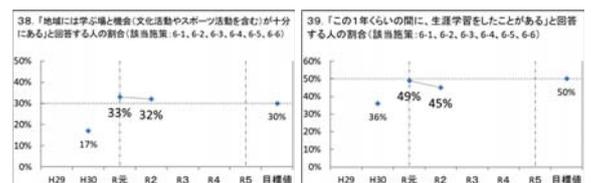
施策	評価
施策1 “自分らしく輝くための学び”の機会の充実	○
施策2 学校卒業後における障がい者の学びの支援	○
施策3 図書館機能を活用した学習活動の充実	○
施策4 博物館などの活用を通じた学習活動の推進	○
施策5 公民館を活用した地域の学習拠点づくり	○
施策6 文化財の保護と活用	○

▶施策3 図書館機能を活用した学習活動の充実	評価
誰もが利用しやすい図書館サービスを提供するため、社会情勢や生活の変化に応じた市民のニーズを把握することに努め、資料の収集やレファレンスサービス <sup>※1</sup> の充実、図書館ネットワーク <sup>※2</sup> の一層の活用を図ります。また、郷土市川について学ぶ機会の拡充を図るため、行政資料や地域資料の積極的な収集を進めます。	○
<p>【主な事業・取組の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>蔵書構築事業では、年間の収集方針に基づき、計画的な資料の収集と更新を実施した。（図書の間年受入冊数：40,502冊）。</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、公共施設が休館となるなか、臨時に蔵書点検を実施するなど、再開後に向けた資料の適切な整備を行った。</li> <li>コロナ禍による休館期間中、市内7カ所の臨時窓口や自動車図書館を活用し、予約の受け渡しサービスをすることにより、市民の学習機会を提供した（自動車図書館の運行日数：141日）。</li> <li>緊急事態宣言解除後は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じ、市民の安全確保とサービスの提供とのバランスを図りながら、閲覧席の利用や、レファレンスサービスの再開、公民館図書室などの関連施設とのネットワークを通じた資料提供の再開など、段階的なサービスの提供に努めた。</li> </ul>	
<p>【評価と今後の方向性】</p> <p>施策の実現が概ね図られてきている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>IC関連機器による蔵書管理業務の合理化と市民サービスの向上を図ってきた。今後も、電子図書の提供等、新しいニーズに即したサービスを検討し、情報拠点として市民の学びを支えていくよう努めていく。（中央図書館）</li> </ul>	

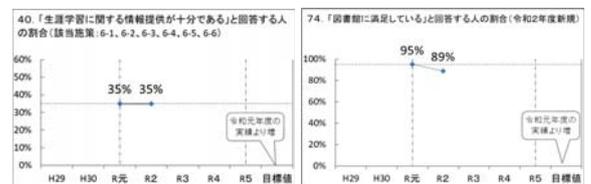
※1 レファレンスサービス…事実情報や文献資料を求めている利用者に対して、図書館員が図書館資料を使って答えたり、回答に含まれる情報源を提示・照会したりする人的サービス。

※2 図書館ネットワーク…図書館と関連施設を結び、図書館資料の予約・取り寄せ・返却などができるシステム。

#### 【成果指標】



※平成30年度から成果指標の選択肢の一部を変更したため単純比較はできない。  
第3期計画策定時から選択肢を一部変更。  
策定時: 「ある」「ない」「わからない」  
変更後: 「十分である」「どちらかといえば十分である」「どちらかといえば不十分である」「不十分である」「どちらともいえない」



※令和元年度は図書館来館者を対象に調査を実施したが、令和2年度は臨時休館のため来館者調査を実施できず、eモニター制度での調査としたため、単純比較はできない。



市川市教育委員会 生涯学習部 中央図書館

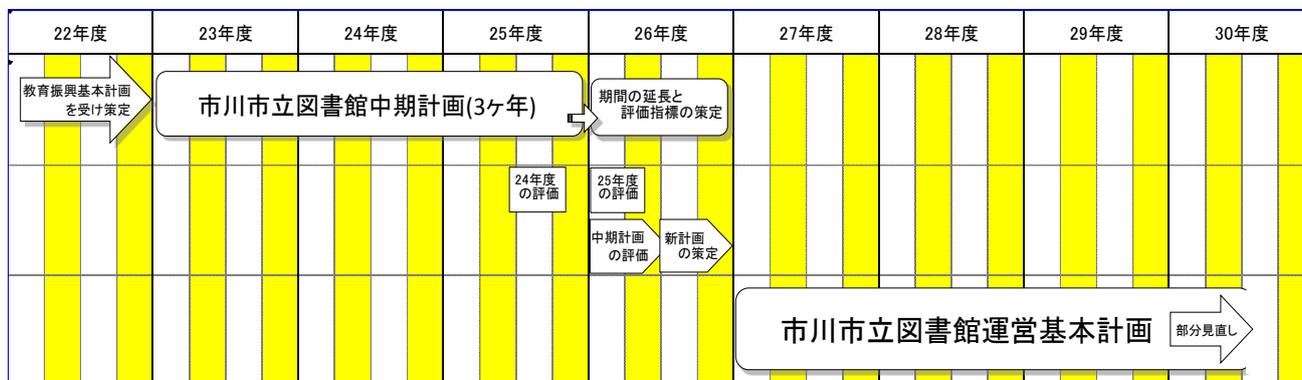
平成 27 年 3 月

# 第 1 章 計画の策定にあたって

## 1. 計画期間

本計画は、「市川市立図書館中期計画」(平成 23 年度～平成 25 年度)を見直し、平成 27 年度に新たに「市川市立図書館運営基本計画」として策定するものです。

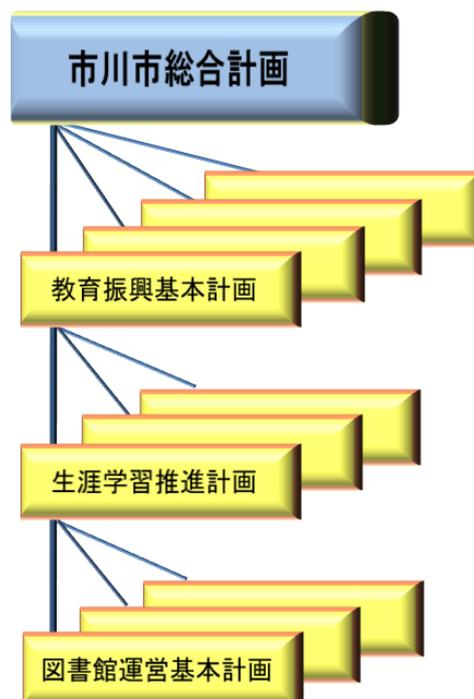
本計画の第 2 章は、これからの本市図書館のあるべき姿を示すものですが、社会情勢や市民ニーズの変化に応じ、概ね 3 年ごとに見直しを図るものとしします。また、第 3 章の実施計画では、3 年ごとの期間で実施していく具体的事業を掲げていますが、その実施結果についての評価に基づき、次の 3 年には改めて実施事業を計画するものとしします。



\* 計画作成期間に当たる平成 26 年度についても、計画に基づいた図書館評価を行うため、市川市立図書館中期計画の一年間の延長を行っています。

## 2. 計画の位置付け

本計画は、「市川市基本構想」(平成 12 (2000) 年)、「市川市総合計画第二次基本計画」(平成 23 (2011) 年)の下、教育に関する部門計画の「市川市教育振興基本計画」(平成 26 (2014) 年から第 2 期)、さらに、生涯学習部門の個別計画である「市川市生涯学習推進計画」(平成 27 (2015) 年から第 4 次)の下に策定するものです。



### 3. 計画の成り立ち

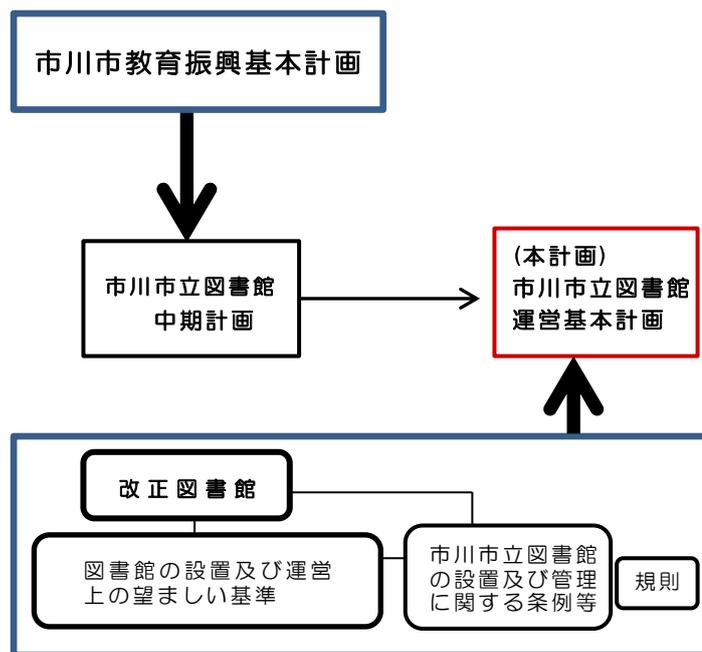
「図書館法」(昭和25年法律第118号 平成23年12月最終改正)の平成20年(2008)の改正にともない、公共図書館の運営状況についての自己評価と公表が努力義務となりました。

また、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」が平成24年(2012)に告示されましたが、図書館は図書館事業の基本的運営方針を策定し、運営の状況について自ら点検及び評価・公開するよう努めるものとされています。

指定管理者の運営である市川駅南口図書館では、年2回のモニタリングを行い、うち1回は外部有識者を交えてモニタリングを実施しているものの、市直営の図書館については、定期的な評価の実施はありませんでした。

これらのことから、平成24(2012)年に「市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則」を改正し、図書館の評価とその公開を実施することとしました。

これまでの評価は、市川市教育振興基本計画に基づき策定された「市川市立図書館中期計画」を拠り所としてきましたが、同計画期間終了に伴い、新たに将来のあるべき姿を示す図書館運営計画を策定する必要から「市川市立図書館運営基本計画」を策定するものです。



#### 「図書館法」

(運営の状況に関する評価等)

第七条の三 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

(運営の状況に関する情報の提供)

第七条の四 図書館は、当該図書館の図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。

## 「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」

### 第二 公立図書館

#### 一 市町村立図書館

##### 1 管理運営

###### (一) 基本的運営方針及び事業計画

- 1 市町村立図書館は、その設置の目的を踏まえ、社会の変化や地域の実情に応じ、当該図書館の事業の実施等に関する基本的な運営の方針（以下「基本的運営方針」という。）を策定し、公表するよう努めるものとする。
- 2 市町村立図書館は、基本的運営方針を踏まえ、図書館サービスその他図書館の運営に関する適切な指標を選定し、これらに係る目標を設定するとともに、事業年度ごとに、当該事業年度の事業計画を策定し、公表するように努めるものとする。
- 3 市町村立図書館は、基本的運営方針並びに前項の指標、目標及び事業計画の策定に当たっては、利用者及び住民の要望並びに社会の要請に十分留意するものとする。

###### (二) 運営の状況に関する点検及び評価等

- 1 市町村立図書館は、基本的運営方針に基づいた運営がなされることを確保し、その事業の水準の向上を図るため、各年度の図書館サービスその他図書館の運営の状況について、(一)の2の目標及び事業計画の達成状況等に関し自ら点検及び評価を行うよう努めなければならない。
- 2 市町村立図書館は、前項の点検及び評価のほか、当該図書館の運営体制の整備の状況に応じ、図書館協議会（法第十四条第一項に規定する図書館協議会をいう。以下同じ。）の活用その他の方法により、学校教育又は社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、図書館の事業に関して学識経験のある者、図書館の利用者、住民その他の関係者・第三者による評価を行うよう努めるものとする。
- 3 市町村立図書館は、前二項の点検及び評価の結果に基づき、当該図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。
- 4 市町村立図書館は、第一項及び第二項の点検及び評価の結果並びに前項の措置の内容について、インターネットその他の高度情報通信ネットワーク（以下「インターネット等」という。）をはじめとした多様な媒体を活用すること等により、積極的に公表するよう努めなければならない。

## 「市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則」

### （運営状況の評価等）

第1条の2 教育委員会は、図書館の運営の改善を図るため、その運営の状況について評価を行い、これを公開するものとする。

#### 4. 計画の策定経過

計画の策定に当たり、社会教育委員会議、e-モニター制度、パブリックコメント等により、様々な市民意見を聴取し計画案を作成し、市川市教育委員会議に諮りました。

##### 策定経過

時 期	内 容	
平成26年	2月13日	策定方針についての意見聴取（市川市社会教育委員会議）
	4月3日	策定方針について（議決）（定例教育委員会議）
	4月23日	策定方針についての意見聴取（関係各課）
	9月26日 ～10月6日	e-モニターの実施
	10月25日	計画（素案）についての意見聴取（図書館ボランティア）
	11月15日 ～12月14日	計画（素案）についての意見聴取（パブリックコメント）
	11月20日	計画（素案）についての意見聴取（市川市社会教育委員会議）
平成27年	2月5日 ～3月6日	パブリックコメント実施結果公表
	2月5日	計画（案）について（定例教育委員会議）
	2月12日	計画について（報告）（市川市社会教育委員会議）
	4月	「市川市立図書館運営基本計画」の施行

## 5. 現状と課題

### (1) 図書館サービスの現状

日本の公共図書館は、1960年代後半から貸出しを中心としたサービスを展開し、市民の支持を広げながら、現在では高度情報化、少子・高齢化や国際化社会への急激な進展の中で、地域における身近な問題解決のための機関として、また芸術や文化に気軽に触れることのできる「市民の書齋」として、生涯学習の拠点となる重要な役割を担うよう変化してきました。

本市では5館1室（直営による中央・行徳・信篤・南行徳・平田図書室、及び指定管理による市川駅南口図書館）及び自動車図書館による体制で図書館サービスを実施し、市民図書室、公民館図書室、男女共同参画センター情報資料室、情報プラザ（委託）等の市の施設や、千葉商科大学附属図書館と連携して図書館ネットワークの整備と拡充を進めてきました。

また平成21年に蔵書構築に関する基準を設け、資料面での充実を図るとともに、多様な市民要望に対応できるよう、千葉県立図書館、国立国会図書館、和洋女子大学メディアセンター等の各種図書館と相互貸借による連携を強化し、幅広い情報の提供を行ってきました。また、子ども読書活動の推進、学校とのネットワーク事業の実施、情報技術の積極的な活用等々、多彩な事業を展開することでも図書館としての役割を遂行できるよう努めてまいりました。

### (2) 図書館計画の実施状況

市川市教育振興基本計画に基づいて、平成23年度に「市川市立図書館中期計画」（以下「中期計画」という）を策定し、3カ年の計画期間の中で具体的施策として掲げた全ての事業に取り組みことができました。特に電算システムでは、市民要望を取り入れた新着図書検索お知らせメール（SDI）サービスの開始やログイン機能の改善等を行い市民が資料や情報を入力するための利便性の向上を図り、児童サービスでは初めて参加する子どものためのえほんの会など、年齢に応じた様々なイベントを実施しました。他にも、特別コレクションの充実など市川に関する資料の収集や、ICタグの地域図書館への導入計画の策定及び予算化を進めました。一方、視聴覚資料の購入等、予算として割り当てられなかったため、目標達成が一部困難なものがありましたが、実施計画の目標は概ね達成できたといえます。

中期計画が示す方向は、本市図書館のサービスの基本であるため、新たな課題に対応した目標も加えながら今後も継続し、充実させていく必要があります。中期計画の6つの柱は、相互に関連する部分も多いため、整理を行い、目指す目標を明確にしていきます。また、中期計画では年度ごとの目標をできる限り数値によるものとしていましたが、本計画においては、数値・取り組み内容・満足度等から、より適切な評価を行い、次の事業展開に繋げてまいります。

### (3) 今後の課題と方向性

計画で掲げた施策を確実に進め、市川市立図書館のあるべき姿を実現させるためには、組織や施設といったサービス基盤の整備を進める必要があります。また、限られた資源を有効に活用するためには、業務プロセスの見直しやコスト削減などの効率性の向上も重要です。人的なリソースシフトについては、市川版 ABC 分析等を通じて中央図書館を中心に進めてきたところですが、今後も長期的視点に立って、正規職員・非正規職員等の配置について点検するとともに、業務委託や指定管理者制度についての検証を通じて、各事業（サービス）の最適な担い手について検討していきます。また地域の課題に対する取り組みへの支援については、図書館だけで行うのではなく、地域における産学官民の多様な主体との連携・協力を通じて実現していきます。

施設面では、施設管理についての全庁的な方向性に沿って、老朽化する施設の修繕を計画的に進め、また市内各地域へのバランスのとれた図書館サービスを展開できるよう、地理的な分布や事業効果等も踏まえ、図書館だけでなく関連施設やその空間の有効活用も含め、関係各方面と調整を図り、将来的なサービスポイントの再配置についても検討を進めます。

物流については、市内連絡便の運行ルートや運行頻度を見直し、効率的・効果的な資料の流通体制の実現に努めます。また、関連施設等との連携が進む中、自動車図書館についても利用実態の検証を通じて、巡回地域や巡回頻度だけでなく、利用対象や巡回施設などについても見直していきます。

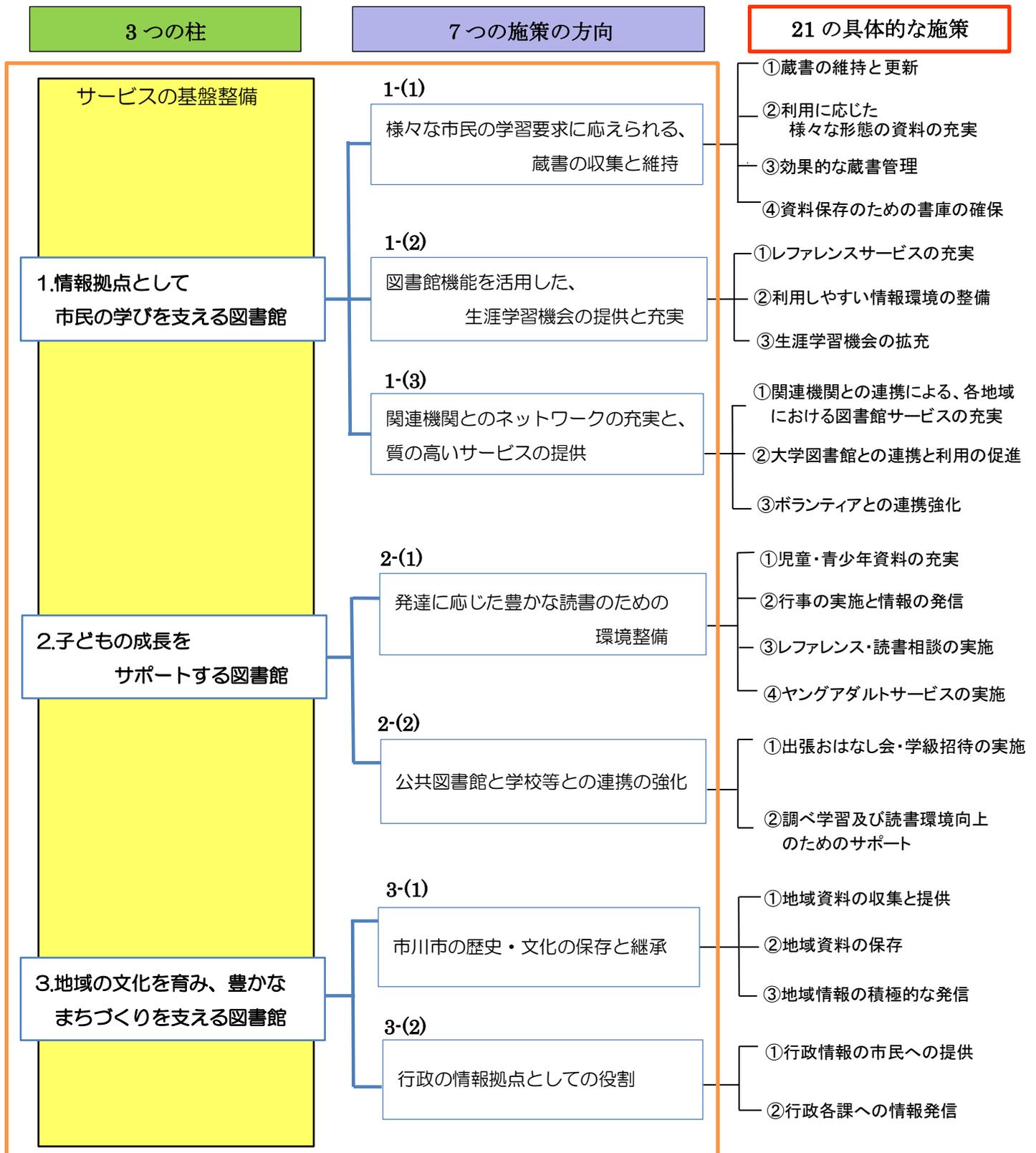
今後の時代の変化を見据え、それに対応できる図書館であり続けるために、全てのサービスを支える基盤としての職員の資質の向上を図り、多様で高度な図書館サービスの実現をめざします。



## 6. 本計画の構成

本計画は3つの柱の下に、7つの「施策の方向」を置き、それぞれに具体的な施策を位置付けます。これらを確実に実施していくために、3ヶ年ごとに具体的な施策に基づく実施計画を策定します。

市川市立図書館運営基本計画 体系図



## 第2章 市川市の図書館サービスの目指すもの

公立図書館は、図書館法に基づいて地方公共団体が設置する公の施設であると同時に、教育委員会が管理運営する教育機関でもあり、教育や文化、生活や仕事、精神的自由などに深い関わりを持っています。「知識基盤社会」において知識や情報の重要性が増すなか、地域の知識・情報・文化の拠点としての公立図書館の存在意義は高まっています。本市図書館ではこのような状況を踏まえ、効果的な図書館サービスのための施設や組織の基盤整備を進めるとともに、本市の実情に即した事業展開を行っていきます。

今後の目指すべき方向性を本市図書館の使命と位置付け、3つの柱を設定します。この使命に基づき、図書館の果たすべき役割を明確にしながら多様な事業を展開し、市民の期待に応えられるよう努めてまいります。

### 1. 情報拠点として市民の学びを支える図書館

現代の図書館には、趣味や教養を深める役割だけでなく、市民のもつ様々な課題の解決のための資料を迅速かつ的確に提供することが求められています。

このため、市川市の図書館は、身近な図書館として市民の興味やニーズに対応するとともに、社会情勢や生活の変化に応じ、必要とされる情報の収集及び提供や調査・研究の支援を行い、市民の学びを支えていきます。

また、すべての市民がより高質なサービスを等しく享受できるよう、ICTを活用したサービスを展開するほか、図書館資源を利用するに当たっての、居住地域や心身の障害等による利用しにくさを解消できるような工夫を行うとともに、職員の能力の向上や関係機関との連携によるサービスの充実を目指します。

#### (1) 「様々な市民の学習要求に応えられる、蔵書の収集と維持」

##### ① 蔵書の維持と更新

日常生活の疑問や仕事上の疑問等、各種課題解決に対応できるよう資料の充実に努め、利用に応じた適正な蔵書の維持と更新を図ります。

##### ② 利用に応じた様々な形態の資料の充実

市民の趣味、教養等に資するため、図書・雑誌や視聴覚資料の充実を図ります。図書館を利用する上でハンデキャップがある方が、それぞれの状況に応じた資料が利用できるよう、障害者向け資料の収集に努めます。また、電子資料等、新しい形態での資料の収集・提供についての調査と、導入についての検討を進めます。

##### ③ 効果的な蔵書管理

ICタグ等による効果的な蔵書管理や、自動貸出機等の導入による貸出・返却業務等の効率化を進め、職員の人的な能力を、案内・調査相談など、より質の高いサービスへと集中させます。

#### ④資料保存のための書庫の確保

市川市として必要な資料を適正に保存していくため、書庫の増設に努めます。また、ICTの進展等に合わせた資料の収集や保存についても検討していきます。

### (2)「図書館機能を活用した、生涯学習機会の提供と充実」

#### ①レファレンスサービスの充実

市民の調査研究活動を積極的に支援します。的確に資料を探せるよう、案内・回答機能の一層の充実を図ります。そのため、印刷資料とインターネット等による電子媒体を組み合わせた高度な情報提供といった、図書館のハイブリッド化の進展に対応できるよう継続的に職員研修を行い、司書のレファレンス技量の向上に努め、国立国会図書館・千葉県立図書館・その他専門機関との連携体制を強化しレファレンスの充実を図ります。また、地域館においても市民が専門的な調査支援等のサービスが受けられるよう中央図書館がバックアップします。

#### ②利用しやすい情報環境の整備

電磁的記録も含め多様な情報源を用意し、誰もが資料や情報にたどり着けるような環境の整備を進めます。また、図書館ホームページの機能の向上を図り、ICTによる各種図書館サービスへのアクセスの拡大を目指します。

#### ③生涯学習機会の拡充

大学、企業、NPO、行政等の多様な主体との連携を促進することにより、地域の抱えるそれぞれの課題に対応し、実情に即した生涯学習機会を提供していきます。また、子育てや起業など地域の活性化に繋がるような情報の提供に努めます。

### (3)「関連機関とのネットワークの充実と、質の高いサービスの提供」

#### ①関連機関との連携による、各地域における図書館サービスの充実

公民館等、関連施設との連携や活用等について調整を行い、各サービスポイントにおけるサービス内容の変更・整理を進め、市全域で質の高い図書館サービスが提供できるよう努めます。

#### ②大学図書館との連携と利用の促進

市民が公共図書館のサービスを通じて大学図書館の持つ専門的な資料を利用できるよう、大学図書館と連携するとともに、利用促進のための市民へのPRを行います。

#### ③ボランティアとの連携強化

図書館ボランティアとの連携を強化し、その活動を応援します。また、障害者サービスに関するボランティアとの連携を充実させていきます。

## 2. 子どもの成長をサポートする図書館

地域社会が子どもの読書環境を整えていくことは、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにしていく上で大変重要です。そのため図書館では、子どもたちが幼い頃から本に親しみ多種多様な興味を見出せるように、資料を充実させるとともに、レファレンスや読書相談などにきめ細かく対応していきます。また、読み聞かせやブックリストの発行、子ども向けのイベントの開催などを関連機関と連携を図りながら継続的にを行い、子どもと本を結びつける活動を積極的に展開していきます。

### (1)「発達に応じた豊かな読書のための環境整備」

#### ①児童・青少年資料の充実

子どもの読書活動を推進するため、子どもの発達に応じて豊かな読書体験ができるような、資料の収集・更新に努めます。

#### ②行事の実施と情報の発信

子どもと本を結びつけるために、年齢に応じて読み聞かせやストーリーテリング、ブックトークなどのイベントを開催し、子どもが読書に親しむ機会の提供に努めます。更に、年齢別のブックリストの作成と配布を行い、子どもの読書活動を支援します。また、子どもに関わる様々な部署との連携を深め、子どもの読書活動に関する情報発信に努めます。

#### ③レファレンス・読書相談の実施

子どもたちの興味や関心を本に結びつけ、読書の楽しみを知ることができるよう、読書相談を行います。また、調べ学習に対応し適切な資料や情報にたどり着けるよう、レファレンスサービスを充実させます。子どもを取り巻く大人に対しても、的確な読書相談に努め、読み聞かせ講座などを開催します。

#### ④ヤングアダルトサービスの実施

本離れが著しい中学生・高校生のヤングアダルト世代に向けて、進路や就職、生き方、多文化や国際化社会等への理解を深められるような資料の充実と提供に努めます。また、参加型イベント等の実施により、図書館の利用促進を図ります。

## (2)「公共図書館と学校等との連携の強化」

### ①出張おはなし会・学級招待の実施

学校等への出張おはなし会や、図書館への学級招待などを通じて、子どもが図書館や本に親しむきっかけを提供し、図書館利用の促進を行うとともに、「自ら学ぶ力」を養い、生涯にわたって学び続ける力の育成をサポートします。

### ②調べ学習及び読書環境向上のためのサポート

学校図書館支援センター事業を通じて調べ学習をサポートし、学校図書館だけでは対応しきれないレファレンスにも応じていきます。学習指導要領に沿って計画的な学校向け貸出図書を更新を図り、学習活動に役立つ資料の充実をめめます。また、児童生徒のキャリア教育をサポートするため、図書館での職場体験の受け入れを継続的に行います。

図書館だけでなく、子育て支援にかかわる部署や施設とも連携及び協力をし、子どもたちの読書活動を充実させるよう努めます。



### 3. 地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館

市川の歴史や文化についての郷土資料は、市川への理解と愛着を深め、地域の魅力を高める大切な市民の財産です。また、市川市の行政資料は、市民と行政が環境、教育、福祉など様々な分野において、市川のまちづくりに協働して取り組み、地域の課題解決へと導くための重要な手がかりとなります。これら地域資料を収集し、体系的に整理し保存することは、図書館が責任を持って行うべき重要な任務です。

本市図書館は、市民誰もが地域の情報にアクセスできるように環境を整え、行政の情報拠点としての役割を果たします。また、市川の魅力を発信し、豊かなまちづくりに貢献できるよう努めていきます。

#### (1) 「市川市の歴史・文化の保存と継承」

##### ① 地域資料の収集と提供

地域社会の歴史、文化、行政などに関する資料、並びに地域または地域に関わりが深い個人や団体が作成、発行した資料の積極的な収集を進めます。また、刊行物として発行されないインターネット上の地域情報の取得に努めます。利便性の向上を図るため、資料や情報を体系的に整理し、提供していきます。

##### ② 地域資料の保存

地域の歴史や文化、行政の記録を後世に継承していくために、地域の資料や情報を蓄積し、保存に努めます。また、貴重な資料の劣化防止のための電子化を進めます。

##### ③ 地域情報の積極的な発信

市民が地域について学ぶ機会を拡げるため、地域資料の電子化を図り、広く利用できる環境を整備し、ホームページ等を活用した地域情報の発信を行っていきます。

#### (2) 「行政の情報拠点としての役割」

##### ① 行政情報の市民への提供

行政の情報窓口として、行政各部署と連携し、市民生活に必要な情報を収集、整理し、提供に努めます。また、行政への市民参加を促し、市川のまちづくりに関して、市民と行政が協働して地域の課題解決に取り組めるよう支援します。

##### ② 行政各課への情報発信

市の行政各部署の政策決定、行政事務に必要な情報を収集、整理し、提供に努めます。関係各課の課題解決のためのレファレンス機能を強化し、積極的に情報を発信していきます。

### 第3章 実施計画編（令和3年度～令和5年度）

市川市立図書館運営基本計画（平成27年策定）で掲げた3つの柱の下、7つの「施策の方向」と21の「具体的な施策」に基づき、令和3年度～令和5年度の実施事業を定めます。また、事業の計画、評価指標設定を通じた計画的事業の展開を点検・評価し運営や事業の改善へとつなげるPDCA（PLAN（計画）－DO（実施）－CHECK（評価）－ACT（調整・改善））のマネジメント・サイクルに沿った運営を行なうため、各事業の実施状況、指標の達成度及び満足度等から、総合的に毎年の評価を行い公表していきます。

#### 一つめの柱 情報拠点として市民の学びを支える図書館

##### 施策の方向 1-(1) 「様々な市民の学習要求に応えられる、蔵書の収集と維持」

###### ◇具体的な施策① 「蔵書の維持と更新」

実施事業 1 新規資料の受入れと劣化資料の買い替えによる蔵書の適正な維持

数値目標等	継続的な資料の更新(購入と寄贈の合計冊数)		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	50,000冊	50,000冊	50,000冊

###### ◇具体的な施策② 「利用に応じた様々な形態の資料の充実」

実施事業 1 利用しやすい電子資料等の収集についての調査及び導入の検討

実施事業 2 障がいの特性に応じた資料の収集と目録の整備

###### ◇具体的な施策③ 「効果的な蔵書管理」

実施事業 1 全館的なICタグによる蔵書管理の発展的な実施の検討

###### ◇具体的な施策④ 「資料保存のための書庫の確保」

実施事業 1 中央図書館の書庫への可動式集密書架の設置と活用

---

---

## 施策の方向 1-(2) 「図書館機能を活用した、生涯学習機会の提供と充実」

---

---

### ◇具体的な施策①「レファレンスサービスの充実」

実施事業 1 レファレンスツール及び事例集の提供

数値目標等	レファレンス事例集及びレファレンスツール(パスファインダー等)の発行		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	継続発行、発展	継続発行、発展	継続発行、発展

実施事業 2 市内外の図書館等との連携の強化

実施事業 3 市民の学習要求や調査研究に corres するデータベース等の提供及び利活用の促進

### ◇具体的な施策②「利用しやすい情報環境の整備」

実施事業 1 図書館ホームページ、デジタルコンテンツ等の情報環境の整備

実施事業 2 非来館型サービスについての調査及び導入の検討

### ◇具体的な施策③「生涯学習機会の拡充」

実施事業 1 中央図書館及び地域図書館、自動車図書館の特性を活かしたサービスの拡充とPRによる利用の促進

数値目標等	図書館利用登録者数の拡大		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	前年度比増	前年度比増	前年度比増

実施事業 2 北部地域の図書館サービスの拡充

実施事業 3 イベントの開催や地域イベントへの参加・協力

---

---

## 施策の方向 1-(3) 「関連機関とのネットワークの充実と、 質の高いサービスの提供」

---

---

### ◇具体的な施策①「関連機関との連携による、各地域における図書館サービスの充実」

実施事業 1 関連施設との連携による図書館サービスの充実

### ◇具体的な施策②「大学図書館との連携と利用の促進」

実施事業 1 市民の大学図書館利用のための紹介状の発行

実施事業 2 市内大学及び大学図書館と市立図書館の各種行事等の相互PRと利用の促進

実施事業 3 大学生の図書館実習、インターンシップ等の受入れ

### ◇具体的な施策③「ボランティアとの連携強化」

実施事業 1 図書館友の会と連携した行事等の実施とボランティア活動の支援

実施事業 2 障がい者サービス関連のボランティアと連携した、障がい者向け資料の作製と収集

## 二つめの柱 子どもの成長をサポートする図書館

### 施策の方向 2-(1) 「発達に応じた豊かな読書のための環境整備」

#### ◇具体的な施策①「児童・青少年資料の充実」

実施事業 1 子どもの発達段階に応じて豊かな読書体験ができるような資料の収集と更新

数値目標等	継続的な資料の更新(購入と寄贈の合計冊数)		
	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
	9,000 冊	9,000 冊	9,000 冊

#### ◇具体的な施策②「行事の実施と情報の発信」

実施事業 1 子どもの読書活動の推進のための行事の実施と情報の発信

数値目標等	読み聞かせの会、テーマ展示等子どもの読書活動推進のための様々な取り組み		
	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
	継続実施	継続実施及び充実	継続実施及び充実

#### ◇具体的な施策③ 「レファレンス・読書相談の実施」

実施事業 1 調べ物に役立つ資料の充実や探し方についてのレファレンスツールの整備

実施事業 2 大人に対しての子どもの本についての読書相談等の実施

#### ◇具体的な施策④ 「ヤングアダルトサービスの実施」

実施事業 1 中学・高校生のもつ課題の解決(学習、生活、進路等)を支援するための資料の提供

実施事業 2 図書館と中学・高校生を結びつける行事の実施や刊行物の発行

実施事業 3 中学・高校生へのヤングアダルトサービスの PR

### 施策の方向 2-(2) 「公共図書館と学校等との連携の強化」

#### ◇具体的な施策① 「出張おはなし会・学級招待の実施」

実施事業 1 「出張おはなし会」「学級招待」の対象学年の拡大とプログラムの充実

#### ◇具体的な施策② 「調べ学習及び読書環境向上のためのサポート」

実施事業 1 教育センターが所管する「学校図書館支援センター事業」への参加と協力

実施事業 2 学校図書館向け貸出資料の更新

実施事業 3 外部機関等と連携した児童・青少年サービスの実施・充実

## 三つめの柱 地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館

### 施策の方向 3-(1) 「市川市の歴史・文化の保存と継承」

#### ◇具体的な施策① 「地域資料の収集と提供」

実施事業 1 地域行政資料の収集と整理

数値目標等	地域行政資料の蔵書冊数		
	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
	60,000 冊	前年度比増	前年度比増

#### ◇具体的な施策② 「地域資料の保存」

実施事業 1 地域行政資料の電子化

数値目標等	地域行政資料の電子化の取り組み		
	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
	継続実施	継続実施	継続実施

#### ◇具体的な施策③ 「地域情報の積極的な発信」

実施事業 1 図書館ホームページの地域情報の追加及び更新

### 施策の方向 3-(2) 「行政の情報拠点としての役割」

#### ◇具体的な施策① 「行政情報の市民への提供」

実施事業 1 行政各部署や関連団体と連携した行事や展示等の実施

実施事業 2 市の刊行物等の販売及び行政情報リーフレット等の配布

#### ◇具体的な施策② 「行政各課への情報発信」

実施事業 1 図書館で利用できるデータベース等、レファレンスツール情報の市の行政各部署への発信

## 令和２年度 市川市立図書館評価報告書

令和４年３月

## 1. 趣旨

この報告書は、「図書館法」(昭和25年法律第118号)第7条の3、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」(平成24年文部科学省告示第172号)、「市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則」(平成21年教育委員会規則第6号)第1条の2及び「市川市中央図書館の管理に関する規則」(平成6年教育委員会規則第9号)第2条に基づき、令和元年度の市川市立図書館の運営状況について評価・分析を行いサービス向上に資するものである。

## 2. 評価内容

「市川市立図書館運営基本計画」第3章 実施計画編(平成30年度～令和2年度)の具体的な施策に沿って行った取り組み内容と、目標値等の達成度に基づき、令和2年度の市川市立図書館の評価を行った。

## 3. 評価の基準について

市川市立図書館の「7つの施策の方向」の各項目について、取り組み内容と目標値の達成度を総合してA～Dの4段階評価を行った。これに基づき、総合結果として「3つの柱」についての取り組みを4段階評価で表した。(3つの柱と7つの施策については市川市立図書館運営基本計画 p.7を参照)

実施内容	評価
十分達成できた。(目標どおり取り組みを実施し、目標を上回る成果があった。)	A
概ね達成できた。(目標どおり取り組みを実施し、一定の成果をあげた。)	B
やや不十分だった。(実施したが、十分な成果をあげることができなかった。)	C
不十分だった。(実施できていない。課題の整理、計画の見直しが必要である。)	D

## 4. 自己評価結果

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、緊急事態宣言に伴う2度の臨時休館となったが、「市川市立図書館運営基本計画」の3つの柱のうち「地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館」については、目標を達成することができA評価となった。特に、地域行政資料については積極的な収集を行い、パスファインダーや図書館ウェブサイト等様々なツールで地域情報を積極的に発信することができた。

「情報拠点として市民の学びを支える図書館」については、非接触でセルフ対応できるIC機器の利点が活かされたが、臨時休館の影響もあり、蔵書の受け入れ冊数と利用登録者数が目標値に至らずB評価となった。また、「子どもの成長をサポートする図書館」については、市の施設全体の方針により、読み聞かせをはじめとしたイベントや講座等の集会行事が全て中止となりB評価となった。

全体としては、7つの施策の方向のうち1つがA評価、6つがB評価であったが、令和2年度の目標は概ね達成でき、一定の成果をあげたと評価ができる。

## 5. 令和2年度市川市立図書館評価に対する外部有識者からの意見 …詳細は別紙

外部有識者2名(図書館情報学)から、令和2年度の市川市立図書館評価についてご意見をいただき、自己評価は概ね適切であると認められた。また、実施結果や評価方法に対していただいた課題やアドバイスについては、今後の図書館運営に活かしていく。

# 令和2年度「市川市立図書館運営基本計画」に基づく図書館評価結果

## 総合結果

### 1. 情報拠点として市民の学びを支える図書館

評価	<input type="checkbox"/> A [十分達成できた]	<input checked="" type="checkbox"/> B [概ね達成できた]	<input type="checkbox"/> C [やや不十分だった]	<input type="checkbox"/> D [不十分だった]
----	--------------------------------------	---	---------------------------------------	-------------------------------------

新型コロナウイルス感染症の影響(以下、「コロナ禍」と略す)を受け、前年度末より続く臨時休館中に新年度を迎えた。令和元年12月にIC機器導入後、数カ月で臨時休館となったが、休館明けの感染拡大防止策を取りながらの開館中は、職員を介さずに非接触でセルフ対応できるIC機器の利点が活かされた。また休館中には、ICでの蔵書点検を全館実施する等、IC機器の活用を図った。今後は、使い易さなど利便性を高めて、効果的な利活用に繋げてゆく。

蔵書については、適正な資料の選定・維持を図りながら、非接触・非来館も視野に入れた電子資料(図書)の導入・整備に努め、図書館利用を促進する取り組みを引き続き進めていく。

### 2. 子どもの成長をサポートする図書館

評価	<input type="checkbox"/> A [十分達成できた]	<input checked="" type="checkbox"/> B [概ね達成できた]	<input type="checkbox"/> C [やや不十分だった]	<input type="checkbox"/> D [不十分だった]
----	--------------------------------------	---	---------------------------------------	-------------------------------------

コロナ禍で、市の施設全体の方針により、読み聞かせをはじめ、イベント・講座等の集会行事を中止した。そのため、テーマ展示やパスファインダーの作成等、今後の子どもの読書活動に寄与する基本的な業務やツールの作成を積極的に進めた。

今後は、児童向けにウェブサイトの充実やZOOM等を活用した取り組みを視野に入れていく。

### 3. 地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館

評価	<input checked="" type="checkbox"/> A [十分達成できた]	<input type="checkbox"/> B [概ね達成できた]	<input type="checkbox"/> C [やや不十分だった]	<input type="checkbox"/> D [不十分だった]
----	---	--------------------------------------	---------------------------------------	-------------------------------------

パスファインダーや図書館ウェブサイト、Facebook等、様々なツールで、地域情報を積極的に発信することができた。デジタルアーカイブ・システムでの公開に向け、地域資料のデータ整備や画像登録の作業を進めたほか、地域情報データベースの更新等、多様な媒体によるサービスの充実に努め、全項目で目標を達成した。また、コロナ禍においても、継続的に行政各部署と連携した行事や展示を行い、必要な行政情報を市民に提供することができた。

今後も、地域の文化を後世に伝えるために地域資料の電子化を継続して行い、その活用を図っていく。

## 令和2年度の取り組み内容

### 一つめの柱 情報拠点として市民の学びを支える図書館

#### 施策の方向 1-1 「様々な市民の学習要求に応えられる、蔵書の収集と維持」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①蔵書の維持と更新	・新規資料の受入れと劣化資料の買い替えによる蔵書の適正な維持(購入と寄贈の合計冊数)	50,000冊	38,745冊	B
②利用に応じた様々な形態の資料の充実	・利用しやすい電子資料等の収集についての調査及び導入の検討	調査・導入の検討	調査・導入の検討	
	・障がいの特性に応じた資料の収集と目録の整備	DAISY図書の目録の作成	DAISY図書目録追録の作成	
③効果的な蔵書管理	・図書館資料へのICタグの貼付及びIC機器導入と、全館的なICタグによる蔵書管理の実施	ICタグによる蔵書管理の実施	ICタグによる蔵書管理の実施	
④資料保存のための書庫の確保	・中央図書館の書庫への可動式集密書架の設置と活用	可動式書庫の活用	可動式書庫の活用	

#### 実績と評価

令和元年12月、IC機器を導入後に数カ月で臨時休館となり、臨時休館中に新年度を迎えることとなった。職員を介さずにセルフで貸出手続きができるIC機器の利点を十分活用することはできなかったが、休館中にICでの蔵書点検を全館実施する等、IC機器の活用を図った。  
蔵書の受入れ冊数は目標値の77.5%に留まった。消費税率引き上げに続き、休館により寄贈冊数も減ったこと等が要因としてあげられる。

#### 課題

コロナ禍で電子書籍の導入を進めた自治体が多く見受けられた。電子資料としての特性を考慮して、資料を選定し、障がい者等、利用対象を絞った取り組みも課題である。市場の成熟やコンテンツの充実を待たずに、市川市としての方針を決めて、いくつかの導入パターンを検討しておく必要がある。

#### 方向性

限りある予算を有効に活用するために、市全体としての蔵書のバランスを考慮した調整を図り、的確な資料選定を継続していく。

## 施策の方向 1-(2)「図書館機能を活用した、生涯学習機会の提供と充実」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
① レファレンスサービスの実施	・レファレンスツールおよび事例集の提供	継続発行 ・発展	継続発行・発展(15回)	B
	・市内外の図書館等との連携の強化 (レファレンス協同データベースへの事例提供)	実施	実施 (207点)	
	・市民の学習要求や調査研究に答えるデータベース等の提供及び利活用の促進	実施	実施	
② 利用しやすい情報環境の整備	・図書館ホームページ、デジタルコンテンツ等の情報環境の整備	実施	実施	
③ 生涯学習機会の拡充	・中央図書館及び地域図書館の特性を活かしたサービスの拡充とPRによる利用の促進(図書館利用登録者数の拡大)	前年度比増 (前年度 28,405人)	16,290人	
	・北部地域の図書館サービスの充実	実施と周知	実施と周知	
	・イベントの開催や地域イベントへの参加・協力	実施	中止	

### 実績と評価

レファレンスサービスについては、コロナ禍で臨時休館や、対面での対応が行えない状況の中、メールでのレファレンス件数は2倍近くに増加したが、全館で44,983件の受付・回答となり、例年より減少した。事例集である「参考業務月報」を8回分発行したほか、市民の調査研究に十分活用できるものとして、既存のパスファインダーの点検をし、7つのパスファインダーの作成・改訂を行った。デジタルコンテンツについては、動画サイトに登録されていた市川市の広報番組「マイタウンいちかわ」の平成17年度以降の放送分を、デジタルアーカイブ・システムでWebからもキーワード検索ができるようにした。北部地域の図書館サービスについては、コロナ禍で公民館が休館となり、開室日数は例年より減っているが、一日平均の貸出冊数は、前年度並みを維持している。図書館利用の登録者数については、臨時休館の影響もあり、前年度の57.3%と目標値に至らなかった。ステイホームで読書する方が増えている中で、臨時休館中に新規登録希望者に対応できなかった点については、接触を避けながら登録を受け付ける工夫が必要であった。

### 課題

メール・レファレンスの周知、また、新たに利用者登録関係や類縁機関への紹介状発行といった事前手続きも含め、非接触・非来館でも図書館利用に繋げる方法を模索していく。

### 方向性

今回のコロナ禍で臨時休館せざるを得なかった状況は、今後の図書館サービスのあり方を考え直す機会として捉え、新しいサービスのスタイルを確立してゆく。

## 施策の方向 1-(3)「関連機関とのネットワークの充実と、質の高いサービスの提供」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
① 関係機関との連携による、各地域における図書館サービスの充実	・関連施設との連携による図書館サービスの充実	実施	実施	B
② 大学図書館との連携と利用の促進	・市民の大学図書館利用のための紹介状の発行	実施	実施(1名)	
	・市内大学及び大学図書館と市立図書館の各種行事等の相互PRと利用の促進	実施	中止	
	・大学生の図書館実習、インターンシップ等の受入れ	実施	実施(2名)	
③ ボランティアとの連携強化	・図書館友の会と連携した行事等の実施とボランティア活動の支援	実施	中止	
	・障がい者サービス関連のボランティアと連携した、障がい者向け資料の作製と収集	実施	実施(22点)	

### 実績と評価

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、公民館は休館、学校は休校となり、公民館図書室や(学校内併設の)市民図書室等、関連施設での連携による図書館サービスは、約5ヶ月の休止となった。大学図書館については、年度を通じて学外者が入構できなかったことから、利用のための紹介状は発行できず、同様に相互利用のPR等も実施できなかった。また、ボランティア活動も縮小し、共催行事も実施できなかった。但し、自動車図書館については、戸外での貸出であることから、感染防止に配慮しながら運行した。

### 課題

関連施設の各々の役割を踏まえつつ、臨時休室など止むを得ない状況においても、市民が一定レベルの図書館サービスを享受できるような手段を講じておく必要がある。

### 方向性

関連施設で一定レベルの図書館サービスを提供するために、マニュアルの整備や研修を実施する。また図書館の活動を理解し、応援してもらえるように、ボランティア活動を支援し、実習生・インターンを継続して受入れ、大学とのネットワークの強化に取り組む。

## 二つめの柱 子どもの成長をサポートする図書館

### 施策の方向 2-1)「発達に応じた豊かな読書のための環境整備」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①児童・青少年資料の充実	・子どもの発達段階に応じて豊かな読書体験ができるような資料の収集と更新	9,000冊	8,818冊	B
②行事の実施と情報の発信	・子どもの読書活動の推進のための行事の実施と情報の発信	継続実施及び充実	縮小実施	
③レファレンス・読書相談の実施	・調べ物に役立つ資料の充実や探し方についてのレファレンスツールの整備	実施	実施	
	・大人に対しての子どもの本についての読書相談等の実施	実施	中止	
④ヤングアダルトサービスの実施	・中学・高校生のもつ課題解決(学習、生活、進路等)を支援するための資料の提供	実施	実施	
	・図書館と中学・高校生を結びつける行事の実施や刊行物の発行	実施	実施(9回)	
	・中学・高校生へのヤングアダルトサービスのPR	実施	実施	

#### 実績と評価

資料の充実については、絵本や実用書を重点的に買い替えたが、消費税率の引き上げや本の単価上昇を受け、昨年度同様に受入れ冊数の達成率は目標値の約97%であった。

行事の実施については、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため「読み聞かせの会」は中止とし、近隣市と比べて慎重な対応となった。その代わりに、「なつやすみどくしょマラソン」「lucky bag 2021」等、コロナ禍でも子どもの読書欲を掻き立てる試みを継続した。

市川市の花火大会は中止となったが、「花火についてしらべよう」というパスファインダーを作成し、夏休みの宿題や調べ学習等の問い合わせに対応することができた。

ヤングアダルトサービスについては、年間を通じて「YAルーム」を閉鎖したものの、福袋を模した「YA 図書館本A-Z」を実施し、「YA通信」「YA通信 入門編」等の刊行物は継続的に発行・改訂してPRに努めた。

#### 課題

コロナ禍が長期化することを想定して、利用者の安全性を確保しながらイベントの開催や運営等ができる方法を模索していく必要がある。

#### 方向性

前年度まで実施していた定例行事が、今回のコロナ禍で廃れることなく、内容を充実した取り組みができるように、職員による研鑽を継続する。

### 施策の方向 2-2)「公共図書館と学校等との連携の強化」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①出張おはなし会・学級招待の実施	・「出張おはなし会」「学級招待」の対象学年の拡大とプログラムの充実	実施充実	中止	B
②調べ学習及び読書環境向上のためのサポート	・教育センターが所管する「学校図書館支援センター事業」への参加と協力	参加・協力	参加・協力 (資料依頼 391件)	
	・学校図書館向け貸出資料の更新	前年度比増 (211冊受入)	260冊	
	・外部機関等と連携した児童・青少年サービスの拡大	拡大充実	縮小実施	

#### 実績と評価

「出張おはなし会」「学級招待」は、コロナ禍で中止せざるを得なかった。

「学校図書館支援センター事業」については、予定通り実施したが、休校の影響で利用が減少した反面、依頼に対して丁寧に対応することができた。学校図書館向けの貸出である「学級文庫」については、年度前期はコロナ禍で学校が休校だったため、後期に依頼が集中し、前年度比増の目標を達成できた。

毎年市内中学生に作成してもらっているヤングアダルト特集展示のためのポスターは、継続して実施した。

外部機関との連携イベントは、コロナ禍のため、実施しなかった。

#### 課題

学校図書館向け貸出資料については、学習指導要領の改訂にあわせ、多様化する調べ学習の要求に応えられる資料を計画的に購入し、充実させていく必要がある。

#### 方向性

コロナ禍が収束しない場合でも、学校図書館への支援や外部機関との連携は、感染対策に十分考慮した様々な取り組みを揃えて、状況に応じて選択できるよう用意していく。

また、コロナ禍であるからこそ、学校や外部機関を通して、子どもと保護者に向けて読書の大切さをPRし、積極的に読書支援、図書館利用の促進を図る。

## 三つめの柱 地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館

### 施策の方向 3-1 「市川市の歴史・文化の保存と継承」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①地域資料の収集と提供	・地域行政資料の収集と整理	前年度比増 (前年度 59,449 冊)	60,875 冊	A
②地域資料の保存	・著作権保護期間満了の資料の電子化	実施	実施	
③地域情報の積極的な発信	・図書館ホームページの地域情報の追加及び更新	実施	実施	

#### 実績と評価

地域行政資料は、寄贈を中心に、新刊書から古書まで積極的に収集した結果、蔵書冊数は前年度を大幅に上回る事ができた。

中央図書館では、目録情報を整備し準備を進めていた『広報いちかわ』(旧『市川市広報』)の第1号から第880号について、館内Web-OPACのデジタルアーカイブ・システムで公開した。また、動画サイトに登録されている市川市の広報番組「マイタウンいちかわ」(平成17年度以降)を、キーワード検索ができるようにし、デジタルアーカイブ・システムとリンク連動させてWeb公開した。

1952年から2001年まで半世紀に渡り発行された『京葉市民新聞』について、マイクロフィルムからの画像変換作業を委託し、デジタルアーカイブ・システムに登録して見出しデータと紐づける準備を整えることができた。

そのほか、地域資料のパスファインダー「市川の地図を調べる」を新たに作成した。コロナ禍の臨時休館期間(テレワーク等)を活用して、地域情報の整理を行い、図書館ウェブサイトでの地域資料データベースの更新に努めた。

#### 課題

地域行政資料を永く保存していくために、十分なスペースの確保と、デジタル化等の資料の劣化対策を計画的に進めることが課題となっている。収集・保存している資料については、デジタル化への取組みとともに、広く市民が利用できるシステム環境を整備する必要がある。

また、令和3年度の図書館ウェブサイトのリニューアルに向けて、地域資料のパスファインダーやコンテンツの内容を点検し、追加・改訂していく必要がある。

#### 方向性

地域行政資料の積極的な収集と受入れに努め、引き続き資料の充実を図る。デジタルアーカイブ・システムで館内公開する資料の追加更新をすすめるとともに、図書館ホームページの地域資料データベースを活用した情報発信を積極的に行っていく。

### 施策の方向 3-2 「行政の情報拠点としての役割」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①行政情報の市民への提供	・行政各部署や関連団体と連携した行事や展示等の実施	内容充実	内容充実 (9回)	B
	・市の刊行物等の販売及び行政情報リーフレット等の配布	継続充実	配布のみ実施 (販売休止)	
②行政各課への情報発信	・図書館で利用できるデータベース等、レファレンスツール情報の市の行政各部署への発信	実施	実施	

#### 実績と評価

コロナ禍の臨時休館により、行政各部署や関連団体と連携した展示は、回数が少なくなった。地域防災課、保健センター、地域支えあい課、農業振興課、芳澤ガーデンギャラリー等と実施し、毎年継続している展示については、展示する視点・観点を変え、連携内容を充実させた。

コロナ禍で、市全体としても集会事業等が開催できなかったため、イベントや行政情報等の配布物も例年より少なく、図書館で開催する連携講座も実施しなかった。

#### 課題

行政各部署に向けて、図書館が行政情報の集約・整理に努めていることを周知させていく必要がある。そのため、図書館側からの積極的な呼びかけを継続的に行うことが課題であり、目に見える形として、行政情報に関するパスファインダーの作成に取り組み、これを情報発信していく。

また、市民に向けては、図書館が集約した幅広い行政情報を、誰でも使えるように整理し、どこでもいつでも、わかりやすい形で早く情報提供していくことが課題となる。

#### 方向性

行政各部署や市内関連団体等と連携して、市川への理解と愛着が深まるような魅力的な展示やイベントを企画するほか、身近な行政情報や市川の魅力を市民に積極的に提供していく。

また、図書館で利用できるデータベース等、役立つツールの効果的な活用法をわかりやすくPRし、行政各部署には、図書館のレファレンス機能を、地域の課題解決やまちづくりに役立ててもらえるように情報発信をしていく。

3つの柱に対する、図書館の自己評価、今後の課題等について、外部有識者(図書館情報学)2名から意見をいただいた。

### 1. 情報拠点として市民の学びを支える図書館

・コロナ禍での臨時休館により、開館日数が前年度の7割ほどにとどまったため、貸出点数やレファレンス件数が、これにほぼ比例して減少したのは、来館での直接サービスを基本とする運営ではやむをえないことである。また、集会行事の多くが中止になったことも、利用登録者が前年度の6割に及ばなかった原因の一つであろう。その一方で、メールでのレファレンス件数が前年度の2倍近く、インターネットやスマートフォンによるリクエスト件数も増加し、限られたサービス環境のなかで、ステイホームでの市民の要求に、図書館はひとまず応えることができたことと評価できる。しかしながら、この状況下で最も期待されている電子書籍の導入が、調査・検討にとどまったのは、図書館としても認識されていることではあるが、喫緊の課題となったことは確かである。

その反面、直接サービスを十分に展開できなかつた分、ICでの蔵書点検など、図書館サービスを支える基礎作業に取り組んだことは、今後のサービス展開の基盤を強固にしたものであり、こうした図書館の地道な仕事について、市民の皆様にも広く知っていただければと願っている。ただし、昨年度にも指摘したが、蔵書の収集が目標値に達せず、8割にも及ばなかつたことには検証の必要がある。消費税率引き上げと寄贈冊数の減少が、前年度と同じく主因にあげられているが、この理由は適切とは言えない。消費税率の引き上げは2%、寄贈図書も前年度から1,500冊ほどの減少にとどまる。出版物の平均価格も前年度から3%程度の上昇である。外的要因によるというよりは、資料の選定に変化が生じていると考えるのが自然ではないか。目標値そのものの根拠も定かではないのだが、これによって自己評価を低くする必要はないと考える。

・新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じながらサービスを展開する必要があつたことから、必ずしも達成できなかった目標があることはやむを得ない。むしろ、IC機器導入による非接触のセルフ貸出やメールによるレファレンスサービスなど、実施できた事柄を評価したい。感染症に限らず、事故・災害などを含めて、制約が課せられる状況は想定されることから、どのような準備をしておけばよいのか、そもそも「市民の学びを支える」ために平常時から図書館がすべきことは何か、コスト配分の優先順位を見きわめつつ、市としての方針を(再)確認・構築してほしい。

なお、電子・オンラインコンテンツの導入・拡大は、もちろん有効・必要な取り組みであるが、既存のサービスを十分に代替できるとは限らない。「デジタル」にハンディのある利用者も少なくないと思われることにも配慮しつつ、ニーズを丁寧に分析し、予約制の来館利用、資料の配送なども含めた総合的な対応を期待したい。

### 2. 子どもの成長をサポートする図書館

・子どもたちを読書に、そして図書館に導く各種の行事が、中止あるいは縮小実施となり、図書館による場所と機会の提供が大幅に制約されたことは、おとな以上に子どもたちには影響が大きかつたと思われる。児童サービスと学校図書館支援は、市川市が全国の図書館を先導する誇るべき事業であり、持続可能な自治体であるための重点施策である。そうしたなか、子どもたちに好評な行事を可能な限り継続し、高いサービス水準を維持したことは敬服に値する。

家庭でのZoom等の利用が普及し、学校でのGIGAスクール構想がオンライン授業で加速している現状からすれば、コンピュータとネットワークを活用した行事によって、子どもたちに参加の機会を増やすことが期待される。また、増大する一方のサービス業務に対応するためにも、多様な環境にある子どもたちとその保護者のためにも、対面での行事が与える温もりを維持しつつ、ICTの利便性を取り入れた行事の展開を期待するものである。

・対面による行事・イベントなどは中止せざるを得ない状況を踏まえれば、当初予定を遂行できなかった事業があることは図書館の責に帰するものではない。むしろ、花火大会の中止を受けて花火に関するパスファインダーを作成するなど、可能な対応を工夫した点を評価すべきである。子どもたちの読書や学習をサポートするために、公共図書館としてできることを見つめ直す機会としてほしい。

もちろん投入できる資源は限られていることから、学校(図書館)などの役割分担・協力を含めて、市全体として子どもの成長を支えるという観点から、公共図書館だからこそすべき取り組みは何かを見きわめていくことが期待される。ウェブサイトの拡充やオンラインイベントの開催なども期待したいところであるが、学習指導要領改定に対応した資料の準備や調べ学習を含む利用の支援などは、コロナ禍の状況にかかわらず、優先度の高いものであろう。

### 3. 地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館

・地域行政資料は、図書館の地力と存在意義を示すものである。その収集や整理はこれまで充実していたが、市民の目には届きにくく劣化しやすい資料が多いだけに、情報発信と保存には大きな困難が伴ったはずである。そうしたなかで、目録情報の整備は煩雑であったにもかかわらず、広報紙や広報番組の組織化などに成果を上げたことは立派である。地域の記憶を記録として定着させていくデジタルアーカイブの構築について、引き続き推進をお願いしたい。

また、図書館は市役所という行政機関の一部である。市民に対するサービスとして、行政情報を集約し提供していくとともに、市役所の各部署に対するサービスとして、行政情報を広範に取り扱うことも求められている。コロナ禍のために、展示や配布物が少なく、連携講座も開催されなかったのは致し方ないが、市民にとっての市政情報室、市役所職員にとっての組織内専門図書館として、その付加価値を高め、行政情報の専門サービスを展開していくことが望まれる。

・一般資料は量(だけ)でなく質も重要であるのに対し、地域・行政資料は質(だけ)でなく量(どの程度まで収集できているか)も重要であることを踏まえれば、地域行政資料の蔵書冊数が増加したことは、市川市の図書館として役割を果たしているといえる。市川市の文化・まちづくりを支えるという観点から、行政各部署との協力をさらに積極的に進め、市全体として必要な資料・情報の収集・蓄積と提供が確実に遂行されていくことを期待したい。

オンラインを含めた多様なメディアを活用したツールの整備、アーカイブの構築、コンテンツの配信などの取り組みは、感染症対策(あるいは今後における事故・災害などへの対応)としてだけでなく、平常時にあっても市民のアクセス可能性を拡大する点において有意義である。積極的な展開を期待したい。

## 総評

・コロナ禍のなか、感染拡大防止策を講じながら、与えられた条件下において、図書館は非常によく運営されたと認識している。平時における尺度からすれば、今回の評価は妥当であると言えるが、非常時における尺度からすれば、すべてA評価でもよいのではないかと考えている。

この未曾有の状況に直面して、電子情報や電子機器の有用性が確認され、非接触・非来館サービスのために、情報環境の整備とコンテンツの充実が、現実の課題として大きくクローズアップされてきた。それと同時に、集会行事や閲覧のための機会と場の提供も、図書館にとって不可欠な機能であることが、改めて確認できたのではないかと理解している。

コロナとの戦いは現在も続いている。ここで指摘したことほとんどは、現時点で実行に移されているに違いないであろうが、巣ごもり状態の市民生活にあって、図書館が必要な存在であることを市民の皆様にも実感していただくことが、今後の図書館の発展にとって大切なことだと思っている。

・いずれの項目においても、自己評価は妥当である。コロナ禍における運営には多大な負担・困難があったと思われるが、図書館サービスを維持・提供するためにさまざまな工夫が重ねられている。職員をはじめ、関係者に敬意を表したい。

図書館に求められる社会的な役割を常に認識しつつ、いわゆるウィズコロナ・アフターコロナの運営について、計画的に、しかし柔軟に取り組んでいくことを願っている。図書館(あるいは市)の持つ資源(コスト)にはもちろん限りがあることから、市民を含めた協働をさらに進めていくことも期待したい。

1. 趣旨

この報告書は、平成 27 年度に策定した「市川市立図書館運営基本計画」の「第二次実施計画(平成 30 年度～令和 2 年度)」の実施結果について評価と分析を行い、今後の図書館運営に活かしサービスの向上に資するものである。

2. 実施結果・評価概要

図書館運営の目標として立てた 3 つの柱の下に掲げた全ての事業に取り組むことができた。

一つ目の柱「情報拠点として市民の学びを支える図書館」については、IC タグによる全館での蔵書管理を開始し、また、利用者の利便性の向上のため関連施設と連携を強化し市北部地域の図書館サービスの拡大を図った。二つ目の柱「子どもの成長をサポートする図書館」では、子どもやヤングアダルト世代向けのイベントやパスファインダーの作成等、子どもたちと図書館や本を結びつけるための様々なアプローチを行った。また、教育センター等と連携して継続的に調べ学習を支援するなど、子どもの読書環境の充実に努めた。三つめの柱「地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館」では、地域行政資料の収集を積極的に行い、ホームページやデジタルアーカイブシステムを活用した情報発信を行った。全体として、目標はほぼ達成することができ、3 カ年の図書館運営は一定の成果を上げたといえる。

今後は、次の 3 カ年で予定している図書館ホームページやデジタルコンテンツ等の情報環境の整備、また電子書籍や非来館型サービスについて調査及び導入を検討し、ICT 機器を使った蔵書管理の発展的な実施により効率的、効果的な図書館運営を進め、市民が全市域で様々な図書館サービスを利用できるように努めていく。

[ 3 カ年の実施結果と評価 ]

一つめの柱 情報拠点として市民の学びを支える図書館

施策の方向

様々な市民の学習要求に  
応えられる、蔵書の収集と維持

図書館機能を活用した、  
生涯学習機会の提供と充実

関連機関とのネットワークの充実  
と、質の高いサービスの提供

具体的な施策

- ・ 蔵書の維持と更新
- ・ 利用に応じた様々な形態の資料の充実
- ・ 効果的な蔵書管理
- ・ 資料保存のための書庫の確保
- ・ レファレンスサービスの充実
- ・ 利用しやすい情報環境の整備
- ・ 生涯学習機会の拡充
- ・ 関連機関との連携による、各地域における図書館サービスの充実
- ・ 大学図書館との連携と利用の促進
- ・ ボランティアとの連携強化

平成 30 年度～令和 2 年度の主な取り組み内容

積極的な資料の更新／図書館全館の IC タグによる蔵書管理の開始／自動貸出機・自動返却機の導入（中央・行徳）／IC 予約棚の設置（中央・行徳）／座席管理システム・書庫出納管理システム・デジタルサイネージの導入（中央）／レファレンスサービスの充実／事例集「参考業務月報」・パスファインダーの発行／西部公民館図書室の蔵書管理と利用者管理を図書館と一元化／ 図書館関連ボランティアとの連携（イベント連携・障がい者向け資料の作成）

評価と今後の方向性

評価	<input type="checkbox"/> 充分達成できた	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね達成できた	<input type="checkbox"/> やや不十分だった	<input type="checkbox"/> 不十分だった
<p>図書館情報システムの更新に伴い IC 機器を導入し、全館での IC タグによる蔵書管理を開始した。中央図書館及び行徳図書館では、自動貸出機、自動返却機、IC 予約棚を新たに設置し、効率化を図った。西部公民館図書室の蔵書管理と利用者管理を図書館と一元化し、北部地域の利便性の向上につながった。蔵書については、適正な資料の選定・維持を図り、電子資料等媒体にとらわれない情報資源の導入・整備に努め、図書館利用を促進する取り組みを引き続き進めていく。</p>				

## 二つめの柱 子どもの成長をサポートする図書館

### 施策の方向

発達に応じた豊かな読書のための  
環境整備

公共図書館と学校等との連携の強化

### 具体的な施策

- ・児童・青少年資料の充実
- ・行事の実施と情報の発信
- ・レファレンス・読書相談の実施
- ・ヤングアダルトサービスの実施
- ・出張おはなし会・学級招待の実施
- ・調べ学習及び読書環境向上のためのサポート

### 平成 30 年度～令和 2 年度の取り組み内容

資料の更新／えほんの会ぷらす（えほんの会と工作あそび）の開始／関連機関と連携したイベントの実施／小学校 1 年生向け利用案内の配布／子ども向けパスファインダーの発行／中高校生向け「Young Adult 通信」の発行／中高生参加型イベントの実施／中高生作成の POP の展示／出張おはなし会・学級招待の実施／教育センターとの連携による調べ学習に対応した資料提供

### 評価と今後の方向性

評価	<input type="checkbox"/> 充分達成できた	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね達成できた	<input type="checkbox"/> やや不十分だった	<input type="checkbox"/> 不十分だった
<p>学校、幼稚園等へ出張して行うおはなし会の拡大や地域イベントへの参加、関連機関と連携した多様なイベントを積極的に実施してきたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント等の集会行事は中止となった。小学 1 年生に向けた利用案内の配布やパスファインダーの作成・テーマ展示等、子どもたちと図書館や本を結びつけるための様々なアプローチを行った。図書館司書と学校の担当者との研修会を行い、学校での調べ学習のための資料提供を行う「学校図書館支援センター事業」も活発に利用され成果をあげている。今後も、資料の収集・更新に努め、子ども向けのウェブサイトの充実等、子どもの発達に応じた読書環境の整備に力を入れていく。</p>				

## 三つめの柱 地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館

### 施策の方向

市川市の歴史・文化の保存と継承

行政の情報拠点としての役割

### 具体的な施策

- ・地域資料の収集と提供
- ・地域資料の保存
- ・地域情報の積極的な発信
- ・行政情報の市民への提供
- ・行政各課への情報発信

### 平成 30 年度～令和 2 年度の取り組み内容

地域行政資料の積極的収集／特別コレクションの新刊から古書までの積極的収集／館内 Web-OPAC にデジタルアーカイブシステム導入、公開（地図等の著作権保護期間満了の地域資料・「広報いちかわ」）／地域情報データベースのコンテンツの追加更新（市川の音楽・地図等）／関連部署、機関と連携した行事や展示の実施／市の刊行物の販売と市民向け各種冊子類の配布

### 評価と今後の方向性

評価	<input checked="" type="checkbox"/> 充分達成できた	<input type="checkbox"/> 概ね達成できた	<input type="checkbox"/> やや不十分だった	<input type="checkbox"/> 不十分だった
<p>地域行政資料の収集を積極的に行い目標の蔵書冊数 55,000 冊を達成した。館内 Web-OPAC に導入されたデジタルアーカイブシステムを活用し、著作権保護期間が満了した地図等を公開したほか、市の広報紙「広報いちかわ」の目録情報を整理して公開した。市川ゆかりの音楽、地図に関連する情報を整理しホームページで発信し、関連部署と連携した地域の文化や歴史に関わる展示を実施した。また、市民向け地域行政情報冊子の配布を行うなど、市川の情報に市民に伝わるよう努めた。引き続き、行政各部署等と連携し、幅広く資料の収集を行い、市川市の歴史と文化の保存と継承に努めていく。</p>				

1. 実施について  
(1) 調査の目的

eモニター制度を利用して、図書館未利用者を含む市民の読書習慣と図書館サービス・設備についての認知度や要望を調査した。特に、令和2年度eモニで新型コロナウイルスの影響下で今後充実させるべきサービスとして希望の多かった「電子書籍」、「宅配サービス(有料)」について、さらに具体的なニーズを把握するための設問を設けた。

市川市eモニター制度(愛称:eモニ)・・・パソコンやスマホ、携帯電話等、インターネットを活用して意見を広く集めて市政に反映する、事前登録制のアンケート制度。

(2) 調査実施期間: 令和4年2月15日(火)～令和4年2月28日(月)

(3) 集計・分析にあたって (有効回答数1,354名)

## 【電子書籍について】

電子書籍を含めた読書習慣のある方は83%、そのうちの67%の方が電子書籍(有料・無料含む)を利用したことがあり、有料電子書籍の購入経験のある方についても61%を占めた。63%が紙媒体と比較して読みにくいと回答しているものの、その種類(ラインナップ)には64%の方が満足しており、電子書籍が浸透していることが分かった。また、新型コロナウイルス感染拡大期前と比較した読書量を尋ねた設問では、紙媒体の本で30%、電子書籍で27%の方が、読書量が増えたと回答し、紙・電子の媒体に関わらず、コロナ禍で読書量が増えた方が一定数いたことが分かった。

## 【宅配サービスについて】

現在実施している、有料の予約資料宅配サービスについては、知らないと答えた方が71%となり、サービスの認知度が低いことが分かった。また、今後の利用の有無については、利用したいと思わないが79%と高く、その理由(複数選択)として、「配送料(1梱包片道500円)が高い」55%、「図書館に行って自分で本を選びたい」49%、「必要性を感じない」40%と続いた。一方で、利用したいと答えた方に「どんなときに利用したいか」との設問(複数選択)には、「図書館の開館時間に来館できない」46%、「自宅療養中(病気や怪我)」37%、「外出不安(コロナ禍等)」37%、「高齢により外出困難」24%と続き、現在の社会的状況を反映した潜在的な必要性がうかがえ、料金設定等により利用が増える見込みがある事が判明した。

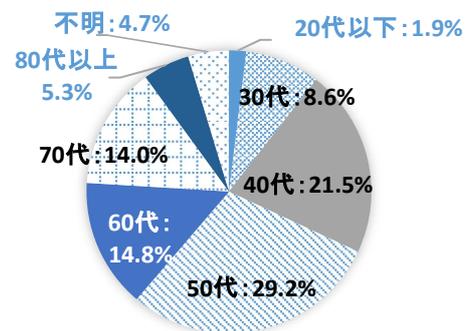
最後の自由記入欄には267件の意見があり、「コロナ禍においては、来館せずに借りられ、返し遅れがない等の利点を踏まえて、電子書籍の導入を希望する」との意見がある一方で、「紙媒体の書籍の管理は公的なものでない」と難しい、「電子ばかりに力を入れずいつまでも紙を残してほしい」との意見もあった。「図書購入の予算をしっかりと確保し、幅広い収蔵をして欲しい」、「利用者の買わずに読みたいというニーズへの対応も大事だが、入手困難な地域資料等の保存と提供を大切に、地元の文化振興の拠点であってほしい」といった提言も受けた。

## アンケート結果

## 問1:年代について

年代 (有効回答者数:1,354名)

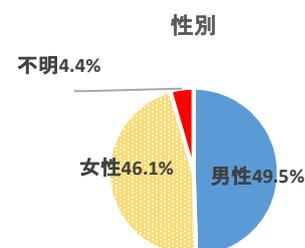
選択項目	回答者数	割合
20代以下	26	1.9%
30代	116	8.6%
40代	291	21.5%
50代	396	29.2%
60代	200	14.8%
70代	190	14.0%
80代以上	72	5.3%
不明	63	4.7%



性別

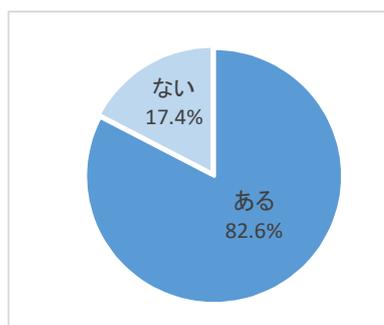
(有効回答者数:1,354名)

選択項目	回答者数	割合
男性	670	49.5%
女性	624	46.1%
不明	60	4.4%



問2:本や雑誌(電子書籍を含む)を読む習慣はありますか。  
(有効回答者数 1,354名)

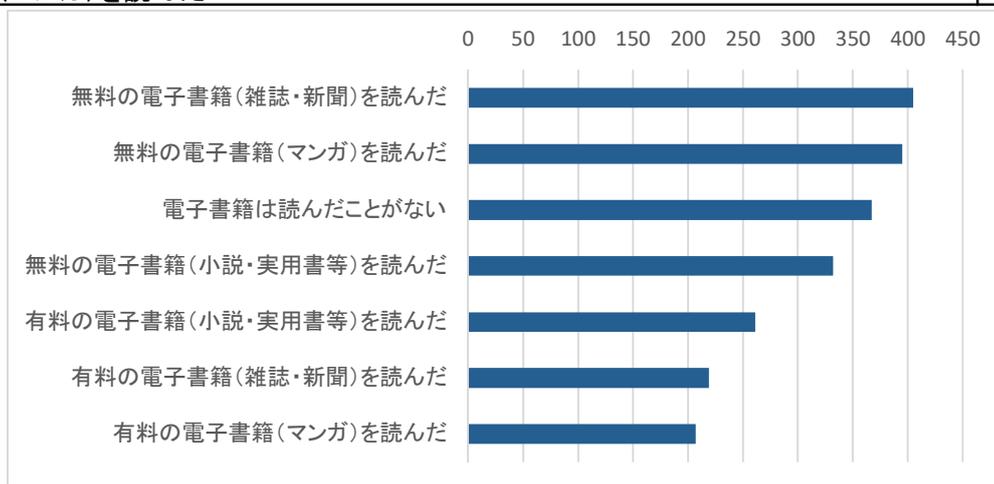
選択項目	回答者数	割合
ある	1,119	82.6%
ない	235	17.4%



問3:問2で「ある」と回答した方:タブレット端末やスマートフォン、パソコンなどで電子書籍を読んだことがありますか。ここでいう「電子書籍」には、マンガ、雑誌、新聞も含まれます。(複数選択可)

(有効回答者数 1,123名)

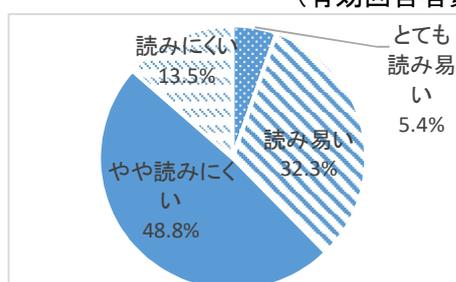
選択項目	回答者数	割合
無料の電子書籍(雑誌・新聞)を読んだ	405	36.1%
無料の電子書籍(マンガ)を読んだ	395	35.2%
電子書籍は読んだことがない	367	32.7%
無料の電子書籍(小説・実用書等)を読んだ	332	29.6%
有料の電子書籍(小説・実用書等)を読んだ	261	23.2%
有料の電子書籍(雑誌・新聞)を読んだ	219	19.5%
有料の電子書籍(マンガ)を読んだ	207	18.4%



問4:問2で「ある」と回答した方:利用している電子書籍について、(紙媒体の本と比較した場合)の読み易さについての感想をお聞かせください。

(有効回答者数 783名)

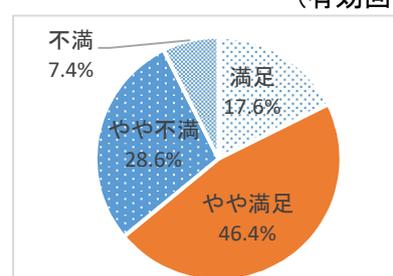
選択項目	回答者数	割合
とても読み易い	42	5.4%
読み易い	253	32.3%
やや読みにくい	382	48.8%
読みにくい	106	13.5%



問5:問2で「ある」と回答した方:現在あなたが利用している電子書籍の種類(ラインナップ)の多さについて、あなたの満足度をお聞かせください。

(有効回答者数 772名)

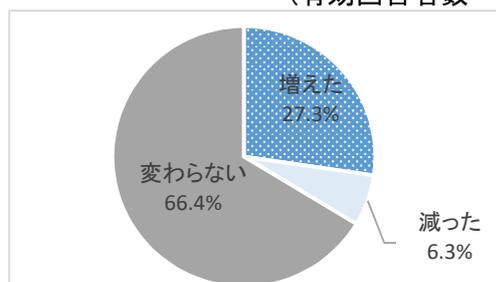
選択項目	回答者数	割合
満足	136	17.6%
やや満足	358	46.4%
やや不満	221	28.6%
不満	57	7.4%



問6:問2で「ある」と回答した方:新型コロナ感染拡大期前(2020年2月まで)に比べて、生活の中で電子書籍の読書量は変わりましたか。

選択項目	回答者数	割合
増えた	212	27.3%
減った	49	6.3%
変わらない	515	66.4%

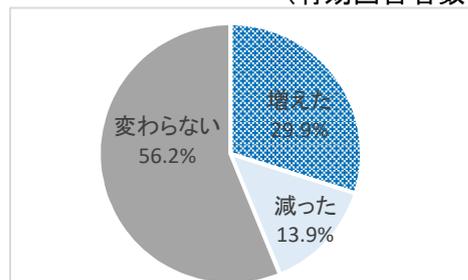
(有効回答者数 776名)



問7:問2で「ある」と回答した方:新型コロナ感染拡大期前(2020年2月まで)に比べて、生活の中で紙媒体の読書量は変わりましたか。

選択項目	回答者数	割合
増えた	303	29.9%
減った	141	13.9%
変わらない	569	56.2%

(有効回答者数 1,013名)



問8:あなたは市川市在住・在勤・在学のいずれかに当てはまりますか。

選択項目	回答者数	割合
はい	1,293	95.5%
いいえ	61	4.5%

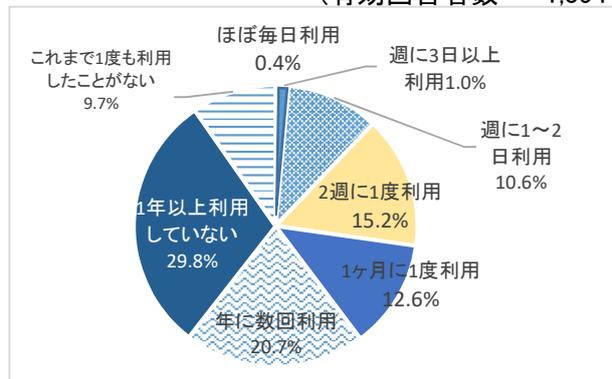
(有効回答者数 1,354名)



問9:市川市内の公共図書館もしくは関連施設(公民館図書室その他予約図書受け取り窓口等)を利用していますか。また、利用している方は頻度をお答えください。

選択項目	回答者数	割合
ほぼ毎日利用	6	0.4%
週に3日以上利用	14	1.0%
週に1~2日利用	143	10.6%
2週に1度利用	206	15.2%
1ヶ月に1度利用	170	12.6%
年に数回利用	280	20.7%
1年以上利用していない	404	29.8%
これまで1度も利用したことがない	131	9.7%

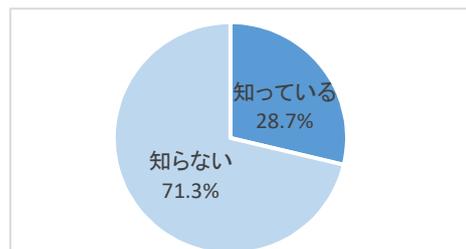
(有効回答者数 1,354名)



問10: 予約した本を届ける宅配サービス(有料)を知っていますか。

選択項目	回答者数	割合
知っている	389	28.7%
知らない	965	71.3%

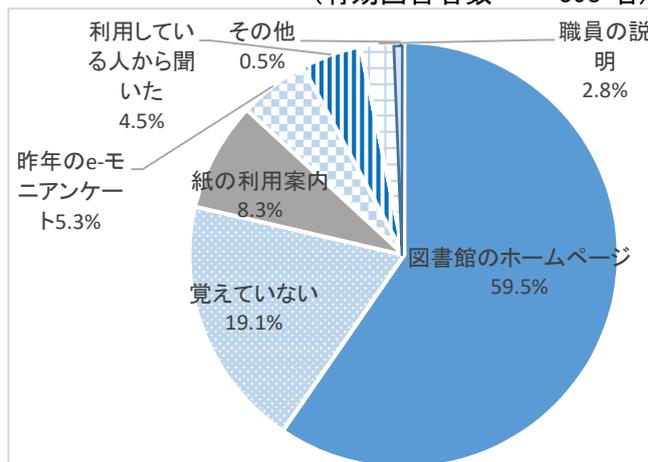
(有効回答者数 1,354 名)



問11: 問10で「ある」と回答した方: 市川市立図書館の予約資料宅配サービスについて、最初に知ったきっかけをお聞かせください。

選択項目	回答者数	割合
図書館のホームページ	237	59.5%
覚えていない	76	19.1%
紙の利用案内「市川市立図書館利用ガイドNo.4-3 宅配サービスのご案内」	33	8.3%
昨年のe-モニアンケート「令和2年度市川市立図書館アンケート」	21	5.3%
利用している人から聞いた	18	4.5%
職員の説明	11	2.8%
その他	2	0.5%

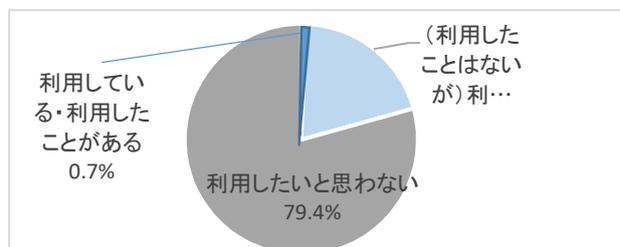
(有効回答者数 398 名)



問12: 予約した本を届ける宅配サービス(有料)を利用していますか。もしくは、利用したいと思いますか。

選択項目	回答者数	割合
利用している・利用したことがある	10	0.7%
(利用したことはないが)利用したい	270	19.9%
利用したいと思わない	1,074	79.4%

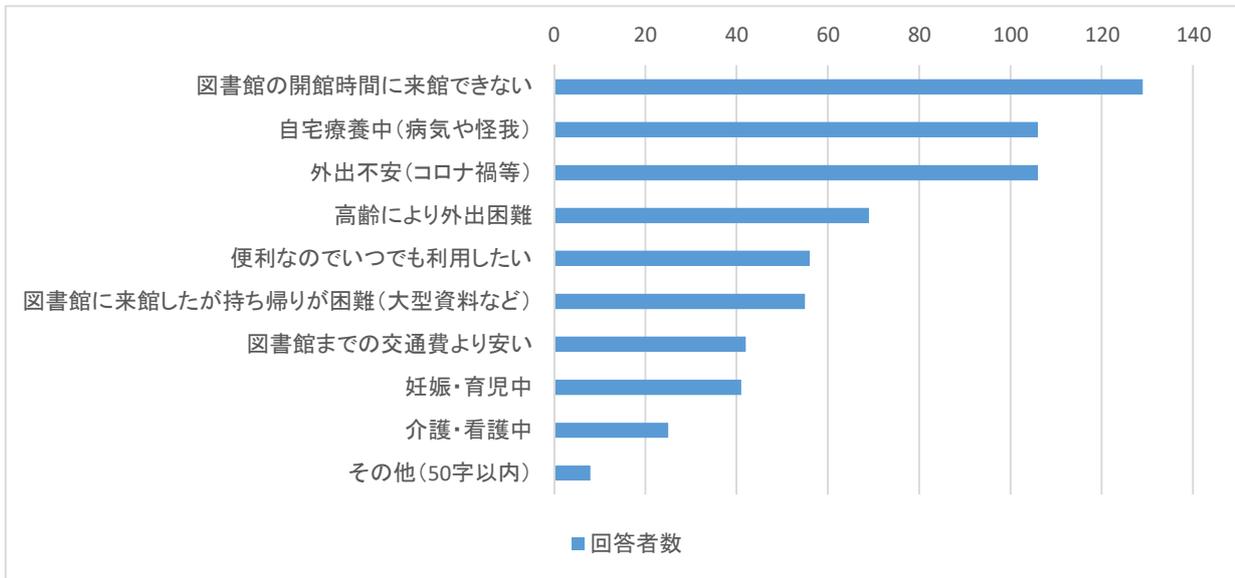
(有効回答者数 1,354 名)



問13: 問12で「利用したい」と回答した方: 宅配サービス(有料)を利用するとしたら、どんなときに利用したいですか(複数選択可)

選択項目	回答者数	割合
図書館の開館時間に来館できない	129	45.6%
自宅療養中(病気や怪我)	106	37.5%
外出不安(コロナ禍等)	106	37.5%
高齢により外出困難	69	24.4%
便利なのでいつでも利用したい	56	19.8%
図書館に来館したが持ち帰りが困難(大型資料など)	55	19.4%
図書館までの交通費より安い	42	14.8%
妊娠・育児中	41	14.5%
介護・看護中	25	8.8%
その他(50字以内)	8	2.8%

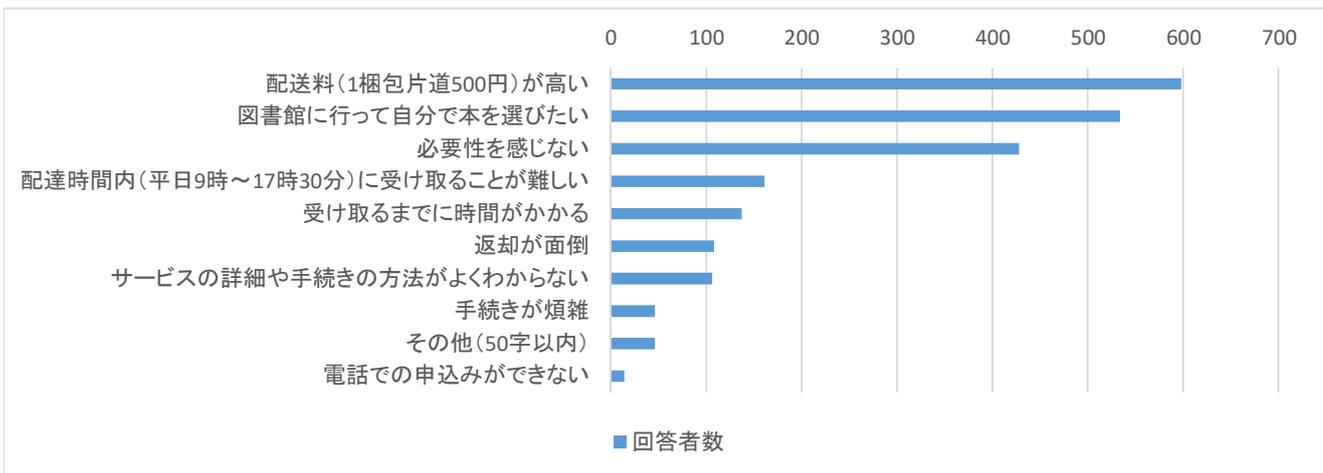
(有効回答者数 283 名)



問14: 問12で「利用したいと思わない」と回答した方: 宅配サービス(有料)を利用したいと思わない理由はどれですか(複数選択可)。

(有効回答者数 1,079 名)

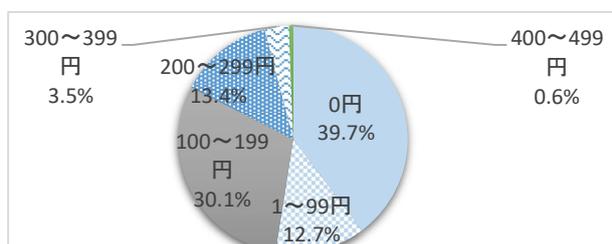
選択項目	回答者数	割合
配送料(1梱包片道500円)が高い	598	55.4%
図書館に行って自分で本を選びたい	534	49.5%
必要性を感じない	428	39.7%
配達時間内(平日9時~17時30分)に受け取ることが難しい	161	14.9%
受け取るまでに時間がかかる	137	12.7%
返却が面倒	108	10.0%
サービスの詳細や手続きの方法がよくわからない	106	9.8%
手続きが煩雑	46	4.3%
その他(50字以内)	46	4.3%
電話での申込みができない	14	1.3%



問15: 問14で「配送料が高い」と回答した方: 何円以下なら利用しますか。

(有効回答者数 717 名)

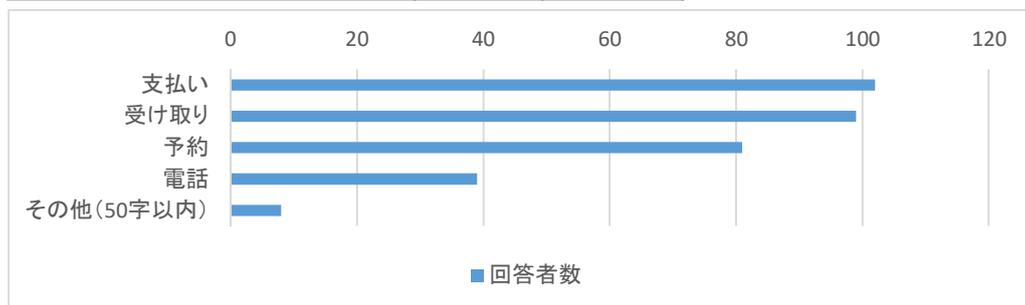
選択項目	回答者数	割合
0円	285	39.7%
1~99円	91	12.7%
100~199円	216	30.1%
200~299円	96	13.4%
300~399円	25	3.5%
400~499円	4	0.6%



問16: 問14で「手続きが煩雑」と回答した方: 煩雑と感ずることをお答えください。(複数選択可)

(有効回答者数 173名)

選択項目	回答者数	割合
支払い	102	59.0%
受け取り	99	57.2%
予約	81	46.8%
電話	39	22.5%
その他(50字以内)	8	4.5%



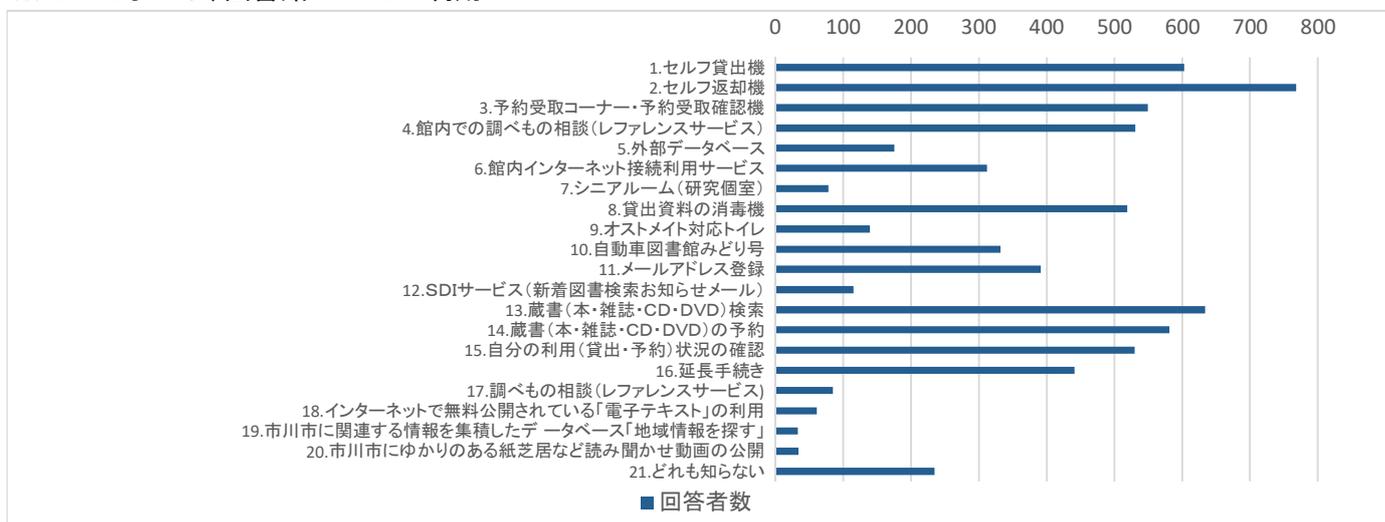
問17: 市川市の図書館が行っているサービス・設備で、知っているものは次のうちどれですか。(複数選択可)

(1~10は図書館に行って利用するもの、11~20は図書館に行かずに利用するものです。なお、サービス、設備は施設によって異なります)

(有効回答者数 1,338名)

選択項目	回答者数	割合
1.セルフ貸出機	603	45.1%
2.セルフ返却機	768	57.4%
3.予約受取コーナー・予約受取確認機	549	41.0%
4.館内での調べもの相談(レファレンスサービス)	531	39.7%
5.外部データベース	175	13.1%
6.館内インターネット接続利用サービス	312	23.3%
7.シニアルーム(研究個室)	78	5.8%
8.貸出資料の消毒機	519	38.8%
9.オストメイト対応トイレ	139	10.4%
10.自動車図書館みどり号	332	24.8%
11.メールアドレス登録	391	29.2%
12.SDIサービス(新着図書検索お知らせメール)	115	8.6%
13.蔵書(本・雑誌・CD・DVD)検索	634	47.4%
14.蔵書(本・雑誌・CD・DVD)の予約	581	43.4%
15.自分の利用(貸出・予約)状況の確認	530	39.6%
16.延長手続き	441	33.0%
17.調べもの相談(レファレンスサービス)	85	6.4%
18.インターネットで無料公開されている「電子テキスト」の利用	61	4.6%
19.市川市に関連する情報を集積したデータベース「地域情報を探す」	33	2.5%
20.市川市にゆかりのある紙芝居など読み聞かせ動画の公開	34	2.5%
21.どれも知らない	235	17.6%

※13~19までは、図書館のHPでの利用



令和4年3月29日  
市川市立図書館

## 1. 実施について

## (1) 調査の目的

市川市中央図書館と地域図書館(4館)および大野・西部公民館図書室における利用の実態や満足度を把握し、今後の図書館運営に活かすため、来館者アンケート調査(「図書館の利用に関するアンケート」)を実施した。

## (2) 調査概要 実施日 : 令和4年2月26日(土)~3月6日(日)(8開館日)

実施時間 : 各館開館時間中

実施場所 : 中央図書館 (こどもとしょかんを含む)

地域図書館 (行徳図書館・南行徳図書館・信篤図書館・平田図書室)

公民館図書室 (大野公民館図書室・西部公民館図書室)

対象者 : 上記施設の利用者で、原則として中学生以上の者

## (3) 調査実施状況

実施場所	実施期間	目標数	配布数	回収数	回収率 (%)	総合的 満足度 (%)
中央図書館	2/26 (土) ~ 3/6 (日)	400	911	843	92.5	97.3
行徳図書館		170	358	337	94.1	92.6
信篤図書館		50	134	120	89.6	92.4
南行徳図書館		50	150	150	100	94.0
平田図書室		50	119	113	95.0	94.6
大野公民館図書室		50	94	93	98.9	95.7
西部公民館図書室		50	84	84	100	96.3
合計			1,850	1,740	94.1	95.4
※参考: 駅南口図書館	1/18 (火) ~ 1/23 (日)	200	208	208	100	97.9

## (4) 集計・分析にあたって

無回答の場合はカウントしていないため、設問ごとに回答者数は異なる。

## アンケート結果概説

図書館を利用しての満足度を設問3と4(公民館図書室では5)で尋ねた。「総合的な満足度」は中央図書館97.3%、行徳図書館92.6%、信篤図書館92.4%、南行徳図書館94.0%、平田図書室94.6%、大野公民館図書室95.7%、西部公民館図書室96.3%となり、全体としては2年前の前回調査より0.9ポイント上がっての95.4%と高い結果となった。(※参考: 駅南口図書館97.9%)

項目別にみて満足度が高かったのは、「職員の応対」で、この項目については、すべての館で95%を超える高評価を得ることができ、「本の案内・調べもの相談」「図書館の感染症対策」についても90%以上と満足度が高かった。また、中央・行徳で導入している「窓口のセルフ化」も95%以上となっている。今後も必要な対策を取りながら、新技術の導入や職員のスキルを高めることで、図書館サービスの向上に努めていきたい。

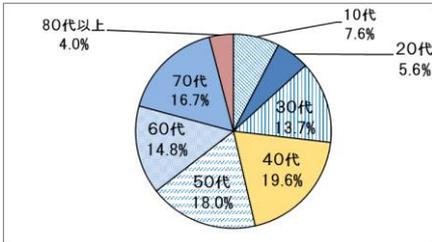
これらに比べると、地域図書館や公民館図書室では「施設・設備」が、満足度の低い項目となっており、中央・行徳図書館では「開館時間・開館日数」が比較的満足度が低くなっている。特に「本の充実」は年々満足度が下がっている。今後も、多様な市民のニーズに対応できるよう、全館で計画的に資料の更新を図りながら、図書館サービスの拡充に努めたい。

# 中央図書館 アンケート結果

## 年齢・居住地・職業について

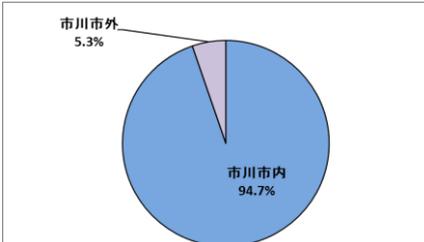
回答者の年齢別では、40代が19.6%と最も多く、続いて50代が18.0%、70代が16.7%の順となっている。居住地別では信篤図書館に次いで市外の回答者の割合が比較的多いが、前回調査（2年前）よりは1.7ポイント下がった。職業別では、会社員・公務員が33.4%、次いで無職が22.2%、主婦・主夫が18.6%となった。

年齢



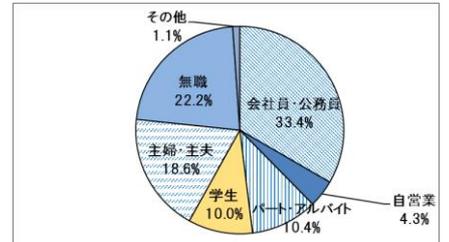
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
回答者数	63	46	113	162	149	122	139	33	827
	7.6%	5.6%	13.7%	19.6%	18.0%	14.8%	16.7%	4.0%	100%

居住地



	市川市内	市川市外	計
回答者数	703	39	742
	94.7%	5.3%	100%

職業



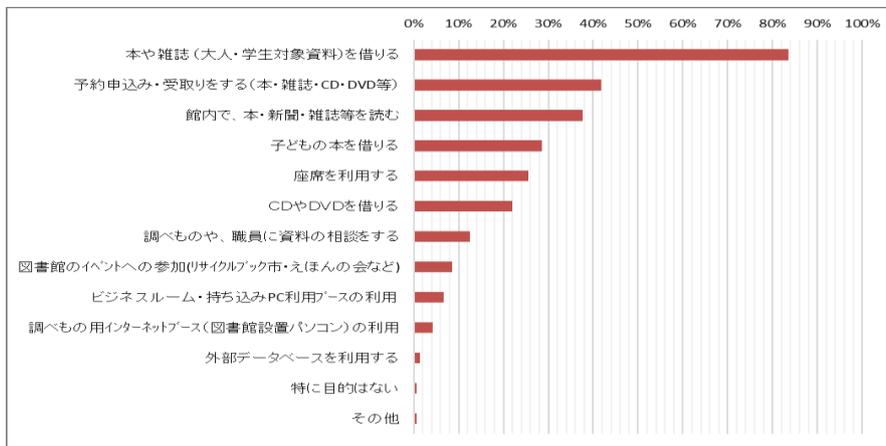
	会社員・公務員	自営業	パート・アルバイト	学生	主婦・主夫	無職	その他	計
回答者数	273	35	85	82	152	182	9	818
	33.4%	4.3%	10.4%	10.0%	18.6%	22.2%	1.1%	100%

その他：保育士等

## 問 1. 中央図書館の利用目的について

問 1 では中央図書館の利用目的について尋ねた。（回答者数 843 人。複数回答可）

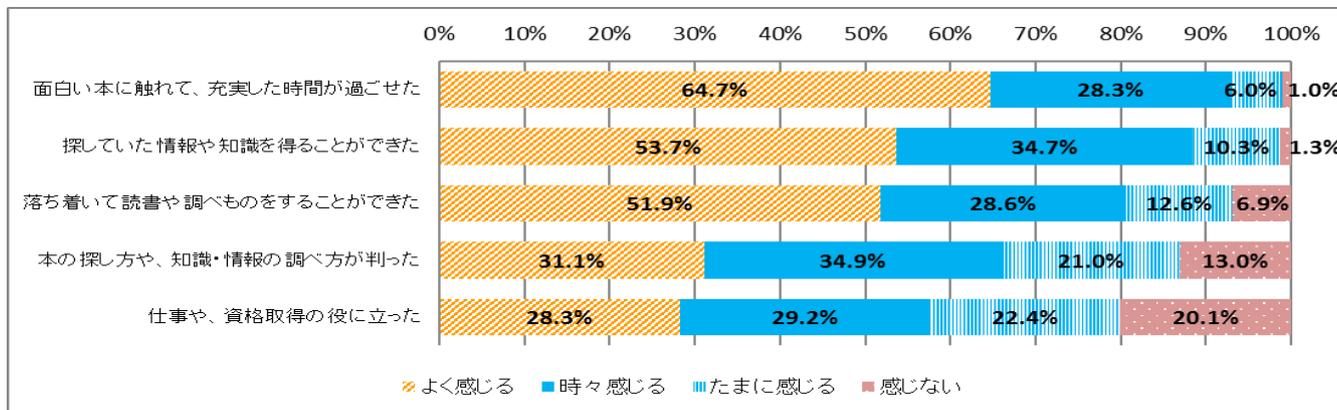
最も多かったのは、「本や雑誌を借りる」で 83.5%、次いで「予約申込み・受取りをする（本・雑誌・CD・DVD等）」が 41.9%、「館内で、本・新聞・雑誌等を読む」が 37.7%となった。前回と比べると、「予約」が 8.9ポイント上がり、「子どもの本を借りる」が 8.5ポイント下がっている。



質問	選択数	割合
本や雑誌（大人・学生対象資料）を借りる	704	83.5%
予約申込み・受取りをする（本・雑誌・CD・DVD等）	353	41.9%
館内で、本・新聞・雑誌等を読む	318	37.7%
子どもの本を借りる	241	28.6%
座席を利用する	215	25.5%
CDやDVDを借りる	185	21.9%
調べものや、職員に資料の相談をする	106	12.6%
図書館のイベントへの参加（リサイクルブック市・えほんの会など）	72	8.5%
ビジネスルーム・持ち込みPC利用ブースの利用	56	6.6%
調べもの用インターネットブース（図書館設置パソコン）の利用	35	4.2%
外部データベースを利用する	12	1.4%
特に目的はない	5	0.6%
その他	6	0.7%

## 問 2. 図書館を利用した成果

最も多い 99%が「面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた」、続いて 98.7%が「探していた情報や知識を得ることができた」、93.1%が「落ち着いて読書や調べものをする事ができた」と、図書館を利用した成果を感じていることが分かった。また、「本の探し方や、知識・情報の調べ方が判った」と感じた人も 84.3%となり、前回同様の傾向となった。今後も、図書館を活用して読書や調べものに役立ててもらえるよう、サービスの向上に努めたい。



	よく感じる	時々感じる	たまに感じる	感じない	計				
面白本に触れて、充実した時間が過ごせた	528	64.7%	231	28.3%	49	6.0%	8	1.0%	816
探していた情報や知識を得ることができた	432	53.7%	279	34.7%	83	10.3%	11	1.3%	805
落ち着いて読書や調べものをする事ができた	404	51.9%	223	28.6%	98	12.6%	54	6.9%	779
本の探し方や、知識・情報の調べ方が判った	237	31.1%	266	34.9%	160	21.0%	100	13.0%	763
仕事や、資格取得の役に立った	207	28.3%	214	29.2%	164	22.4%	147	20.1%	732

## 問 3・4. 中央図書館の満足度

問 3 と問 4 では、中央図書館の満足度を尋ねた。

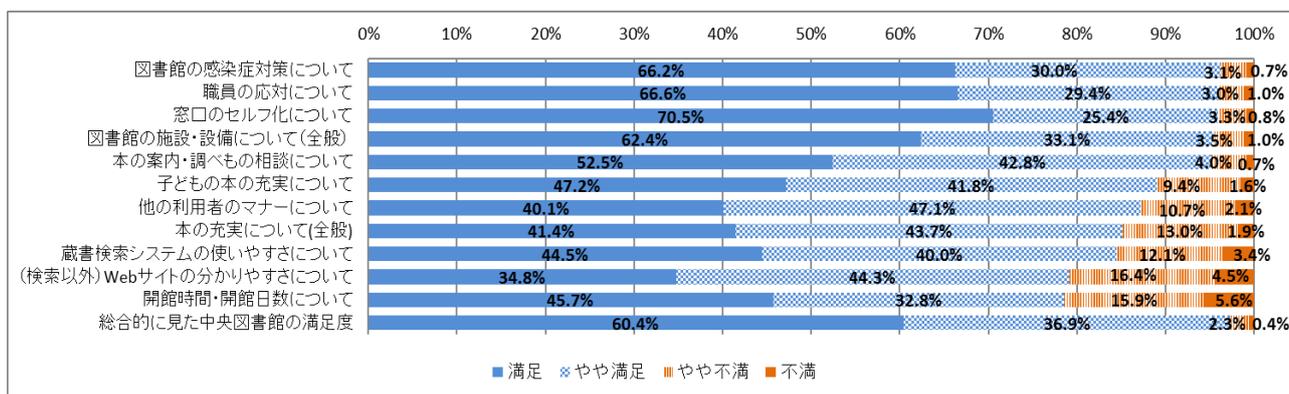
‘満足’と‘やや満足’を合わせた満足度は「図書館の感染症対策について」が 96.2%と最も高く、次いで、「職員の対応について」は 96.0%、「窓口のセルフ化について」は 95.9%と高い数値が示された。「図書館の施設・設備について（全般）」も前回よりも 1.7 ポイント上がり、導入から 2 年を経たセルフ機器導入も利用者に受け入れられてきたと推測される。

「本の案内・調べもの相談について」も 95.3%と高い数値が示されたが、前回と比べると若干低下した。また、「蔵書検索システムの使いやすさ」は、前回より 0.4 ポイント上がったものの、今回設問に入れた「(検索以外) Web サイトの分かりやすさについて」の満足度は 79.1%であった。今後とも新しいサービスの PR に努めるとともに、改善を積み重ねていきたい。

「本の充実について(全般)」も 85.1%と年々満足度が下がっている。今後も計画的に各分野の資料の更新を進めるとともに、中央図書館としての蔵書の構築に努めたい。

「開館時間・開館日数について」は 78.5%となり、比較的満足度が低かった。利用者の要望として選択された具体的な項目としては、複数回答ではあるが「土日の閉館を遅く」15.8%、「朝の開館を早く」及び「月曜開館」が 12.8%の順となり、ほぼ同率で一定の要望があることが分かった。

総合的な満足度は、前回より 1.7 ポイント上がって 97.3%であった。引き続きサービスの充実に努めたい。



	満足		やや満足		やや不満		不満		計
図書館の感染症対策について	541	66.2%	245	30.0%	25	3.1%	6	0.7%	817
職員の対応について	520	66.6%	230	29.4%	23	3.0%	8	1.0%	781
窓口のセルフ化について	536	70.5%	193	25.4%	25	3.3%	6	0.8%	760
図書館の施設・設備について(全般)	496	62.4%	263	33.1%	28	3.5%	8	1.0%	795
本の案内・調べもの相談について	285	52.5%	233	42.8%	22	4.0%	4	0.7%	544
子どもの本の充実について	210	47.2%	186	41.8%	42	9.4%	7	1.6%	445
他の利用者のマナーについて	320	40.1%	376	47.1%	85	10.7%	17	2.1%	798
本の充実について(全般)	327	41.4%	345	43.7%	102	13.0%	15	1.9%	789
蔵書検索システムの使いやすさについて	297	44.5%	266	40.0%	81	12.1%	23	3.4%	667
(検索以外)Webサイトの分かりやすさについて	203	34.8%	259	44.3%	96	16.4%	26	4.5%	584
開館時間・開館日数について	345	45.7%	248	32.8%	120	15.9%	42	5.6%	755
総合的に見た中央図書館の満足度	481	60.4%	294	36.9%	18	2.3%	4	0.4%	797

窓口のセルフ化で使いにくいと感じるものは？

(回答者数 843 人。複数回答可)

	選択数	割合
セルフ貸出機	33	3.9%
セルフ返却機	15	1.8%
予約受取コーナー	30	3.6%
その他	20	2.4%

開館時間・開館日数についてのご要望

(回答者数 843 人。複数回答可)

	選択数	割合
朝の開館を早く	108	12.8%
平日の開館を遅く	72	8.5%
土日の開館を遅く	133	15.8%
月曜開館	108	12.8%
月末に休館しない	96	11.4%

## 問5. 自由記入

調査票 843 記入者 345 未記入 498 (記入率 24.4%) ※複数記入あり

集計を行うにあたり、下記の 10 分類により編集した。

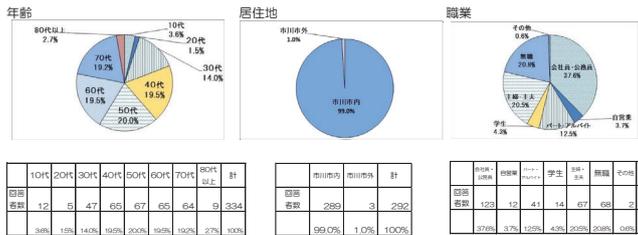
- (1) 資料に関する記入 (2) AV資料に関する記入 (3) 施設に関する記入  
 (4) 座席に関する記入 (5) ITに関する記入 (6) マナーに関する記入  
 (7) 職員に関する記入 (8) 運営に関する記入 (9) 感想 (10) その他の記入

	分類	意見数	主な内容
1	資料に関する記入	82	新刊本等人気のある資料を増やしてほしい、子どもの本の種類の増加、外国語資料を増やしてほしいといった要望が多い。
2	AV資料に関する記入	8	CDの買い替えや貸出枚数の増加についての要望があった。
3	施設に関する記入	42	洋式トイレ増加や全館Wi-Fi導入についての要望が多い。他に雨漏りの改修をなど。
4	座席に関する記入	37	座席数の増加や、座席管理に関してルールの徹底の要望が多い。
5	ITに関する記入	58	検索システムをもっと使い易くという声やWEBで(未所蔵資料の)リクエストを受け付けてほしいという要望が多い。
6	マナーに関する記入	25	マスクの不適切な付け方、寝ている利用者や走っている子供に注意をしてほしいという要望が多い。
7	職員に関する記入	27	親切に対応してくれるという意見がある一方、不適切な対応をされたなどの意見もあった。
8	運営に関する記入	70	今より開館時間を早くしてほしいや開館日を増やしてほしいという要望が多い。コロナ禍でも休館しないでほしい、収束したらまたイベントを行ってほしいなど。
9	感想	71	家にいる機会が多いので子供の本が借りられて助かっている、楽しく利用している、使いやすくて気に入っているなど、好意的な意見が多い。
10	その他の記入	14	読書通帳作成の要望や、サービスについての質問などがあった。

行徳図書館 アンケート結果

年齢・居住地・職業について

回答者の年齢別では、50代が20.0%と最も多く、続いて40代と60代が19.5%、70代が19.2%の順となっている。居住地別では回答者の99.0%が市内在住者であり、職業別では会社員・公務員が最も多く37.6%で、次いで無職20.8%、主婦・主夫20.5%の順となった。



問1. 行徳図書館の利用目的について

問1では行徳図書館の利用目的について尋ねた。(回答者数 336人、複数回答可)  
最も多かった回答は「本や雑誌を借りる」で81.5%だった。次の「予約申込み・受取りをする」は前回より8.4ポイント上がった49.4%となっている。一方、「館内で、本・新聞・雑誌等を読む」が13.3ポイント、「図書館のイベントへの参加」が24.8ポイント、「調べものや、職員へ資料調査・相談をする」が5.4ポイント下がっており、図書館を利用する目的の変化を読み取ることができる。



窓口のセルフ化で使いにくいと感じるものは?  
(回答者数 336人、複数回答可)

項目	選択数	割合
取次係増	15	4.5%
取次係減	7	2.1%
予約受付コーナー	13	3.9%
その他	10	3.0%

開館時間・開館日数についてのご要望  
(回答者数 336人、複数回答可)

項目	選択数	割合
読書の時間をもっと	42	12.5%
平日の閉館を遅く	27	8.0%
土日の閉館を遅く	75	22.3%
月曜閉館	34	10.1%
月末に休館しだい	41	12.2%

問5. 自由記入

調査票 336 記入者 144 未記入 193 (記入率 42.8%) ※複数記入あり  
集計を行うにあたり、下記の10分類により編集した。  
(1) 資料に関する記入 (2) AV資料に関する記入 (3) 施設に関する記入  
(4) 座席に関する記入 (5) ITに関する記入 (6) マナーに関する記入  
(7) 職員に関する記入 (8) 運営に関する記入 (9) 感想 (10) その他の記入

分類	意見数	主な内容
1 資料に関する記入	44	蔵書をさらに充実してほしい、古い本を入れ替えてほしいとの要望が多い。
2 AV資料に関する記入	8	CD・DVDの新規購入に関する要望が多い。
3 施設に関する記入	25	自習室の設置、除菌機の増設、トイレ等の施設改修を求める意見があった。
4 座席に関する記入	8	館内座席数の増、閲覧室等の机・椅子の改善を求める意見があった。
5 ITに関する記入	20	さらに利用しやすい検索システムに改善する要望が多い。
6 マナーに関する記入	7	マナー違反の利用者に対し注意を求める意見が多い。
7 職員に関する記入	16	職員対応に不満の意見もあるが、親切丁寧な利用者対応であるとの意見が多い。
8 運営に関する記入	28	開館日数の増加、開館時間の延長等を希望する意見が多い。
9 感想	31	コロナ禍での開館など、図書館利用に対する感謝の意見が多い。
10 その他の記入	21	今後も継続して図書館を利用したいなど。

問2. 図書館を利用した成果

97.3%が「面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた」、97.1%が「探していた情報や知識を得ることができた」と図書館を利用した成果を感じていることが分かった。一方、「落ち着いて読書や調べものをするのができた」と感じている人の割合が前回より4.6ポイント下がっており、問1の利用目的の変化に対応した結果となっている。今後図書館を活用し読書や調べものに役立ててもらえるよう、さらなるサービスの向上に努めたい。



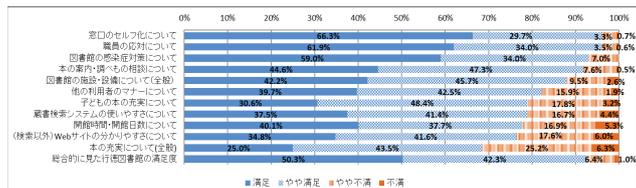
	よく感じる	時々感じる	たまに感じる	感じない	計				
面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた	190	58.5%	99	30.5%	27	8.3%	9	2.7%	325
探していた情報や知識を得ることができた	138	44.0%	127	40.6%	39	12.5%	9	2.9%	313
落ち着いて読書や調べものをするのができた	106	34.8%	96	31.5%	56	18.4%	47	15.3%	305
本の探し方や、知識・情報の見つけ方が変わった	76	26.3%	88	30.2%	73	25.1%	54	18.6%	291
仕事や、資格取得の役に立った	63	23.0%	71	25.8%	73	26.5%	68	24.7%	275

問3・4. 行徳図書館の満足度

問3と問4では、行徳図書館の満足度を尋ねた。

満足」と「やや満足」を合わせた満足度が「窓口のセルフ化」が96.0%、次いで「職員の対応」が95.9%と非常に高かった。3番目に「図書館の感染症対策」が93.0%となった。また、「本の案内・調べもの相談」「図書館の施設・設備」についても、満足を感じている人が9割程度いることがわかった。これらの項目と比較すると「開館時間・開館日数」、「(検索以外) Webサイトの分かりやすさ」の満足度は8割弱、「本の充実」は7割弱と、現状についての満足度は充分ではないことがうかがえた。

総合的な満足度は92.6%となった。今後も、より魅力ある本の収集と施設運営、そしてサービス向上に努めていきたい。

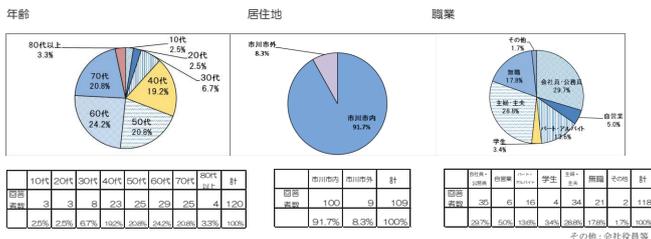


	満足	やや満足	やや不満	不満	計				
窓口のセルフ化について	203	66.3%	91	29.7%	10	3.3%	2	0.7%	306
職員の対応について	197	61.9%	108	34.0%	11	3.5%	2	0.6%	318
図書館の感染症対策について	193	59.0%	111	34.0%	23	7.0%	0	0.0%	327
本の案内・調べもの相談について	82	44.6%	87	47.3%	14	7.6%	1	0.5%	184
図書館の施設・設備について(全般)	128	42.2%	139	45.7%	29	9.5%	8	2.6%	304
他の利用者のマナーについて	127	39.7%	136	42.5%	51	15.9%	6	1.9%	320
子どもの本の充実について	48	30.6%	78	48.4%	28	17.8%	5	3.2%	157
蔵書検索システムの使いやすさについて	94	37.5%	104	41.4%	42	16.7%	11	4.4%	251
開館時間・開館日数について	121	40.1%	114	37.7%	51	16.9%	16	5.3%	302
(検索以外) Webサイトの分かりやすさについて	77	34.8%	92	41.6%	39	17.6%	13	6.0%	221
本の充実について(全般)	79	25.0%	138	43.5%	80	25.2%	20	6.3%	317
総合的に見た行徳図書館の満足度	164	50.3%	138	42.3%	21	6.4%	3	1.0%	326

信篤図書館 アンケート結果

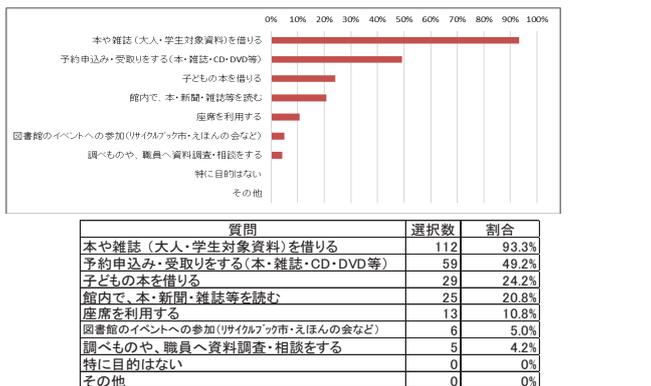
年齢・居住地・職業について

回答者の年齢別では、60代が24.2%と最も多く、次が50代・70代の20.8%と、高齢者が多い傾向がある。居住地別では、市内在住者が9割以上、市外在住者は全館・全室の中で最も高い8.3%となっている。職業別では、会社員・公務員が29.7%と最も多く、次いで主婦・主夫が28.8%、無職が17.8%となった。



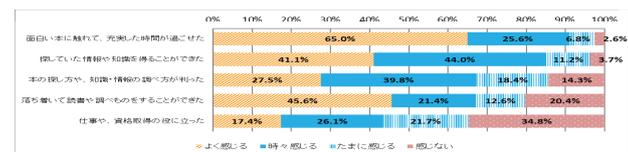
問1 信篤図書館の利用目的について

問1では信篤図書館の利用目的について尋ねた。(回答者数 120人。複数回答可)  
最も多かったのは、「本を借りる」で93.3%、続いて「予約申込み・受取りをする」が49.2%となり、例年の傾向ではあるが、主に大人・学生対象資料の貸出と予約本の受取に利用されている。前回に比べ、「館内で、本・新聞・雑誌等を読む」が9.1ポイント下がっている。



問2 図書館を利用した成果

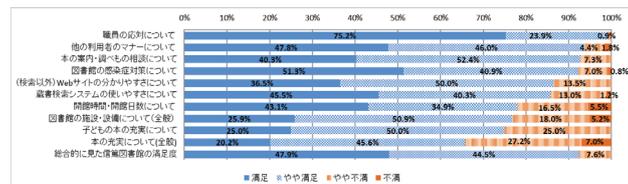
97.4%の人が「面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた」と感じたことがあると回答している。また、「探していた情報や知識を得ることができた」と感じる人も96.3%となり、前回より5.8ポイント上がった。引き続き、図書館を利用して充実した時間を過ごせたと感じてもらえるよう、サービスの向上に努めたい。



項目	よく感じる	時々感じる	たまに感じる	感じない	計				
面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた	76	65.0%	30	25.6%	8	6.8%	3	2.6%	117
探していた情報や知識を得ることができた	44	41.1%	47	44.0%	12	11.2%	4	3.7%	107
本の探し方や、知識・情報の調べ方が判った	27	27.5%	39	39.8%	18	18.4%	14	14.3%	98
探していた情報や知識を得ることができた	47	45.8%	22	21.4%	13	12.6%	21	20.4%	103
仕事や、資格取得の役に立った	16	17.4%	24	26.1%	20	21.7%	32	34.8%	92

問3・4 信篤図書館の満足度

問3と問4では信篤図書館の満足度を尋ねた。  
“満足”と“やや満足”を合わせた満足度は、「職員の対応」が99.1%となり、「他の利用者のマナー」、「本の案内・調べもの相談」、「図書館の感染対策」も9割以上と高い傾向となっている。一方、「開館時間・開館日数」は78.0%、「図書館の施設・設備(全般)」については施設の老朽化もあり76.8%と他の項目に比べて低くなっている。また、「本の充実(全般)」の満足度は7割弱に留まっている。  
総合的な満足度は92.4%となった。今後資料の更新と魅力ある資料構成を図り、サービスの向上に努めていきたい。



項目	満足	やや満足	やや不満	不満	計				
職員の対応について	85	75.2%	27	23.9%	1	0.9%	0	0%	113
他の利用者のマナーについて	54	47.8%	52	46.0%	5	4.4%	2	1.8%	113
本の案内・調べもの相談について	33	40.3%	43	52.4%	6	7.3%	0	0%	82
図書館の感染対策について	59	51.3%	37	40.9%	8	7.0%	1	0.8%	115
(検索以外)Webサイトの分かりやすさについて	27	36.5%	31	50.0%	10	13.5%	0	0%	74
蔵書検索システムの使いやすさについて	35	45.5%	31	40.3%	10	13.0%	1	1.2%	77
開館時間・開館日数について	47	43.1%	38	34.9%	18	16.5%	6	5.5%	109
図書館の施設・設備(全般)について(全般)	30	25.9%	59	50.9%	21	18.0%	6	5.2%	116
子どもの本の充実について	14	25.0%	28	50.0%	14	25.0%	0	0%	56
本の充実について(全般)	23	20.2%	52	45.6%	31	27.2%	8	7.0%	114
総合的に見た信篤図書館の満足度	57	47.9%	53	44.5%	9	7.6%	0	0%	119

開館時間・開館日数についてのご要望 (回答者数 120人。複数回答可)

項目	選択数	割合
朝の開館を早く	8	6.7%
平日の開館を早く	13	10.8%
土日の開館を早く	10	8.3%
月曜開館	10	8.3%
月末に休館しない	22	18.3%

問5 自由記入

調査票 120 記入者 40 未記入 80 (記入率 33.3%) ※複数記入あり  
集計を行うにあたり、下記の10分類により編集した。

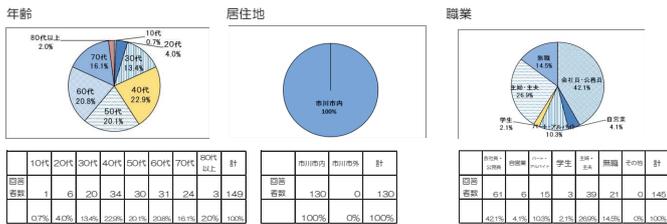
- (1) 資料に関する記入 (2) AV資料に関する記入 (3) 施設に関する記入  
(4) 座席に関する記入 (5) ITに関する記入 (6) マナーに関する記入  
(7) 職員に関する記入 (8) 運営に関する記入 (9) 感想 (10) その他の記入

分類	意見数	主な内容
1 資料に関する記入	9	資料を増やしてほしい。(マンガ・雑誌など) 新刊が少ない、などの要望が多い。
2 AV資料に関する記入	1	DVDを多く置いてほしい。
3 施設に関する記入	8	ちょうど良いサイズ感で利用しやすい。建物がかっこいい、中央図書館との差が大きい。トイレをリホームしてほしいなどトイレ関連が多い。
4 座席に関する記入	2	座席を増やしてほしい。読めるスペースを充実させてほしい。
5 ITに関する記入	2	検索に時間がかかるなど。
6 マナーに関する記入	2	大きな声をだす人がいる。本の中にお菓子のくずがあった。
7 職員に関する記入	4	感謝の言葉が多いが、職員によっては不満がある、という意見もあった。
8 運営に関する記入	8	開館時間を拡大してほしい、祝日開館してほしいなどの要望が多い。
9 感想	13	小さい図書館だが助かっているなどの好意的な意見が多い。
10 その他の記入	0	

南行徳図書館 アンケート結果

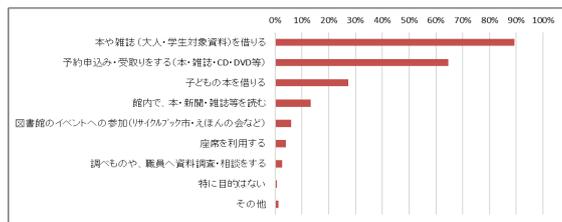
年齢・居住地・職業について

回答者の年齢別では、40代の利用が22.9%と最も多く、続いて60代が20.8%、50代が20.1%、70代が16.1%となっている。居住地別では回答者の全てが市内在住者という結果になった。職業別では、会社員・公務員が42.1%と最も多く、続いて主婦・主夫が26.9%、無職が14.5%となった。



問1. 南行徳図書館の利用目的について

問1では南行徳図書館の利用目的について尋ねた。(回答者数150人。複数回答可)  
最も多かった「本や雑誌(大人・学生対象資料)を借りる」は89.3%となり前回より5.5ポイント上がった。次に「予約申込み・受取りをする(本・雑誌・CD・DVD等)」が64.7%で全施設の中で最も高く、前回と比較しても9.5ポイント上がっている。これに対して「館内で、本・新聞・雑誌等を読む」が13.3%と、前回より24.8ポイント下がった。本を借りる拠点としての傾向がより顕著となった。



質問	選択数	割合
本や雑誌(大人・学生対象資料)を借りる	134	89.3%
予約申込み・受取りをする(本・雑誌・CD・DVD等)	97	64.7%
子どもの本を借りる	41	27.3%
館内で、本・新聞・雑誌等を読む	20	13.3%
図書館のイベントへの参加(リサイクルブック市・えほんの会など)	9	6.0%
座席を利用する	6	4.0%
調べものや、職員へ資料調査・相談をする	4	2.7%
特に目的はない	1	0.7%
その他	2	1.3%

開館時間・開館日数についてのご要望(回答者数150人。複数回答可)

要望	選択数	割合
昼の開館を早く	9	6.0%
平日の開館を早く	28	18.7%
土日の開館を早く	13	8.7%
月曜開館	11	7.3%
月末に休まない	18	12.0%

問5. 自由記入

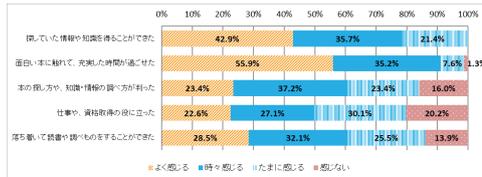
調査票150 記入者40 未記入110 (記入率26.7%) ※複数記入あり  
集計を行うにあたり、下記の10分類により編集した。

- (1) 資料に関する記入 (2) AV資料に関する記入 (3) 施設に関する記入  
(4) 座席に関する記入 (5) ITに関する記入 (6) マナーに関する記入  
(7) 職員に関する記入 (8) 運営に関する記入 (9) 感想 (10) その他の記入

分類	意見数	主な内容
1 資料に関する記入	14	新刊本や雑誌を増やしてほしい、蔵書数が少ないなどの意見があった。
2 AV資料に関する記入	1	CDを置いてほしいという要望があった。
3 施設に関する記入	3	小さいところが逆に身近という意見がある一方、新しく立て替えてほしいなどの意見があった。
4 座席に関する記入	0	
5 ITに関する記入	2	ネット予約できることで満足、検索しやすくなったという好意的な意見があった。
6 マナーに関する記入	0	
7 職員に関する記入	7	いつも親切丁寧で良い、調べ物に協力してくれてありがたいなど好意的な意見が多い。
8 運営に関する記入	8	本を除菌する機械がほしい、平日の開館時間を延長してほしいなどの要望があった。
9 感想	10	満足している、近くに図書館があることのありがたさ、行くのが楽しみなど好意的な意見が多い。
10 その他の記入	5	特になし

問2. 図書館を利用した成果

回答者全員が「探していた情報や知識を得ることができた」と答えている。また、98.7%の人が「面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた」と回答している。ほかの項目もポイントが上っており、今後も図書館を利用して充実した時間を過ごせたと感じてもらえるよう、サービスの向上に努めたい。



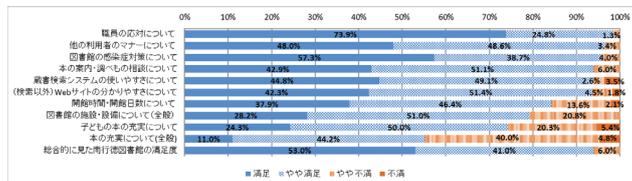
	よく感じる	時々感じる	たまに感じる	感じない	計
探していた情報や知識を得ることができた	60	50	30	2	140
面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた	81	51	11	7	145
本の題、方、知識・情報の調べ方が変わった	39	44	35	25	137
仕事や、資格取得の役に立った	32	51	32	19	137
読み返して読書や調べものをするようになった	30	36	40	27	133

問3・4. 南行徳図書館の満足度

問3と問4では、南行徳図書館の満足度を尋ねた。

「満足」と「やや満足」を合わせた満足度は、「職員の対応」が98.7%と最も高くとなっている。次いで「他の利用者のマナー」が96.6%、「図書館の感染症対策」が96.0%とほぼ同率となった。また「本の案内・調べもの相談」も94.0%と満足度が高くなっている。これらに比べ、「本の充実」は55.2%と顕著に満足度が低くなっている。また、「子ども本の充実」「図書館の施設・設備」についても満足度が比較的低くなっている。

総合的な満足度は94.0%であった。今後も資料の更新を図るなど、なお一層サービスの充実を努めたい。

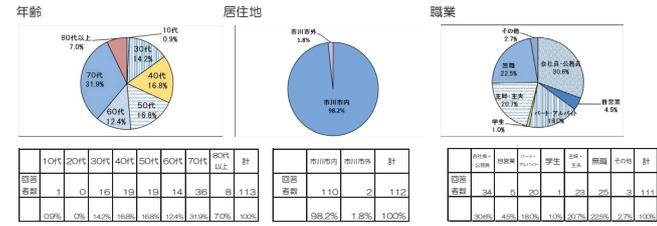


	満足	やや満足	やや不満	不満	計
職員の対応について	110	37	2	0	149
他の利用者のマナーについて	71	72	5	0	148
図書館の感染症対策について	86	58	6	0	150
本の案内・調べもの相談について	57	68	8	0	133
蔵書検索システムの使いやすさについて	51	56	3	4	114
(検索以外)Webサイトの分かりやすさについて	47	57	5	2	111
開館時間・閉館日数について	53	65	19	3	140
図書館の施設・設備について(全館)	42	76	31	0	149
子どもの本の充実について	18	37	15	4	74
本の充実について(全館)	16	64	58	7	145
総合的に見た南行徳図書館の満足度	79	61	9	0	149

平田図書館 アンケート結果

年齢・居住地・職業について

回答者の年齢別では、70代が31.9%と最も多く、60代が12.4%で60代以上の世代で半数以上を占める結果となった。居住地別では前年同様、市内在住者がほとんどである。職業別では、会社員・公務員が3割を占め、次いで無職、主婦・主夫の順となった。



問1. 平田図書館の利用目的について

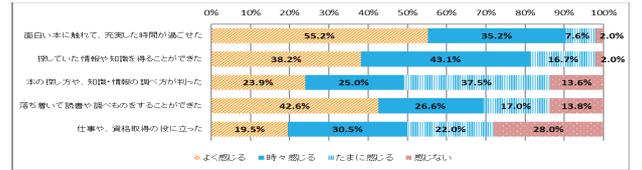
問1では平田図書館の利用目的について尋ねた。(回答者数113人。複数回答可)最も多かったのは「本を借りる」で86.7%となった。次の「予約申込み・受取りをする(本・雑誌・CD・DVD等)」が51.3%、続いて「子供の本を借りる」が33.6%となり、これら3項目では前回よりポイントが上がっている。対して「図書室内で、本・雑誌等を読む」は10.2ポイント下がって29.2%となった。



質問	選択数	割合
本や雑誌(大人・学生対象資料)を借りる	98	86.7%
予約申込み・受取りをする(本・雑誌・CD・DVD等)	58	51.3%
子どもの本を借りる	38	33.6%
図書室内で、本・新聞・雑誌等を読む	33	29.2%
座席を利用する	9	8.0%
調べものや、職員へ資料調査・相談をする	7	6.2%
図書館のイベントへの参加(リサイクルブックや、えほんの会など)	2	1.8%
特に目的はない	2	1.8%
その他	1	0.9%

問2. 図書館を利用した成果

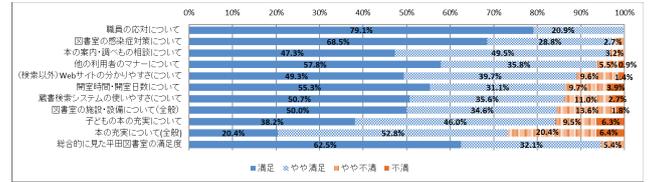
「面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた」、「探していた情報や知識を得ることができた」と回答した人が共に98.0%となり、図書館を利用した成果を感じていることが分かった。対して「落ち着いて読書や調べものをするのができた」と感じている人の割合は、前回より6ポイント下がった86.2%となった。今後も地域の方に様々な情報を提供できるよう、サービスの向上に努めたい。



成果	よく感じる	時々感じる	たまに感じる	感じない	計
面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた	58	37	8	2	105
探していた情報や知識を得ることができた	39	44	17	2	102
本の探し方や、知識・情報の調べ方が判った	21	22	33	12	88
落ち着いて読書や調べものをするのができた	40	25	18	13	94
仕事や、資格取得の役に立った	16	25	18	23	82

問3・4. 平田図書館の満足度

問3と問4では平田図書館の満足度を尋ねた。「満足」と「やや満足」を合わせた満足度は、「職員の対応」が100%を得られた。「図書館の感染症対策」「本の案内・調べもの相談について」も95%以上と非常に高かった。他の項目に比べ「本の充実(全般)」については73.2%と満足度が低くなっているが、総合的な満足度は94.6%となっている。規模の小さい図書館であるが、資料の案内や取り寄せ、職員の丁寧な対応により、気軽に相談できる地域の図書館としてサービスの充実に努めている。



項目	満足	やや満足	やや不満	不満	計
職員の対応について	87	23	0	0	110
図書館の感染症対策について	76	32	3	0	111
本の案内・調べもの相談について	43	45	3	0	91
他の利用者のマナーについて	63	39	6	1	109
(検索以外)Webサイトの分かりやすさについて	36	29	7	1	73
児童・学生専用スペースについて	57	32	10	4	103
図書室の施設・設備について(全般)	37	26	35	8	73
子どもの本の充実について(全般)	55	38	15	2	110
子どもの本の充実について	24	29	46	6	63
本の充実について(全般)	22	57	52	22	109
総合的に見た平田図書館の満足度	70	36	6	0	112

開室時間・開室日数についてのご要望 (回答者数113人。複数回答可)

要望	選択数	割合
開室時間を早く	6	5.3%
平日の開室を速く	12	10.6%
土日の開室を速く	8	7.4%
月曜開室	8	7.4%
月末に休室しない	13	11.5%

問5. 自由記入

調査票113 記入者37 未記入76 (記入率32.7%) ※複数記入あり  
集計を行うにあたり、下記の10分類により編集した。

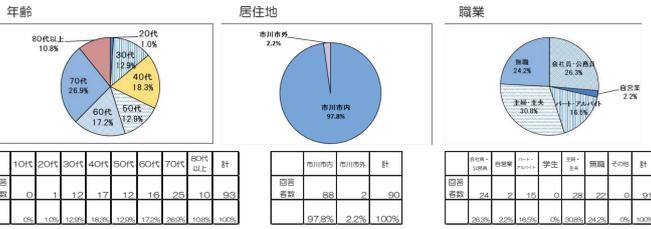
- (1) 資料に関する記入 (2) AV資料に関する記入 (3) 施設に関する記入
- (4) 座席に関する記入 (5) ITに関する記入 (6) マナーに関する記入
- (7) 職員に関する記入 (8) 運営に関する記入 (9) 感想 (10) その他の記入

分類	意見数	主な内容
1 資料に関する記入	10	資料数が少ない、新刊本が欲しい、子どもの本の充実などの要望が多い。
2 AV資料に関する記入	0	
3 施設に関する記入	5	狭い、換気しているので寒いなどの意見があった。
4 座席に関する記入	0	
5 ITに関する記入	2	蔵書検索や予約システムが便利などの意見があった。
6 マナーに関する記入	2	マナーの悪い利用者を注意して欲しいなどの意見があった。
7 職員に関する記入	7	親切な対応で感謝するという声が多くあった。
8 運営に関する記入	7	休館日が多い、館内整理日がわかりにくいなどの意見があった。
9 感想	12	感謝の言葉や近いのでこれからも利用したいなど好意的な意見が多い。
10 その他の記入	0	

大野公民館図書室 アンケート結果

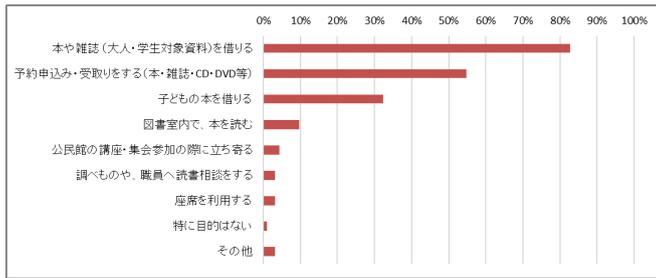
年齢・居住地・職業について

回答者の年齢別では、70代が26.9%と最も多く、続いて40代が18.3%、60代が17.2%であった。居住地別では、市内在住者が97.8%であった。職業別では、主婦・主夫が30.8%と最も高く、次いで会社員・公務員が26.3%、無職が24.2%と続いた。



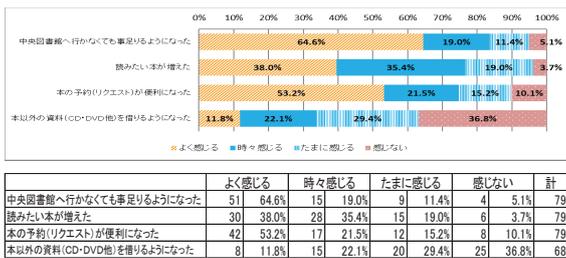
問1. 大野公民館図書室の利用目的について

問1では大野公民館図書室の利用目的について尋ねた。(回答者数93人。複数回答可)  
最も多かった「本を借りる」が82.8%に次ぎ、「図書などの予約申込み・受取りをする」が54.8%、「子どもの本を借りる」が32.3%となった。



問4. 予約・貸出資料種類の追加について

問4では、2021年6月から本以外の資料(CD・DVD他)の予約や貸出が、また、2022年1月から未所蔵資料の窓口でのリクエスト受付や、県立図書館・他市図書館の資料の取り寄せが出来るようになったことで、以前と比べてどう感じるか尋ねた。  
回答者の94.9%が「中央図書館へ行かなくても事足りるようになった」と感じると回答。また、80%以上が「読みたい本が増えた」「本の予約(リクエスト)が便利になった」と感じると回答している。



問6. 自由記入

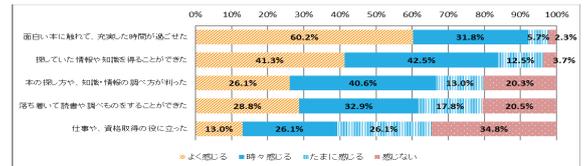
自由記入  
調査票 93 記入者 30 未記入 63 (記入率32.3%) ※複数記入あり  
集計を行うにあたり、下記の10分類により編集した。

- (1) 資料に関する記入 (2) A V資料に関する記入 (3) 施設に関する記入
- (4) 座席に関する記入 (5) ITに関する記入 (6) マナーに関する記入
- (7) 職員に関する記入 (8) 運営に関する記入 (9) 感想 (10) その他の記入

分類	意見数	主な内容
1 資料に関する記入	11	蔵書を増やしてほしいという要望が多くあった。
2 A V資料に関する記入	0	
3 施設に関する記入	0	
4 座席に関する記入	0	
5 ITに関する記入	0	
6 マナーに関する記入	0	
7 職員に関する記入	7	職員が親切など好意的な意見が多かったが、人によって差があるとの意見もあった。
8 運営に関する記入	2	祝日開館や昼休みに閉室しないようにとの要望があった一方、コロナ禍での閉室は助かったとの声もあった。
9 感想	11	近くにあるので利用しやすいなど、好印象の意見が多かった。
10 その他の記入	0	

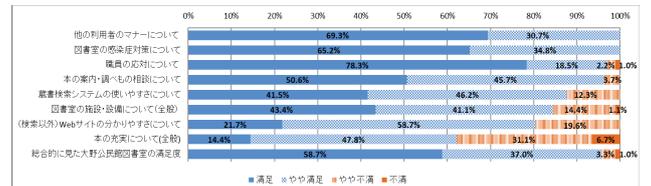
問2. 図書室を利用した成果

97.7%の人が「面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた」と感じたことがあると答え、96.3%が「探していた情報や知識を得ることができた」と回答した。対して「落ち着いて読書や調べものをするのができた」は79.7%と、前回より9.3ポイント下がっている。今後も図書室を利用して充実した時間を過ごせたと感じてもらえるよう、サービスの向上に努めたい。



問3・5. 大野公民館図書室の満足度

問3と問5では、大野公民館図書室の満足度を尋ねた。  
「満足」と「やや満足」を合わせた満足度は、「他の利用者のマナー」と「図書室の感染症対策」が100%を得られ、続く「職員の応対」「本の案内・調べもの相談」も95%以上となった。「図書の充実」については前回より9.5ポイント下がって62.2%となり、年々満足度が低くなっている。今後より一層、蔵書の充実にも努めたい。  
総合的な満足度は前回より高く95.7%となった。引き続きこの満足度を保てるよう、北部地域における図書館サービスの充実にも努めたい。

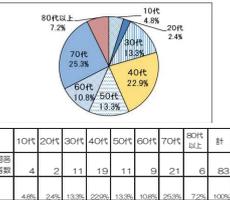


西部公民館図書室 アンケート結果

年齢・居住地・職業について

回答者の年齢別では、70代が25.3%と最も多く、続いて40代が22.9%、30代・50代が13.3%となった。居住地別では市内在住者が97.3%を占めている。職業別では、主婦・主夫が38.6%と最も高く、会社員・公務員が19.3%、無職が16.9%と続いた。

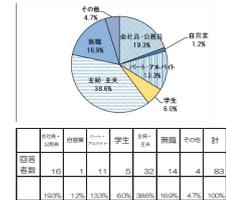
年齢



居住地

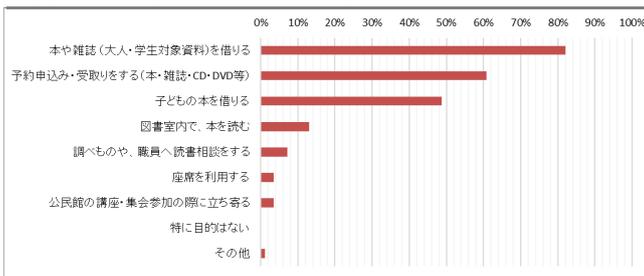


職業



問1. 西部公民館図書室の利用目的について

問1では西部公民館図書室の利用目的について尋ねた。(回答者数84人。複数回答可) 「予約申込み・受取りをする」が60.7%と全館全室の中で2番目に高く、「子どもの本を借りる」は48.8%と他の施設の中で最も高かった。これら項目はそれぞれ前回よりポイントが高くなっている。図書館未設置地域でのサービスを補う利用傾向が続いていることが伺える。

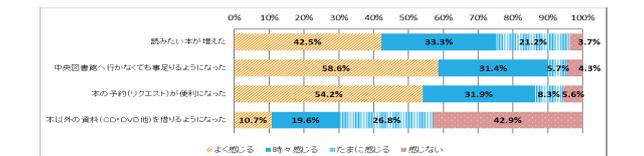


質問	選択数	割合
本や雑誌(大人・学生対象資料)を借りる	69	82.1%
予約申込み・受取りをする(本・雑誌・CD・DVD等)	51	60.7%
子どもの本を借りる	41	48.8%
図書室内で、本を読む	11	13.1%
調べものや、職員へ読書相談をする	6	7.1%
座席を利用する	3	3.6%
公民館の講座・集会参加の際に立ち寄る	3	3.6%
特に目的はない	0	0%
その他	1	1.2%

問4. 予約・貸出資料種別の追加について

問4では、2021年6月から本以外の資料(CD・DVD他)の予約や貸出が、また、2022年1月から未所蔵資料の窓口でのリクエスト受付や、県立図書館・他市図書館の資料の取り寄せが出来るようになったことで、以前と比べてどう感じるか尋ねた。

回答者の96.3%が「読みたい本が増えた」と感じている。続いて「中央図書館へ行かなくても事足りるようになった」が95.7%、「本の予約(リクエスト)が便利になった」が94.4%となった。「本以外の資料(CD・DVD他)を借りるようになった」については、57.1%に留まった。



項目	よく感じる	時々感じる	たまに感じる	感じない	計				
読みたい本が増えた	28	42.5%	22	33.3%	14	21.2%	2	3.7%	80
中央図書館へ行かなくても事足りるようになった	41	58.6%	22	31.4%	4	5.7%	3	4.3%	73
本の予約(リクエスト)が便利になった	39	54.2%	23	31.9%	6	8.3%	4	5.6%	69
本以外の資料(CD・DVD他)を借りるようになった	6	10.7%	11	19.6%	15	26.8%	24	42.9%	88

問6. 自由記入

調査票 93 記入者 38 未記入 55 (記入率 40.8%) ※複数記入あり

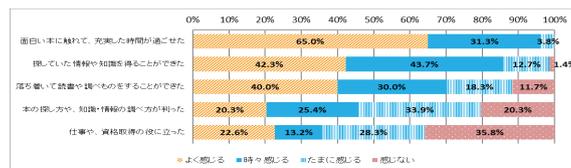
集計を行うにあたり、下記の10分類により編集した。

- (1) 資料に関する記入 (2) AV資料に関する記入 (3) 施設に関する記入
- (4) 座席に関する記入 (5) ITに関する記入 (6) マナーに関する記入
- (7) 職員に関する記入 (8) 運営に関する記入 (9) 感想 (10) その他の記入

分類	意見数	主な内容
1 資料に関する記入	9	新刊を増やしてほしいなどの要望が多い。
2 AV資料に関する記入	0	
3 施設に関する記入	1	子どものスペースの充実に要望。
4 座席に関する記入	0	
5 ITに関する記入	2	検索システムの簡易化の要望。Web予約が便利だという意見。
6 マナーに関する記入	0	
7 職員に関する記入	2	職員を頼りにしているなど好意的な意見。
8 運営に関する記入	7	開館日数が増えて助かるという意見がある一方、開館時間を早めて欲しいという意見もあった。
9 感想	13	相互本やCDの受取ができるようになって助かったという意見などがあつた。また、楽しく利用している等の意見もあった。
10 その他の記入	0	

問2. 図書室を利用した成果

全員が「面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた」と感じたと答えている。また、「探していた情報や知識を得ることができた」との回答は3.4ポイント増え98.6%に、「落ち着いて読書や調べものをする事ができた」については88.3%となった。今後も図書室を利用して充実した時間を過ごせたと感じてもらえるよう、サービスの向上に努めたい。

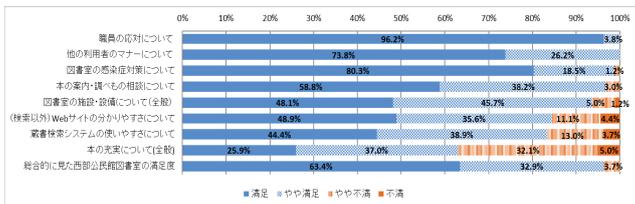


	よく感じる	時々感じる	たまに感じる	感じない	計				
面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた	52	65.0%	25	31.3%	3	3.8%	0	0%	80
探していた情報や知識を得ることができた	30	42.3%	31	43.7%	9	12.7%	1	1.4%	71
落ち着いて読書や調べものをする事ができた	24	40.0%	18	30.0%	11	18.3%	7	11.7%	60
本の読み方や、知識・情報の調べ方が判った	12	20.3%	15	25.4%	20	33.9%	12	20.3%	59
仕事や、資格取得の役に立った	12	22.6%	7	13.2%	15	28.3%	19	35.8%	53

問3・5. 西部公民館図書室の満足度

問3と問5では、西部公民館図書室の満足度を尋ねた。「満足」と「やや満足」を合わせた満足度は、「職員の応対」「他の利用者のマナー」が100%となった。続く「図書室の感染症対策」が98.8%、「本の案内・調べもの相談」が97%で、どちらも「不満」の回答はなかった。一方、「本の充実」については、前回よりポイントを下げ62.9%となった。引き続き蔵書の充実を努めたい。

総合的な満足度は前回より1.7ポイント上げての96.3%となった。今後もこの満足度を保つよう、西部地域における図書館サービスの向上に努めたい。



項目	満足	やや満足	やや不満	不満	計				
職員の応対について	77	96.2%	3	3.8%	0	0%	80		
他の利用者のマナーについて	59	73.8%	21	26.2%	0	0%	80		
図書室の感染症対策について	65	80.3%	15	18.5%	1	1.2%	0	0%	81
本の案内・調べもの相談について	40	59.8%	26	39.2%	2	3.0%	0	0%	68
図書室の施設・設備について(全般)	39	48.1%	37	45.7%	4	5.0%	1	1.2%	81
(検索以外)Webサイトの分かりやすさについて	22	48.9%	16	36.6%	5	11.1%	2	4.4%	45
蔵書検索システムの使いやすさについて	24	44.4%	21	38.9%	7	13.0%	2	3.7%	54
本の充実について(全般)	21	25.9%	30	37.0%	26	32.1%	4	5.0%	81
総合的に見た西部公民館図書室の満足度	52	63.4%	27	32.9%	3	3.7%	0	0%	82

## 資料（４）

### 市民要望

図書館に寄せられる要望は、主に、市の公式ウェブサイト「市民の意見箱 投稿フォーム」、及び図書館ウェブサイトの各ページにある「各課問い合わせフォーム」に寄せられた要望を、広報広聴課が「市民の声システム」にデータ登録している。

そのほか、図書館の館内に「利用者の声」投稿箱を設け、電話と同様に直接図書館で要望を受けている。

市民要望・手段別		件数
ウェブサイト	各課問い合わせフォーム	106
	市民の意見箱 投稿フォーム	42
館内ポスト「利用者の声」等、直接来館		31
合計		179

市川駅南口図書館受付分 は除く

令和3年度は、まん延防止重点措置および緊急事態宣言下で、臨時休館や開館時間の短縮等を行わなかったが、短時間の滞在や館内利用を奨励した。このため、Webサービスであらかじめ蔵書を検索・予約して来館するスタイルが浸透していた様子が伺える。例えば、マイページの予約状況を見て、資料ごとの表示に関する質問やデータ間違いの指摘、提供が遅れる理由の問い合わせ等が多かった。また、検索結果の一覧や予約画面の使い勝手、マイページでの予約・貸出状況画面の工夫等、システム改善を求める声も寄せられた。

令和2年度と同様に、ウェブサイトで未実施のサービス（リクエスト受付、忘失したパスワードの変更）の要望も寄せられている。また、初めて利用をする方が、来館する前に、ウェブサイトで新規登録して、そのまま予約ができるかどうかの問い合わせが多い。

### 内容詳細ごとの主な要望

#### ア. 運営に関する事

- 開館日・開館時間の拡大について
- マイナンバーカードの図書利用券機能について
- 読書通帳機の導入について
- 座席管理システムの表示について

#### イ. 資料に関する事

- 他の自治体図書館所蔵本の借用について
- ウェブサイトでの新刊図書の購入希望（リクエスト）について
- 電子書籍について
- 隣接市居住者による国立国会図書館蔵書のインターネット閲覧について
- 市川の人や地域の事について  
⇒レファレンス依頼（4件）

#### ウ. 職員に関する事

- 職員による説明が不足、または長い
- 接遇態度が悪い
- （コロナ禍で）館内でのボランティア活動の会話について

#### エ. 施設に関する事

- 洋式トイレの整備について
- 容易に利用できるWi-fi環境の整備
- コロナ禍でのマスク着用のモラル

市民要望・内容詳細別	件数
運営に関する事	56
資料に関する事（寄贈・レファレンスを含む）	54
システムに関する事（ウェブサイト含む）	18
施設に関する事（備品を含む）	16
職員に関する事（接遇・手続きミスを含む）	9
その他	26
合計	179

---

# 市 川 市 の 図 書 館

2 0 2 2

令和4年(2022)9月発行 第1版 ¥200

編集・発行 市川市教育委員会 生涯学習部 中央図書館  
〒272-0015 市川市鬼高1丁目1番4号 生涯学習センター内  
TEL 047(320)3333(機械音声応答)  
047(320)3346(直通)



<https://www.city.ichikawa.lg.jp/library/>

---